

C 外国人住民アンケート

<目次>

調査の概要	C-1
調査結果のポイント	C-2
調査結果の詳細	C-4
1. 回答者の属性	C-5
2. 蟹江町の住みやすさ	C-12
3. 仕事について	C-14
4. 自分の子どもについて	C-21
5. 同居家族、仲の良い日本人について	C-33
6. 地域との関わりについて	C-41
7. 日本語について	C-55
8. 日本での生活の困りごとと情報入手について	C-84
9. 防災について	C-102
10. 蟹江町役場の取組について	C-110
11. 外国人も住みやすいまちにするための取組について	C-119
調査票（やさしい日本語版）	C-125

調査の概要

（１）調査の趣旨

2018 年 6 月末現在、本町における外国人住民は 1,428 人であり、総人口に占める割合は 3.85%となっている。この割合は、県全体の 3.34%を上回り、市町村別では 13 番目に高く、外国人住民の多い地域といえる。2019 年 4 月からは新たな入管法が施行され、「特定技能」の在留資格が新設されることから、本町も今後さらに外国人住民が増えることが予想される。

このことを踏まえ、多文化共生、外国人住民も住みやすいまちづくりをより一層目指していくとともに、今後は、地域の活性化に外国人住民の活力を生かしていくことが求められる。

このような背景を踏まえ、本町に居住する外国人住民の居住実態や生活における課題等を把握するとともに、第 5 次蟹江町総合計画の策定の参考とするため、今回のアンケート調査を実施した。

（２）調査対象

本町の住民基本台帳に登録されている 16 歳以上の外国籍の住民のうち、「特別永住者」の在留資格を除く、全員を対象とした。

（３）調査方法

調査票は、住民基本台帳の登録住所宛に郵送配布し、蟹江町役場宛で郵送回収した。

調査票は、やさしい日本語版と外国語版（英語、ポルトガル語、フィリピン語、中国語）を作成、やさしい日本語版と外国語の両方の調査票を配布し、どちらか一方への自署による回答を依頼した。選択式の回答の設問が大半だが、一部数字や文字を記入する設問も設定した。

（４）調査時期

調査票の発送：2019 年 1 月 7 日（月）

投函の締切日：2019 年 1 月 21 日（月）

※2 月 8 日（金）到着分まで回収数に入れ、集計しました。

（５）配布数・回収数

発送数	不着数	配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率	
						対発送数	対配布数
1,178	16	1,162	269	1	268	22.75%	23.06%

調査結果のポイント

<1. 回答者の属性>

- 性別、年齢、国、在留資格による意識や事情の違いが大きい。
⇒「外国人住民」といっても多様である。
⇒特に、日本への定住・永住が想定される人、いずれ帰国する人とは、課題や事情が異なる。
 - ・フィリピン、ブラジル－永住・定住－居住期間が長い、年齢も多様、家族滞在も多い。
 - ・ベトナム－技能実習－居住期間が短い（いずれ帰国）－20 歳代の若い人、単身者が多い。
 - ・中国－定住・永住+技能実習がともにいる－年齢も多様、家族滞在も多い。

<2. 蟹江町の住みやすさ>

- 外国人住民にとっての住みやすさ、居住継続意向は高い。

<3. 仕事について>

- 仕事をしている外国人住民の約 5 割は蟹江町で働いている。
- 仕事では、日本人とのコミュニケーションを心配する人が、特に若い人に多い。

<4. 自分の子どもについて>

- 子どもの悩みごとは、進学や就職、いじめや差別
- 親にとっての悩みは、進学や就職、教育のお金、母語を教えられないこと

<5. 同居家族、仲の良い日本人について>

- 同居家族に日本人がいる外国人住民は 30%
- 同居家族以外に仲の良い日本人がいる外国人住民は約 5 割。職場や学校の友だちが多い。
- 75%がもっと多くの日本人と仲良くなることを希望。

<6. 地域との関わりについて>

- 町内会・自治会の加入率は 21%、認知度は 37%
- 加入しない理由は、何をやっているかわからないから。
- 参加したことある地域のイベントは、お祭りが 30%、参加したことない人が 47%
- イベントに参加しない理由は、忙しいから、イベントをやっていることを知らないから。
- 地域のイベントに参加したいという意向は 40%

<7. 日本語について>

- 読める人は 28%、書ける人は 24%、聞くことができる人は 40%、話せる人は 41%
- 読める、書ける人は中国が多く、聞くことができる、話せる人はブラジル、フィリピンが多い。
- 日本語で困る場面は、病気になった時、手紙を読む時。
- 日本語を現在勉強している人も、できない人もあわせて、日本語の学習意向は 83%
- 学習したい方法は、テレビ・インターネットが 56%だが、ボランティアの日本語教室も 42%

<8. 日本での生活の困りごとと情報入手について>

- 生活の困りごとは日本語でのコミュニケーション、病院・医療が多い。
- 困りごとを相談したい人は、家族や親せきに次いで、日本人の友だちが 46%
- 情報の入手方法は、家族や親せきに次いで、インターネットが 43%

<9. 防災について>

- 防災を心配する人は、少し心配も含め 80%
- 防災訓練の参加率は 31%、災害の備えができている人は 23%、いずれもブラジルが低い。
- 災害時の情報入手方法は、テレビ・ラジオ、家族や親せき、職場や学校が多い。

<10. 蟹江町役場の取組について>

- 役場のサービスは、転入・転出に係るものは知っているが、福祉に関することの認知度は低い。
- 公共施設やまちの案内がわかりにくいと感じる人は 35%、役場や病院の改善意見が多い。

<11. 外国人も住みやすいまちにするための取組について>

- 日本人の外国への理解、日本の文化や生活を外国人に情報提供、外国人も参加できるイベント開催などの意見が多い。

調査結果の詳細

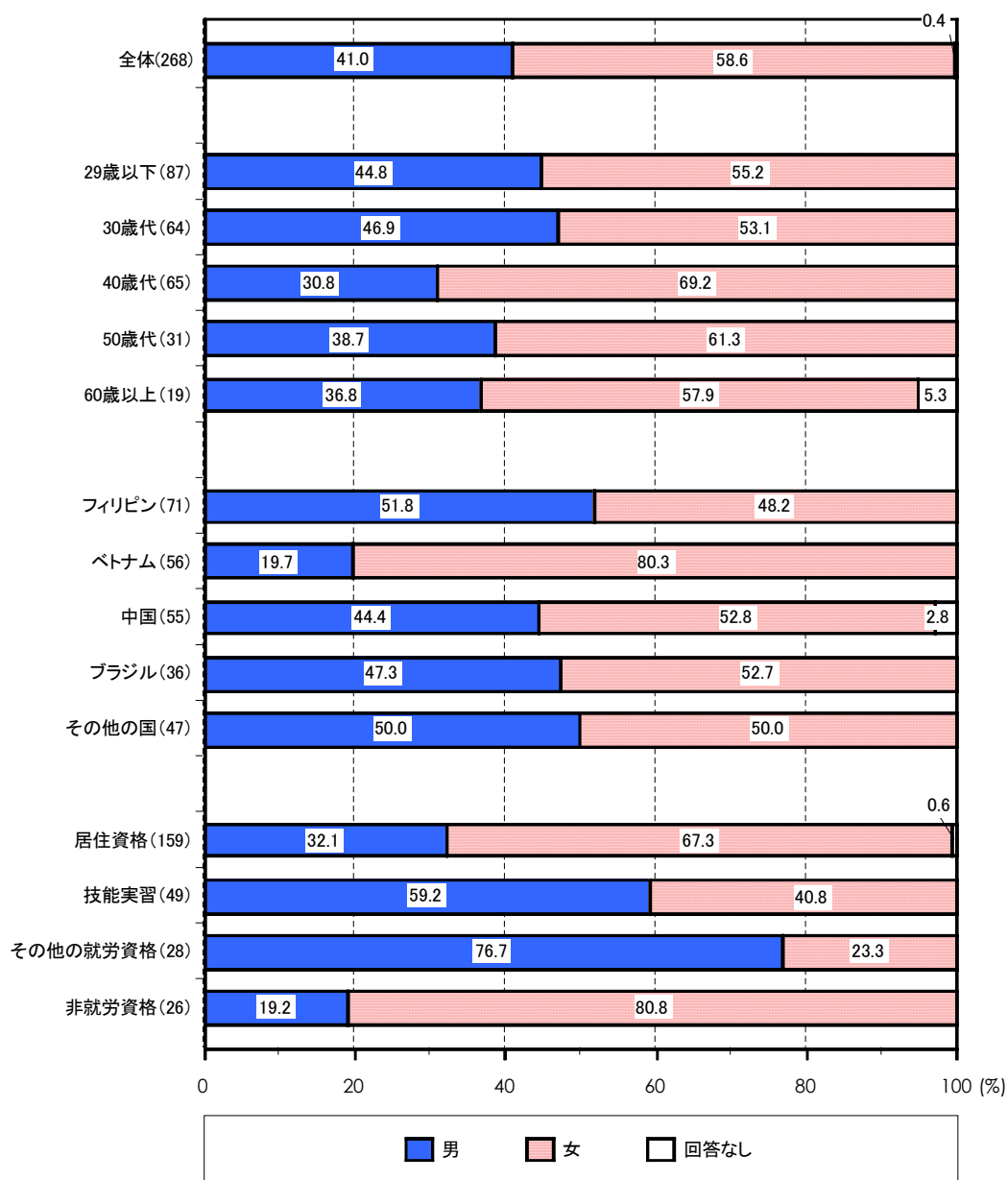
＜結果分析の条件等＞

- 本調査は母集団 1,178 に対して標本数は 268 であることから、信頼度 95%において、回答の誤差は概ね±5%と想定される。
- 各設問の分析においては、下記の要素におけるクロス集計を行っている。
 - [性別] 男、女
 - [年齢] 29 歳以下、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上
 - [国籍] ベトナム、フィリピン、ブラジル、中国、その他
 - [在留資格] 居住資格（永住者、永住者の配偶者等、定住者、日本人の配偶者等）
技能実習（技能実習 1 号、技能実習 2 号、技能実習 3 号）
その他の就労資格（技術・人文知識・国際業務、技能、高度専門職、
経営管理、企業内転勤など）
非就労資格（留学、家族滞在、文化活動、特定活動など）
- 以降の結果において、特に記載のない場合は、一つのみ回答の設問である。
- 割合の表記については小数第 2 位での四捨五入処理を行っていることから、合計値が 100%にならないこともある。

1. 回答者の属性

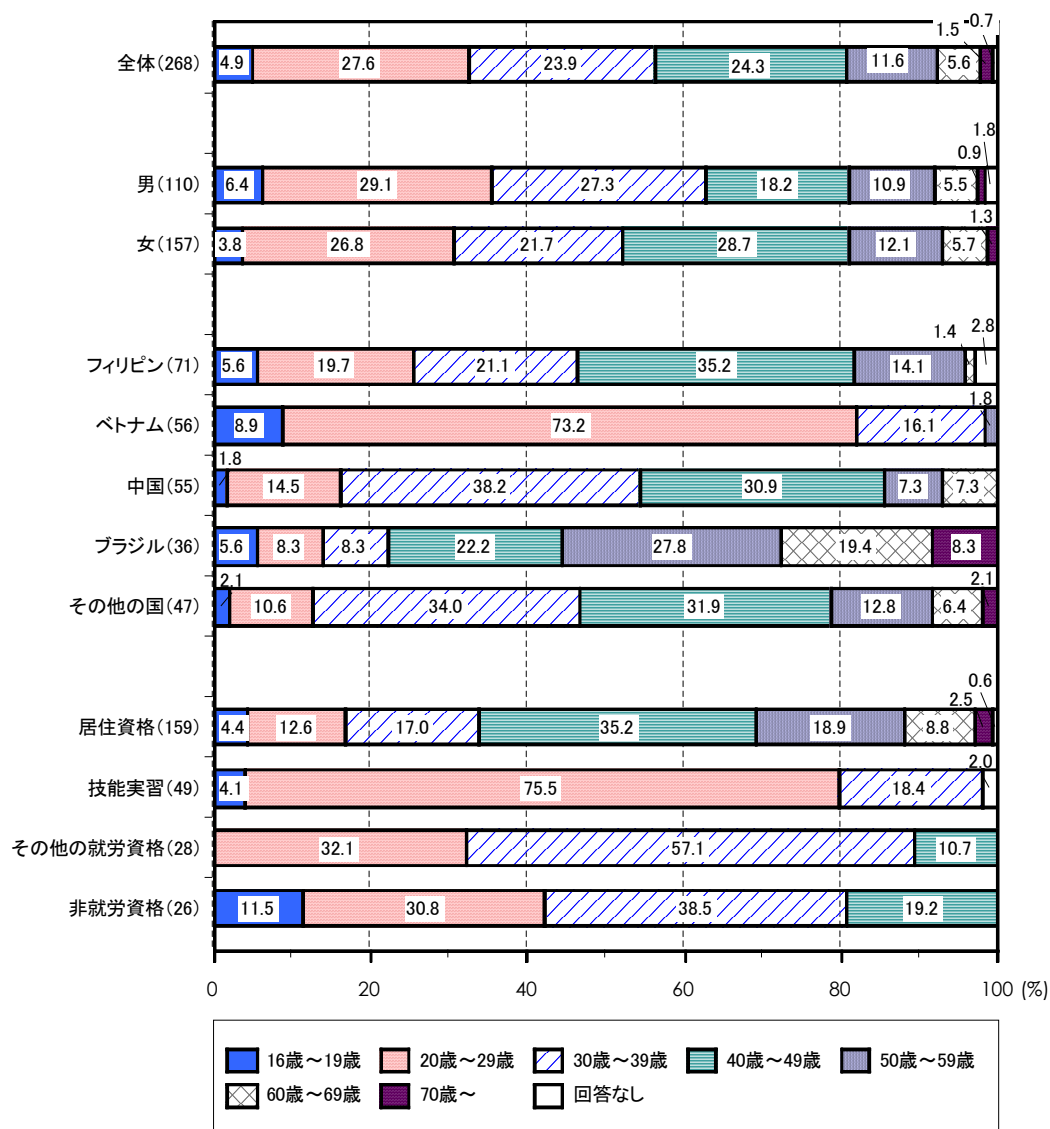
(1) 性別

- ・全体では、女性が 58.6%と多い。
- ・年齢別では、各年代とも女性が多いが、特に 40 歳代で女性が多い。
- ・国籍別では、各国ともに女性が多いが、特にベトナムで女性が多い。
- ・在留資格別では、非就労資格、居住資格では女性が多いが、就労資格（技能実習、その他の就労資格）では男性が多い。



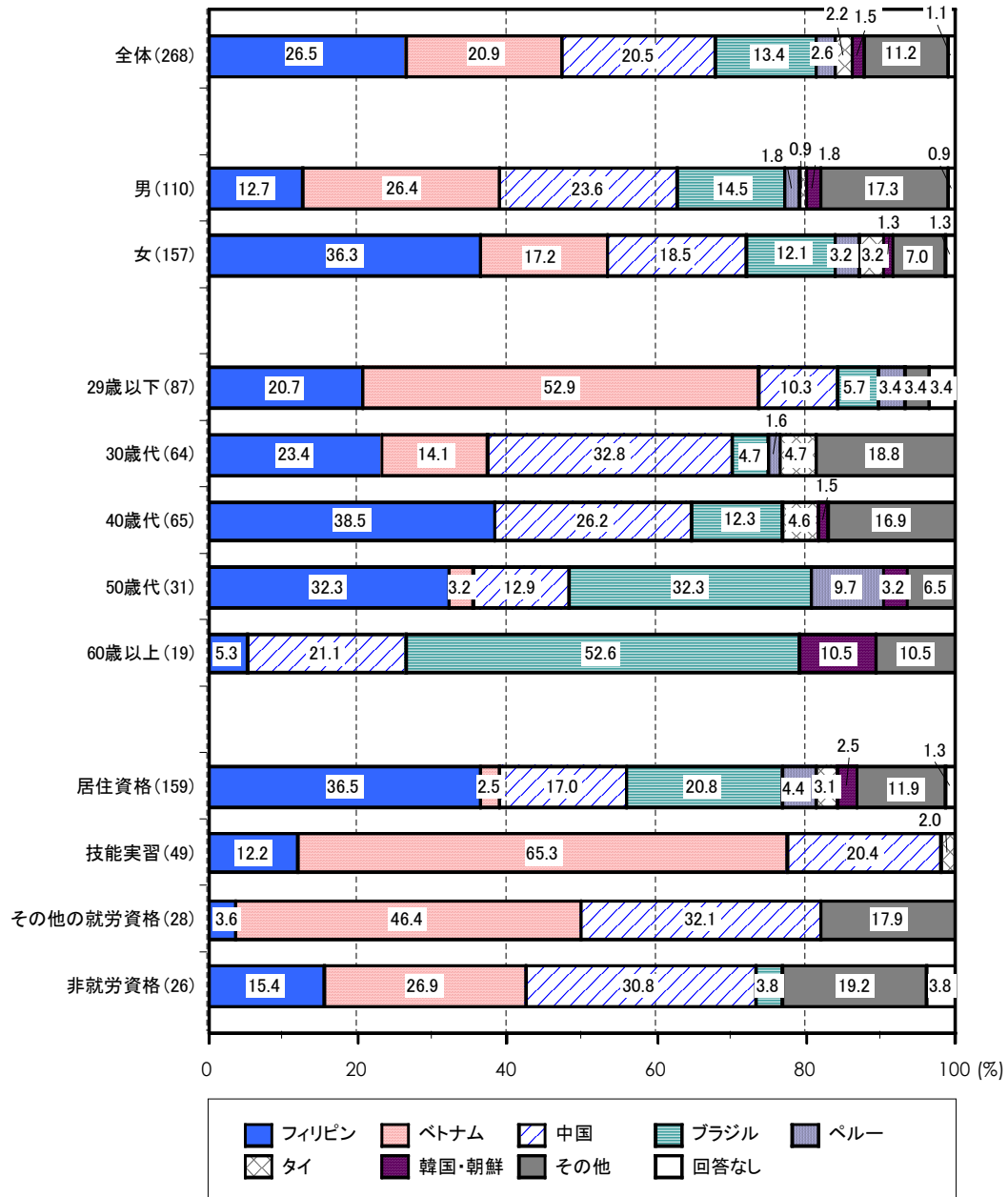
(2) 年齢 (2018 年 12 月 1 日現在)

- ・全体では、20 歳代、30 歳代、40 歳代が多く、60 歳代以上は少ない。
- ・性別では、男性は 20 歳代及び 30 歳代が多く、女性は 40 歳代、20 歳代の割合が多い。
- ・国籍別では、ベトナムは 70%以上を 20 歳代が占めている。フィリピン、中国、その他の国は 30 歳代及び 40 歳代が多く、ブラジルは 40 歳代から 60 歳代が多い。
- ・在留資格別では、居住資格は 40 歳代が最も多く、技能実習は 70%以上が 20 歳代である。その他の就労資格、非就労資格は 30 歳代及び 20 歳代が多い。



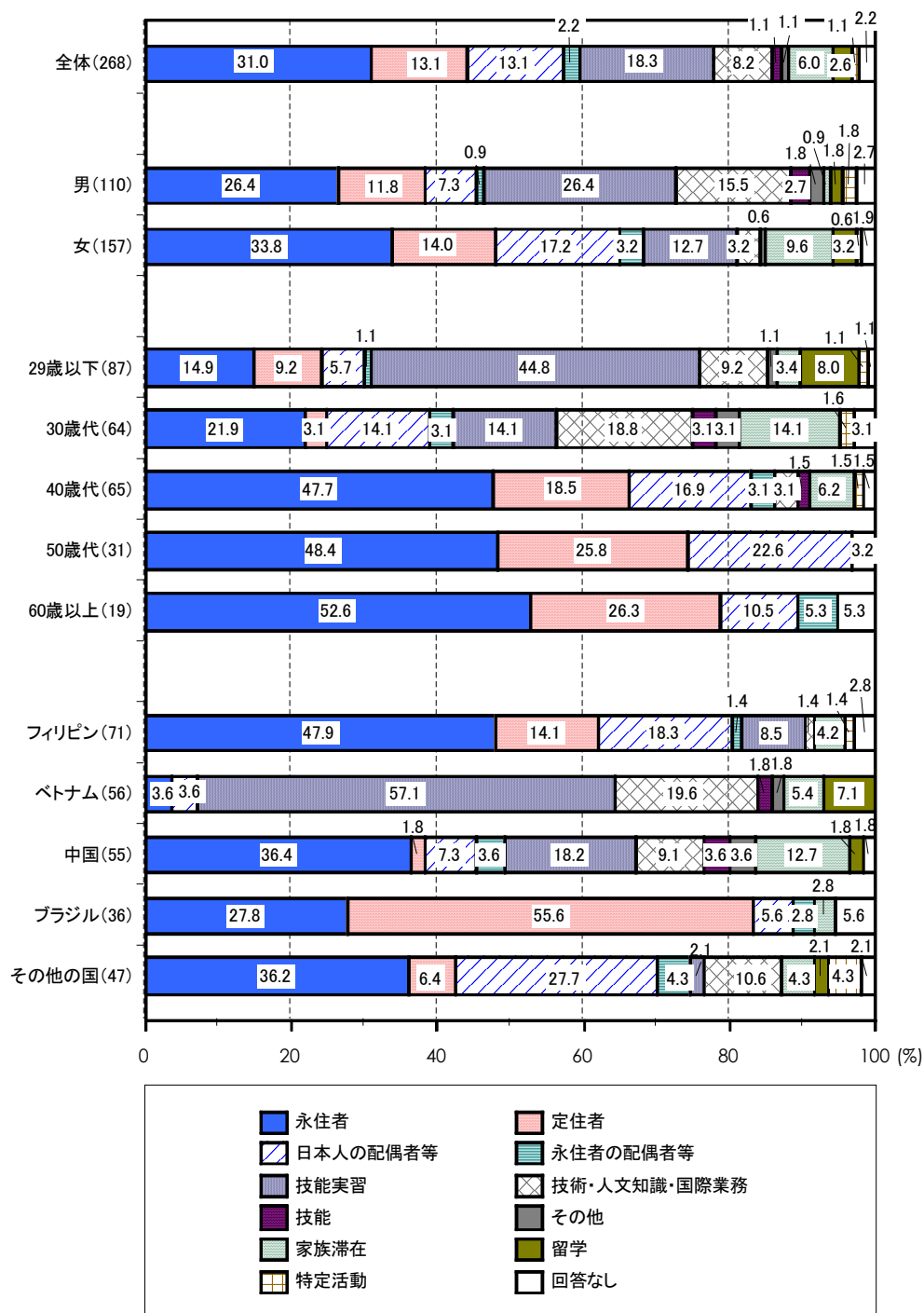
(3) 国籍

- ・全体では、フィリピン、ベトナム、中国、ブラジルの順が多い。
- ・性別では、男性はベトナム、中国が多く、女性はフィリピンが多い。
- ・年齢別では、29歳以下はベトナムは5割以上であり、30歳代は中国、40歳代はフィリピン、50歳代はフィリピンとブラジル、60歳以上はブラジルが多い。
- ・在留資格別では、居住資格はフィリピンとブラジル、技能実習はベトナム、その他の就労資格及び非就労資格はベトナムと中国が多い。



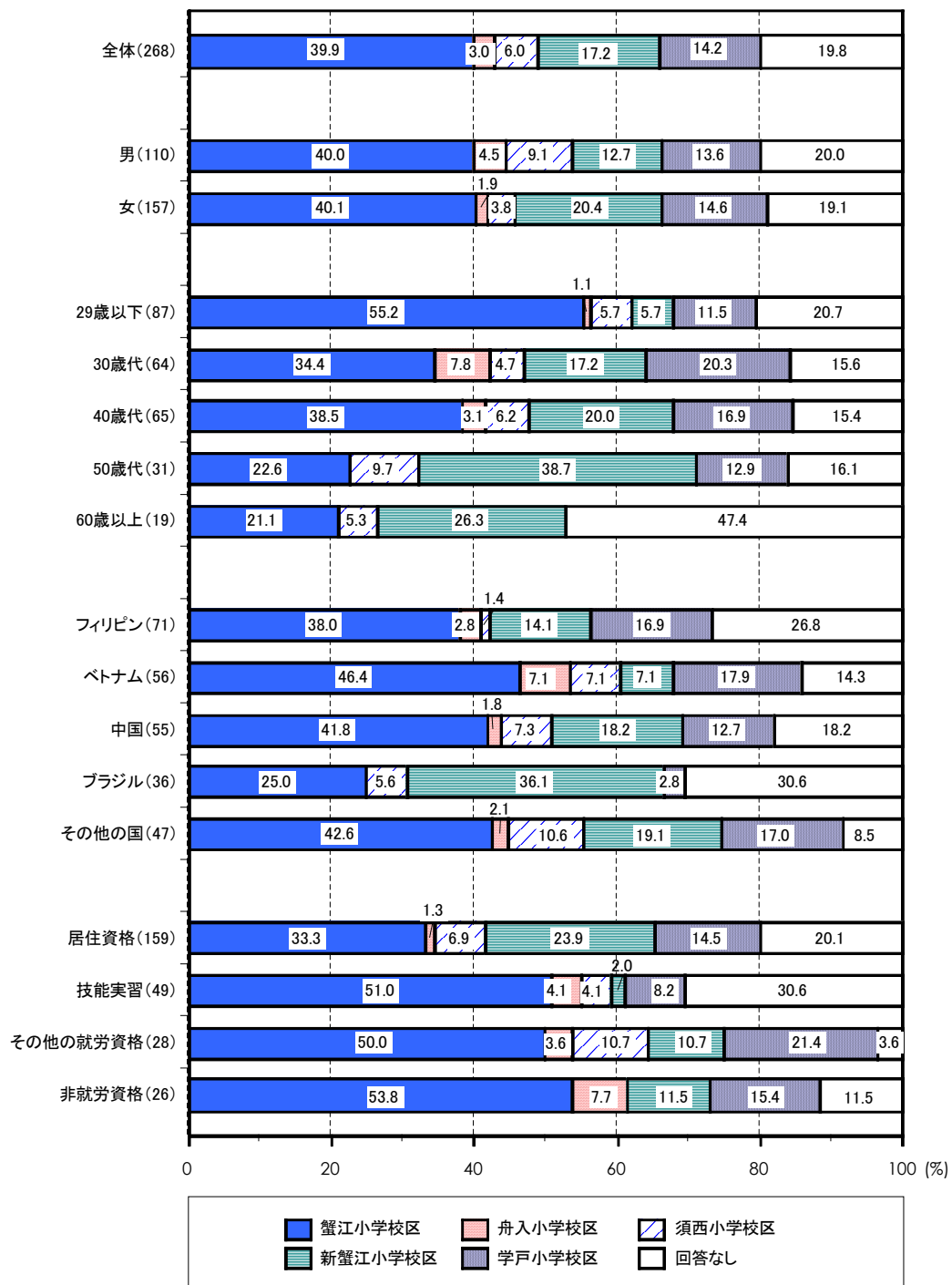
(4) 在留資格

- ・全体では、永住者が最も多く、次いで技能実習、定住者、日本人の配偶者が多い。
- ・性別では、男性は永住者及び技能実習が多く、女性は永住者及び日本人の配偶者が多い。
- ・年齢別では、29歳以下は技能実習、30歳代は永住者及び技術・人文知識・国際業務、40歳代以上は永住者が多い。
- ・国籍別では、フィリピンは永住者及び日本人の配偶者、ベトナムは技能実習及び技術・人文知識・国際業務、中国は永住者及び技能実習、ブラジルは定住者及び永住者が多い。



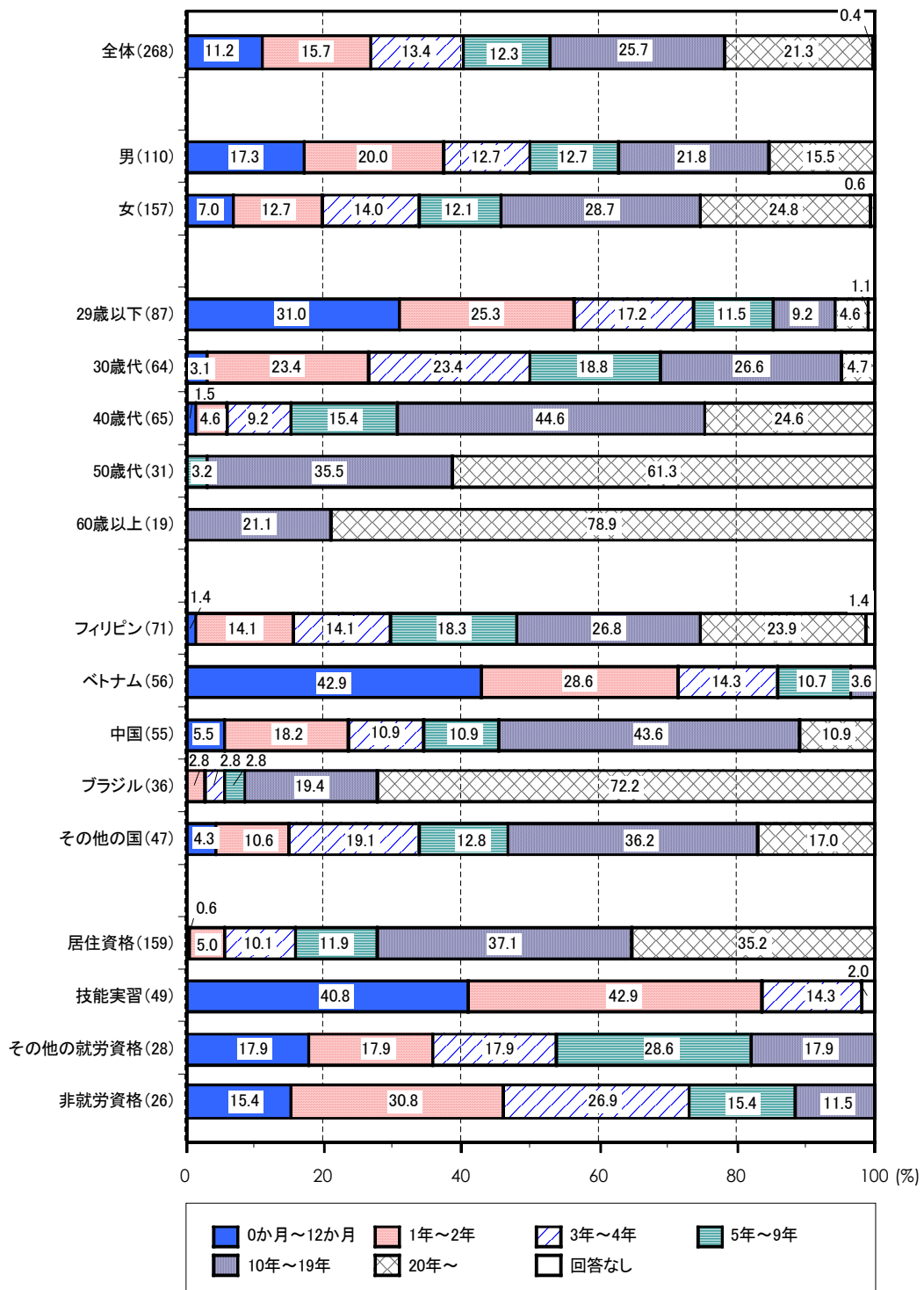
(5) 居住小学校区

- ・全体では、蟹江小学校区が最も多く、次いで新蟹江小学校区、学戸小学校区が多い。
- ・性別では、男性は蟹江小学校区に次いで学戸小学校区が多いが、女性は蟹江小学校区に次いで新蟹江小学校区が多い。
- ・年齢別では、29歳以下は蟹江小学校区は5割を超え、30歳代は蟹江小学校区に次いで学戸小学校区、40歳代は蟹江小学校区に次いで新蟹江小学校区が多く、50歳代以上は新蟹江小学校区が最も多い。
- ・国籍別では、フィリピン、ベトナム、中国は蟹江小学校区が多く、ブラジルは新蟹江小学校区が多い。
- ・在留資格別では、いずれの種類も蟹江小学校区が最も多いが、居住資格は新蟹江小学校区、その他の就労資格は学戸小学校区も多い。



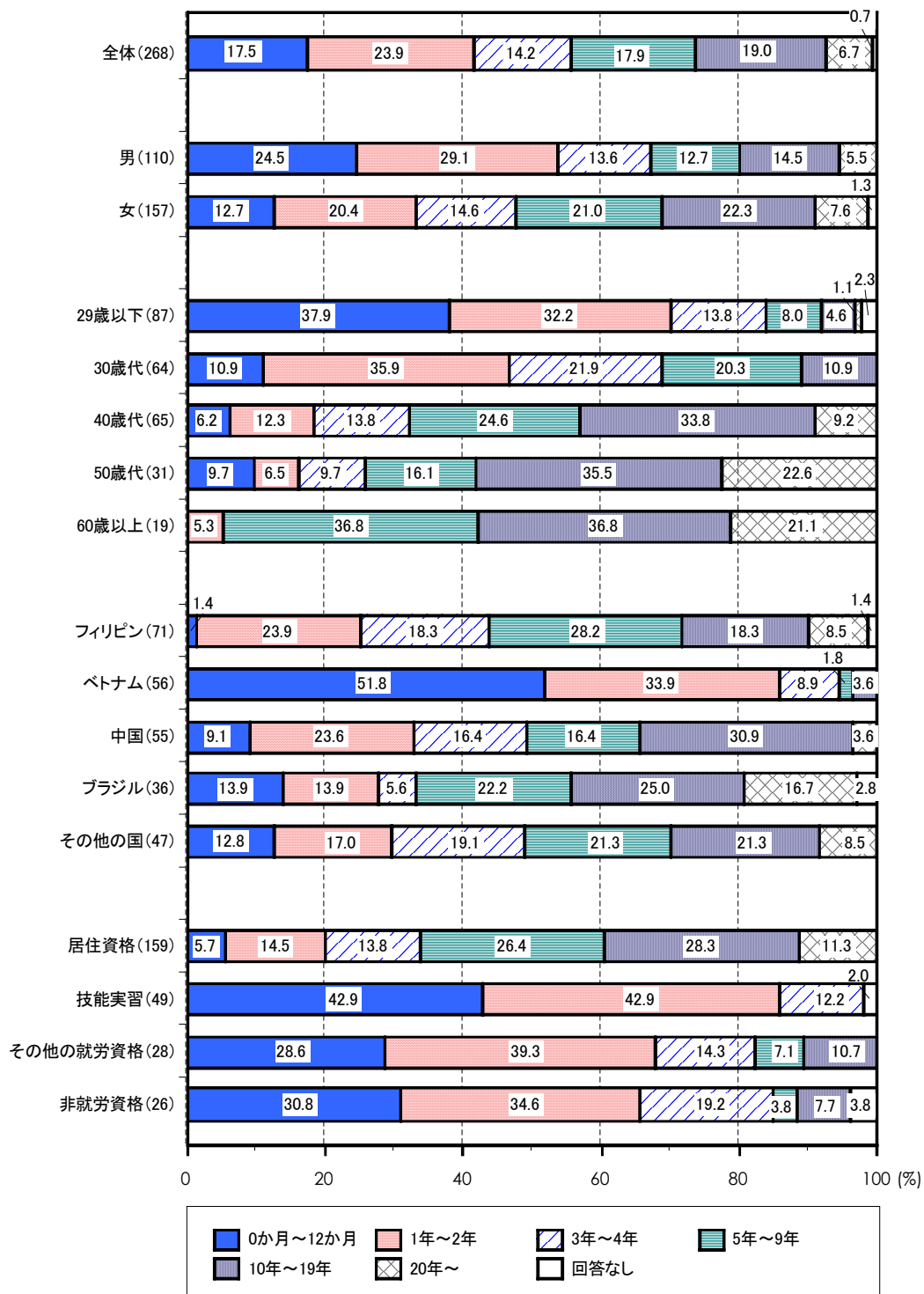
(6) 日本での居住年数

- ・全体では、10～19年、20年以上が多い。
- ・性別では、男性は10～19年に次いで1～2年が多く、女性は10～19年及び20年以上が多い。
- ・年齢別では、29歳以下は1年未満及び1～2年が多く、30歳代は10～19年、1～2年、3～4年が多い。40歳代以上は10～19年、20年以上が多い。
- ・国籍別では、ベトナムは1年未満及び1～2年、中国は10～19年、フィリピンは10～19年及び20年以上、ブラジルは20年以上が多い。
- ・在留資格別では、技能実習は1年未満及び1～2年、非就労資格は1～2年及び3～4年、その他の就労資格は5～9年、居住資格は10～19年及び20年以上が多い。



(7) 蟹江町での居住年数

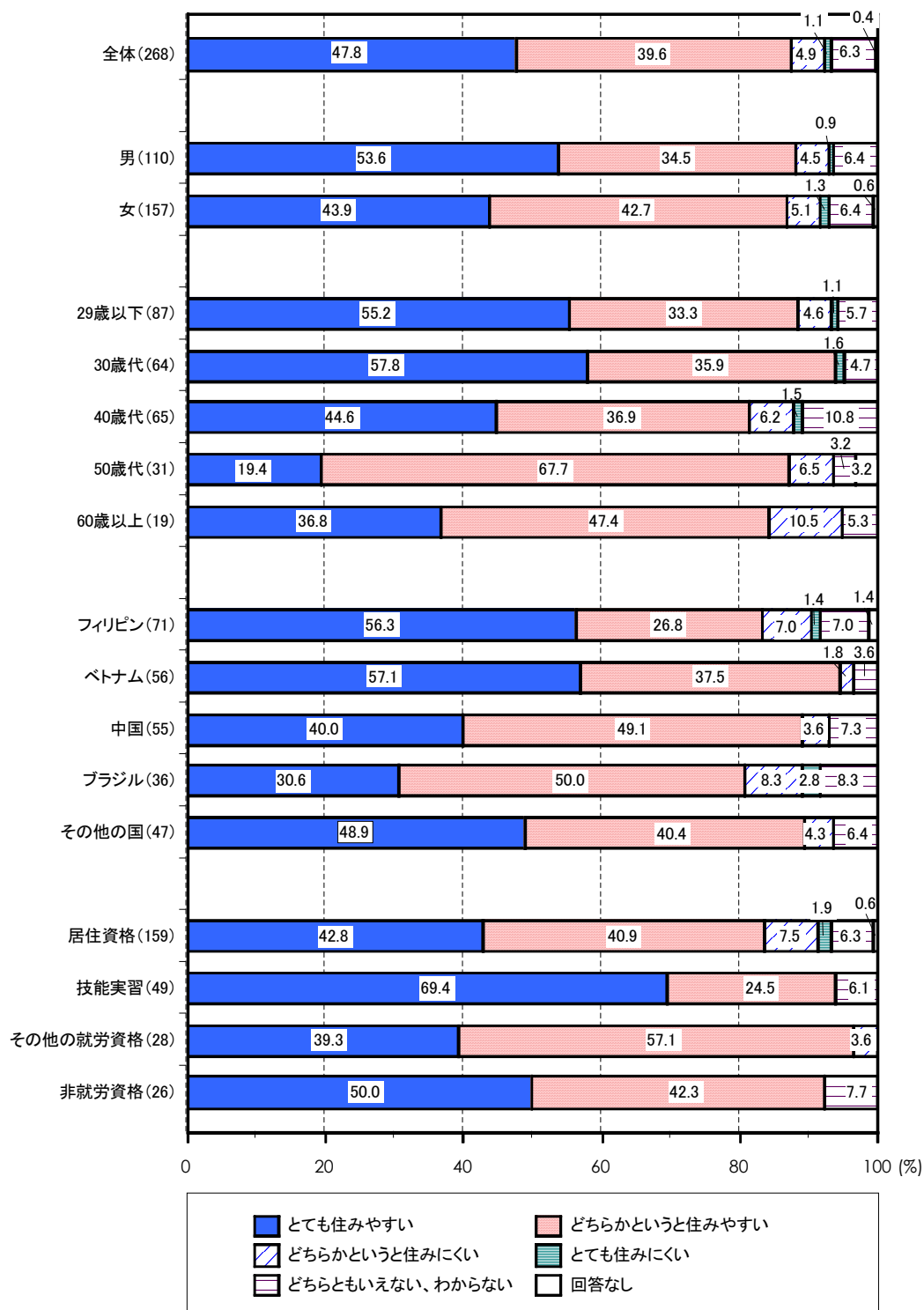
- ・全体では、1～2 年が最も多い。
- ・性別では、男性は 1～2 年及び 1 年未満が多く、女性は 10～19 年及び 5～9 年が多い。
- ・年齢別では、29 歳以下は 1 年未満及び 1～2 年、30 歳代は 1～2 年及び 3～4 年が多く、40 歳代以上は 10～19 年が多い。
- ・国籍別では、ベトナムは 1 年未満及び 1～2 年、フィリピンは 5～9 年及び 1～2 年、中国は 10～19 年及び 1～2 年、ブラジルは 10～19 年及び 5～9 年が多い。
- ・在留資格別では、技能実習、その他の就労資格、非就労資格は 1 年未満及び 1～2 年が多く、居住資格は 10～19 年及び 5～9 年が多い。



2. 蟹江町の住みやすさ

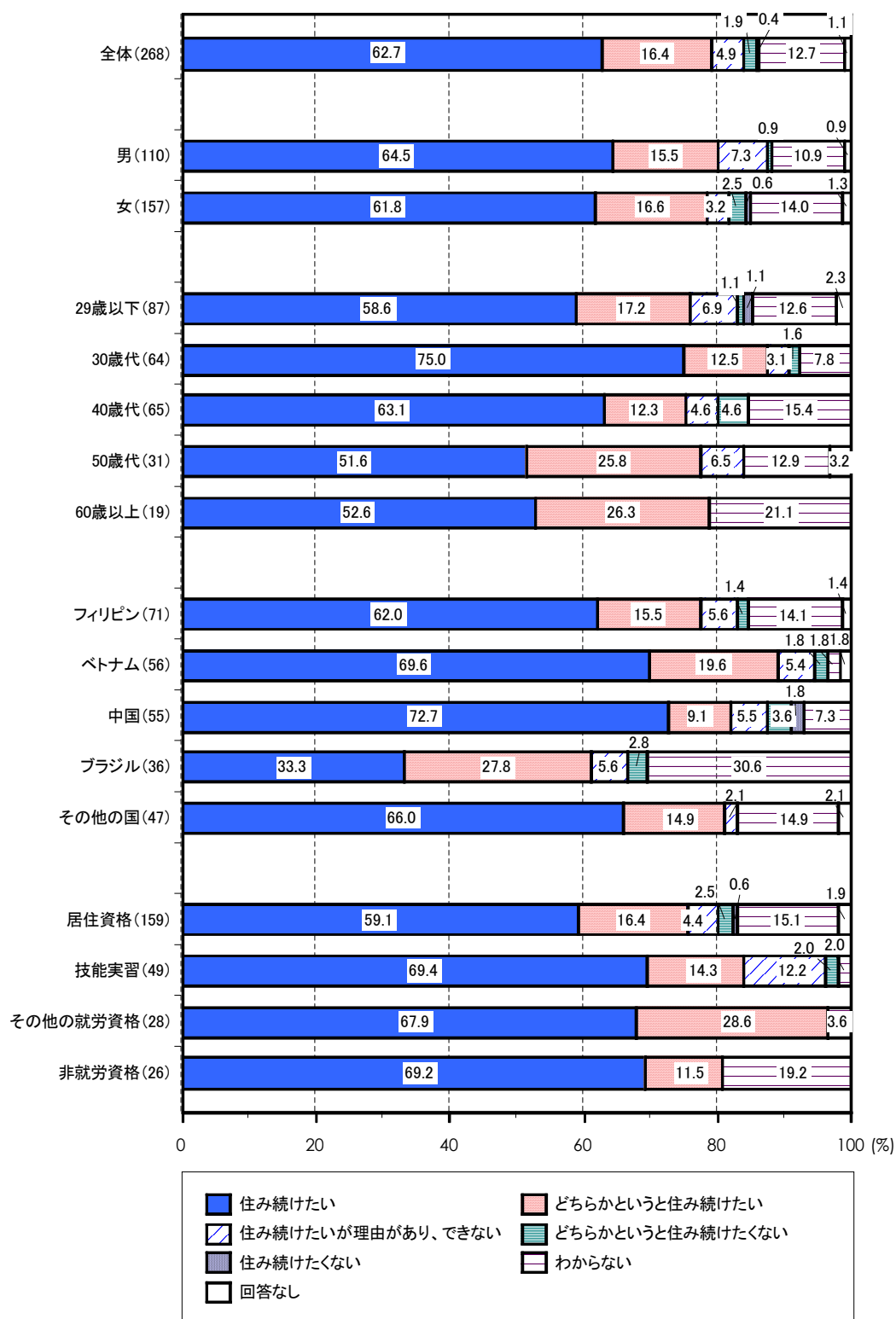
(1) 蟹江町は住みやすいと思うか

- ・「とても住みやすい」が 47.8%、「どちらかという住みやすい」が 39.6%、これらを合わせた住みやすいと感じる人は 87.4%である。
- ・性別では、男性の方が住みやすいと感じる人の割合が高い。
- ・年齢別では、住みやすいと感じる割合は 30 歳代で高く、「とても住みやすい」と感じる割合は 50 歳代で低い。
- ・国籍別では、住みやすいと感じる人の割合はベトナムが若干高く、ブラジルが若干低い。
- ・在留資格別では、住みやすいと感じる人の割合は技能実習で高く、居住資格で若干低い。



(2) 蟹江町に住み続けたいと思うか

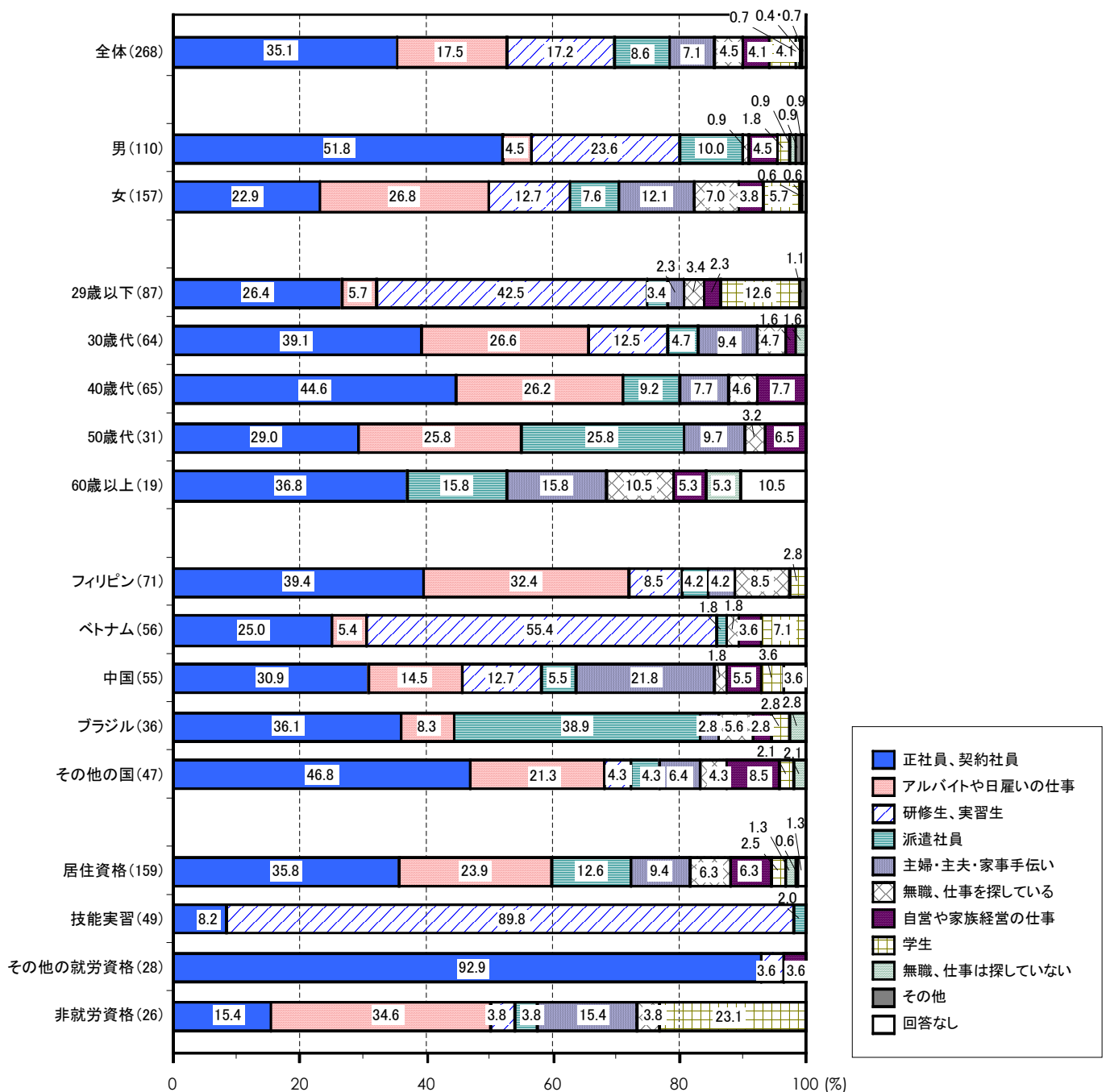
- ・「住み続けたい」が62.7%、「どちらかというに住み続けたい」が16.4%、これらを合わせた住み続けたいと思う人は79.1%である。
- ・性別では、男性の住み続けたいと思う人の割合が高い。
- ・年齢別では、住み続けたいと思う人の割合は30歳代が高い。
- ・国籍別では、住み続けたいと思う人の割合はブラジルが低い。
- ・在留資格別では、住み続けたいと思う人の割合は、その他の就労資格が高く、居住資格が低い。



3. 仕事について

(1) 主な仕事

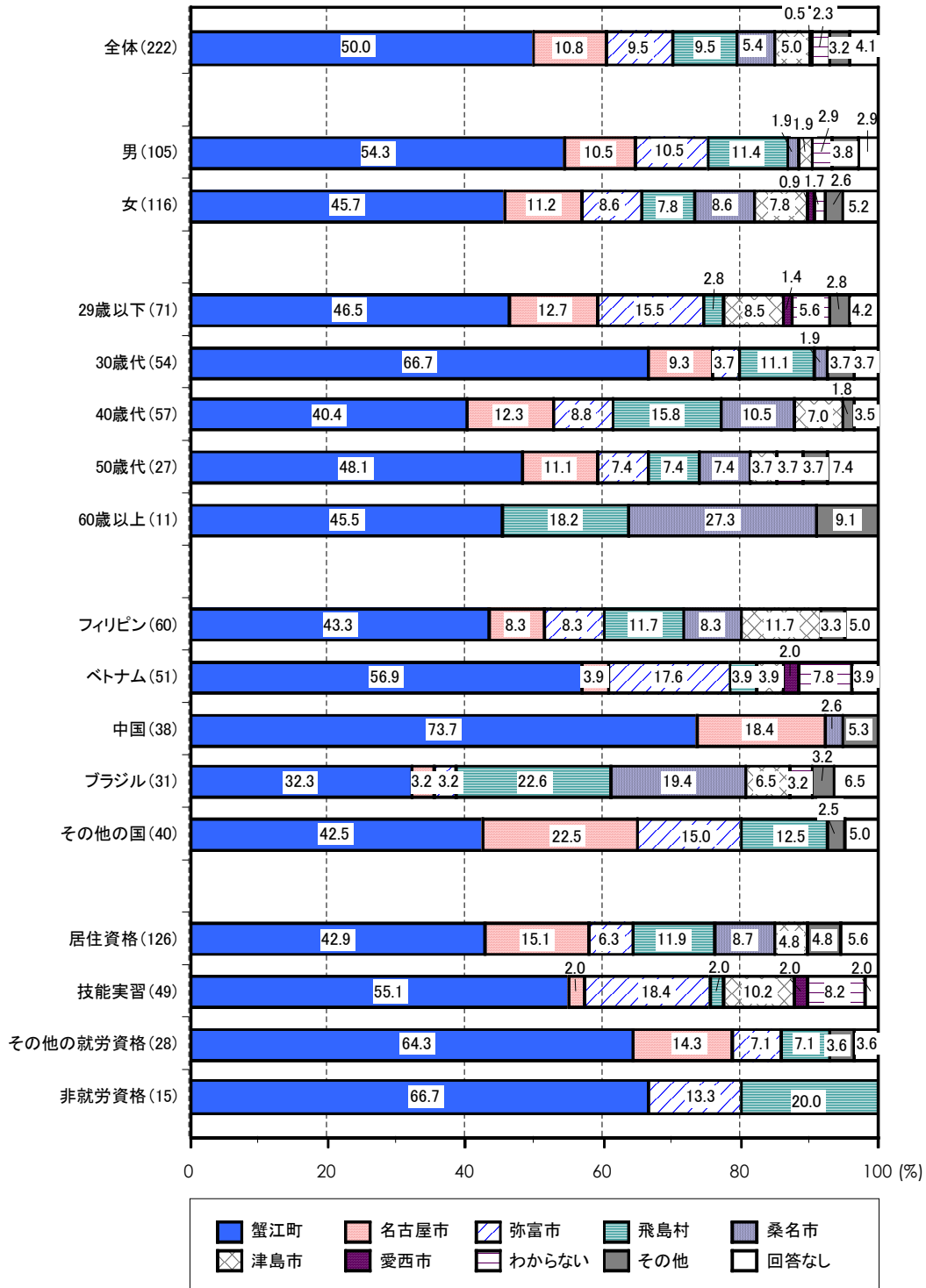
- ・全体では、正社員、アルバイト・日雇い、研修生・実習生が多い。
- ・性別では、男性は正社員及び研修生・実習生、女性はアルバイト・日雇い及び正社員が多い。
- ・年齢別では、29歳以下は研修生・実習生、30歳代～50歳代は正社員及びアルバイト・日雇い、60歳以上は正社員が多い。
- ・国籍別では、フィリピンは正社員及びアルバイト・日雇い、ベトナムは研修生・実習生、中国は正社員及び主婦・家事等、ブラジルは派遣社員及び正社員が多い。
- ・在留資格別では、技能実習は研修生・実習生、その他の就労資格は正社員、居住資格は正社員及びアルバイト・日雇い、非就労資格はアルバイト・日雇い及び学生が多い。



(以下、(2) から (4) は仕事をしている人のみが回答)

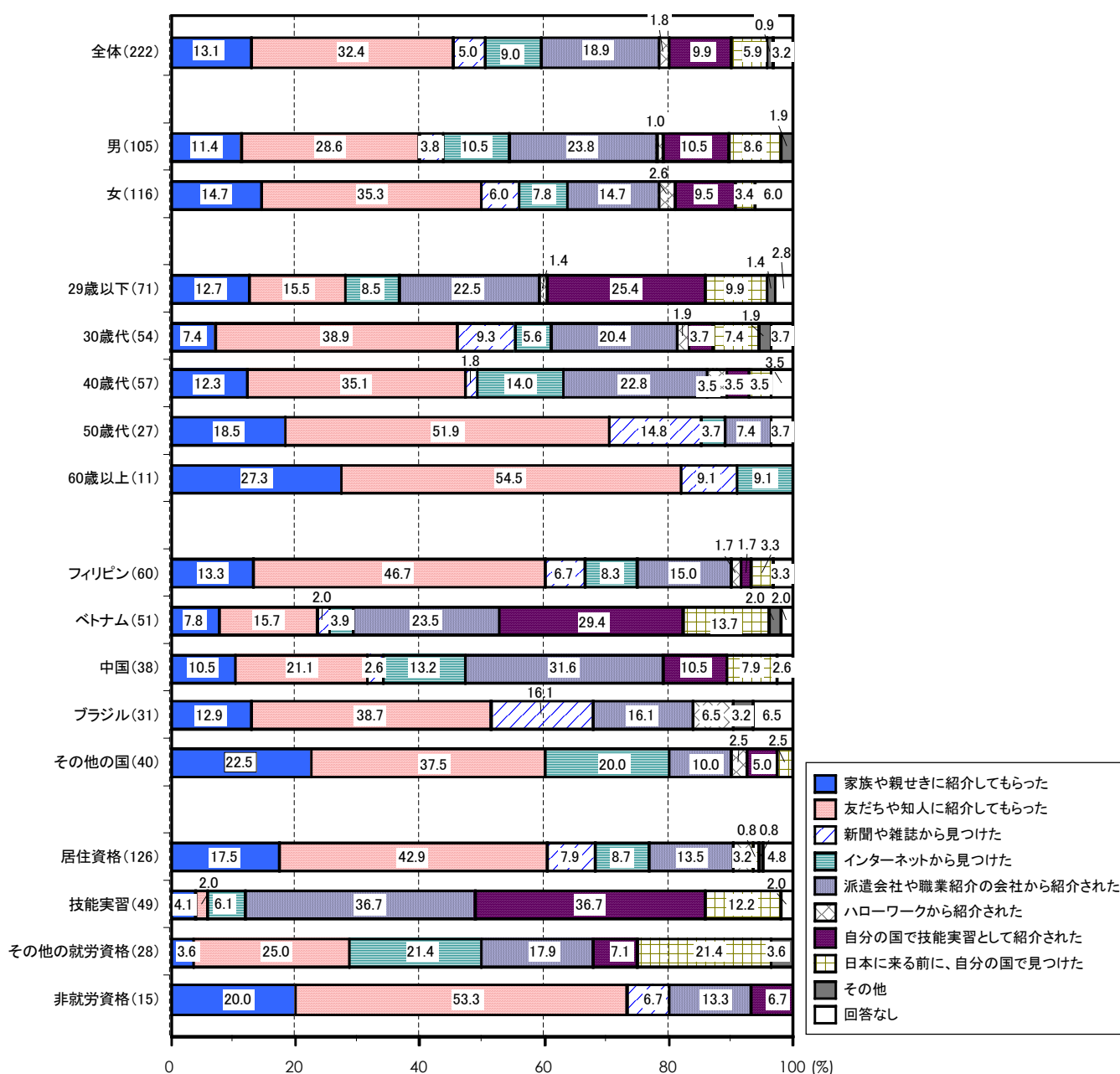
(2) 仕事の場所

- ・全体では、蟹江町内が 50%と多く、次いで名古屋市、弥富市、飛島村が多い。
- ・性別でも、男女とも蟹江町内が多い。
- ・年齢別では、30 歳代において蟹江町内の割合が高い。
- ・国籍別では、中国が蟹江町内の割合が高く、ブラジルが蟹江町内の割合が低い。
- ・在留資格別では、その他の就労資格、非就労資格で蟹江町内の割合が高く、居住資格で蟹江町内の割合が低い。



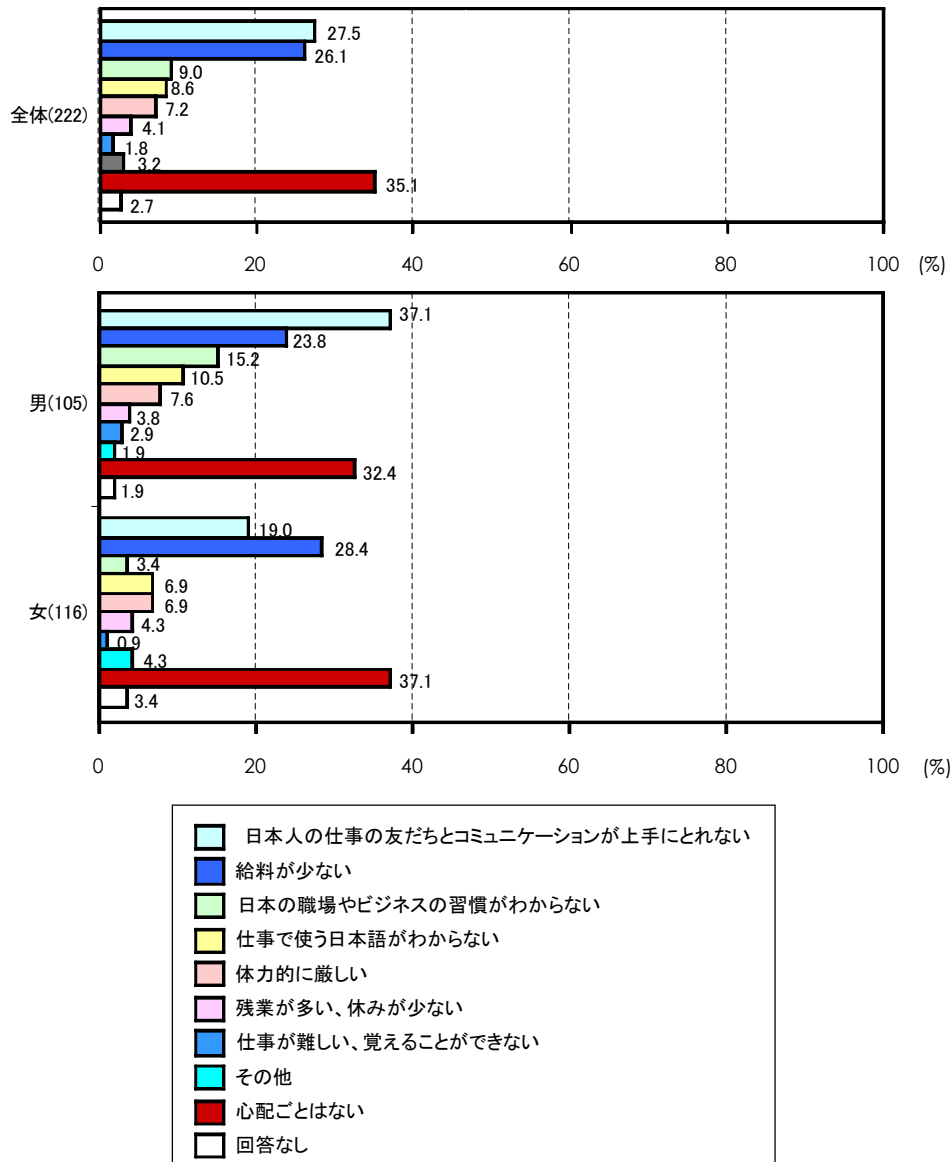
(3) 現在の仕事や実習先をどのように見つけたか

- ・全体では、友だちや知人が最も多く、次いで派遣会社や職業紹介、家族や親せきが多い。
- ・性別では、男女とも友だちや知人の割合が多いが、男性は派遣会社や職業紹介の割合も高い。
- ・年齢別では、29 歳以下は自分の国での実習先の紹介及び派遣会社や職業紹介、30 歳代、40 歳代は友だちや知人及び派遣会社や職業紹介が多く、50 歳代以上は友だちや知人が 5 割を超えて多い。
- ・国籍別では、フィリピン、ブラジルは友だちや知人が多く、中国は派遣会社や職業紹介、ベトナムは自分の国での実習先の紹介が多い。
- ・在留資格別では、居住資格、非就労資格は友だちや知人、技能実習は自分の国での実習先の紹介、その他の就労資格は様々な方法で見つけている。

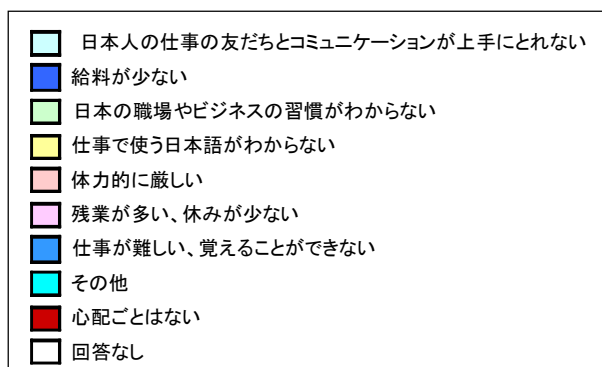
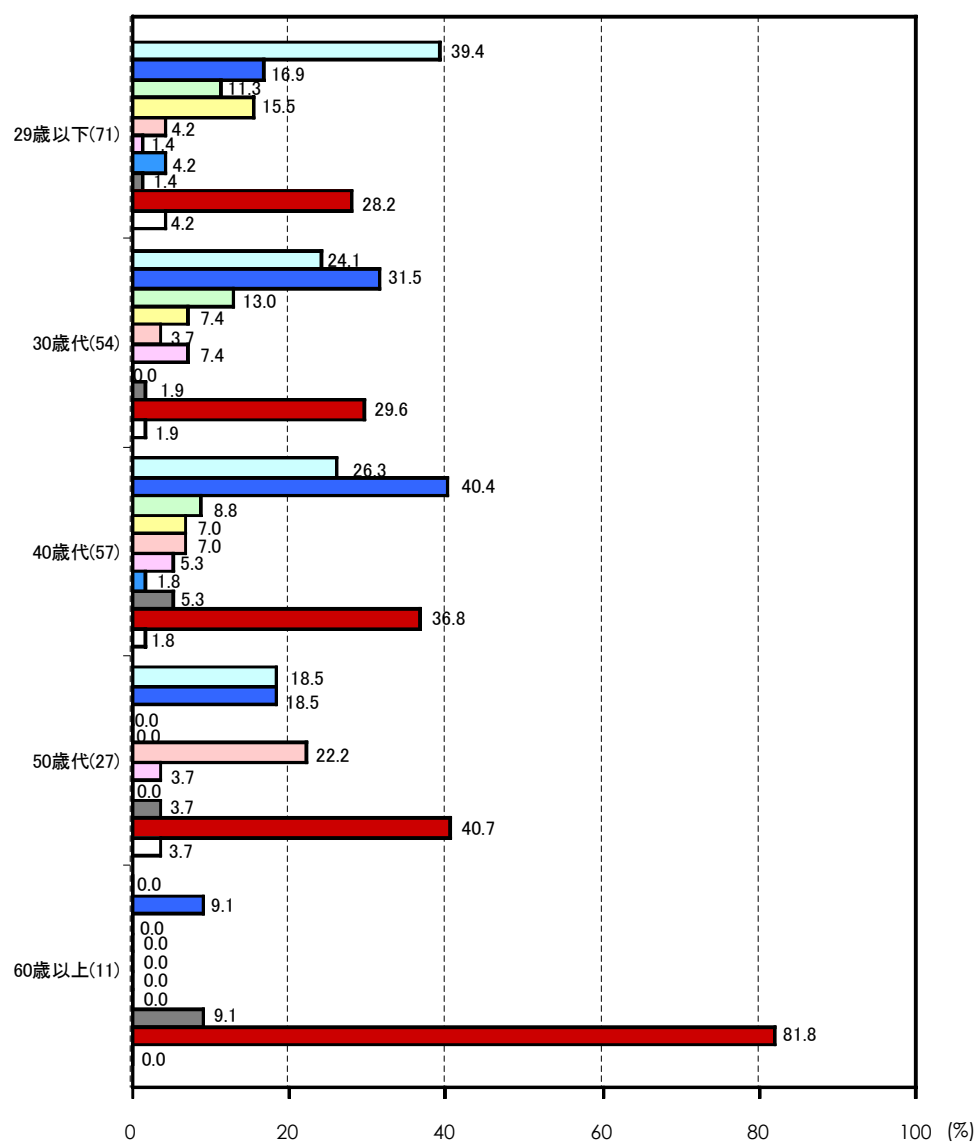


(4) 仕事での心配ごと(複数回答)

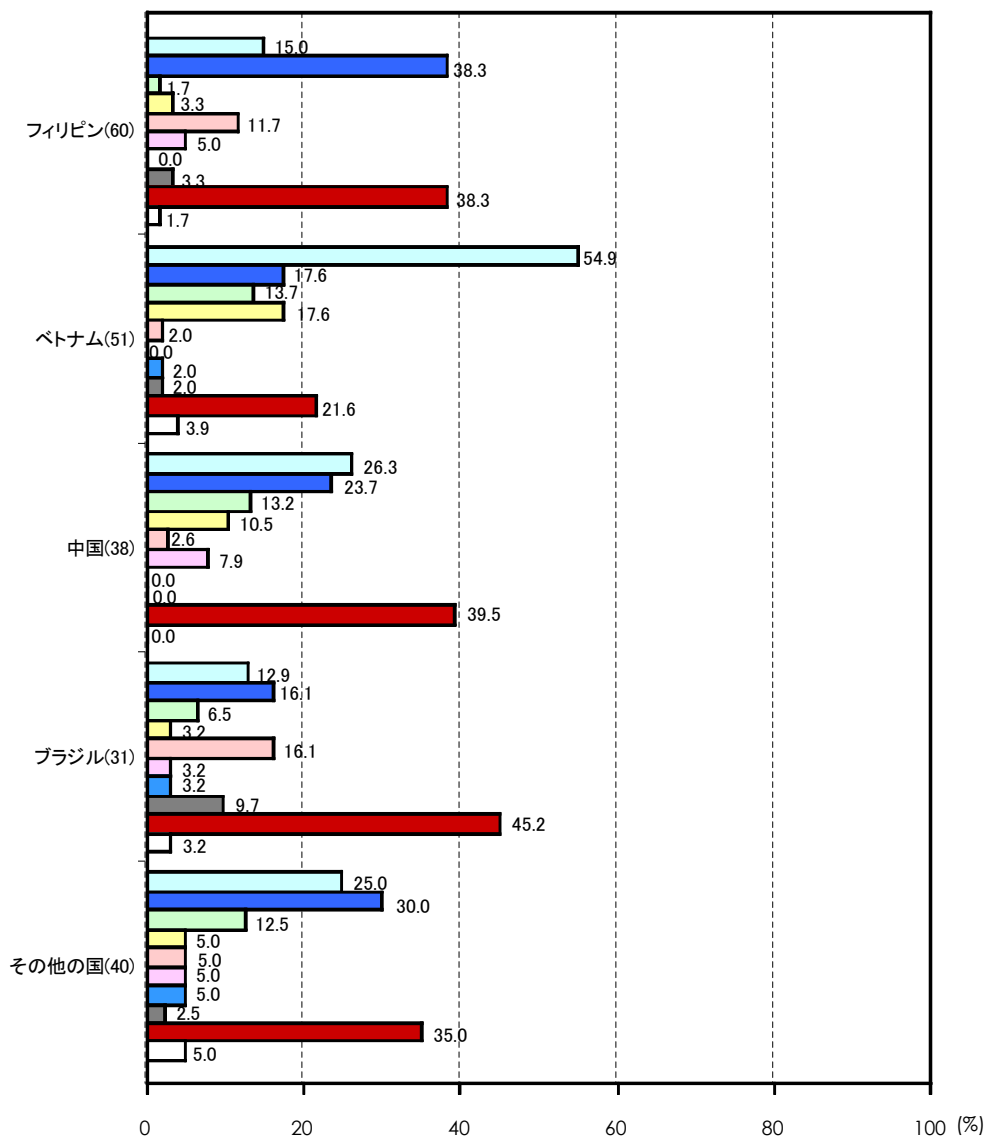
- ・全体では、「心配ごとはない」が最も多いが、心配ごととしては「日本人とのコミュニケーションが上手にとれない」「給料が少ない」が多い。
- ・性別では、男性は「日本人とのコミュニケーション」が多いが、女性は「給料が少ない」が多い。



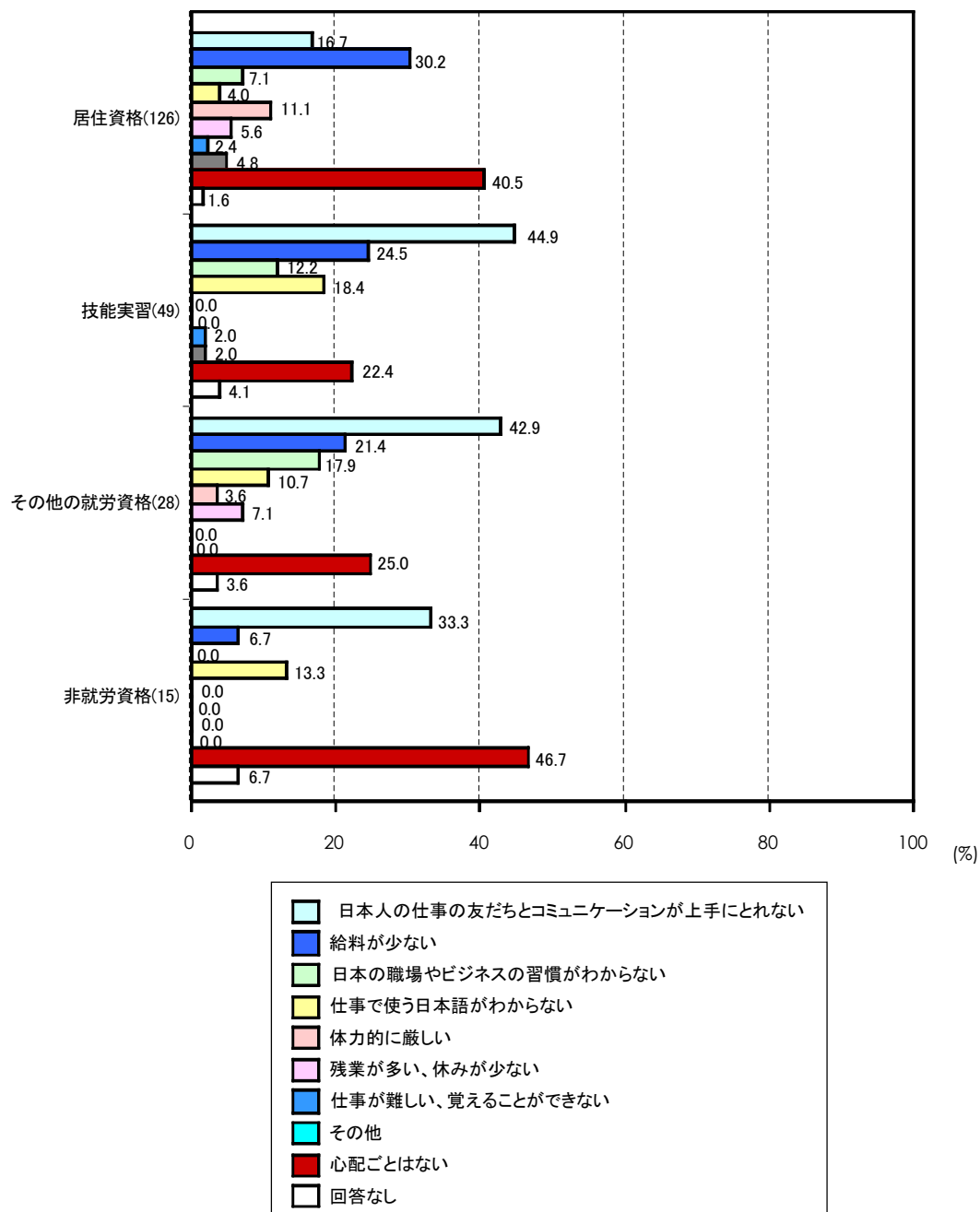
- ・年齢別では、29歳以下は「日本人とのコミュニケーション」が多いが、30歳代以上は「給料が少ない」が多い。また「心配ごとはない」は年代が高くなるほど割合は高い。



- ・国籍別では、ベトナム、中国は「日本人とのコミュニケーション」が多いが、フィリピン、ブラジルは「給料が少ない」が多い。その他、ベトナムは「仕事で使う日本語がわからない」、ブラジルは「残業が多い、休みが少ない」が多い。



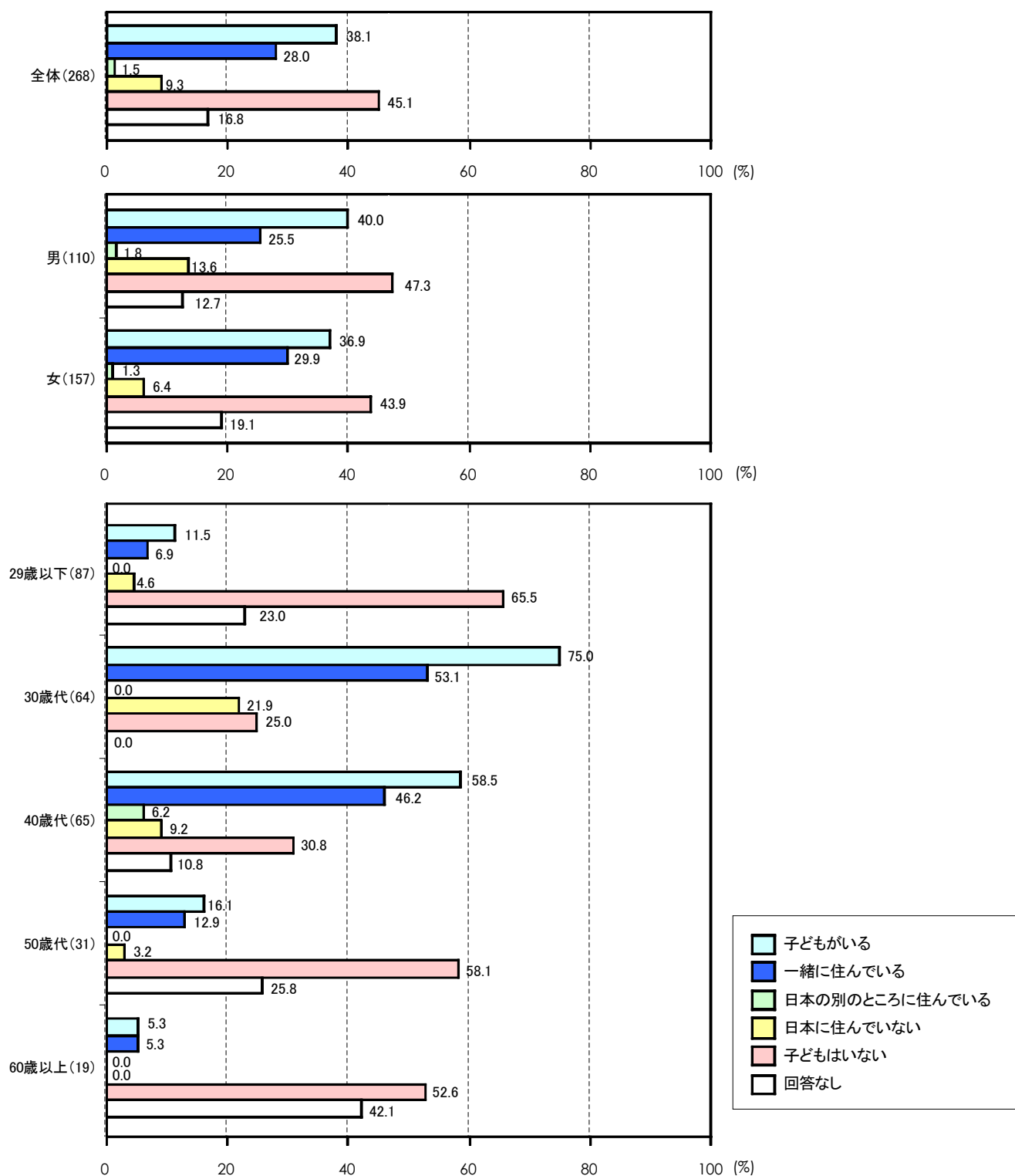
- ・在留資格別では、技能実習、その他の就労資格、非就労資格は「日本人とのコミュニケーション」が多いが、居住資格は「給料が少ない」が多い。また技能実習は「仕事で使う日本語がわからない」、その他の就労資格は「日本の職場やビジネスの習慣がわからない」が多い。



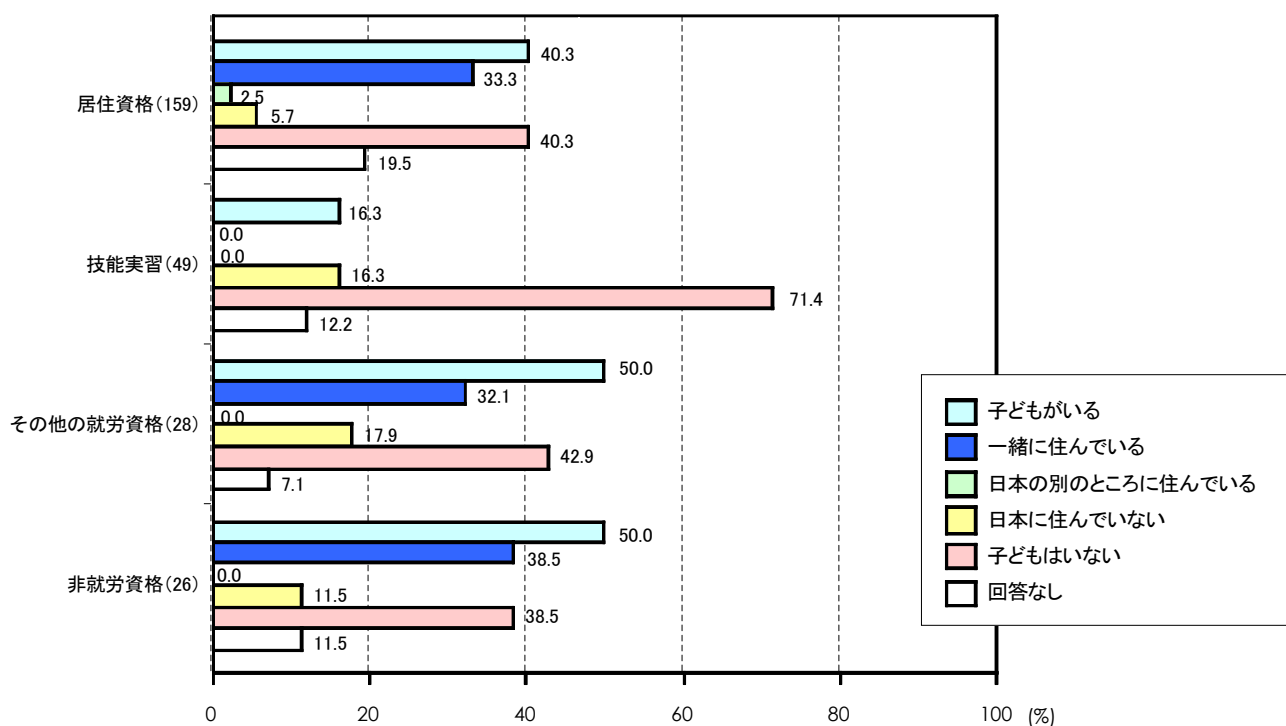
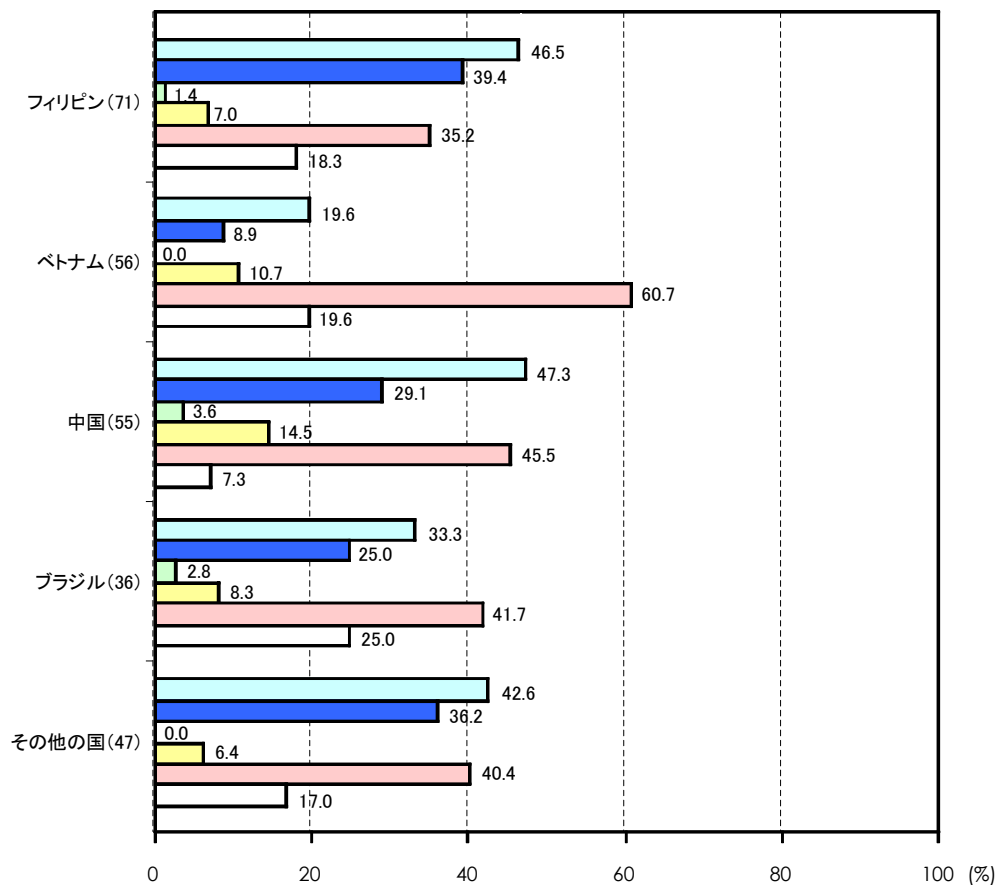
4. 自分の子どもについて

(1) 15歳以下の子どもがいるか（複数回答）

- ・全体では、子どものいる人が38.1%、いない人が45.1%であり、一緒に住む子どもがいる人は28.0%である。
- ・性別では、子どものいる人は男性に多く、一緒に住む子どもがいる人は女性に多い。
- ・年齢別では、子どものいる人、一緒に住む子どもがいる人は30歳代、40歳代に多い。



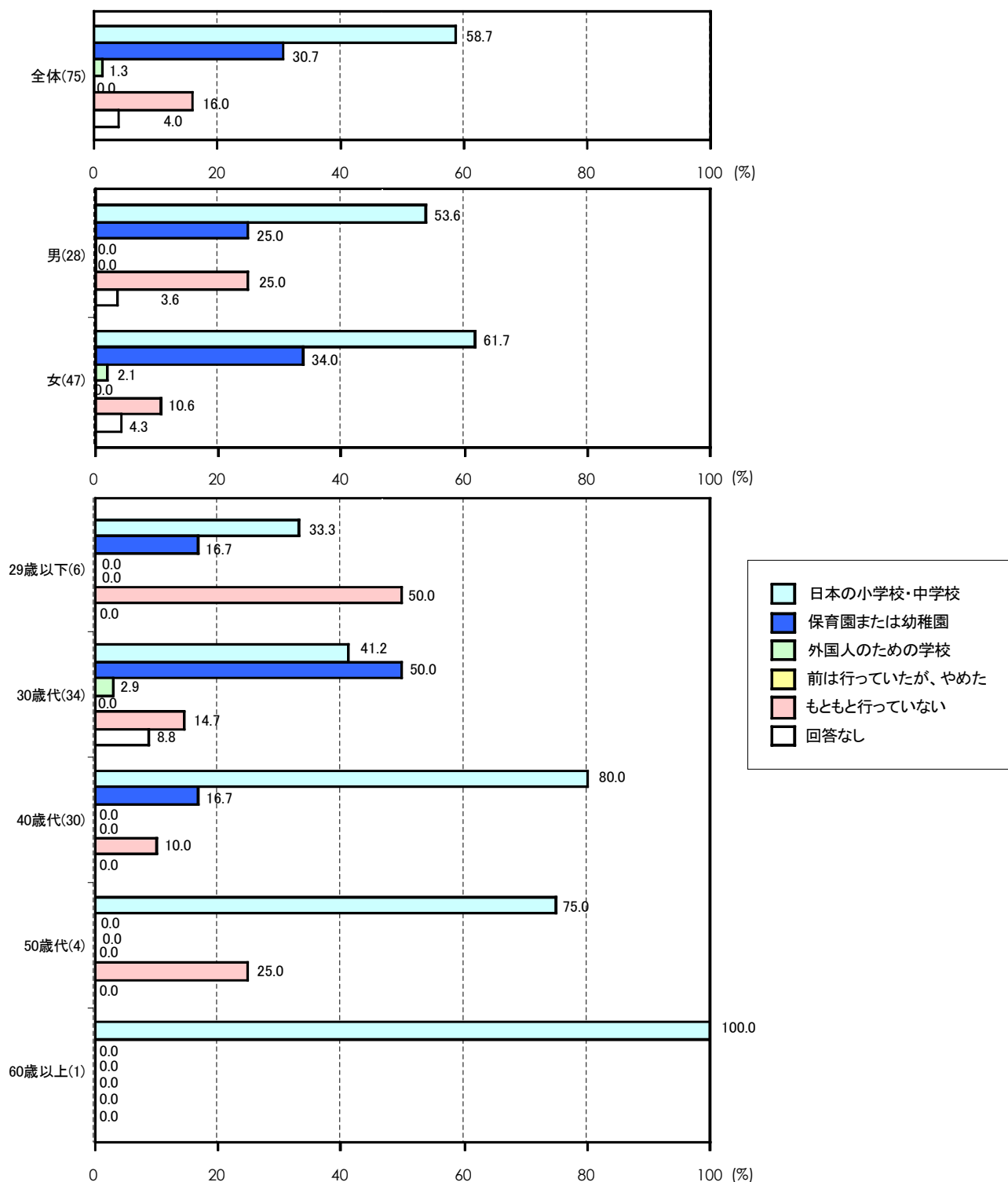
- ・国籍別では、中国、フィリピンに子どものいる人、一緒に住む子どもがいる人が多い。
- ・在留資格別では、技能実習以外の資格において、子どものいる人、一緒に住む子どもがいる人が多い。



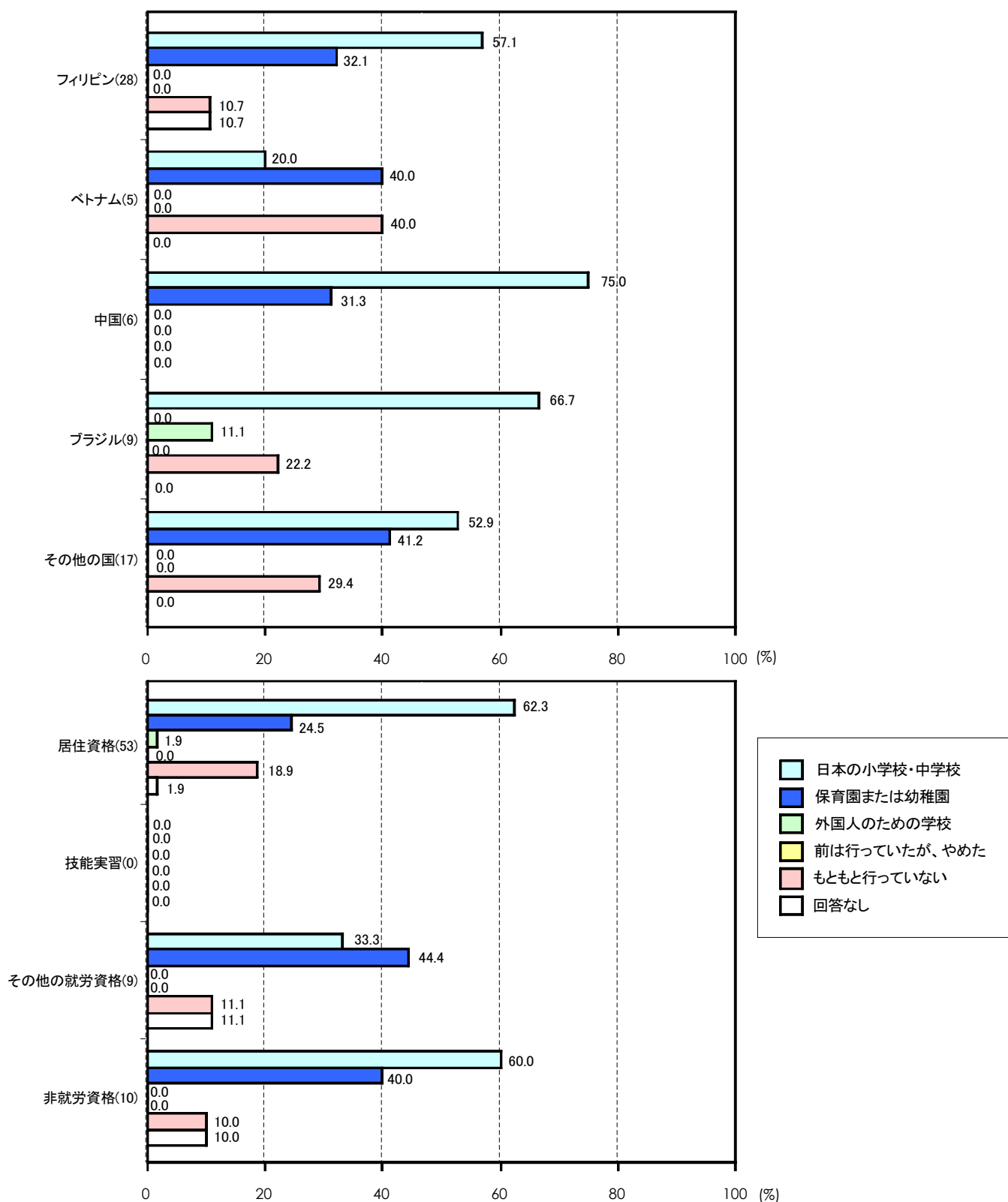
(以下、(2) から (4) は一緒に住む子どもがいる人のみが回答)

(2) 一緒に住む子どもは学校に行っているか(複数回答)

- ・全体では、日本の小中学校に行く子どものいる人が 58.7%、保育園・幼稚園に行く子供のいる人が 30.7%である一方で、行っていない子どものいる人が 16.0%となっている。
- ・性別では、女性が日本の小中学校、幼稚園・保育園に行く子どものいる割合が高く、男性は行っていない子どものいる人の割合が高い。
- ・年齢別では、30 歳代に日本の小中学校、幼稚園・保育園、40 歳代に日本の小中学校に行く子どものいる割合が高い。

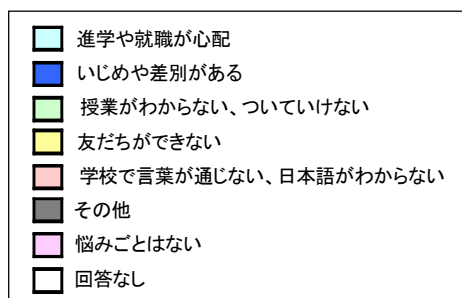
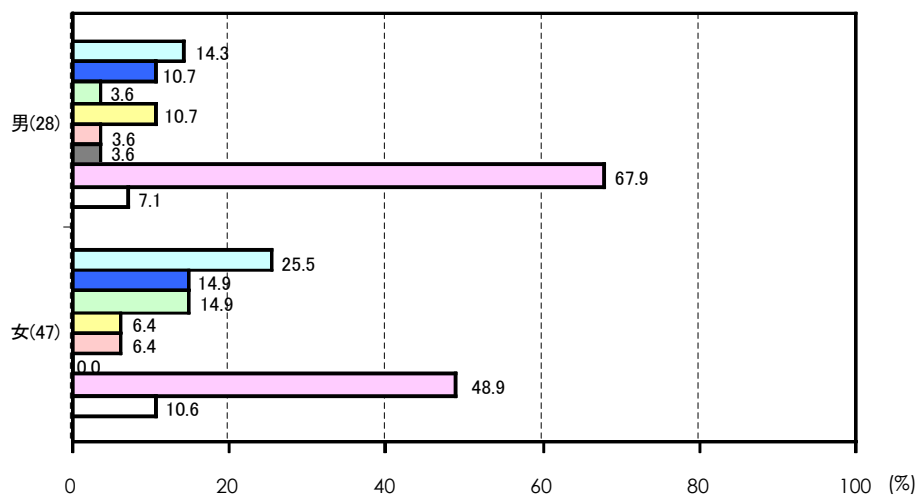
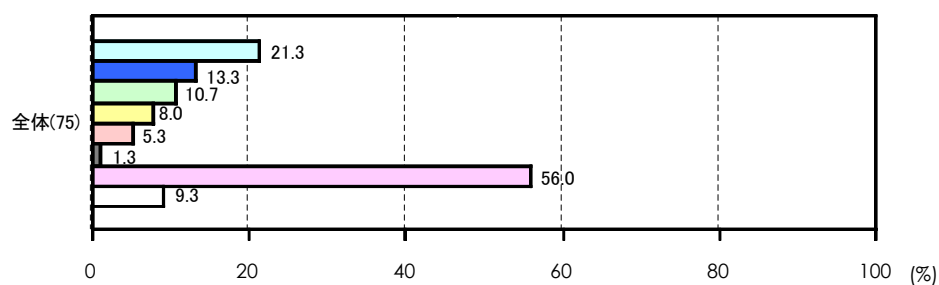


- ・国籍別では、フィリピン、ブラジル、中国は日本の小中学校に行く子どものいる割合が高く、またフィリピン、中国、ベトナムが幼稚園・保育園に行く子どものいる割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格、非就労資格は日本の小中学校に行く子どものいる割合が高く、その他の就労資格は幼稚園・保育園に行く子どものいる割合が高い。

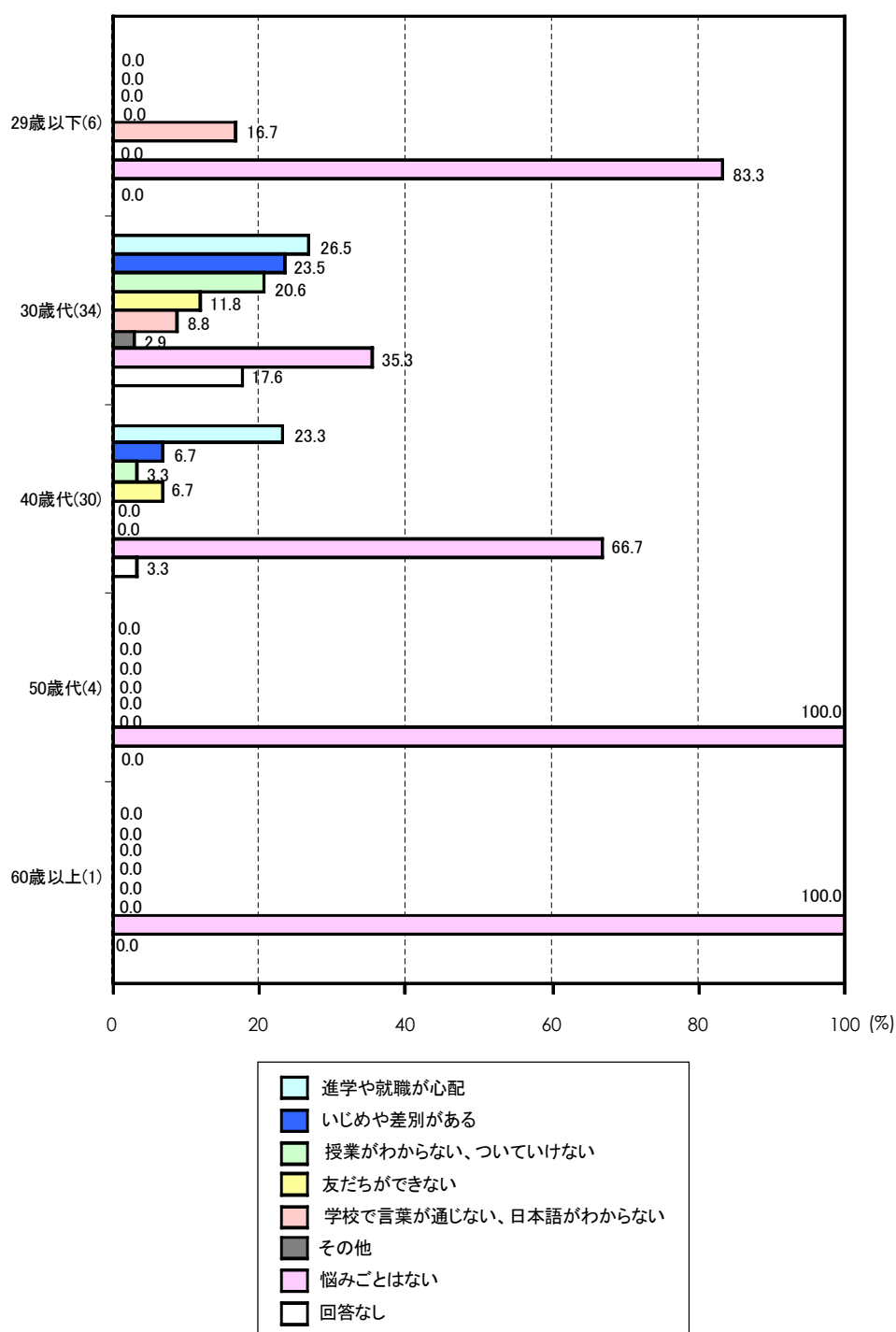


(3) 一緒に住む子どもの悩みごと（複数回答）

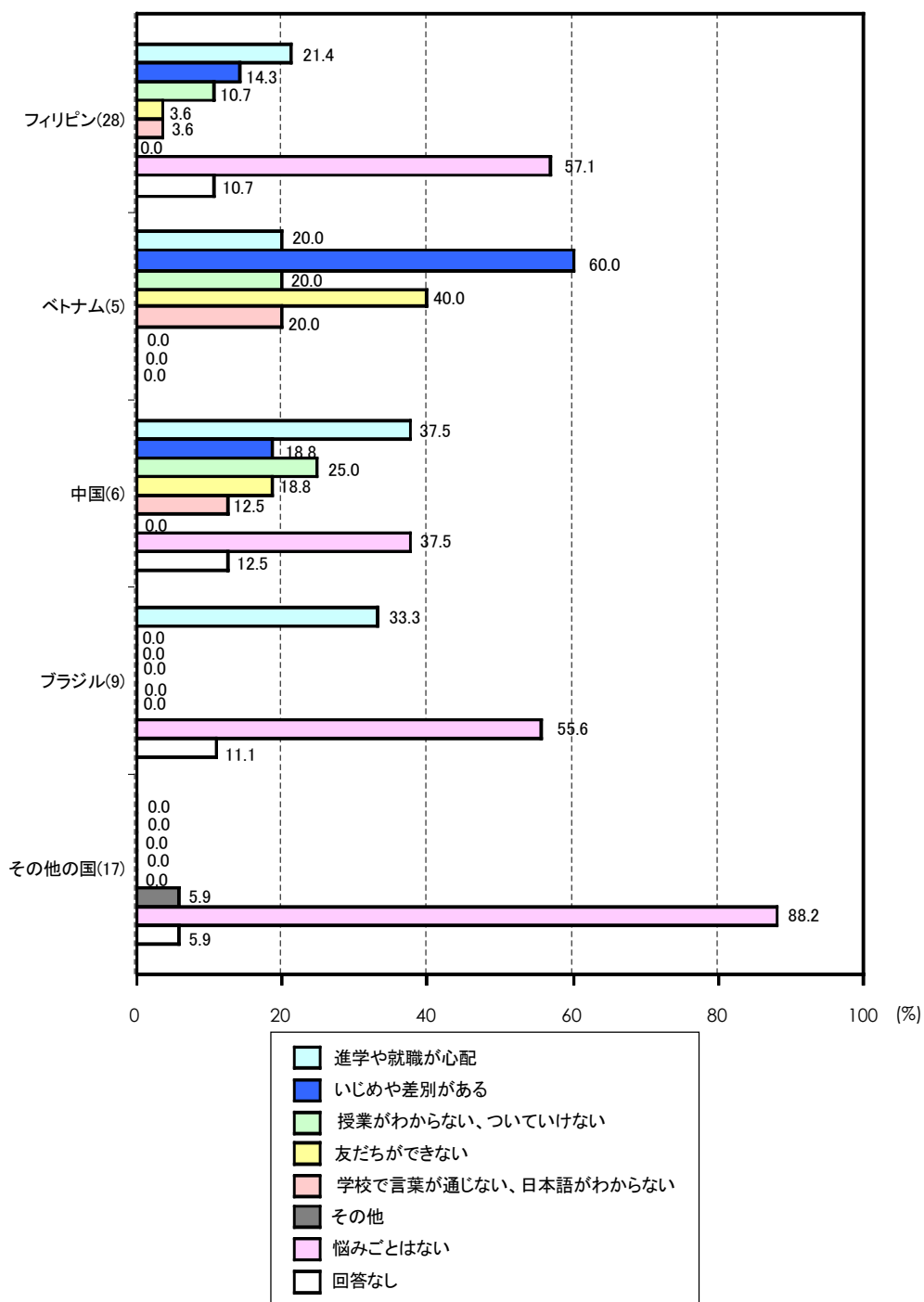
- ・全体では、悩みごとはないが最も多いが、悩みの内容は、進学・就職、いじめや差別、授業がわからないが多い。
- ・親の性別では、男女ともに進学・就職、いじめや差別が多く、授業がわからないは女性、友だちができないは男性に多い。



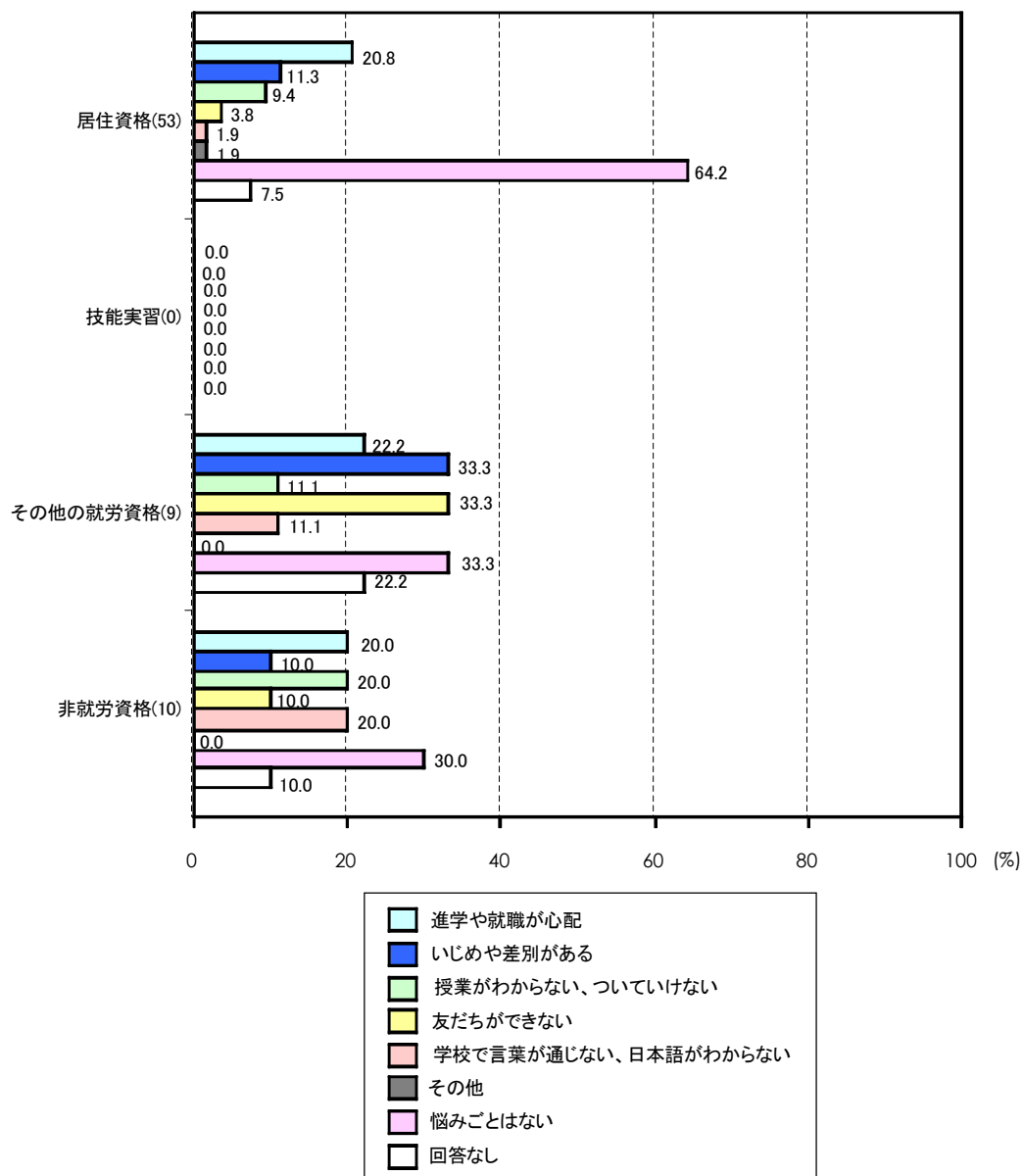
- ・年齢別では、30歳代の親の子どもに悩みが多く、進学・就職、いじめや差別、授業がわからないが多い。40歳代の親の子どもには進学・就職の悩みが多い。



- ・国籍別では、フィリピンは進学・就職、いじめや差別、授業がわからないが多く、ブラジルは進学・就職、中国は進学・就職、授業がわからない、ベトナムはいじめや差別が多い。

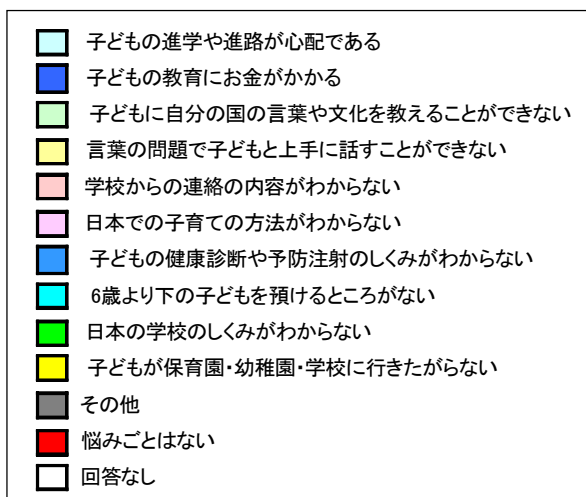
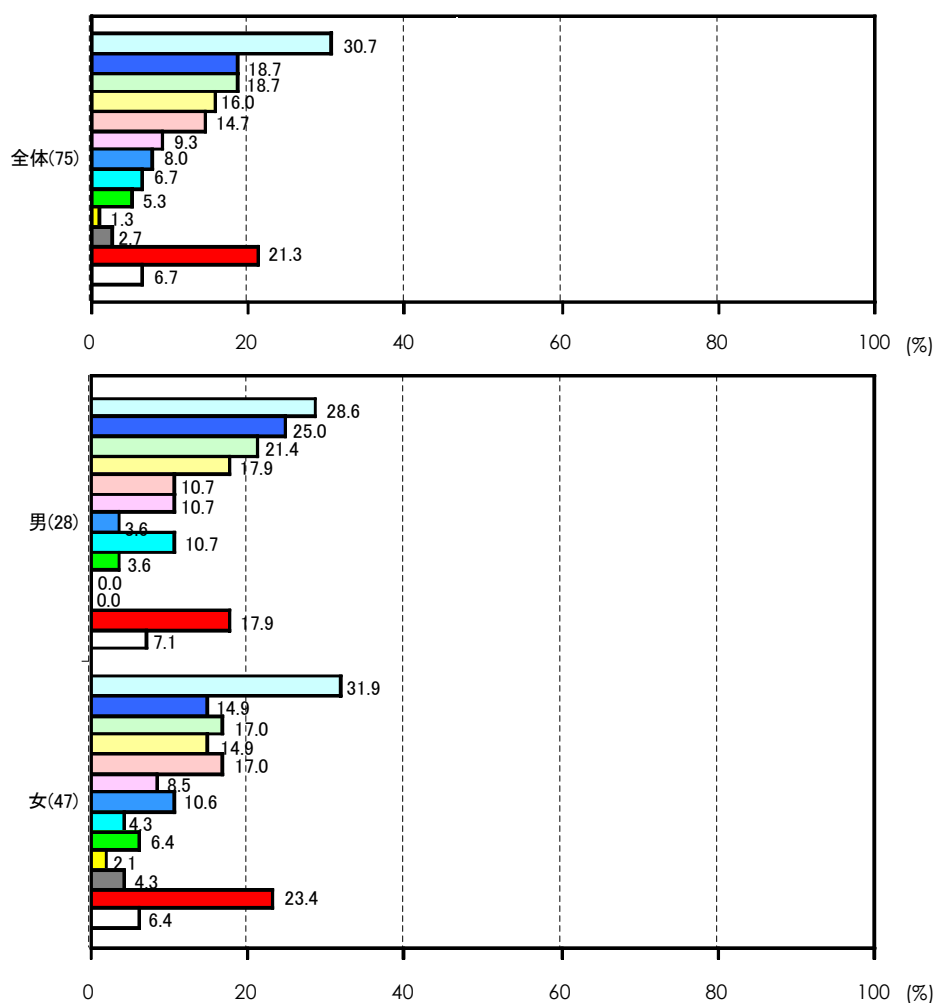


- ・在留資格別では、居住資格は進学・就職、いじめや差別、授業がわからないが多く、非就労資格は進学・就職、授業がわからない、学校で言葉が通じない、その他の就労資格はいじめや差別、友だちができないが多い。

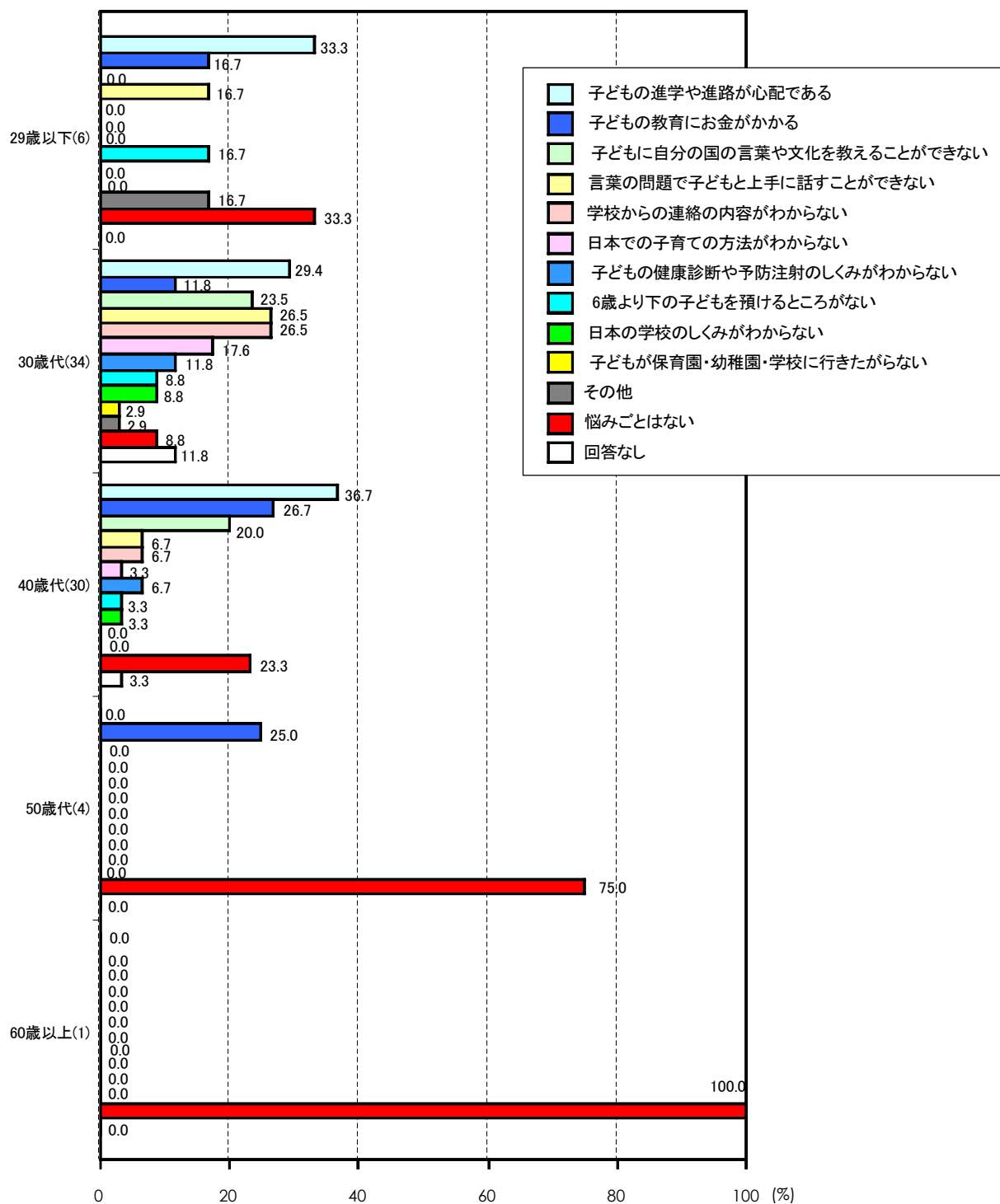


(4) 親の立場としての子育てや子どもの教育の悩みごと（複数回答）

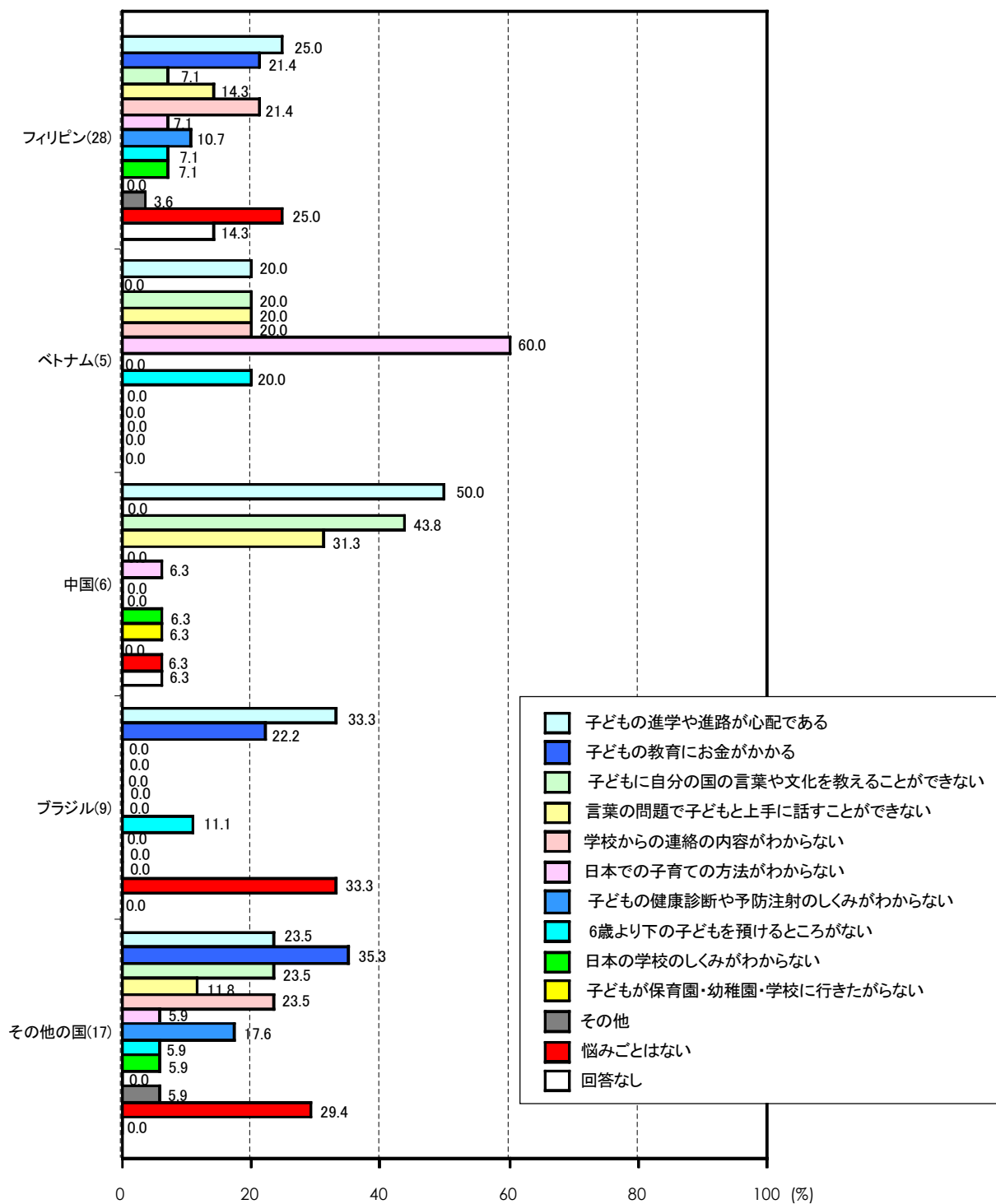
- ・全体では、進路や進学が心配が最も多く、次いで子どもの教育にお金がかかる、子どもに自分の国の言葉や文化が教えられないが多い。悩みごとはないも多い。
- ・親の性別では、男女ともに進路や進学が心配が最も多く、次いで男性は子どもの教育にお金がかかる、子どもに自分の国の言葉や文化が教えられない、言葉の問題で子どもと上手に話せない、女性は子どもに自分の国の言葉や文化が教えられない、学校からの連絡内容がわからないが多い。



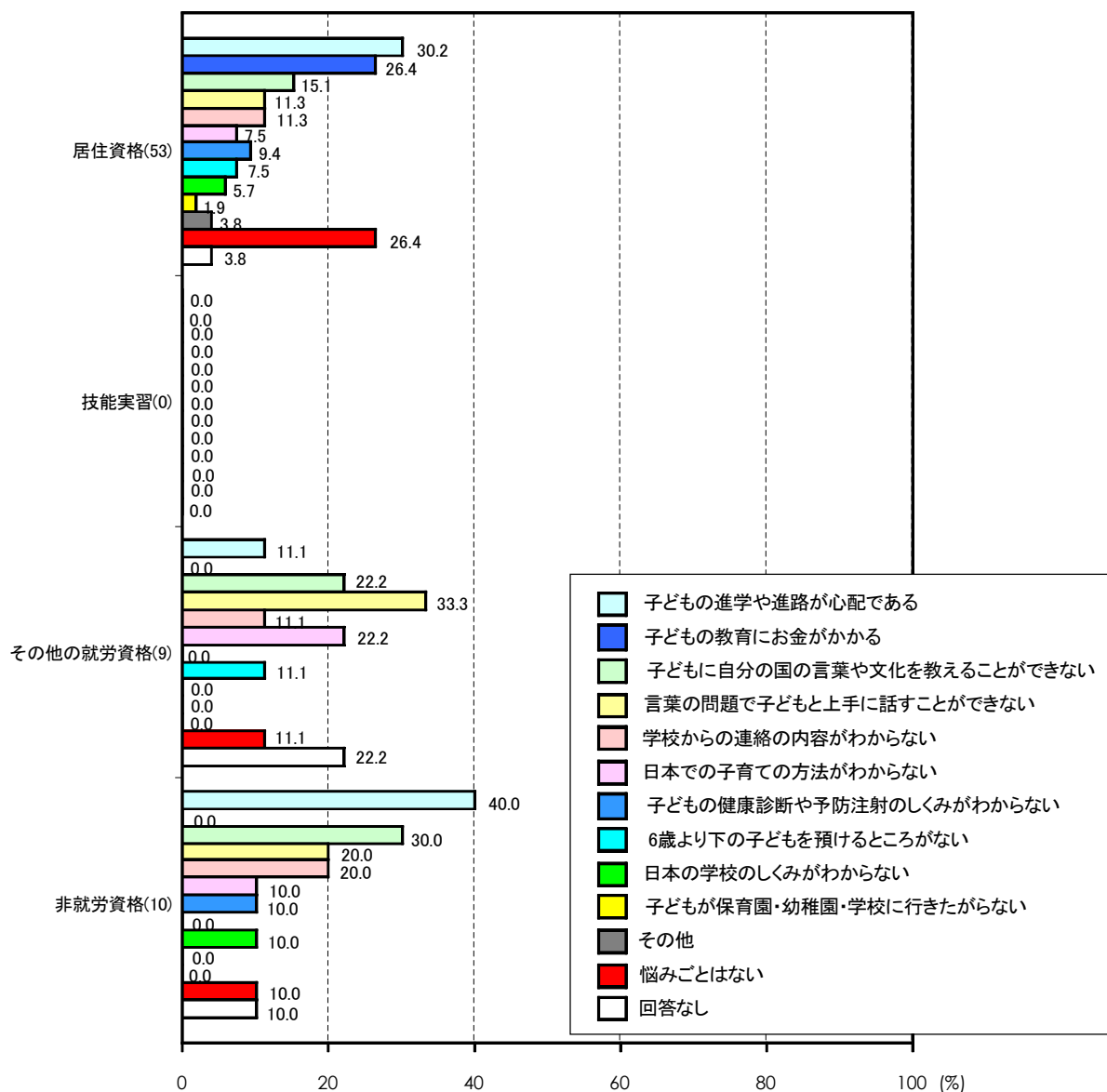
- ・年齢別では、30歳代では進路や進学が心配、言葉の問題で子どもと上手に話せない、学校からの連絡の内容がわからないが多く、40歳代では進路や進学が心配、子どもの教育にお金がかかる、子どもに自分の国の言葉や文化が教えられないが多い。



- ・国籍別では、フィリピンは子どもの進学や進路が心配、子どもの教育にお金がかかる、学校からの連絡の内容がわからないが多く、ブラジルは子どもの進学や進路が心配、子どもの教育にお金がかかる、中国は子どもの進学や進路が心配、自分の国の言葉や文化を教えられない、子どもと上手に話すことができない、ベトナムは日本での子育ての方法がわからないが多い。



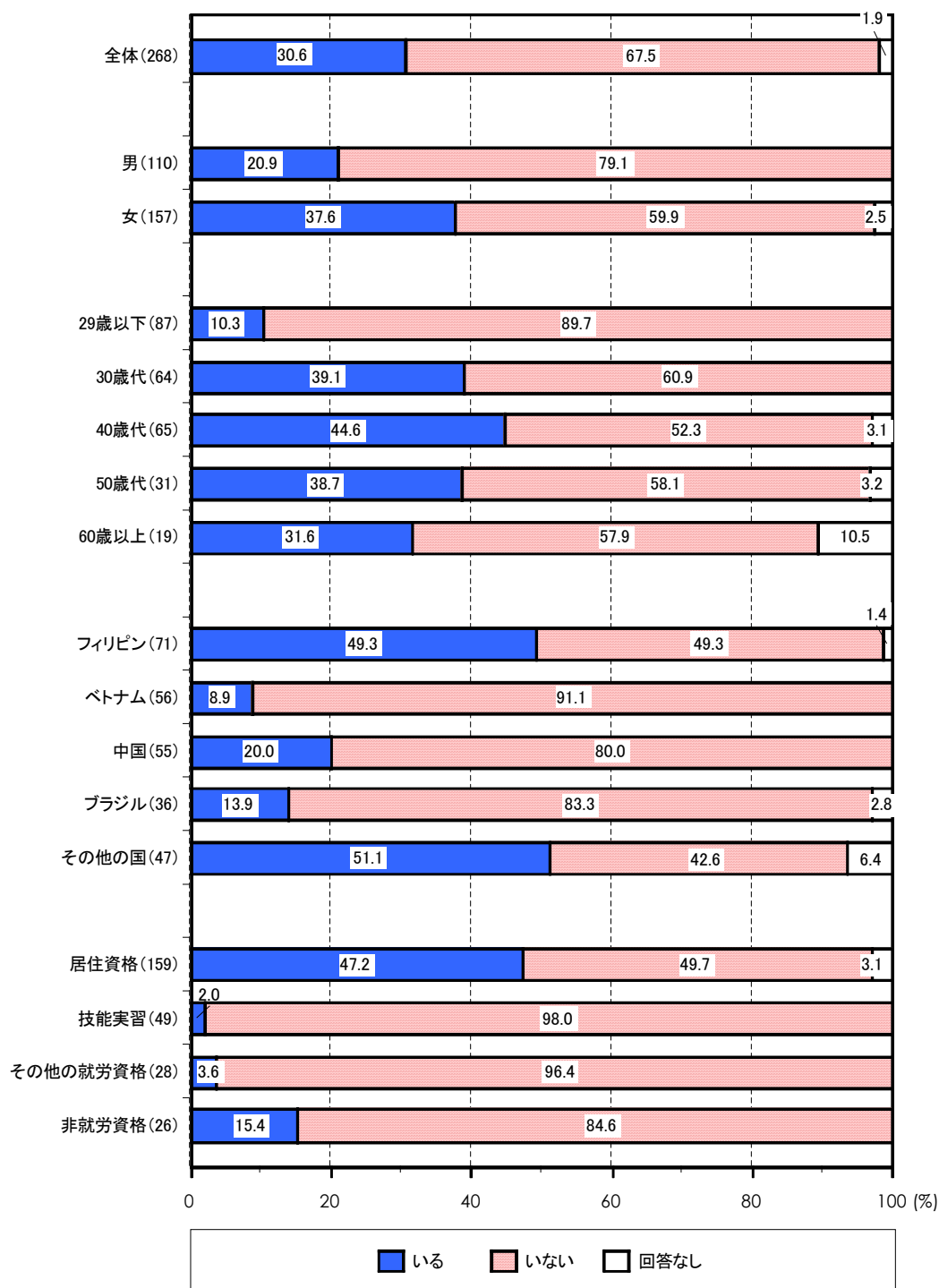
- ・在留資格別では、居住資格は進路や進学が心配、子どもの教育にお金がかかるが多く、その他の就労資格では言葉の問題で子どもと上手く話すことができない、子どもに自分の国の言葉や文化が教えられない、子育ての方法がわからない、非就労資格では進路や進学が心配、子どもに自分の国の言葉や文化が教えられないが多い。



5. 同居家族、仲の良い日本人について

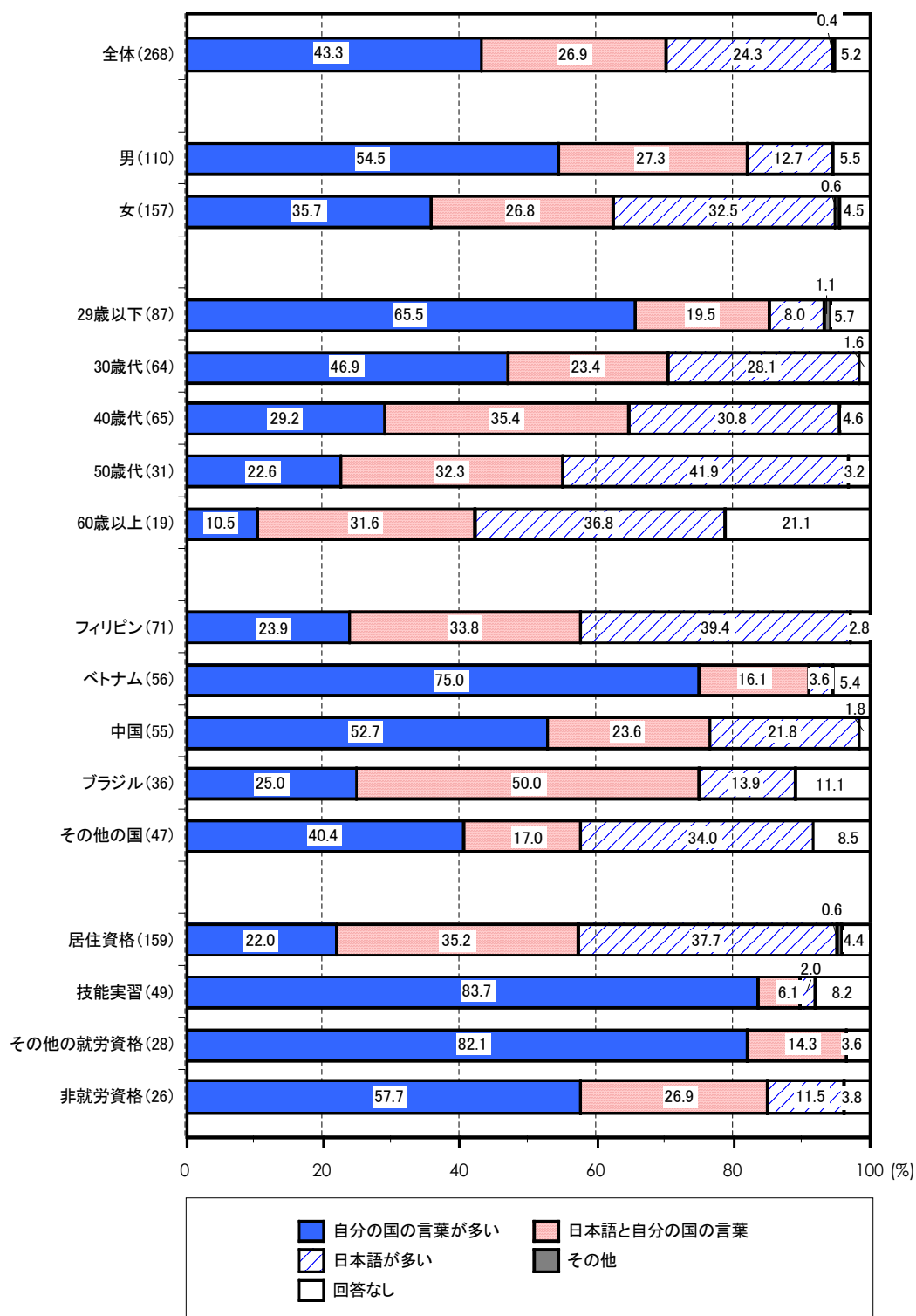
(1) 同居家族に日本人はいるか

- ・全体では、約 3 割は同居家族に日本人がいる。
- ・性別では、女性の方が同居家族に日本人がいる割合が高い。
- ・年齢別では、40 歳代、30 歳代、50 歳代に同居家族に日本人がいる割合が高い。
- ・国籍別では、フィリピンに同居家族に日本人がいる割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格に同居家族に日本人がいる割合が高い。



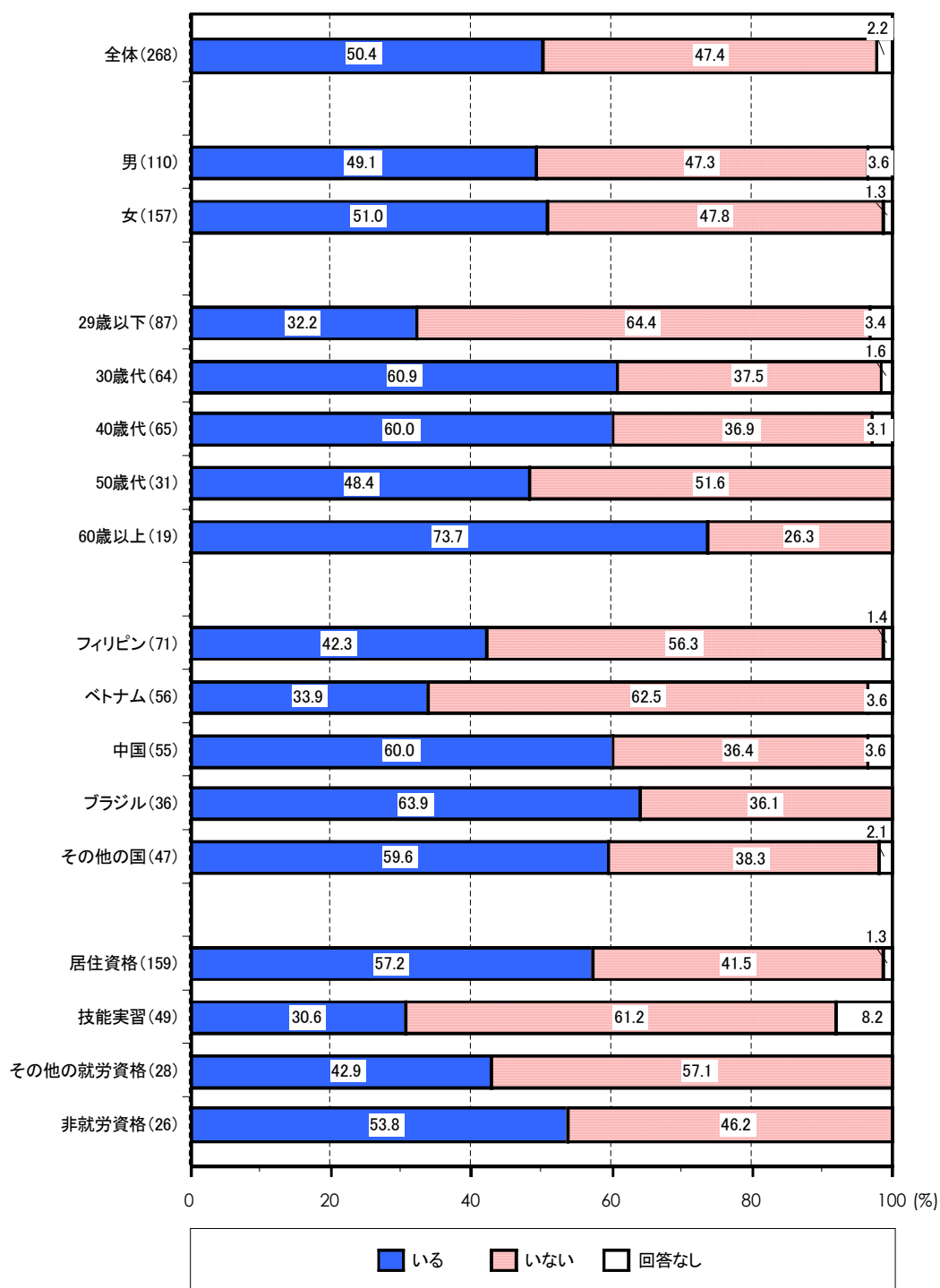
(2) 家族と会話する時の言語

- ・全体では、母国語（自分の国の言葉）が最も多く、次いで日本語と母国語の両方、日本語と
なっている。
- ・性別では、男性の方が母国語の割合が高い。
- ・年齢別では、年代が低いほど母国語の割合が高い。
- ・国籍別では、ベトナム、中国に母国語の割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格以外で母国語の割合が高い。



(3) 同居家族の他に仲の良い日本人がいるか

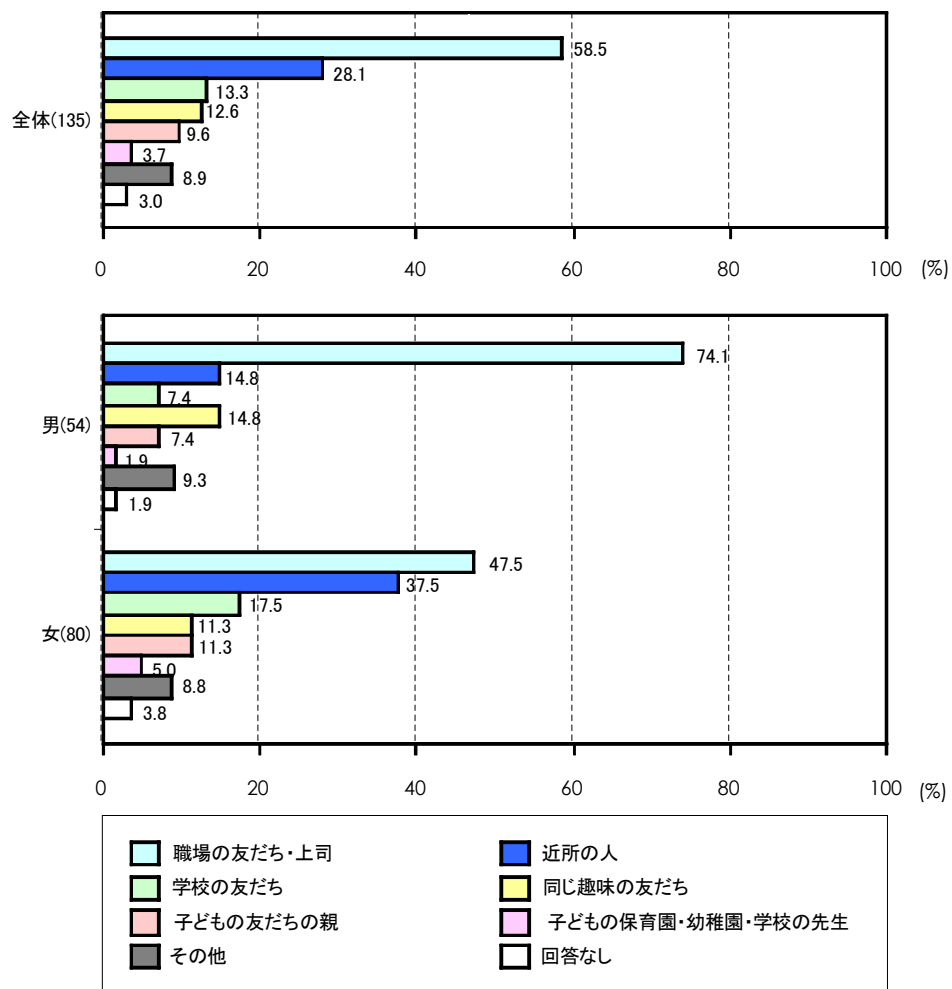
- ・全体では、約 5 割は仲の良い日本人がいる。
- ・性別では、男女での割合の差はほとんどない。
- ・年齢別では、60 歳代以上に仲の良い日本人がいる割合が高い、次いで 30 歳代、40 歳代に高い。
- ・国籍別では、ブラジル、中国に仲の良い日本人がいる割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格、非就労資格に仲の良い日本人がいる割合が高い。



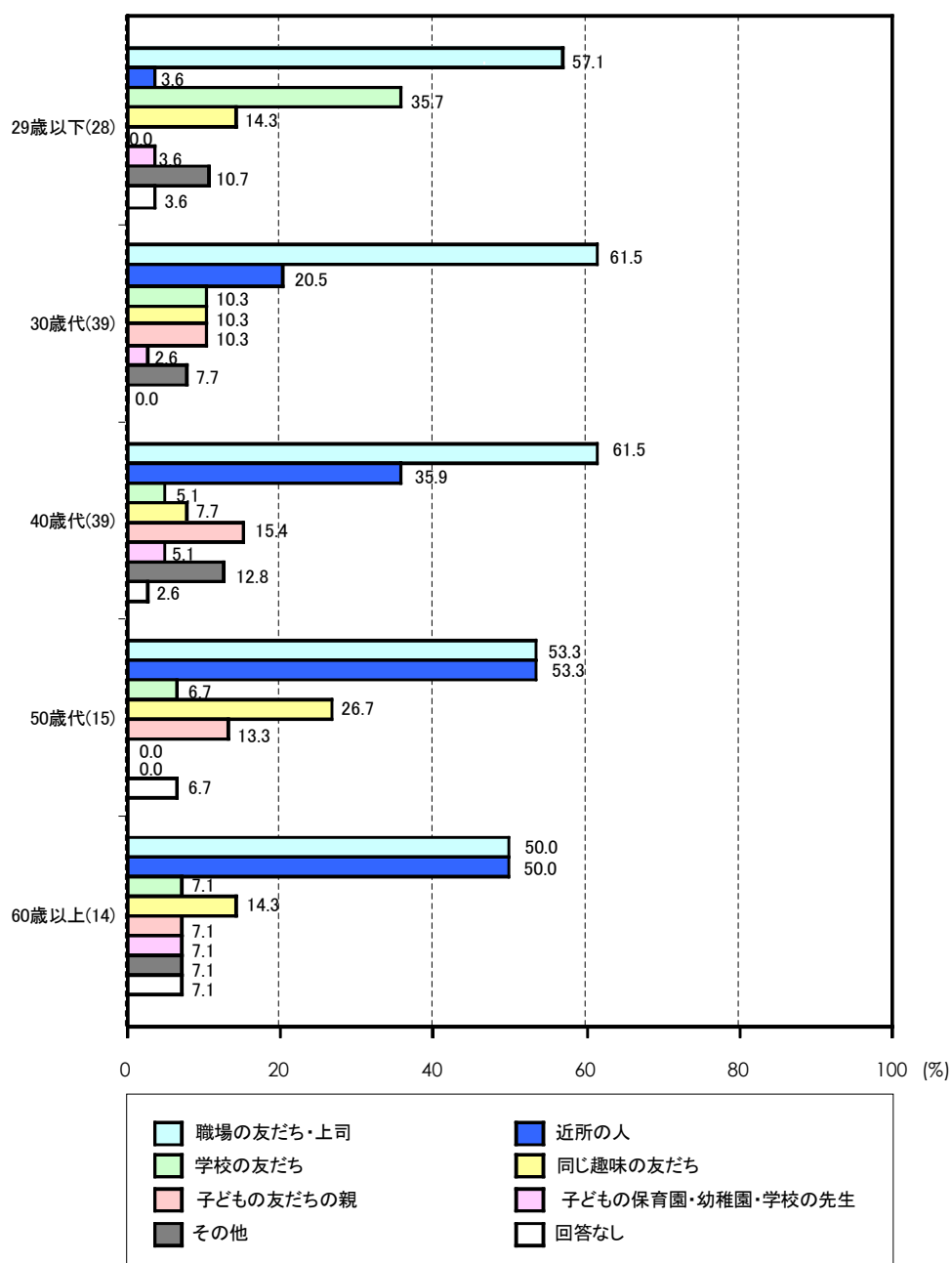
((4) は仲の良い日本人がいる人のみが回答)

(4) 仲の良い日本人は誰か(複数回答)

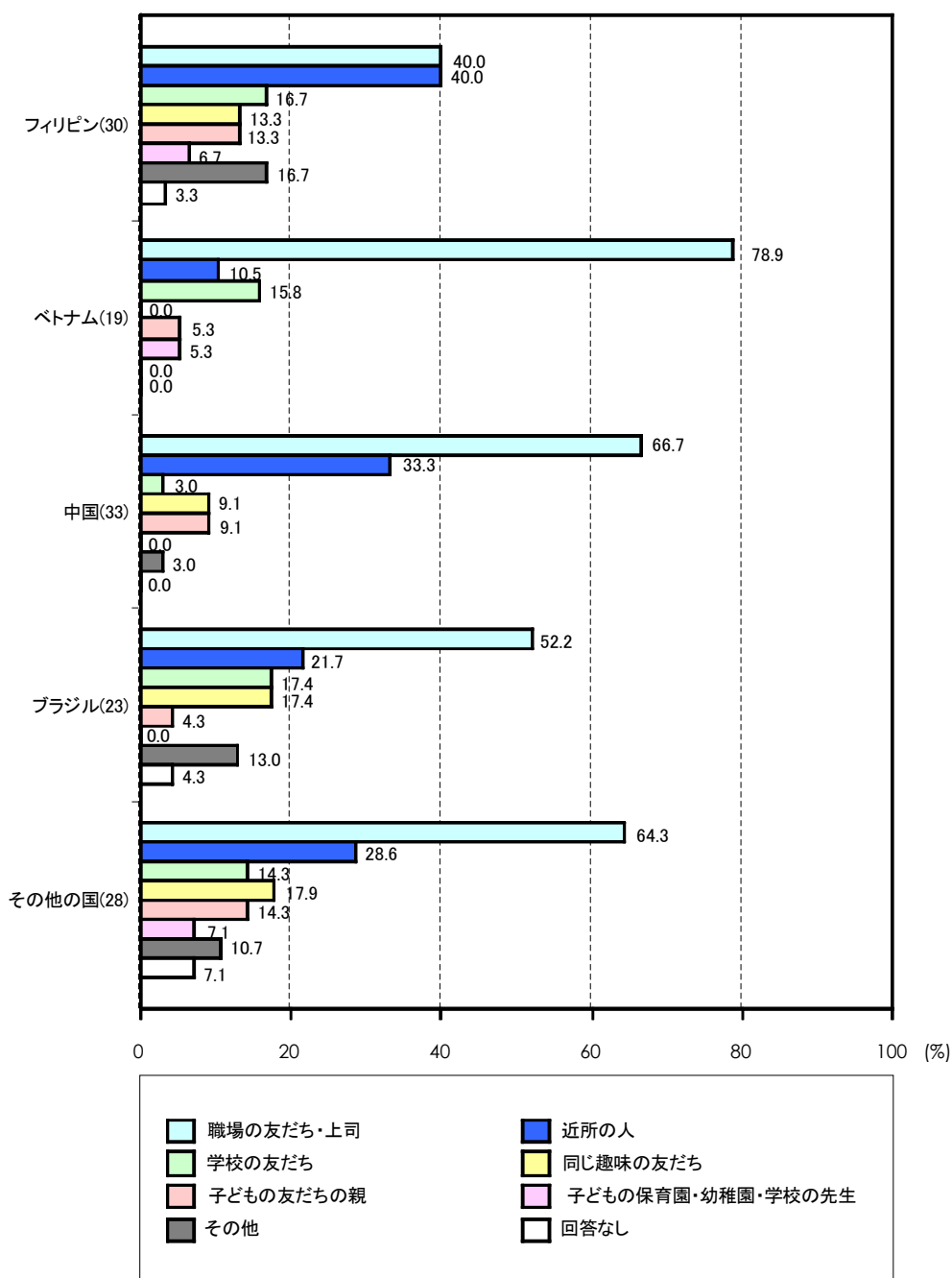
- ・全体では、職場の友だち・上司が多い。
- ・性別では、男女ともに職場の友だち・上司が多いが、女性は近所の人も多い。



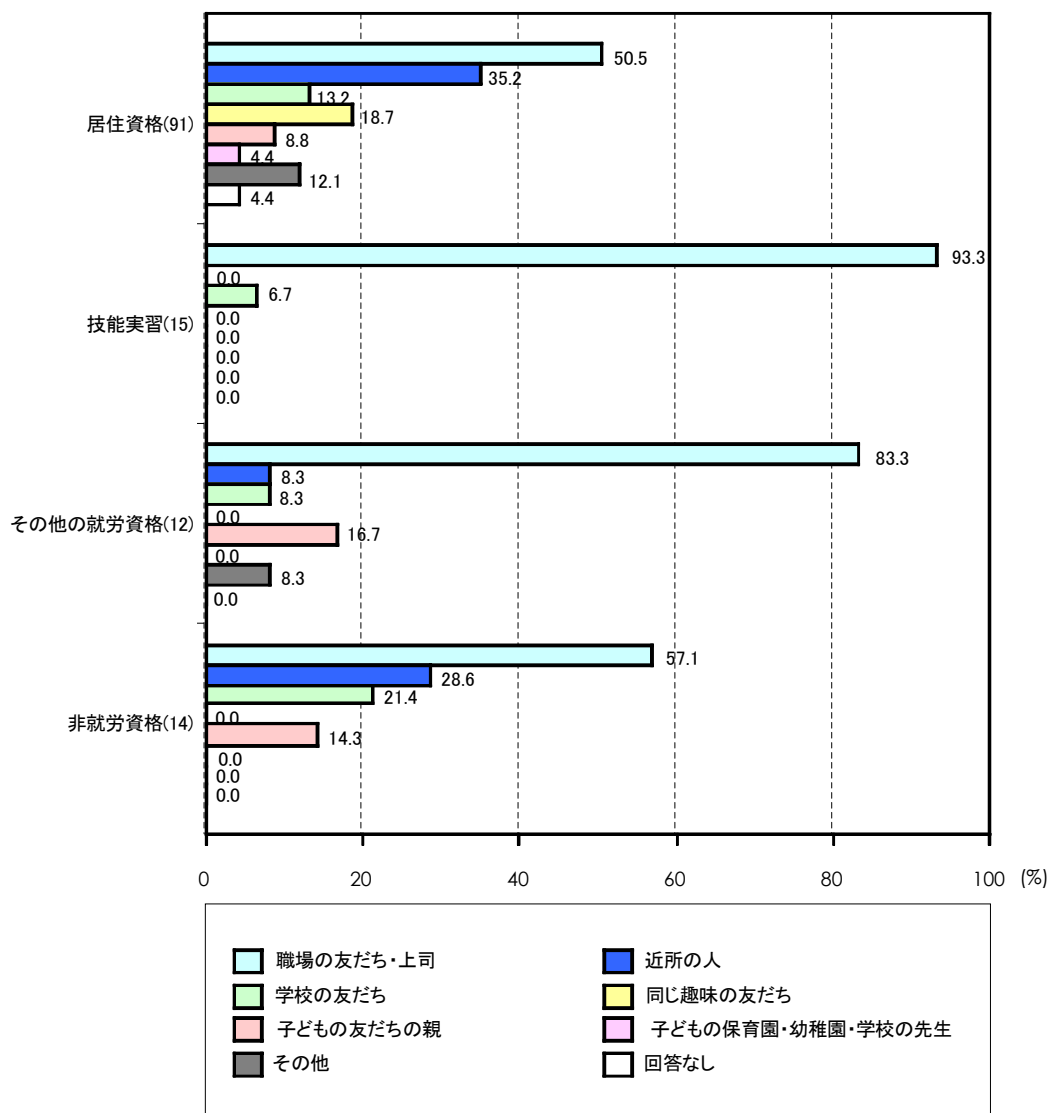
- ・年齢別では、いずれの年代も職場の友だち・上司が多いが、年代が高くなると近所の人も多い。29歳以下は学校の友だちも多い。



- ・国籍別では、いずれの国も職場の友だち・上司が多いが、フィリピン、中国では近所の人も多い。

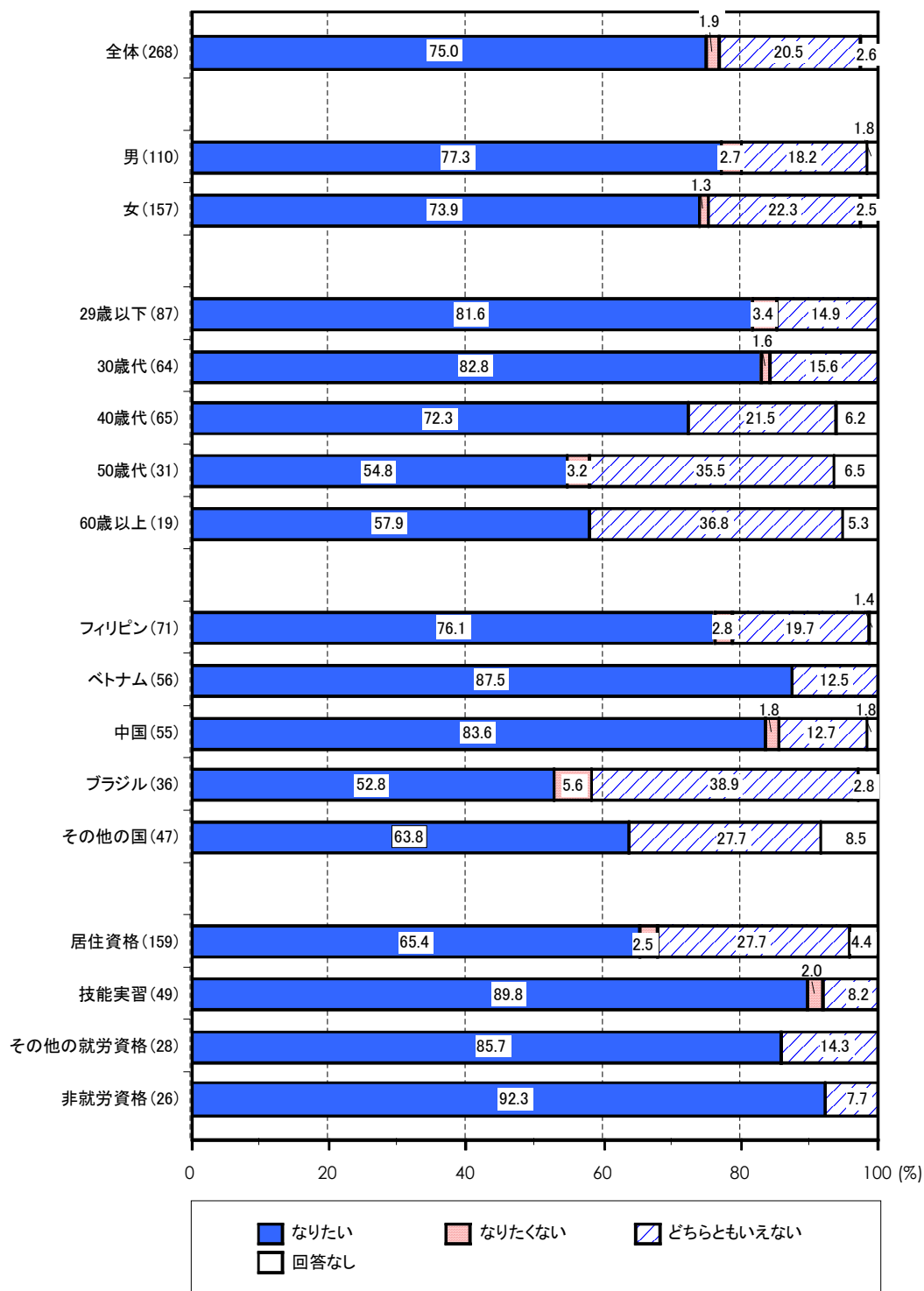


- ・在留資格別では、いずれの資格も職場の友だち・上司が多いが、居住資格、非就労資格では近所の人も多い。その他、非就労資格では学校の友だちも多い。



(5) もっと多くの日本人と仲良くなりたいか

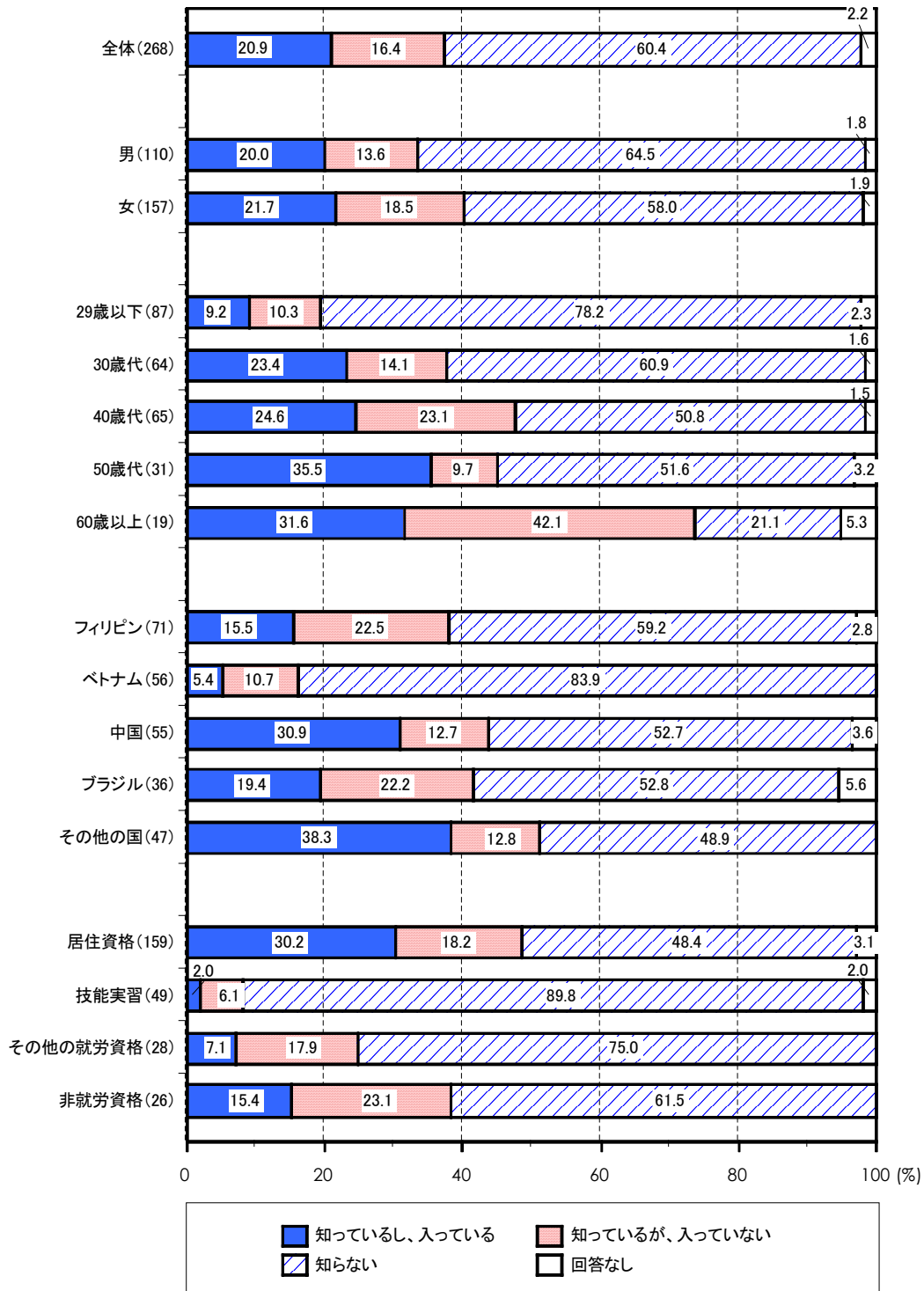
- ・全体では、75.0%が仲良くなりたいと考えている。
- ・性別では、男性の方が仲良くなりたいと考える割合がやや高い。
- ・年齢別では、29歳以下、30歳代の若い世代に仲良くなりたいと考える割合が高い。
- ・国籍別では、ベトナム、フィリピン、中国に仲良くなりたいと考える割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格以外において仲良くなりたいと考える割合が高い。



6. 地域との関わりについて

(1) 町内会・自治会を知っているか、加入しているか

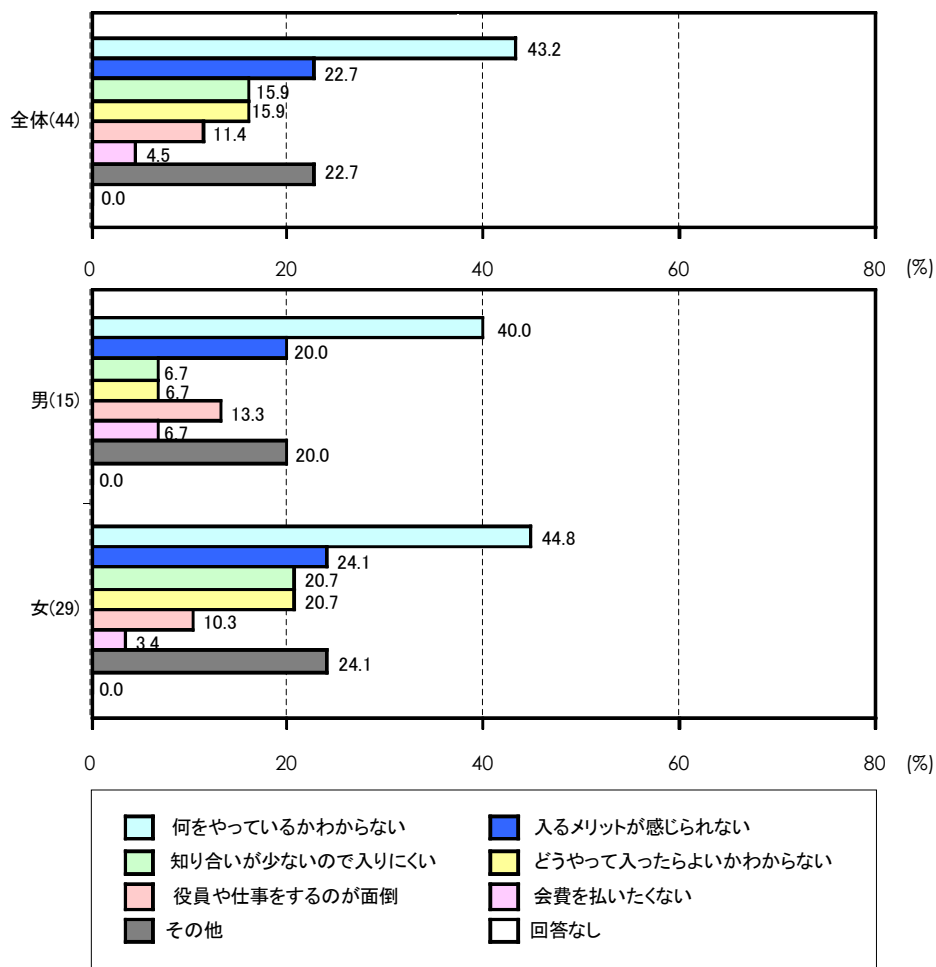
- ・全体では、加入率は約 2 割であり、知らない人が約 6 割である。
- ・性別では、加入率や認知度は女性の方がやや高い。
- ・年齢別では、年代が高くなるほど加入率、認知度が高い。
- ・国籍別では、中国の加入率、認知度が高く、ベトナムは低い。
- ・在留資格別では、居住資格、非就労資格の加入率、認知度が高く、技能実習は低い。



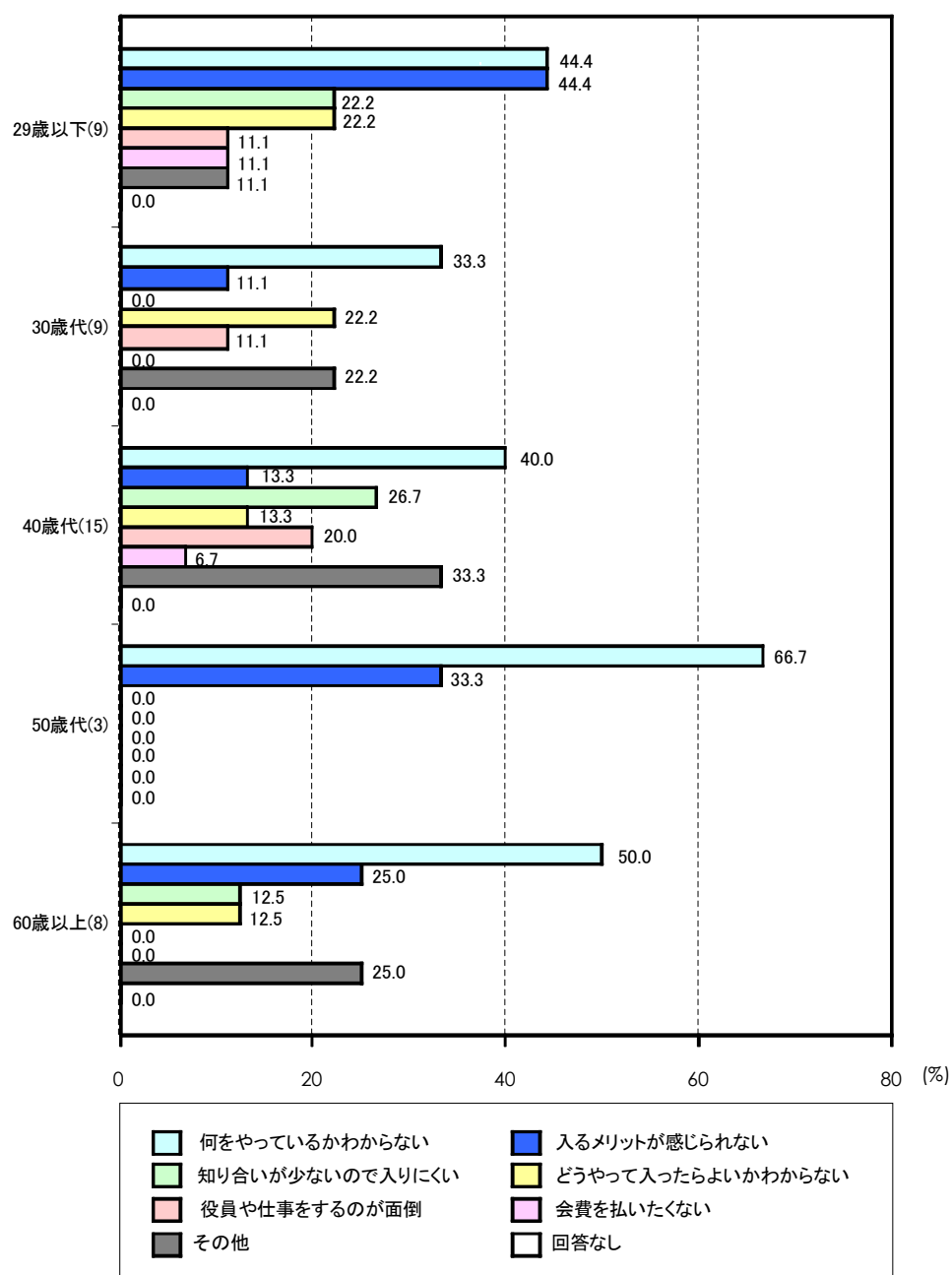
((2) は「知っているが入っていない」人のみが回答)

(2) 町内会・自治会に加入していない理由(複数回答)

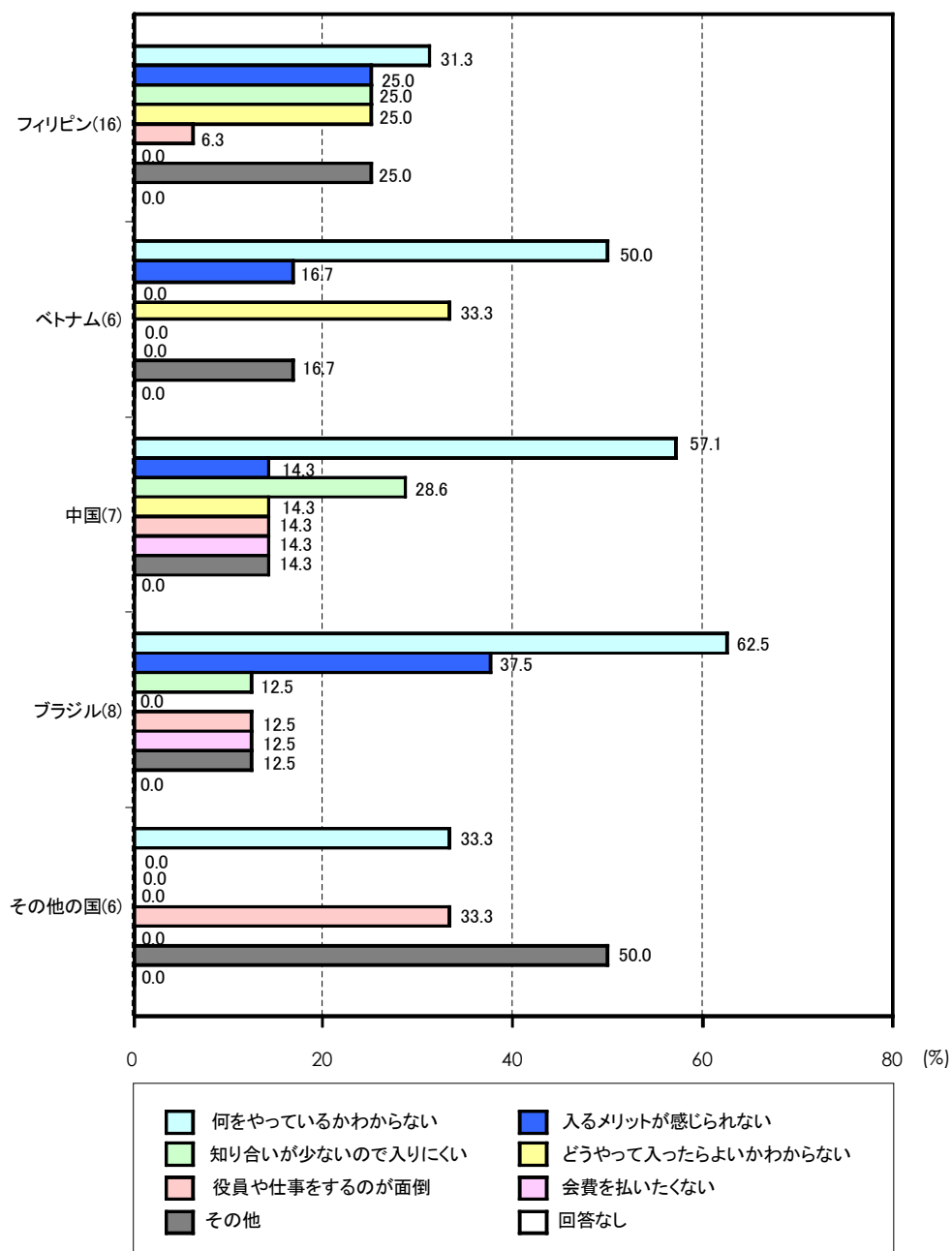
- ・全体では、何をやっているかがわからないが最も多く、次いで入るメリットがわからないが多い。
- ・性別では、男女ともに何をやっているかがわからないが最も多く、次いで入るメリットがわからないが多いが、その他、女性は知り合いが少ないので入りにくい、どうやって入ったらよいかわからないも多い。



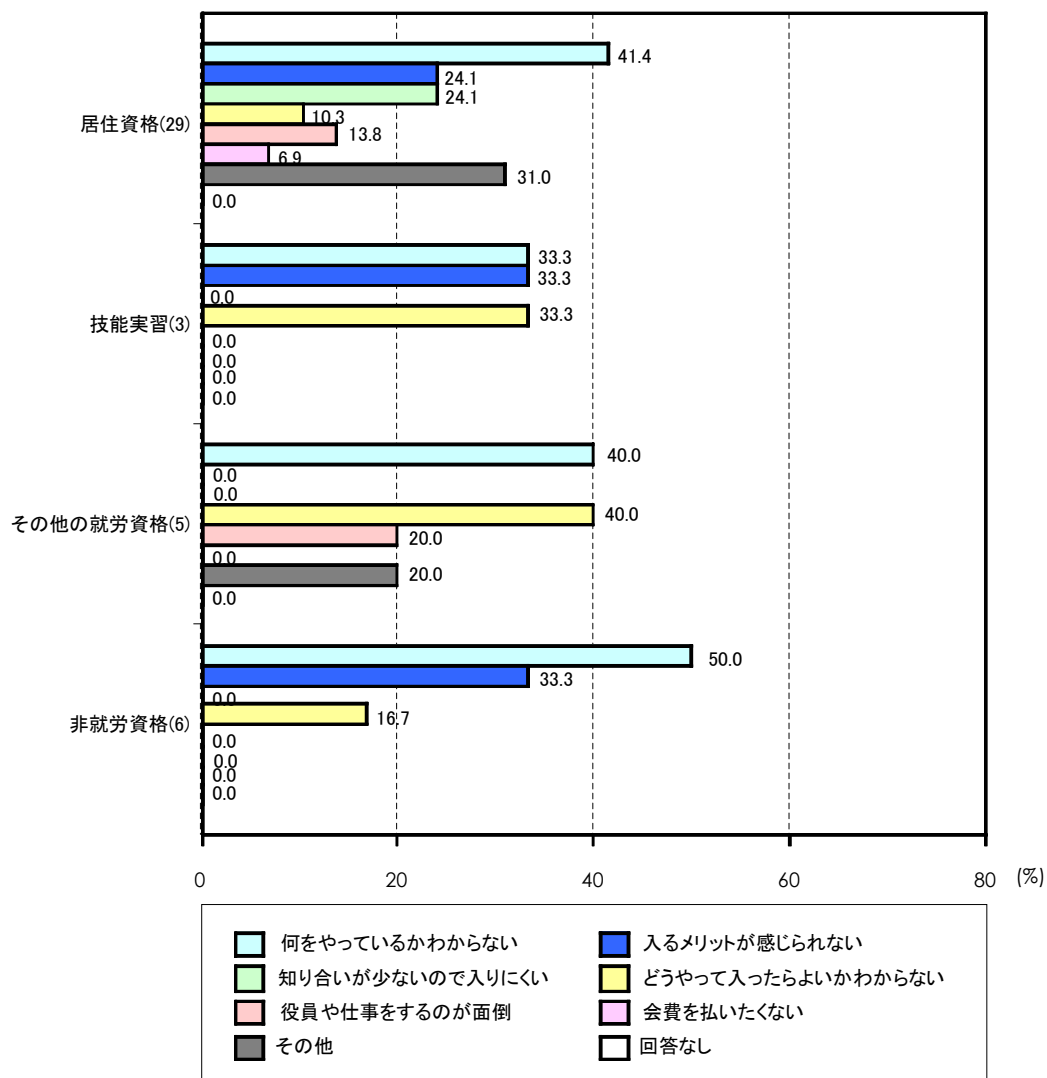
- ・年齢別では、いずれの年代も何をやっているかがわからないが多いが、29歳以下では入るメリットを感じられない、40歳代では知り合いが少ないので入りにくいも多い。



- ・国籍別では、いずれの国も何をやっているかがわからないが多いが、その他、フィリピンは入るメリットが感じられない、知り合いが少ないので入りにくい、入ったらよいかわからない、ブラジルは入るメリットが感じられない、中国は知り合いが少ないので入りにくい、ベトナムは入ったらよいかわからないも多い。

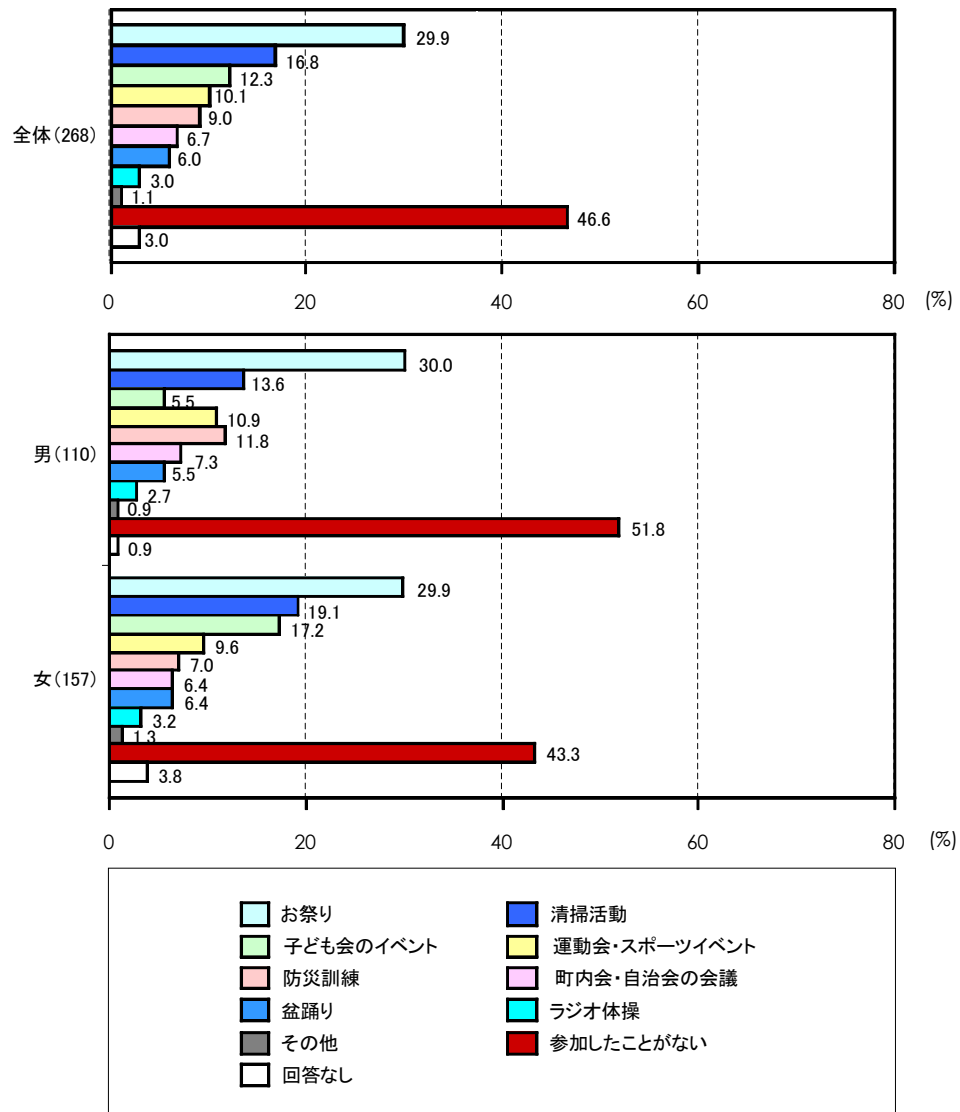


- ・在留資格別では、いずれも何をやっているかわからないが多いが、その他、居住資格で入るメリットを感じられない、知り合いが少ないので入りにくい、非就労資格は入るメリットを感じられない、その他の就労資格は入ったらよいかわからないも多い。

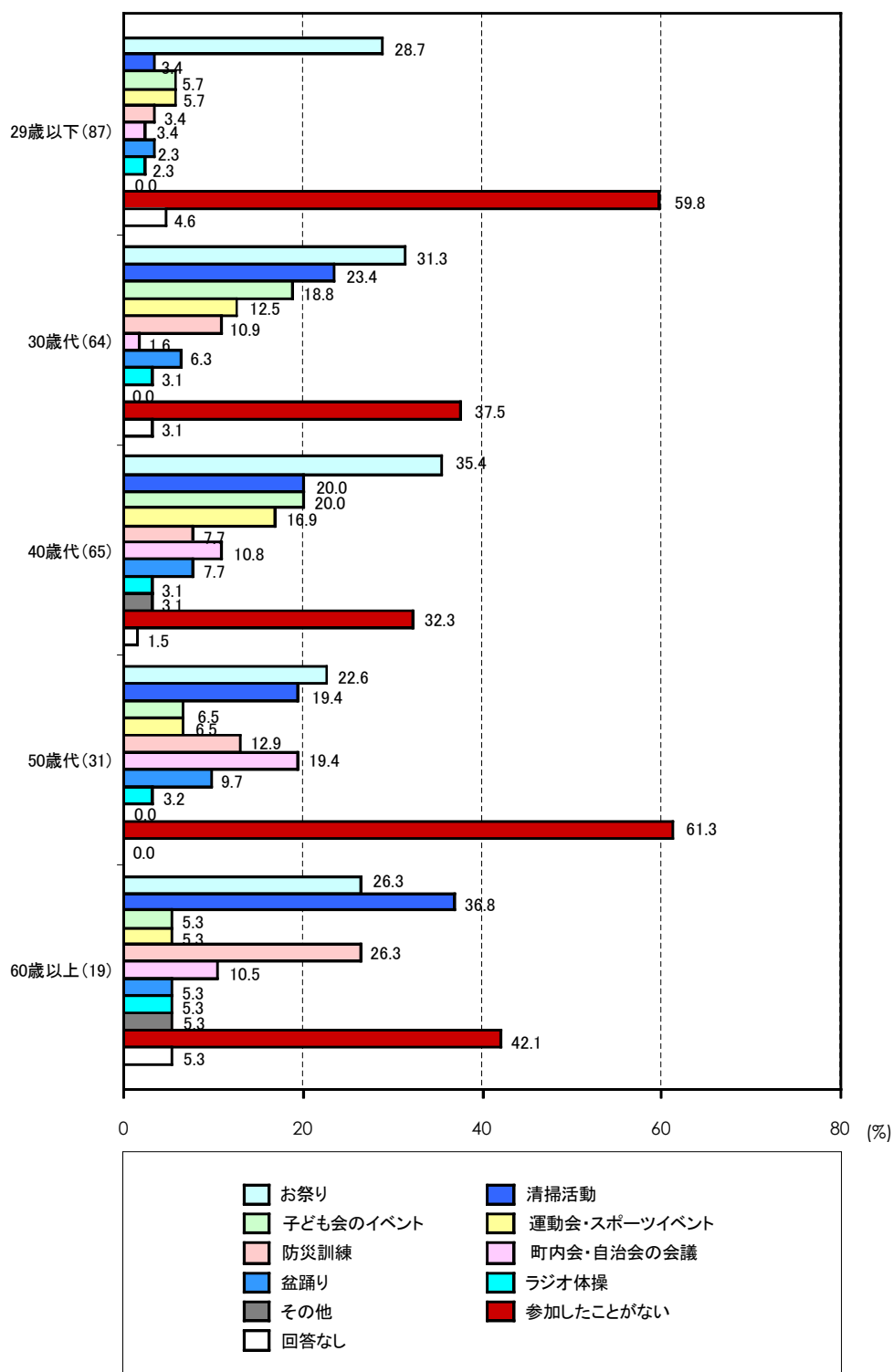


(3) 参加したことがある地域のイベント（複数回答）

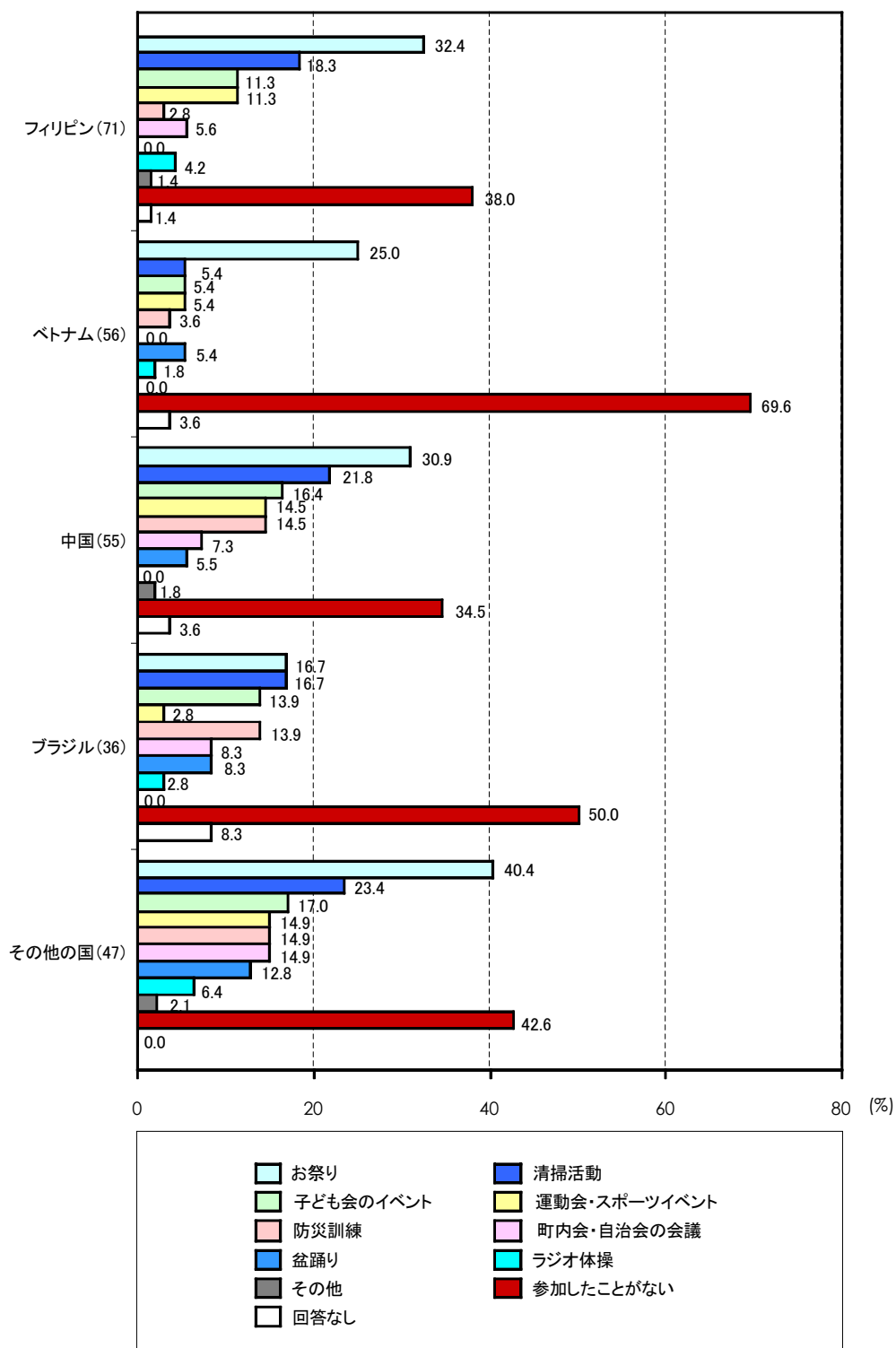
- ・全体では、参加したことがないが46.6%であり、参加したことがあるイベントはお祭りが最も多い。
- ・性別では、参加したことがない割合は男性の方が高く、参加したことがあるイベントは男女ともにお祭りが多い。



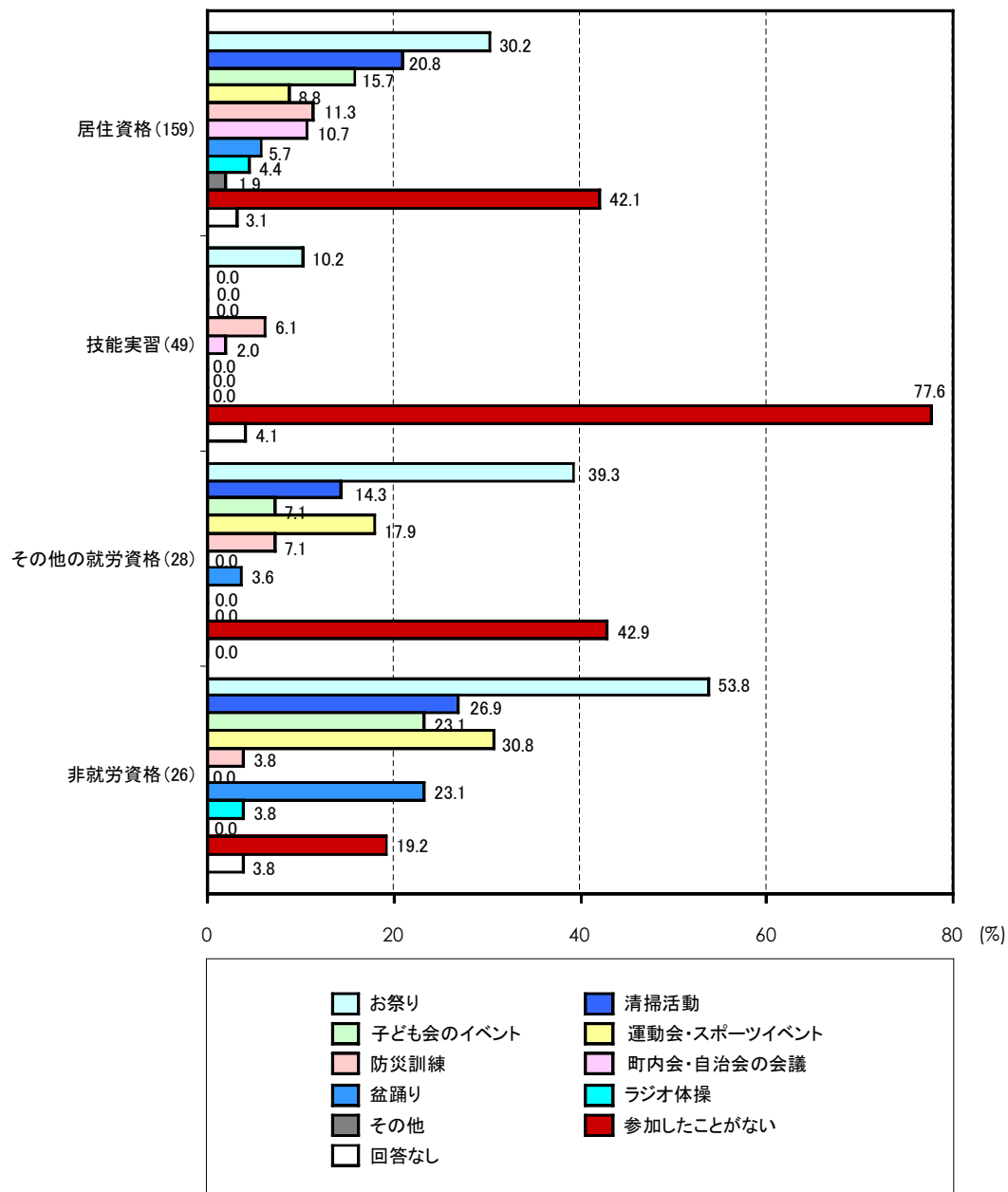
- ・年齢別では、参加したことがないの割合は30歳代、40歳代が低くなっている。参加したことがあるイベントは、いずれの年代もお祭りが多いが、30歳代、40歳代は清掃活動、子どものイベント、50歳代は清掃活動と町内会・自治会の会議、60歳以上は清掃活動と防災訓練が多い。



- ・国籍別では、参加したことがないの割合はベトナムが高い。参加したことがあるイベントはいずれの国もお祭りが多いが、その他ベトナム以外は清掃活動も多い。



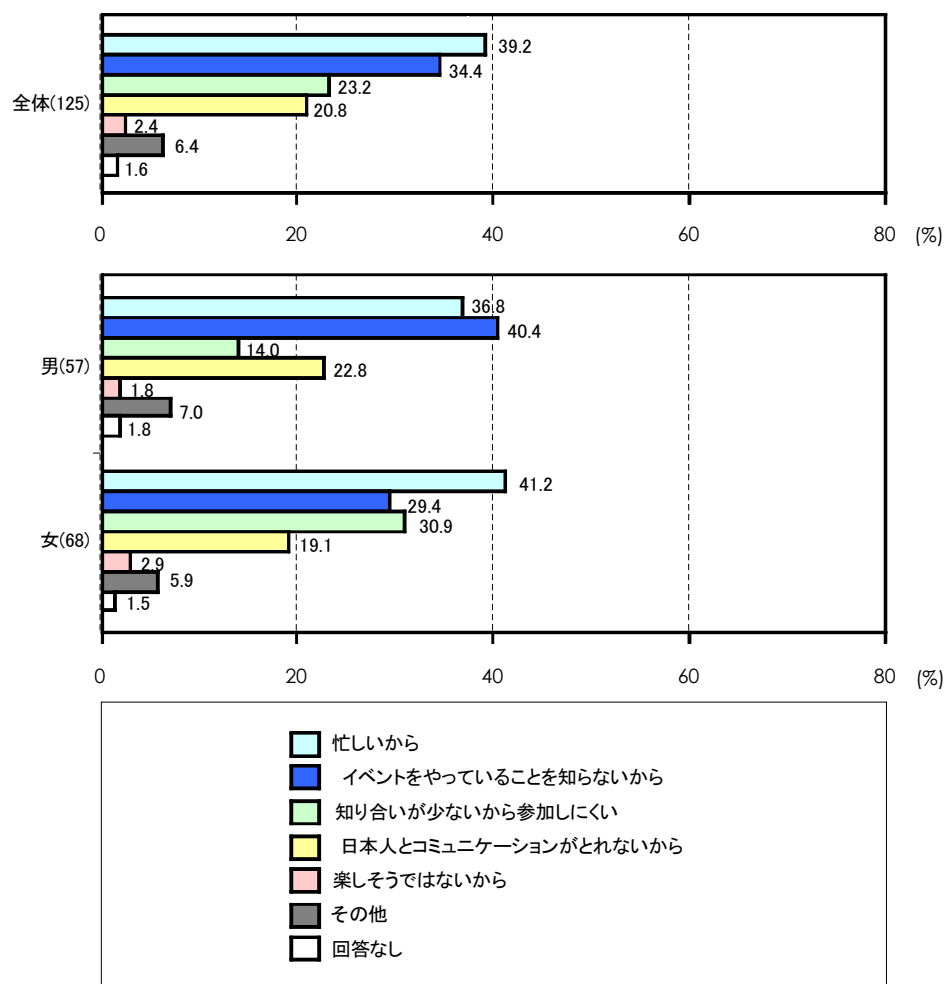
- ・在留資格別では、参加したことがないは技能実習で多く、非就労資格で少ない。参加したことがあるイベントは、いずれの資格もお祭りが多く、その他、居住資格は清掃活動、その他の就労資格、非就労資格は運動会・スポーツイベント、清掃活動が多い。



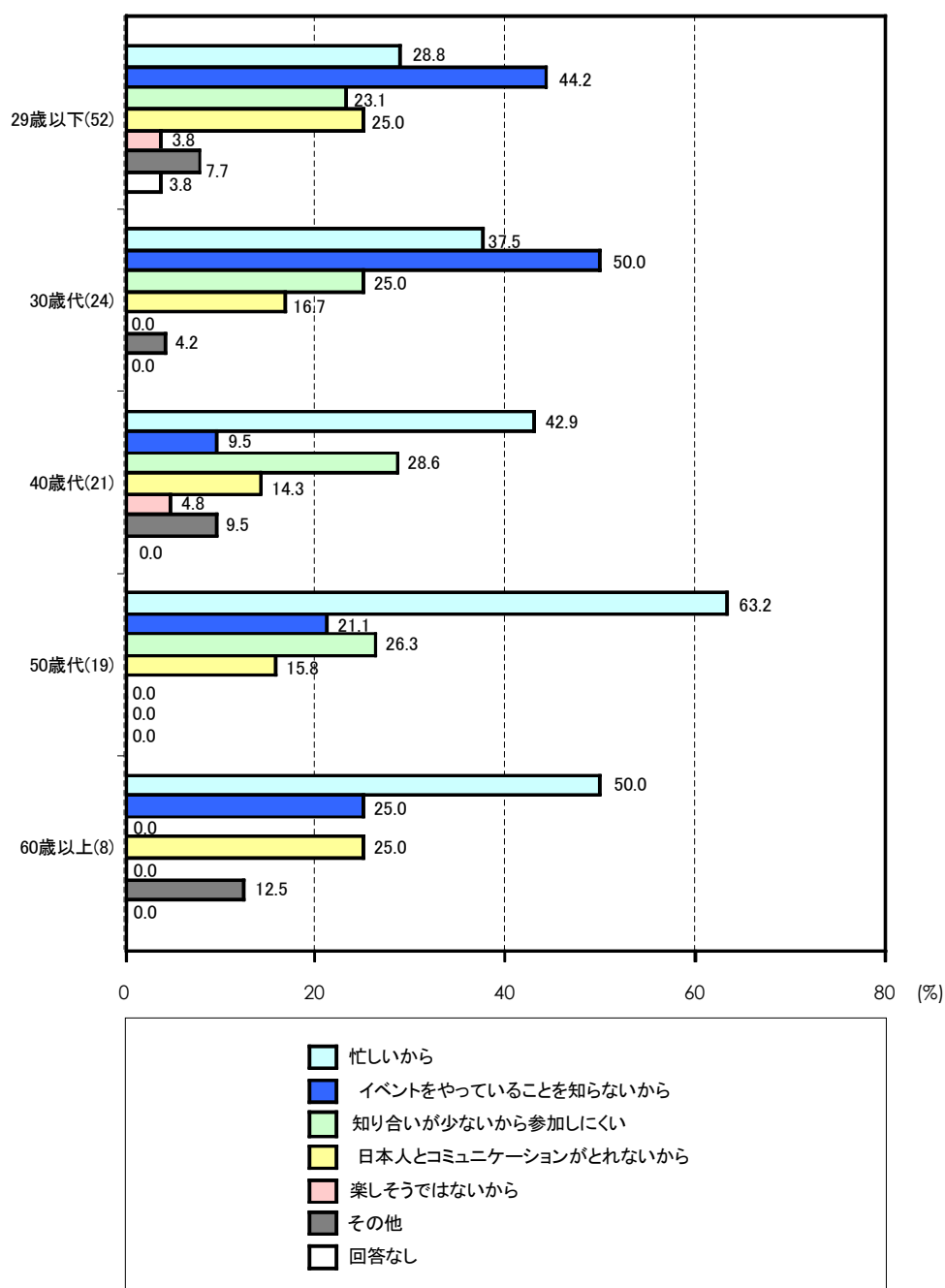
((4) は地域のイベントに参加したことがない人のみが回答)

(4) 地域のイベントに参加したことがない理由(複数回答)

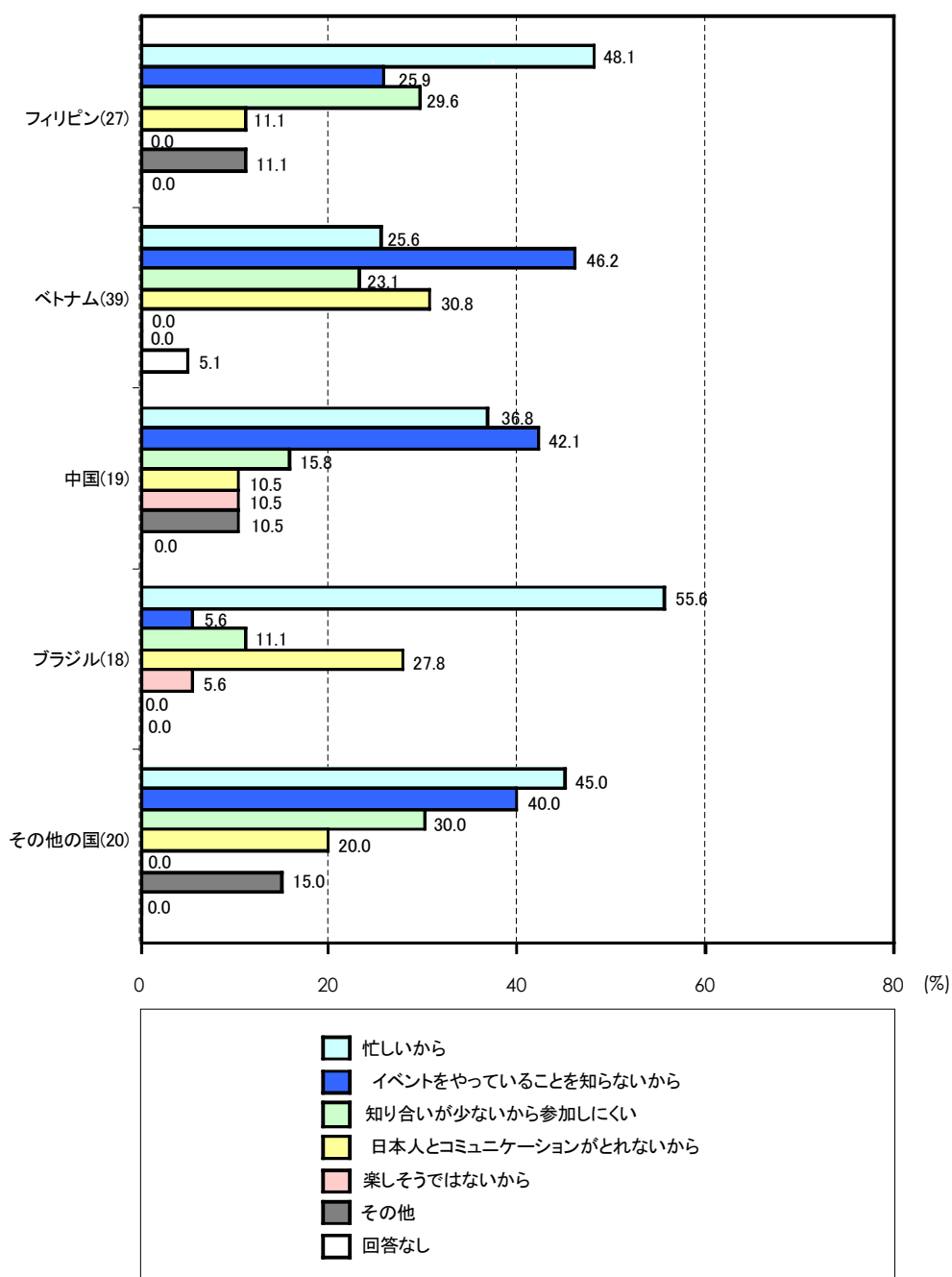
- ・全体では、忙しいから、イベントをやっていることを知らないが多い。
- ・性別では、男性はイベントをやっていることを知らないが多く、女性は忙しいからが多い。女性は知り合いが少ないから参加しにくいも多い。



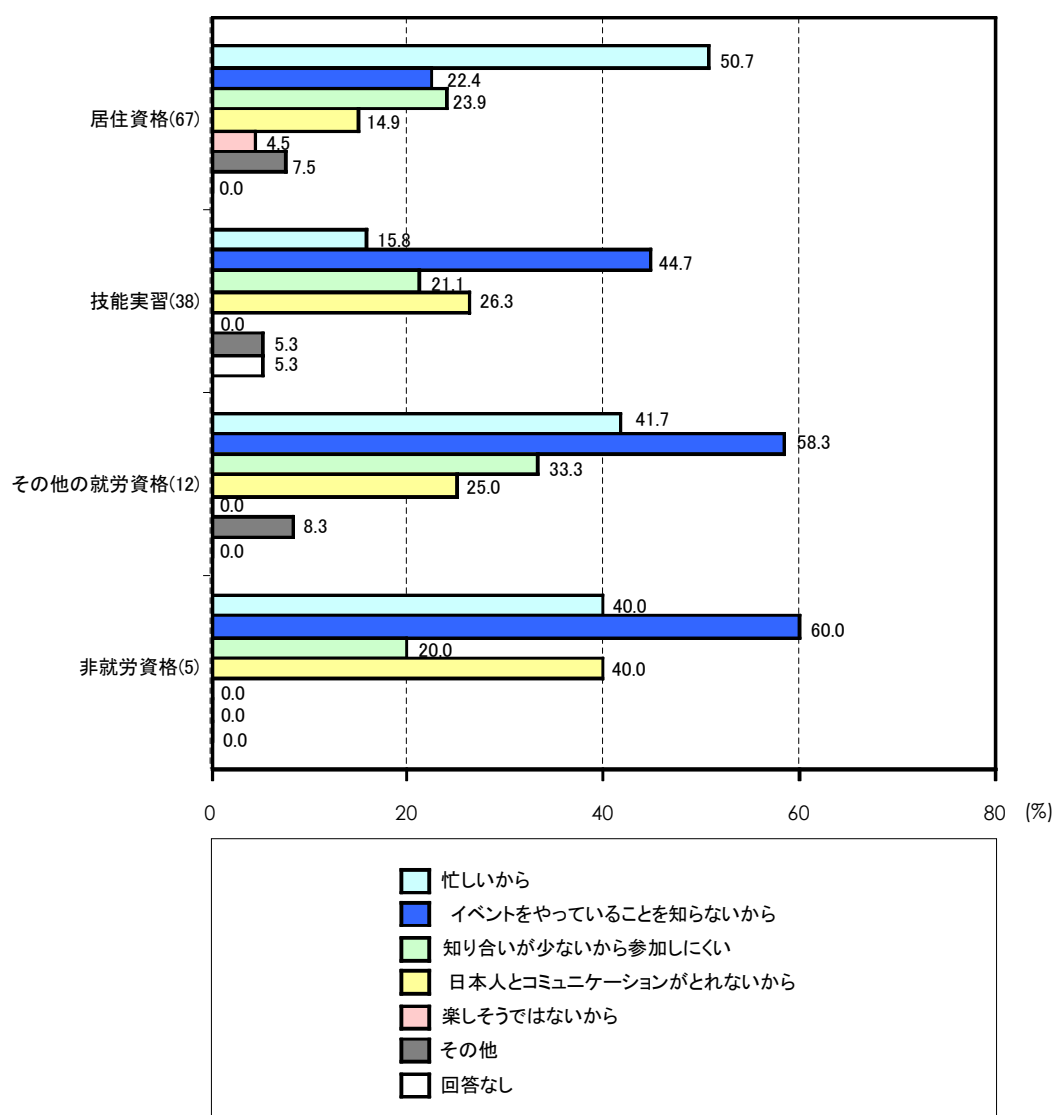
- ・年齢別では、29歳以下、30歳代はイベントをやっていることを知らないからが最も多く、40歳代以上は忙しいからが最も多い。



- ・国籍別では、ベトナム、中国はイベントをやっていることを知らないからが多く、フィリピン、ブラジルは忙しいからが多く、

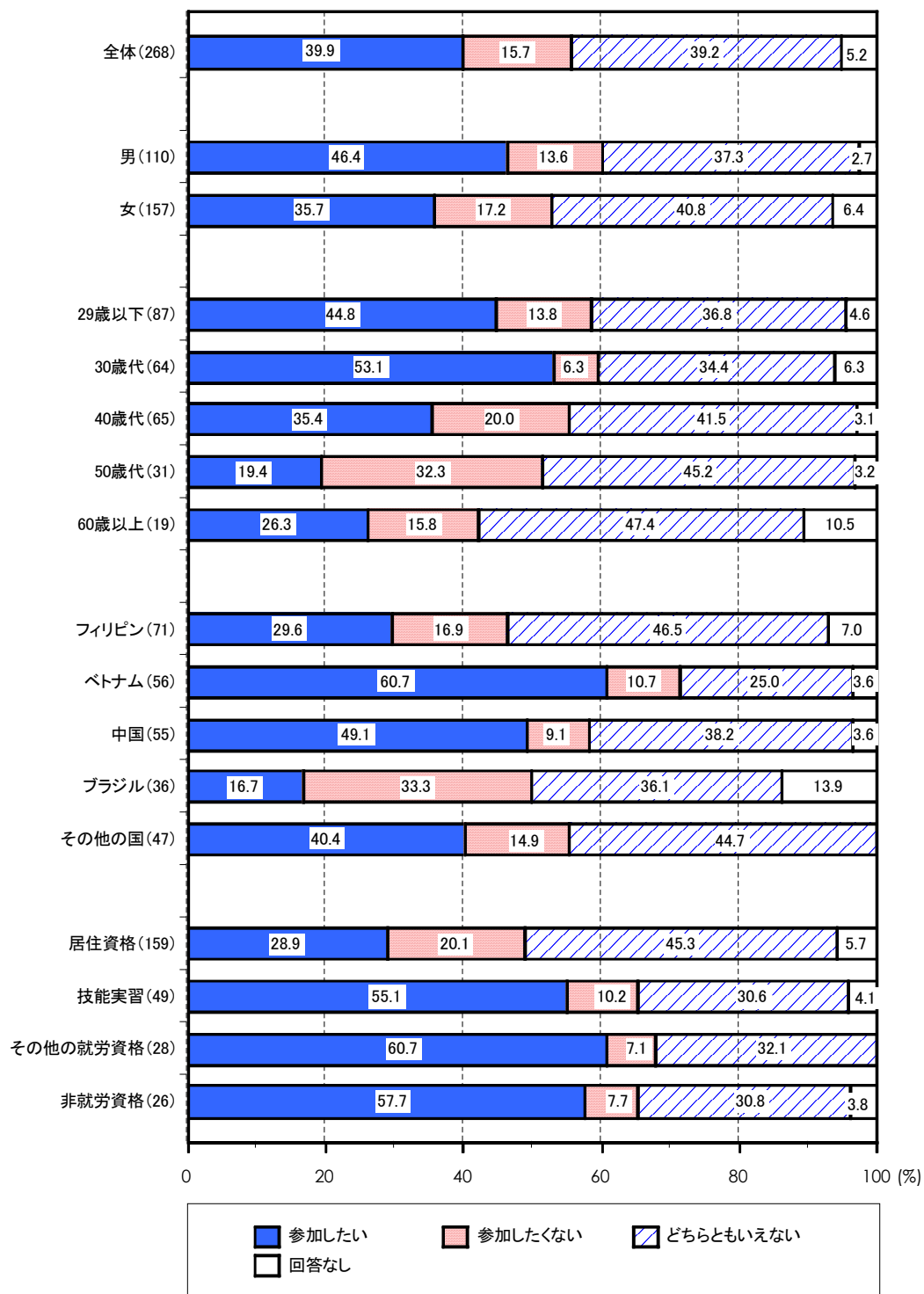


- ・在留資格別では、居住資格は忙しいからが最も多く、技能実習、その他の就労資格、非就労資格はイベントをやっていることを知らないからが最も多い。



(5) 地域のイベントに参加したいか

- ・全体では、参加したいが 39.9%、参加したくないが 15.7%である。
- ・性別では、参加したい意向は男性の方が高い。
- ・年齢別では、参加したい意向は 30 歳代、29 歳以下が高い。
- ・国籍別では、参加したい意向はベトナム、中国が高い。
- ・在留資格別では、居住資格以外において高い。

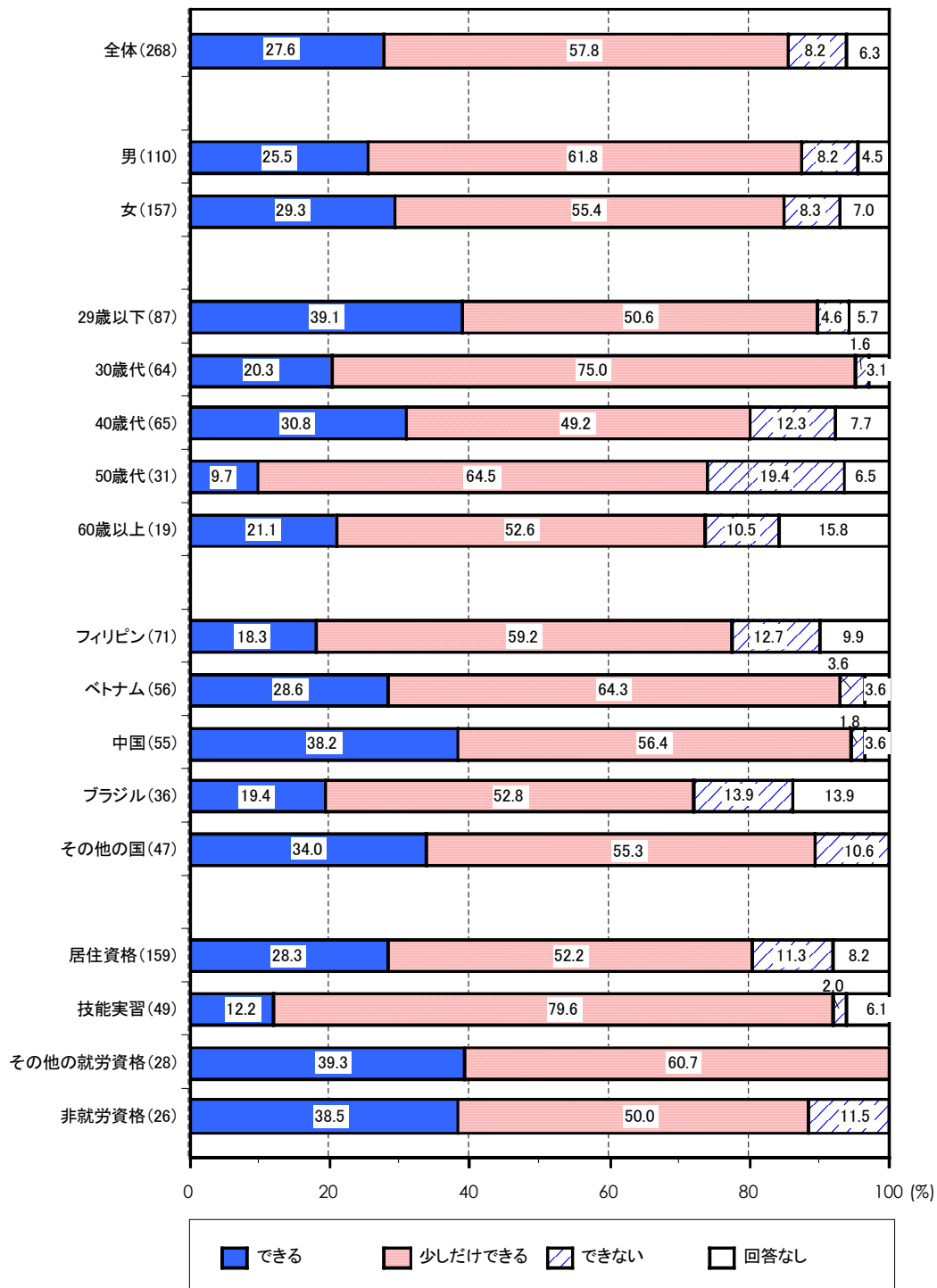


7. 日本語について

(1) 「読む」「書く」「聞く」「話す」の日本語能力

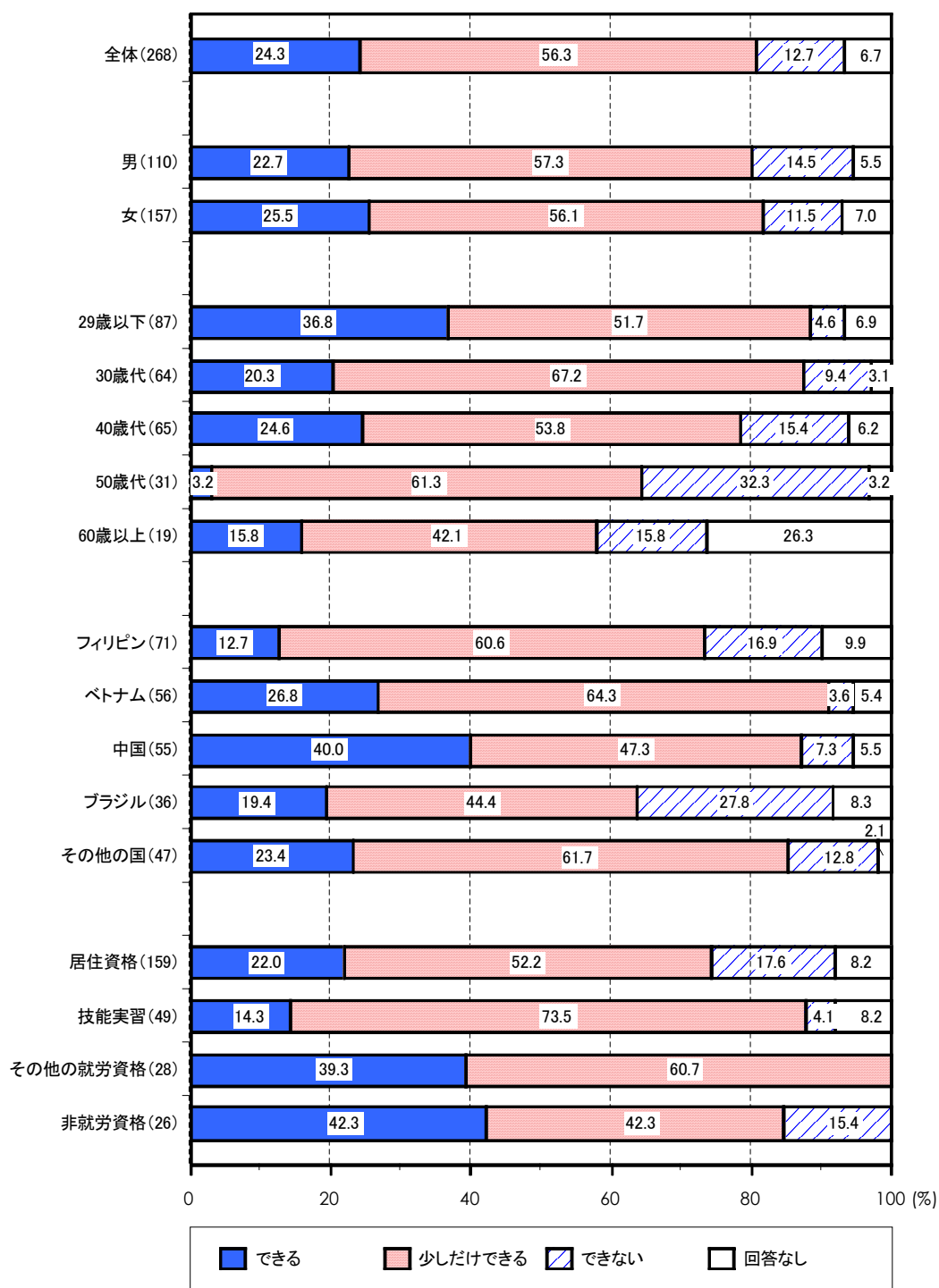
① 「読む」

- ・全体では、「読む」ができる人が27.6%である。
- ・性別では、女性の方ができる人の割合がやや高い。
- ・年齢別では、29歳以下、40歳代にできる人の割合が高い。
- ・国籍別では、中国、ベトナムにできる人の割合が高い。
- ・在留資格別では、その他の就労資格、居住資格にできる人の割合が高い。



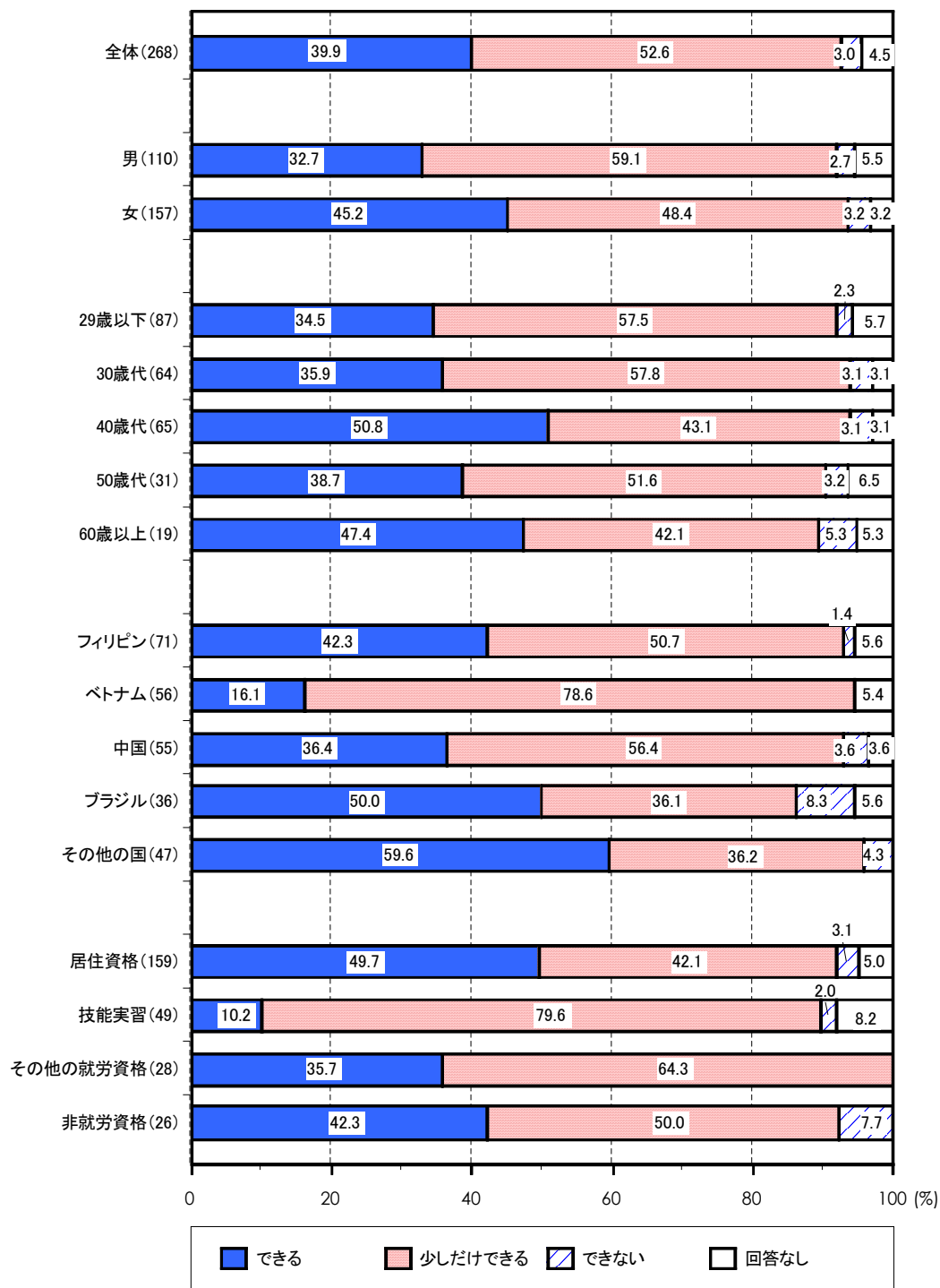
②「書く」

- ・全体では、「書く」ができる人が24.3%である。「読む」よりできる人は少ない。
- ・性別では、女性の方ができる人の割合がやや高い。
- ・年齢別では、29歳以下にできる人の割合が高い。
- ・国籍別では、中国、ベトナムにできる人の割合が高い。
- ・在留資格別では、非就労資格、その他の就労資格にできる人の割合が高い。



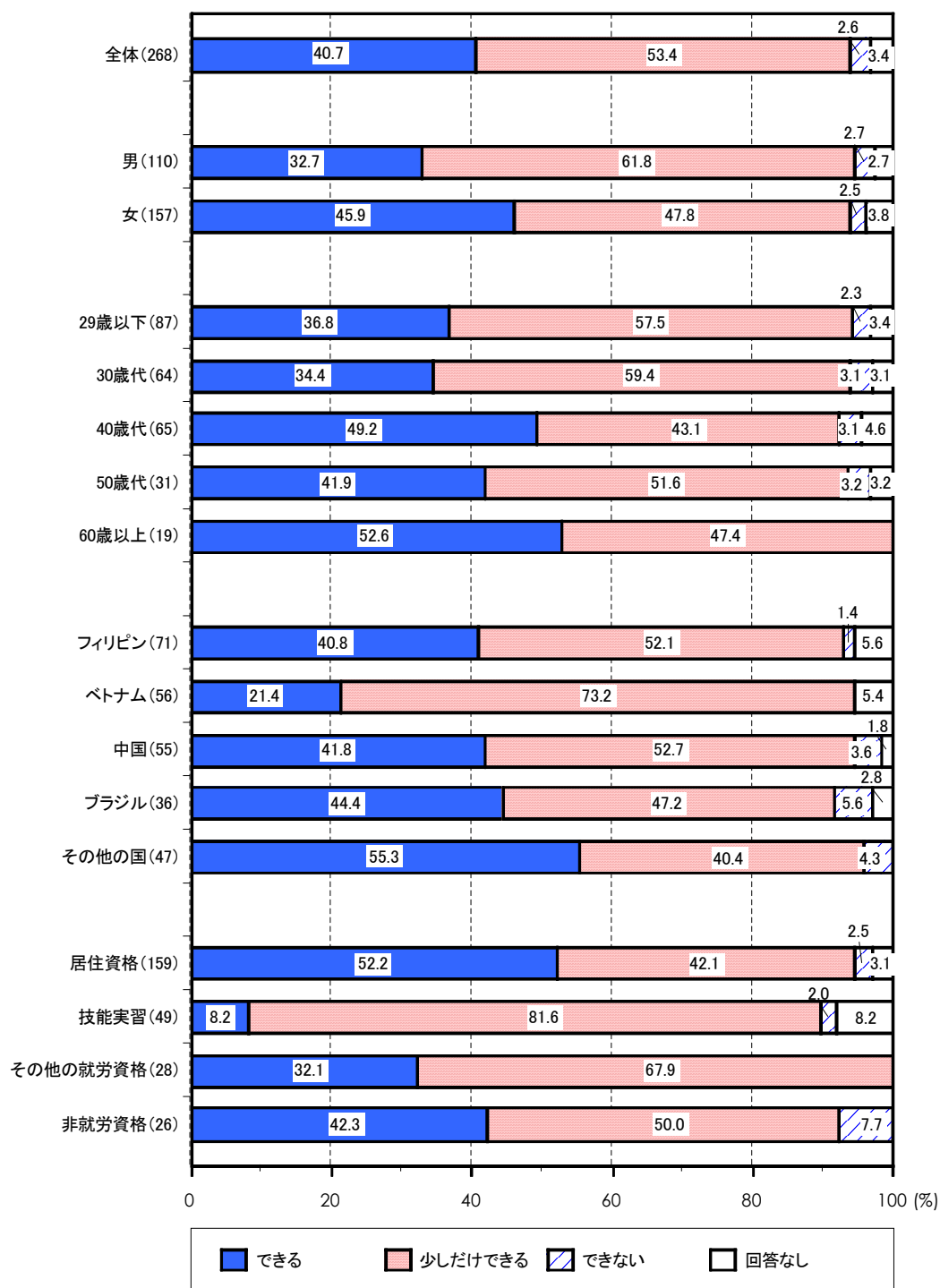
③「聞く」

- ・全体では、「聞く」ができる人が39.9%である。「読む」「書く」よりできる人は多い。
- ・性別では、女性の方ができる人の割合がやや高い。
- ・年齢別では、40歳代、60歳以上にできる人の割合が高い。
- ・国籍別では、ブラジル、フィリピンにできる人の割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格にできる人の割合が高い。



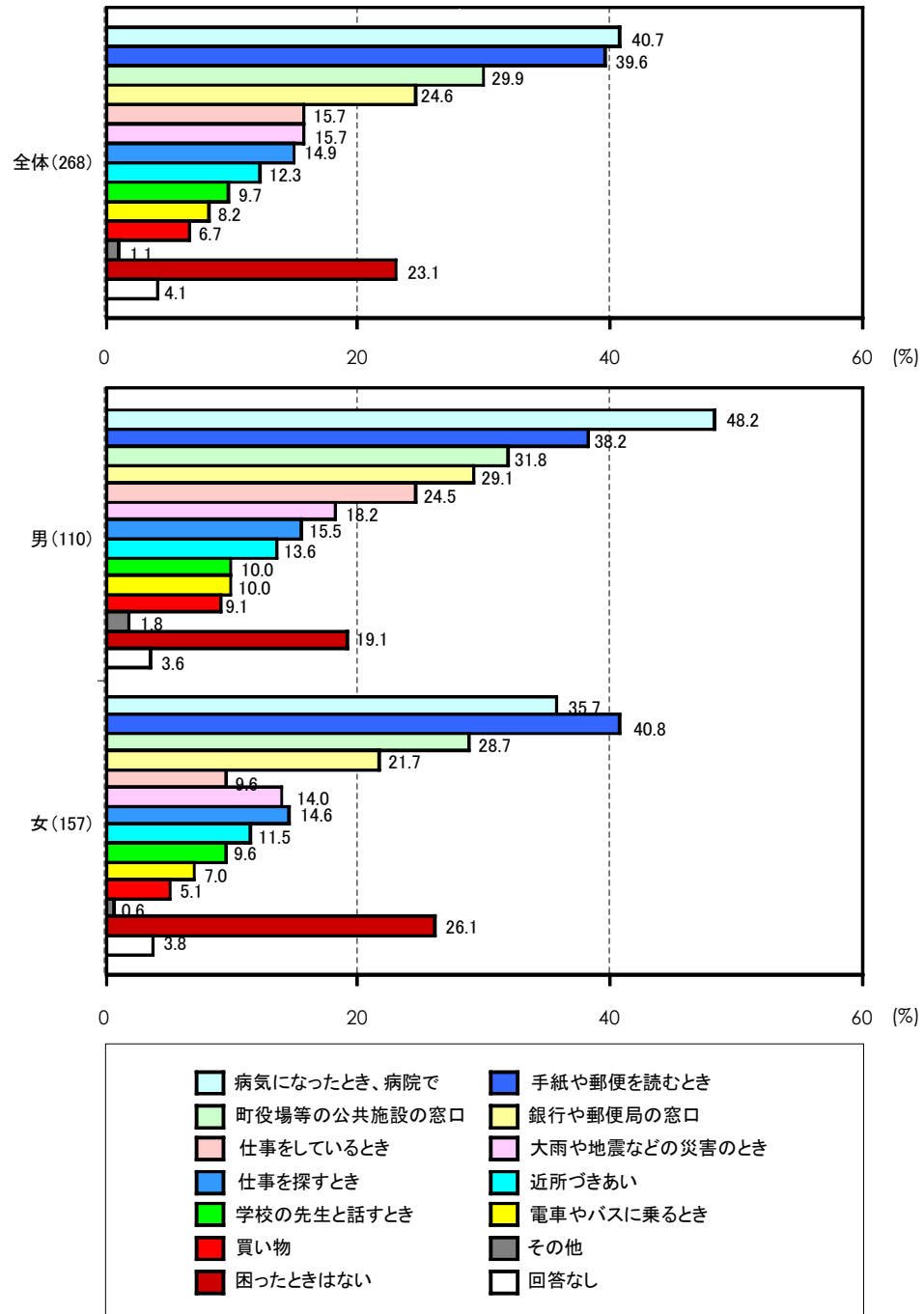
④「話す」

- ・全体では、「話す」ができる人が40.7%である。「読む」「書く」「聞く」よりできる人は多い。
- ・性別では、女性の方ができる人の割合がやや高い。
- ・年齢別では、40歳代、60歳以上にできる人の割合が高い。
- ・国籍別では、ブラジル、中国、フィリピンにできる人の割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格にできる人の割合が高い。

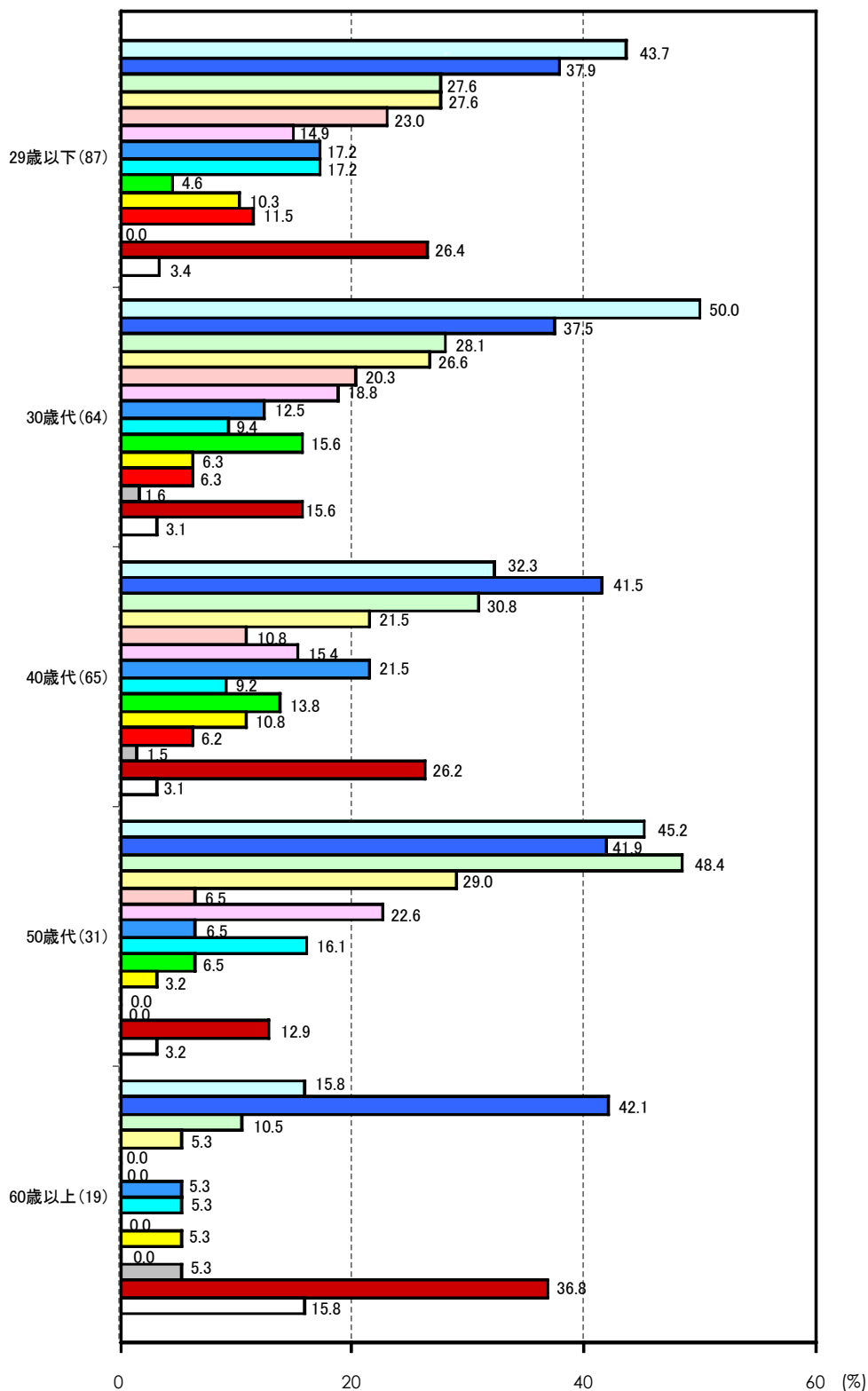


(2) どんな時に日本語で困るか（複数回答）

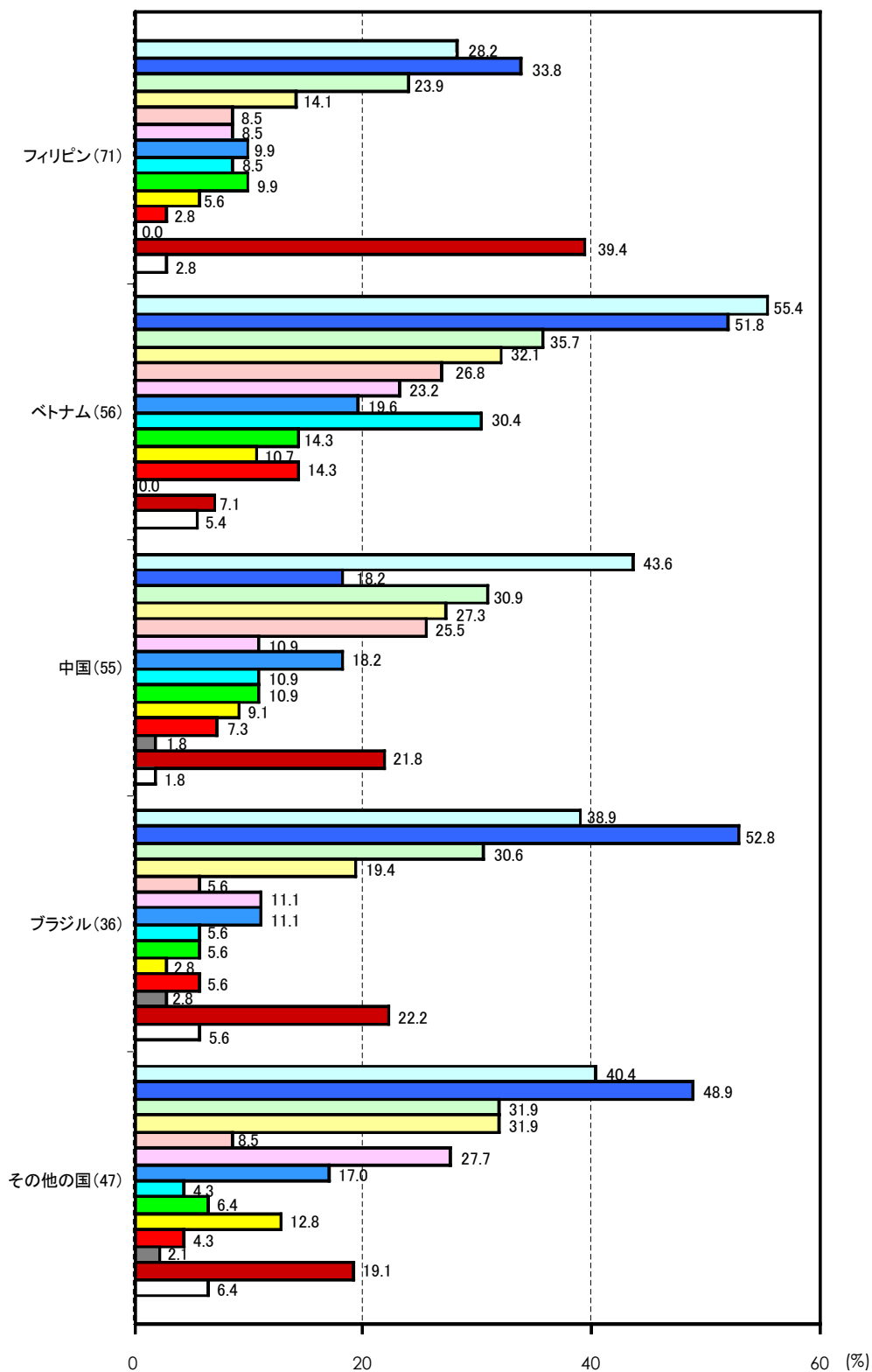
- ・全体では、病気になったとき、手紙や郵便を読むときに困る人が多い。
- ・性別では、男性は病気になったときが多く、女性は手紙や郵便を読むときが多い。女性は仕事をしているときは少ない。



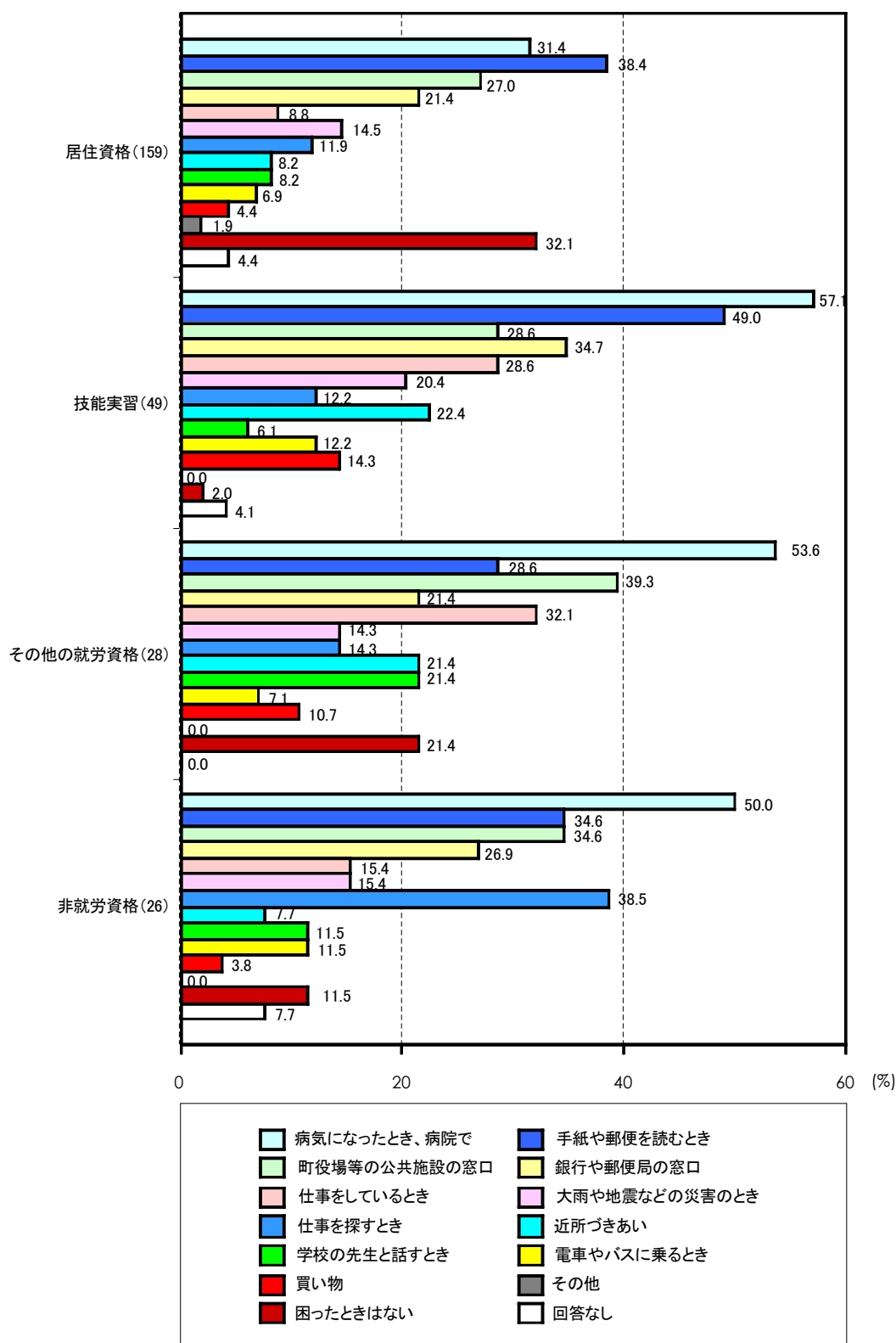
- ・年齢別では、29歳以下、30歳代は病気になったとき多く、40歳代は手紙や郵便を読むとき、50歳代は病気になったとき、手紙や郵便を読むときに加えて、町役場等の公共施設の窓口、60歳以上は手紙や郵便を読むときが多い。



- ・国籍別では、フィリピンとブラジルは手紙や郵便を読むときが最も多く、ベトナムと中国は病気になったときが最も多い。その他、ベトナムでは近所づきあい、中国では仕事を探すときの多さが特徴となっている。

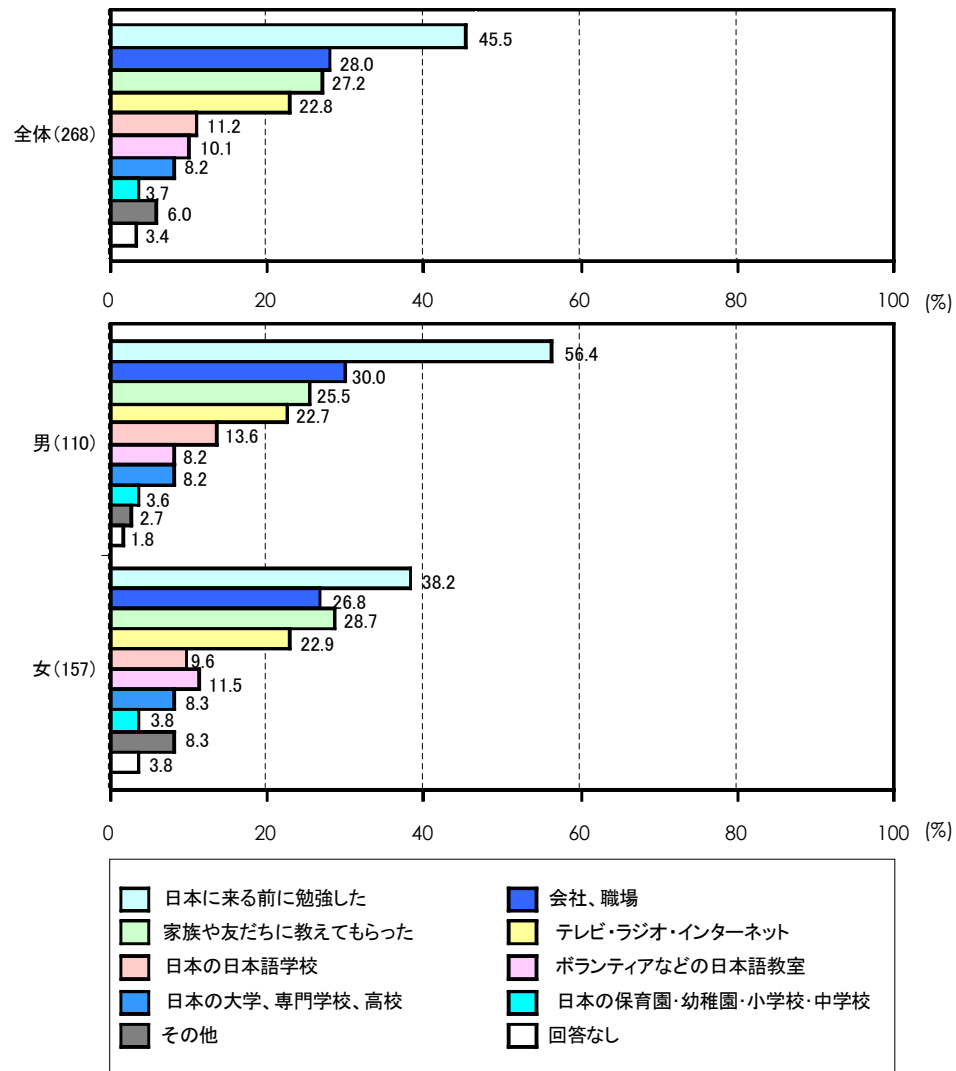


- ・在留資格別では、居住資格は手紙や郵便を読むときが最も多く、技能実習、その他の就労資格、非就労資格は病気になったときが最も多い。その他、技能実習では銀行や郵便局の窓口、その他の就労資格では町役場等の公共施設の窓口、仕事をしているとき、非就労資格では仕事を探するとき、町役場等の公共施設の窓口の多さが特徴となっている。

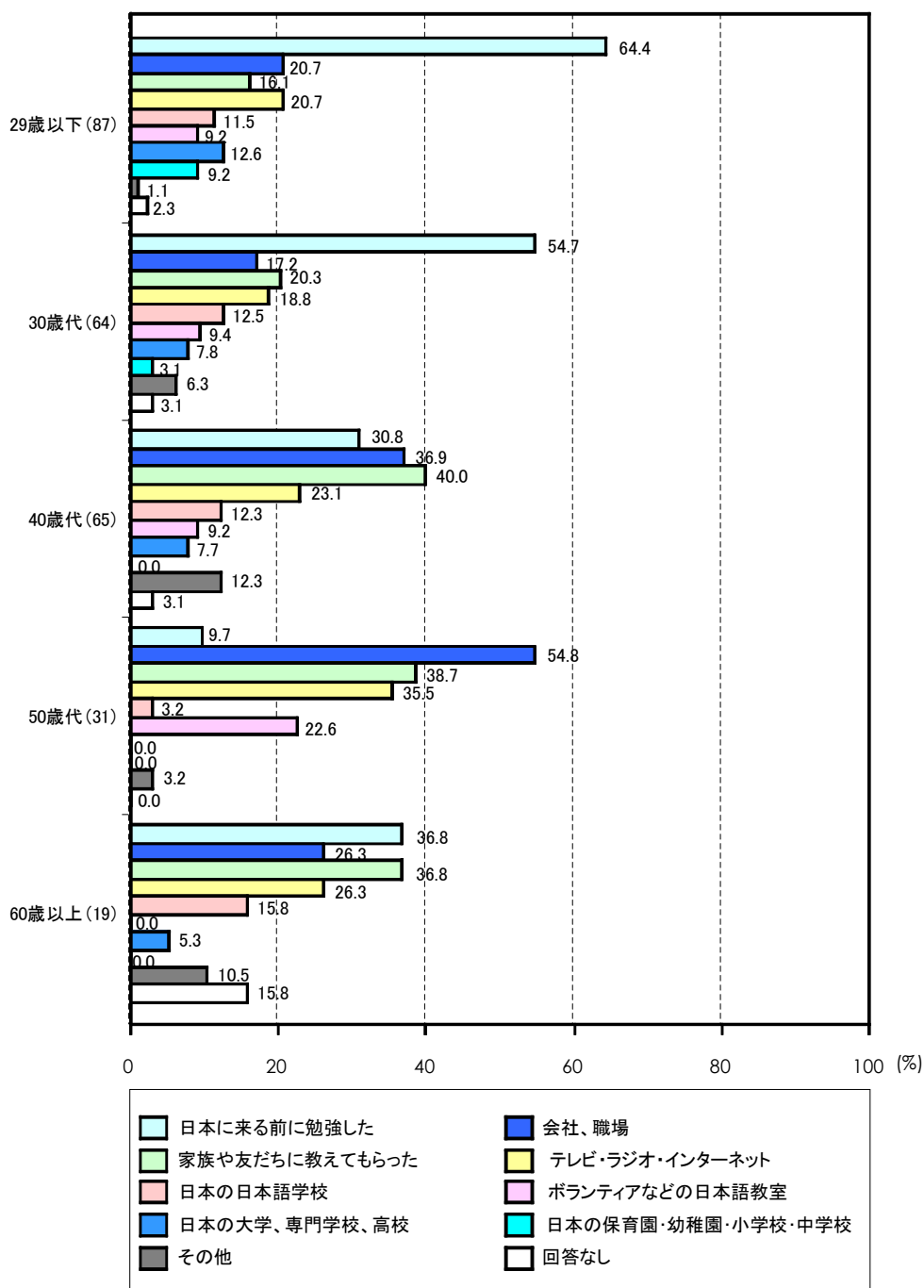


(3) これまでどのように日本語を勉強したか（複数回答）

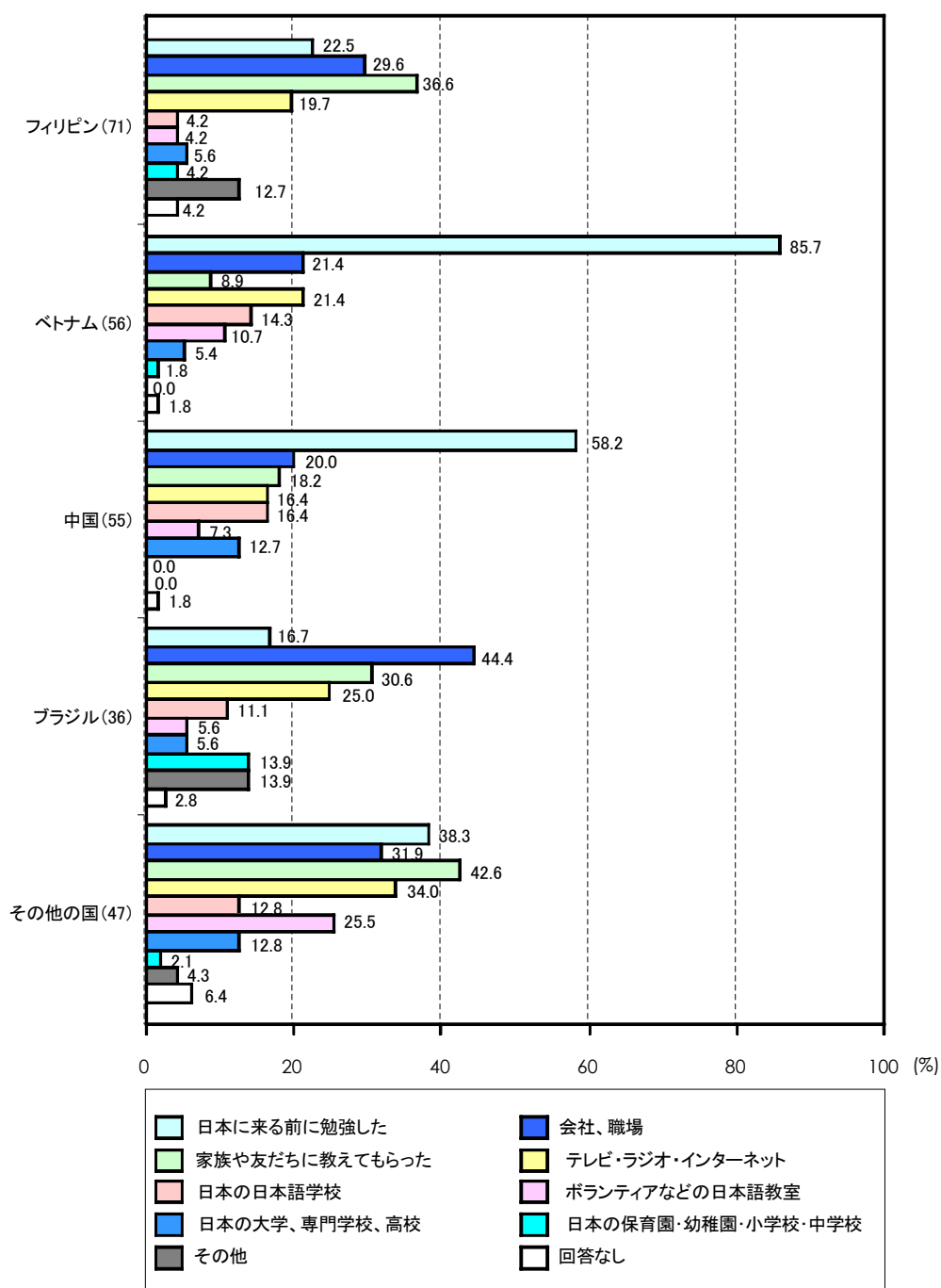
- ・全体では、日本に来る前が最も多く、次いで会社・職場、家族や友だちに教えてもらった、テレビ・ラジオ・インターネットが多い。
- ・性別では、男女とも日本に来る前が最も多いが、女性は家族や友だちに教えてもらったの割合も高い。



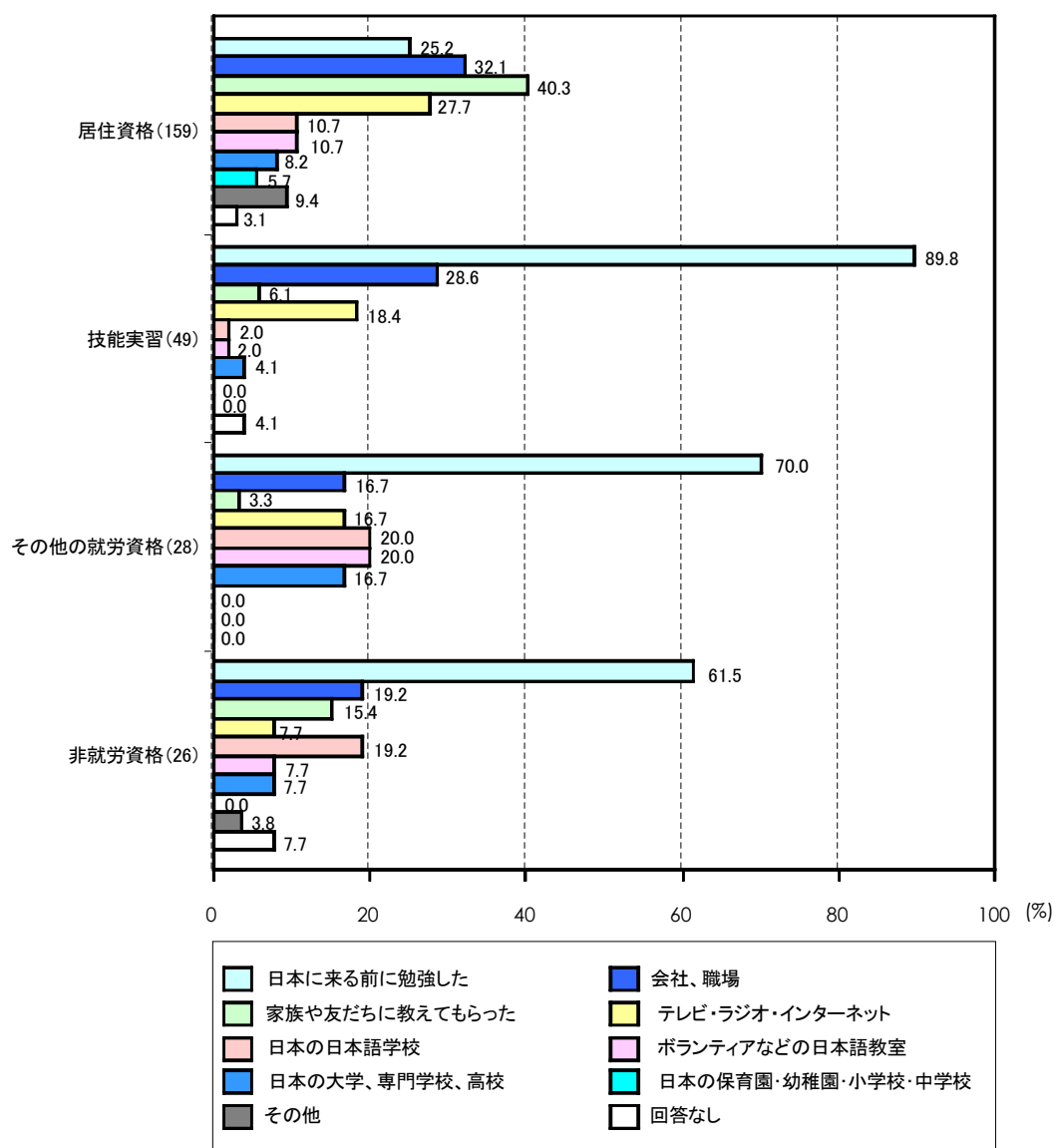
- ・年齢別では、29歳以下、30歳代は日本に来る前が最も多いが、40歳代は家族や友だちに教えてもらった、50歳代は会社や職場、60歳代は日本に来る前に勉強した、家族や友だちに教えてもらったが多い。



- ・国籍別では、ベトナム、中国は日本に来る前が最も多いが、フィリピンは家族や友だちに教えてもらった、ブラジルは会社・職場が多い。

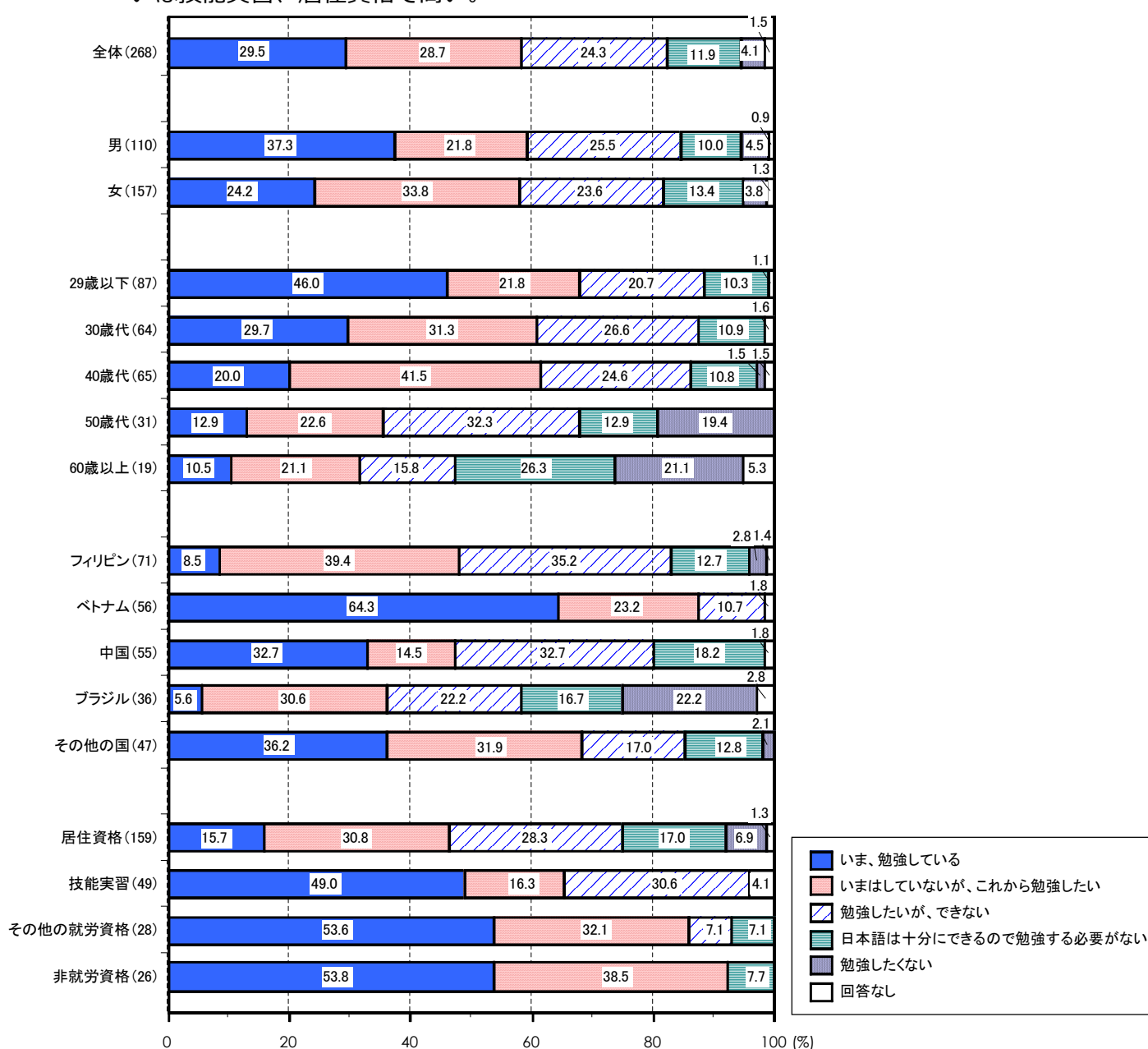


- ・在留資格別では、技能実習、その他の就労資格、非就労資格は日本に来る前が最も多いが、居住資格は家族や友だちに教えてもらったが最も多い。



(4) 日本語学習の意向

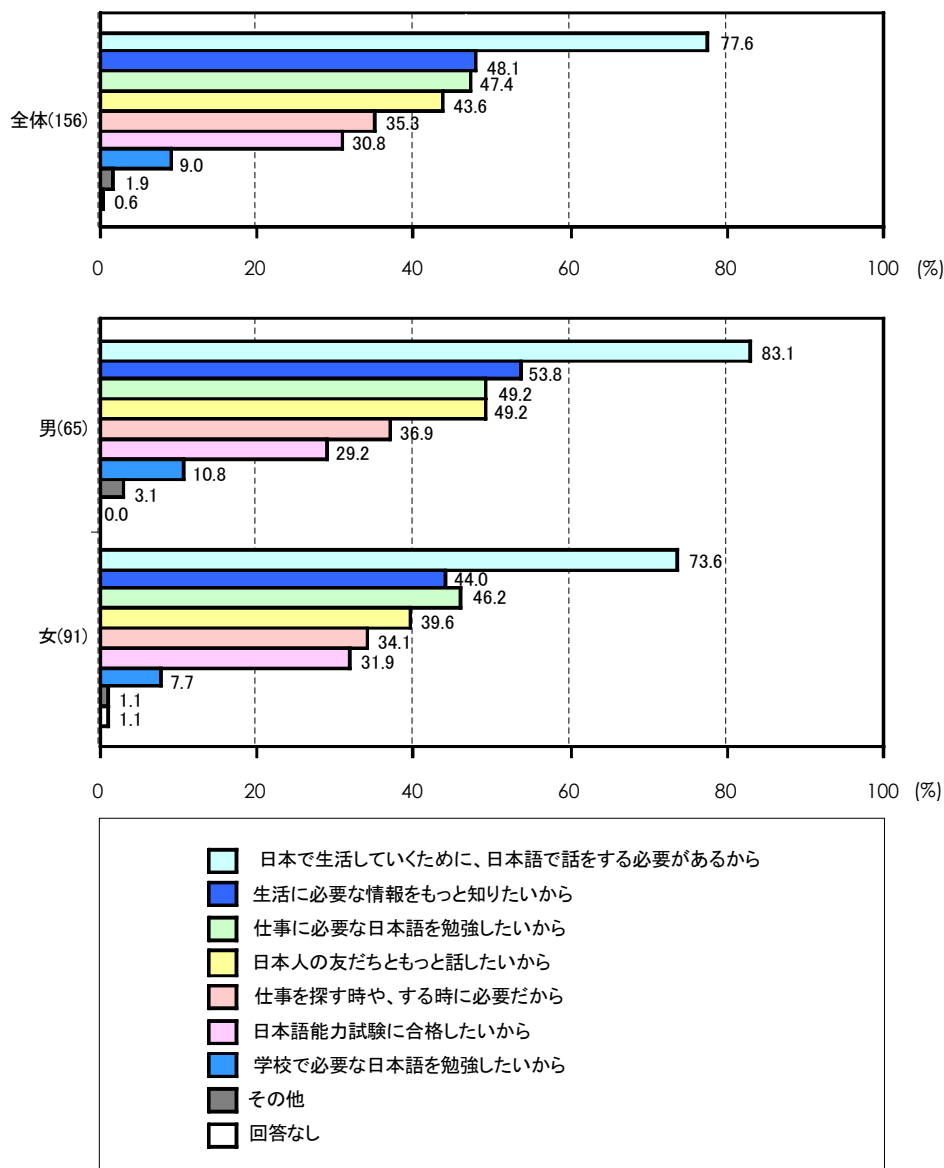
- ・全体では、いま勉強しているが 29.5%、これから勉強したいは 28.7%、勉強したいができないが 24.3%である。
- ・性別では、男性はいま勉強しているが多く、女性はこれから勉強したいが多い。
- ・年齢別では、いま勉強しているは年齢が低い程割合が高く、これから勉強したいは 40 歳代、30 歳代、勉強したいができないは 50 歳代の割合がそれぞれ高い。
- ・国籍別では、いま勉強しているの割合はベトナムで高く、これから勉強したいはフィリピン、ブラジル、勉強したいができないはフィリピン、中国で高い。
- ・在留資格別では、いま勉強しているの割合は非就労資格、その他の就労資格、技能実習で高く、これから勉強したいは非就労資格、その他の就労資格、居住資格、勉強したいができないは技能実習、居住資格で高い。



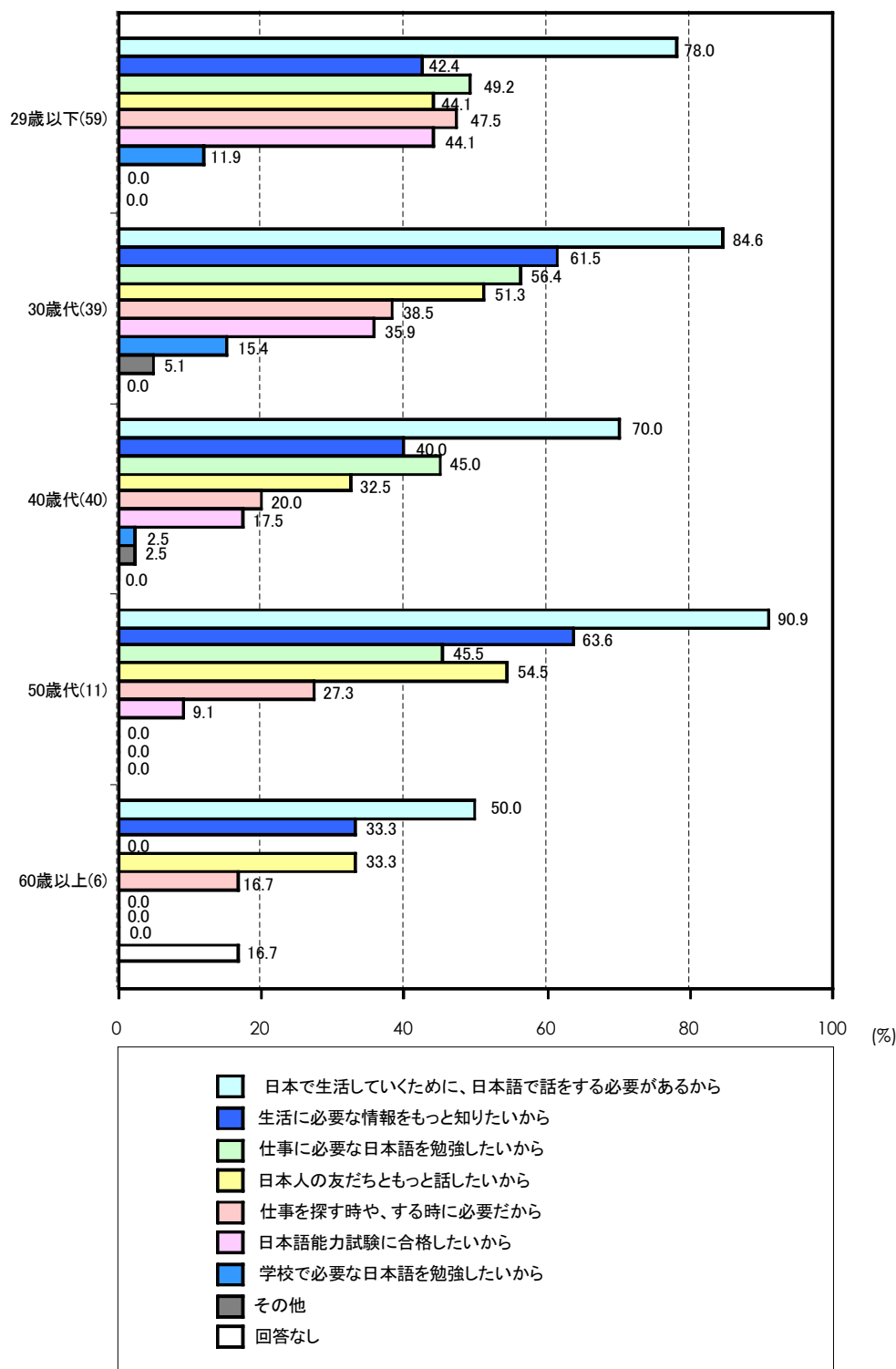
(以下、(5)(6)は日本語を今勉強している、これから勉強したい人のみが回答)

(5) 日本語を勉強している、勉強したい理由(複数回答)

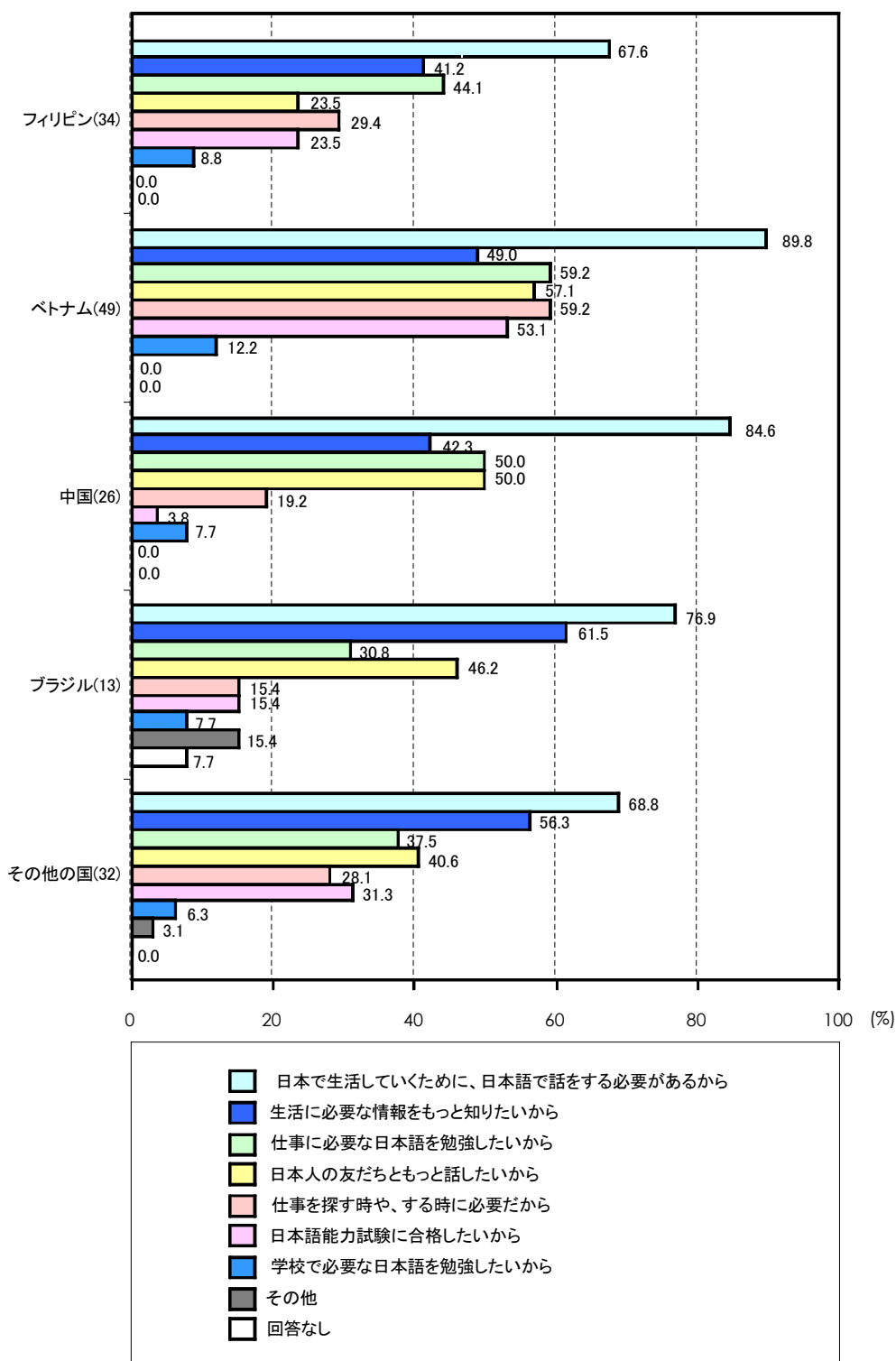
- ・全体では、日本で生活していくために必要が最も多く、次いで必要な情報を知りたい、仕事に必要、日本人の友だちと話したいが多い。
- ・性別では、男女ともに日本で生活していくために必要が最も多く、その他、男性は日本人の友だちともっと話したい、女性は仕事に必要な割合がそれぞれ高いことが特徴である。



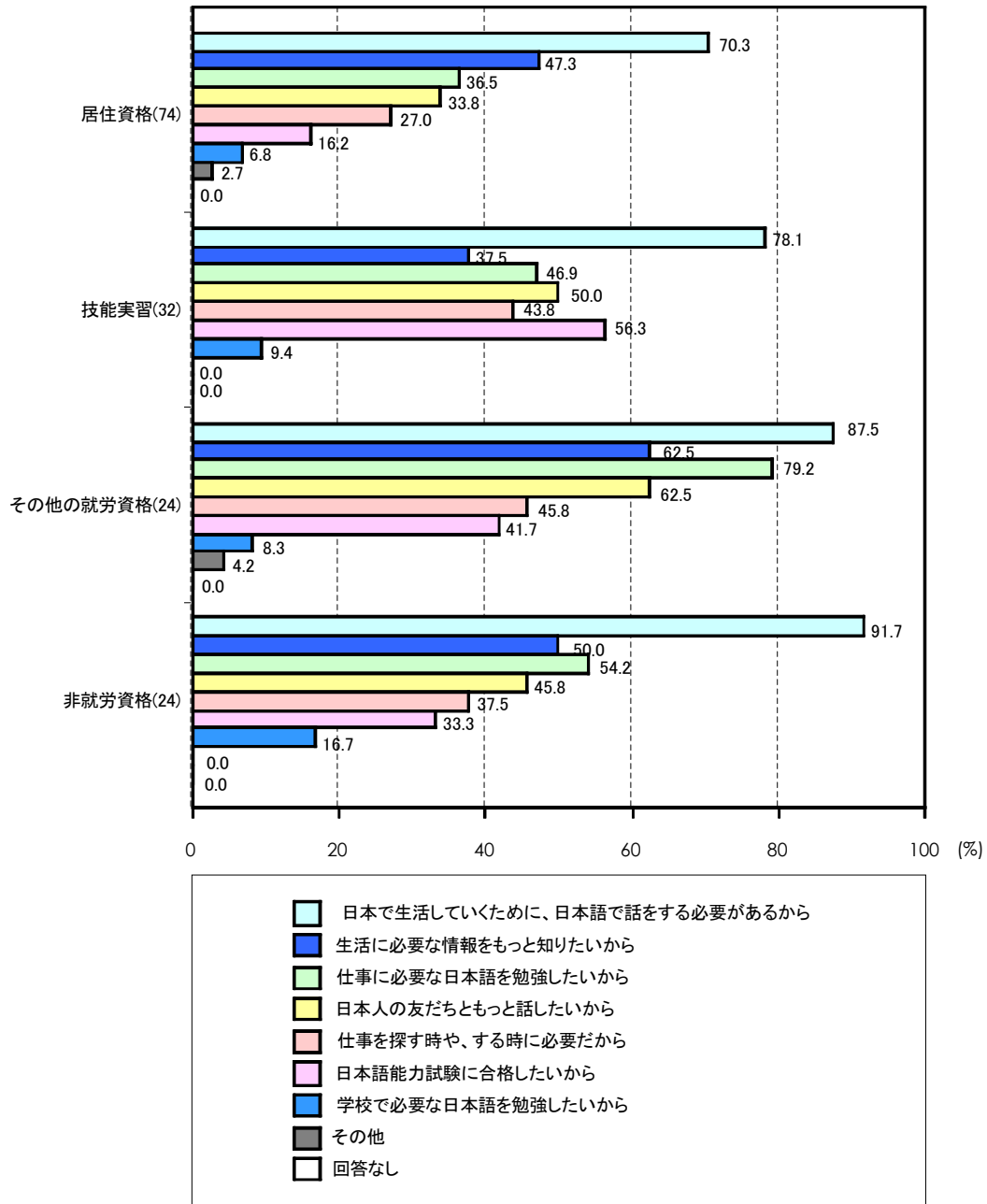
- ・年齢別では、各年代ともに日本で生活していくために必要が最も多く、その他、29歳以下は仕事を探す時やする時に必要、日本語能力試験に合格したい、40歳代は仕事に必要、50歳代は日本人の友だちともっと話したいの割合がそれぞれ高いことが特徴である。



- ・国籍別では、各国ともに日本で生活していくために必要が最も多く、その他、フィリピンは仕事に必要、ベトナムは仕事に必要、日本人の友だちともっと話したい、仕事を探す時やする時に必要、日本語能力試験に合格したい、中国は仕事に必要、日本人の友だちともっと話したい、ブラジルは日本人の友だちともっと話したいの割合がそれぞれ高いことが特徴である。

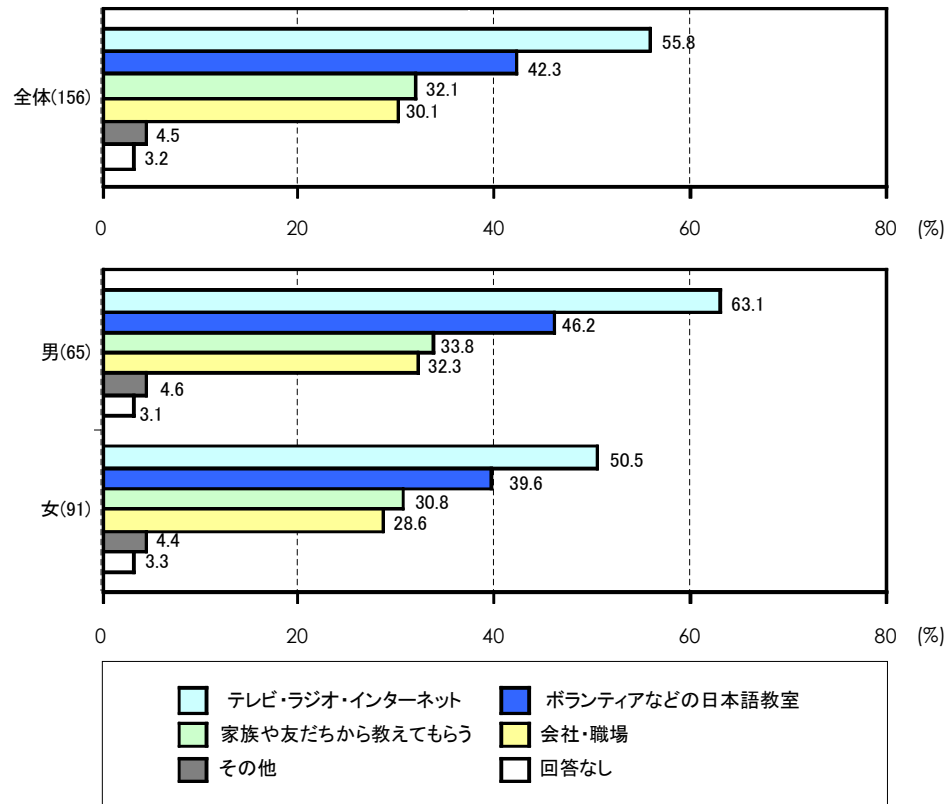


- ・在留資格別では、各資格ともに日本で生活していくために必要が最も多く、その他、技能実習は日本人の友だちともっと話したい、日本語能力試験に合格したい、その他の就労資格、非就労資格は仕事に必要な割合がそれぞれ高いことが特徴である。

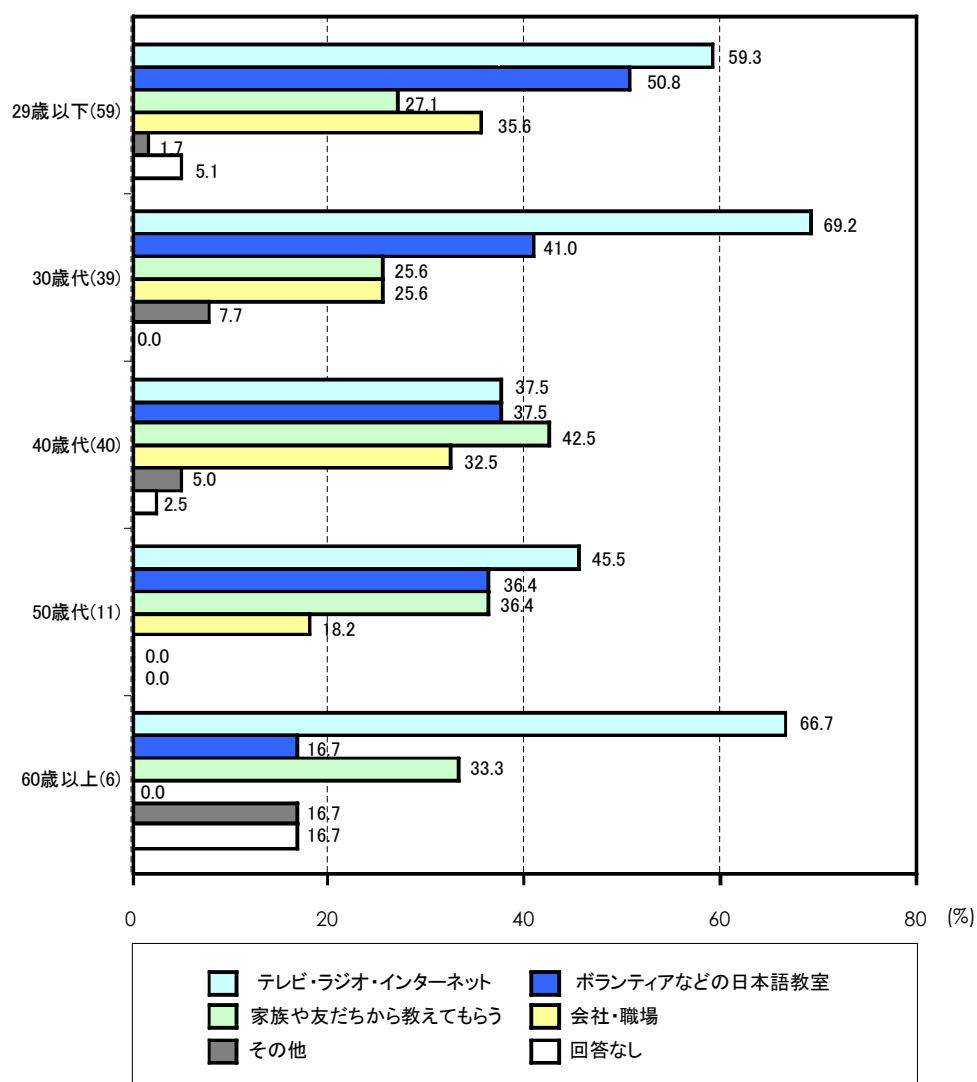


(6) どのように日本語を勉強している、勉強したいか（複数回答）

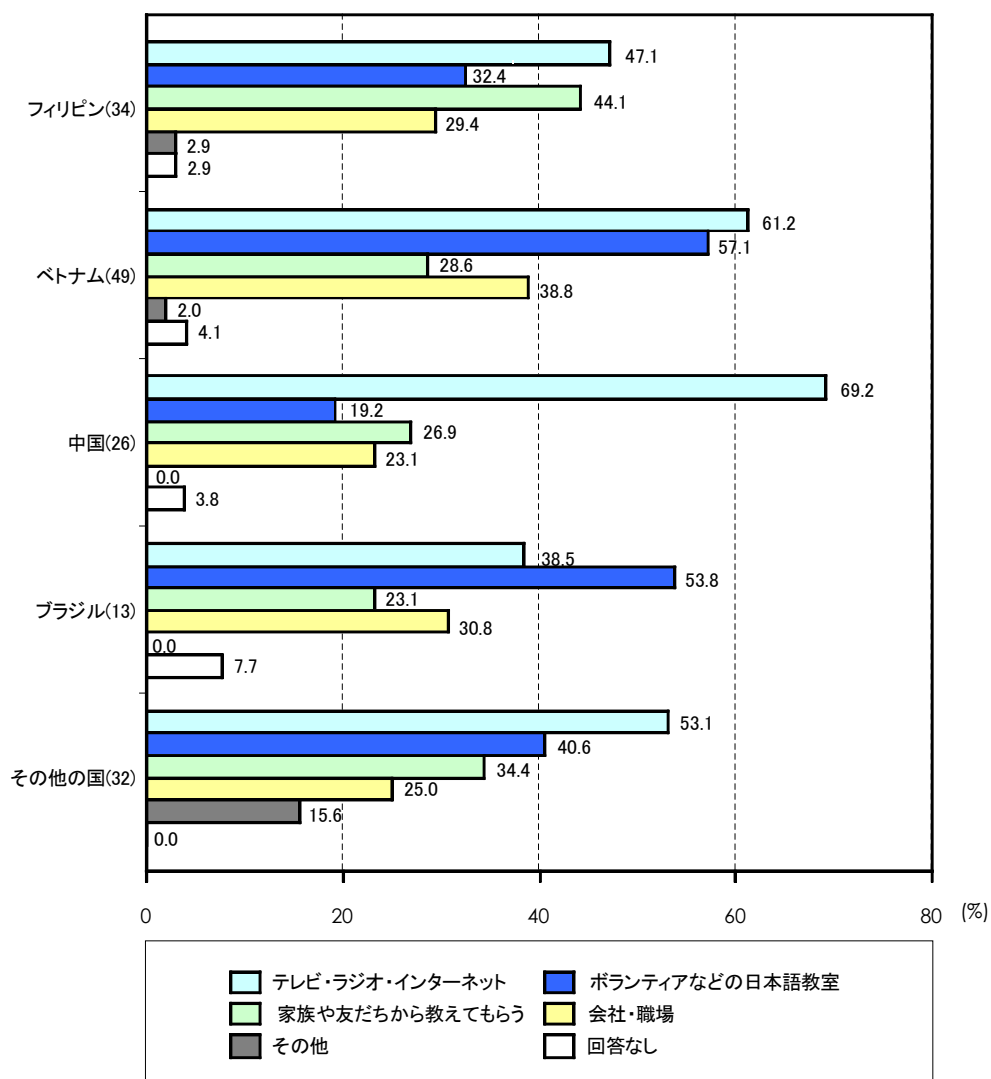
- ・全体では、テレビ・ラジオ・インターネットが 55.8%と最も多く、次いでボランティアなどの日本語教室が多い。
- ・性別では、男性の方がテレビ・ラジオ・インターネット、ボランティアなどの日本語教室ともに割合が高い。



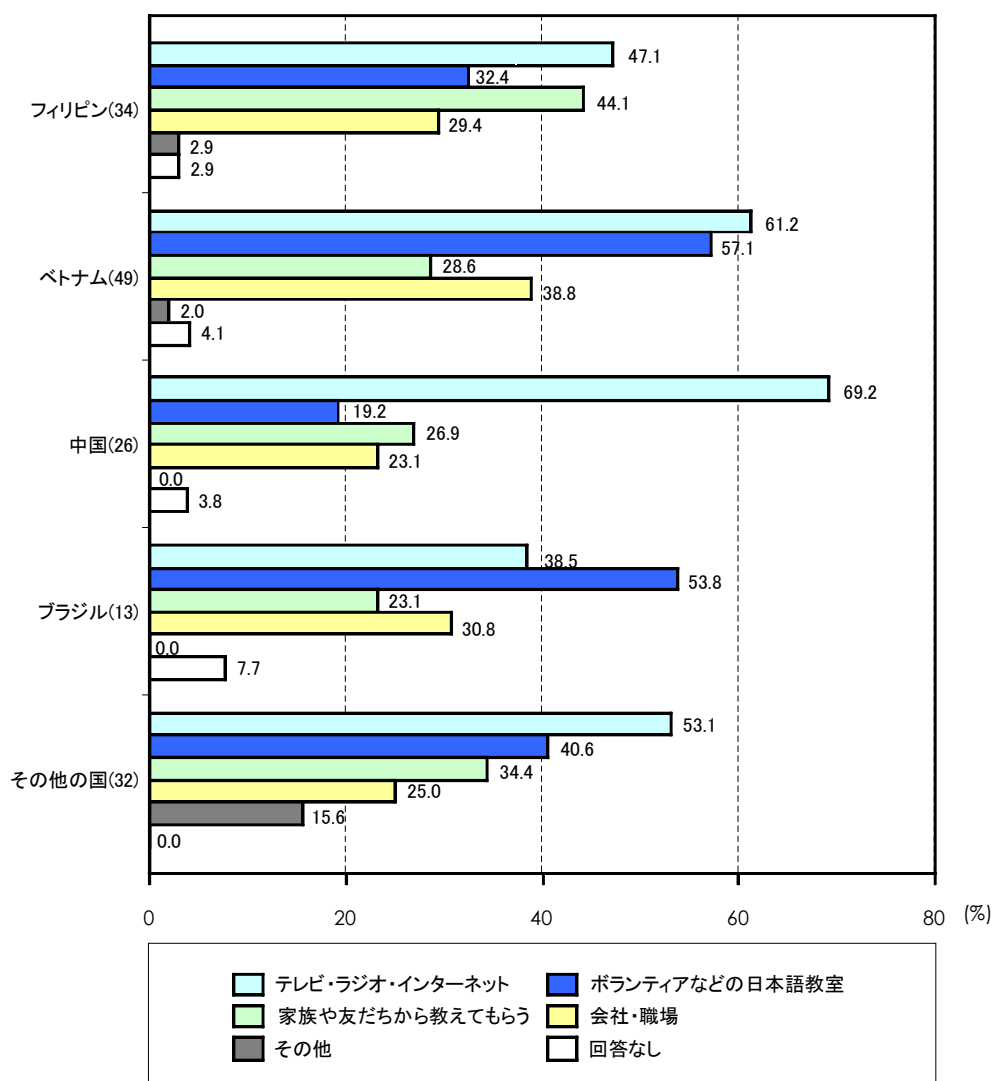
- ・年齢別では、40歳代以外の各年代はテレビ・ラジオ・インターネットが多いが、40歳代は家族や友だちから教えてもらうが最も多い。



- ・国籍別では、フィリピン、ベトナム、中国はテレビ・ラジオ・インターネットが最も多いが、ブラジルはボランティアなどの日本語教室が最も多い。



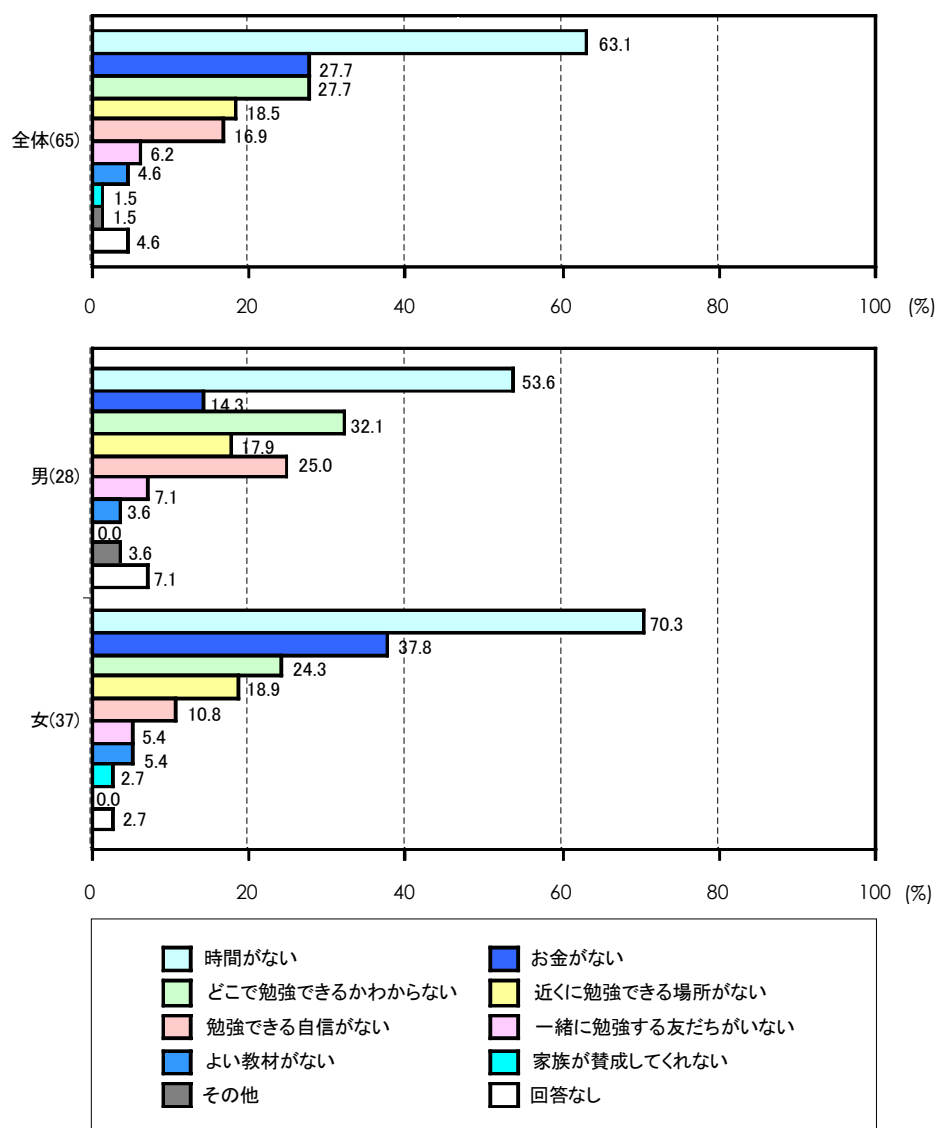
- ・在留資格別では、各資格ともにテレビ・ラジオ・インターネットが最も多いが、技能実習ではボランティアなどの日本語教室も多い。



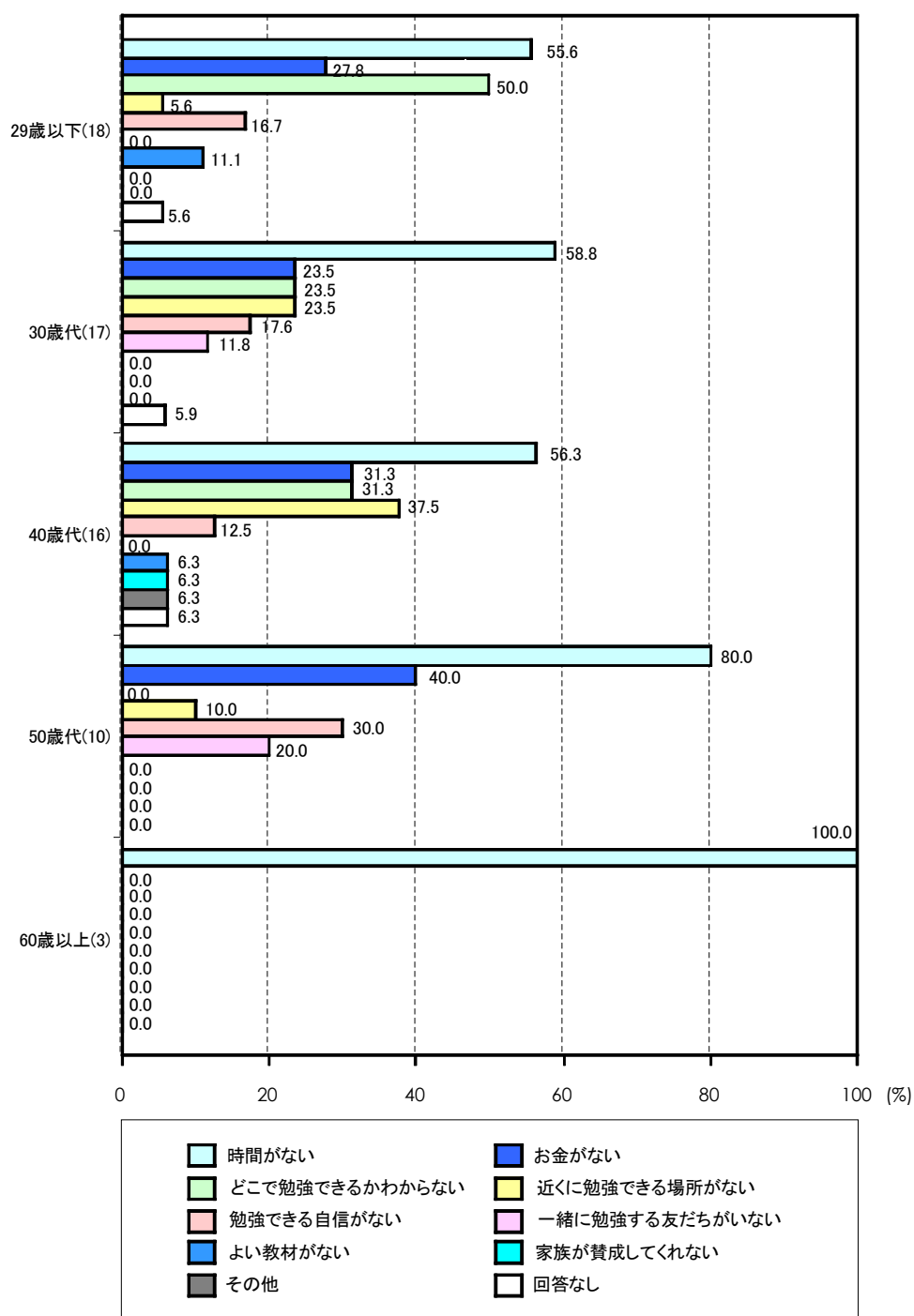
((7) は、日本語を勉強したいができない人のみが回答)

(7) 日本語を勉強できない理由(複数回答)

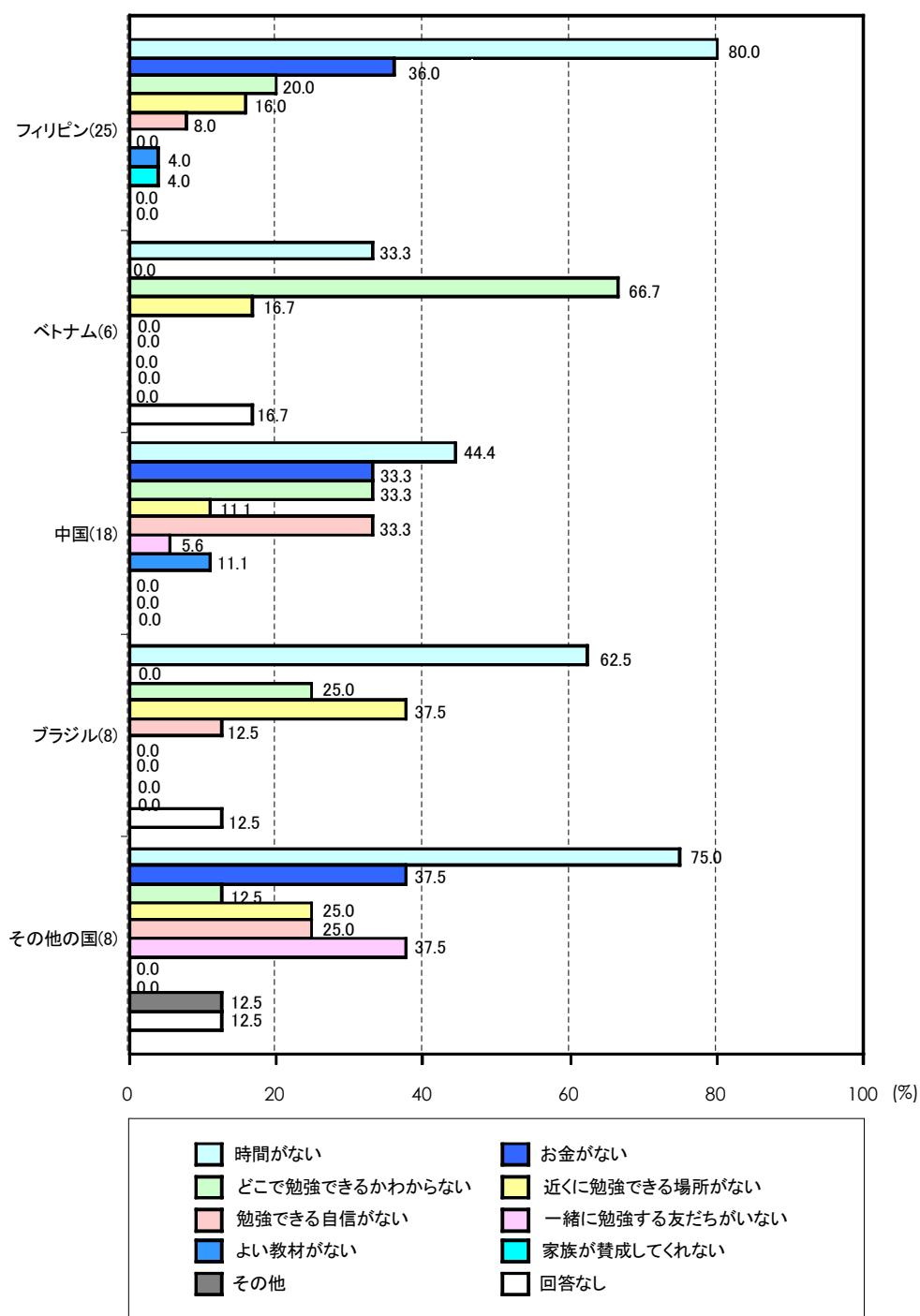
- ・全体では、時間がないが 63.1%と最も多く、次いでお金がない、どこで勉強できるかわからないが多い。
- ・性別では、女性は時間がない、お金がないが多いが、男性はどこで勉強できるかわからない、勉強できる自信がないが多い。



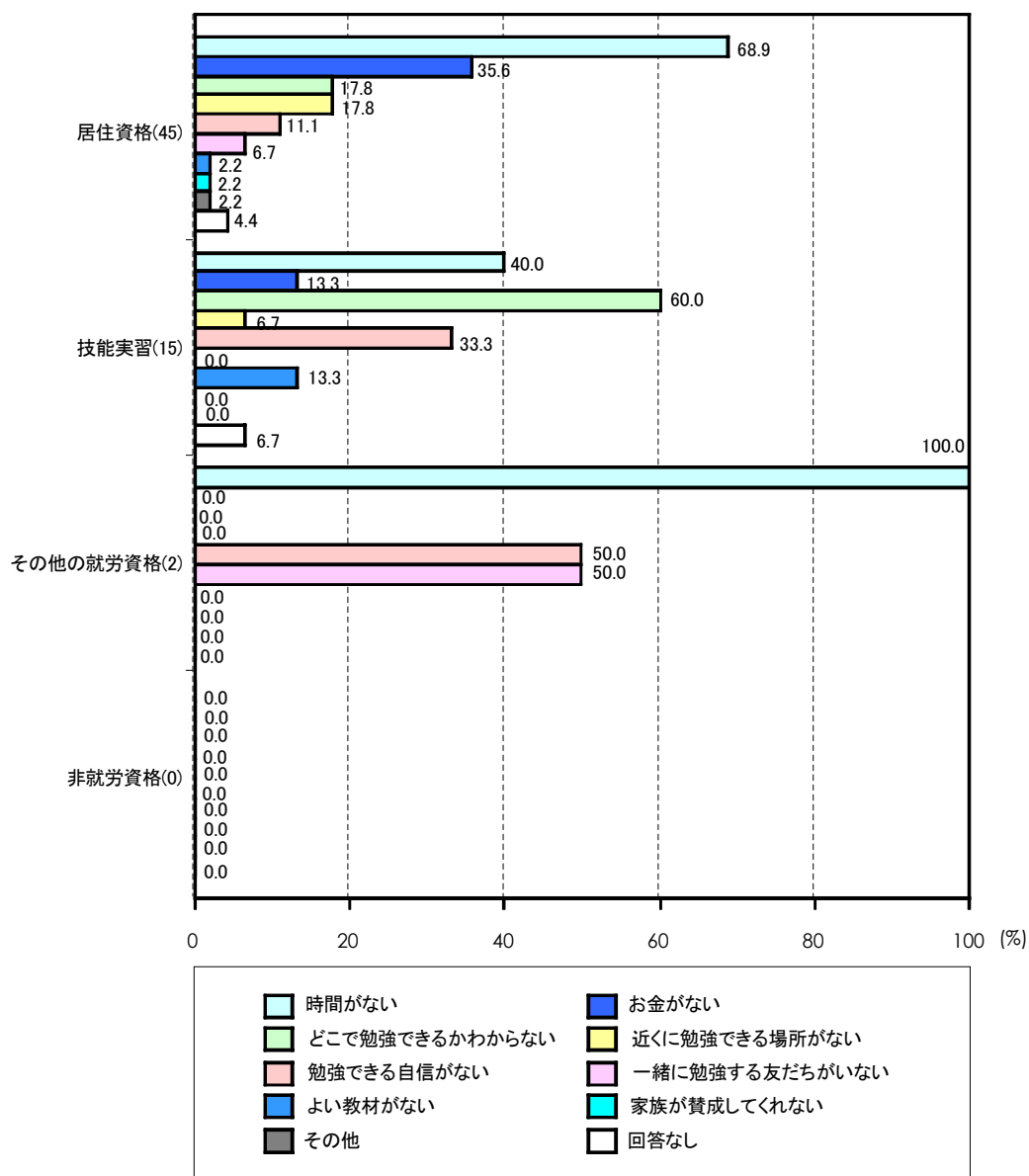
- ・年齢別では、各年代ともに時間がないが最も多いが、29歳以下はどこで勉強できるかわからない、30歳代、40歳代、50歳代は勉強できる自信がないも多い。



- ・国籍別では、フィリピン、中国、ブラジルは時間がないが最も多いが、ベトナムはどこで勉強できるかわからないが最も多い。



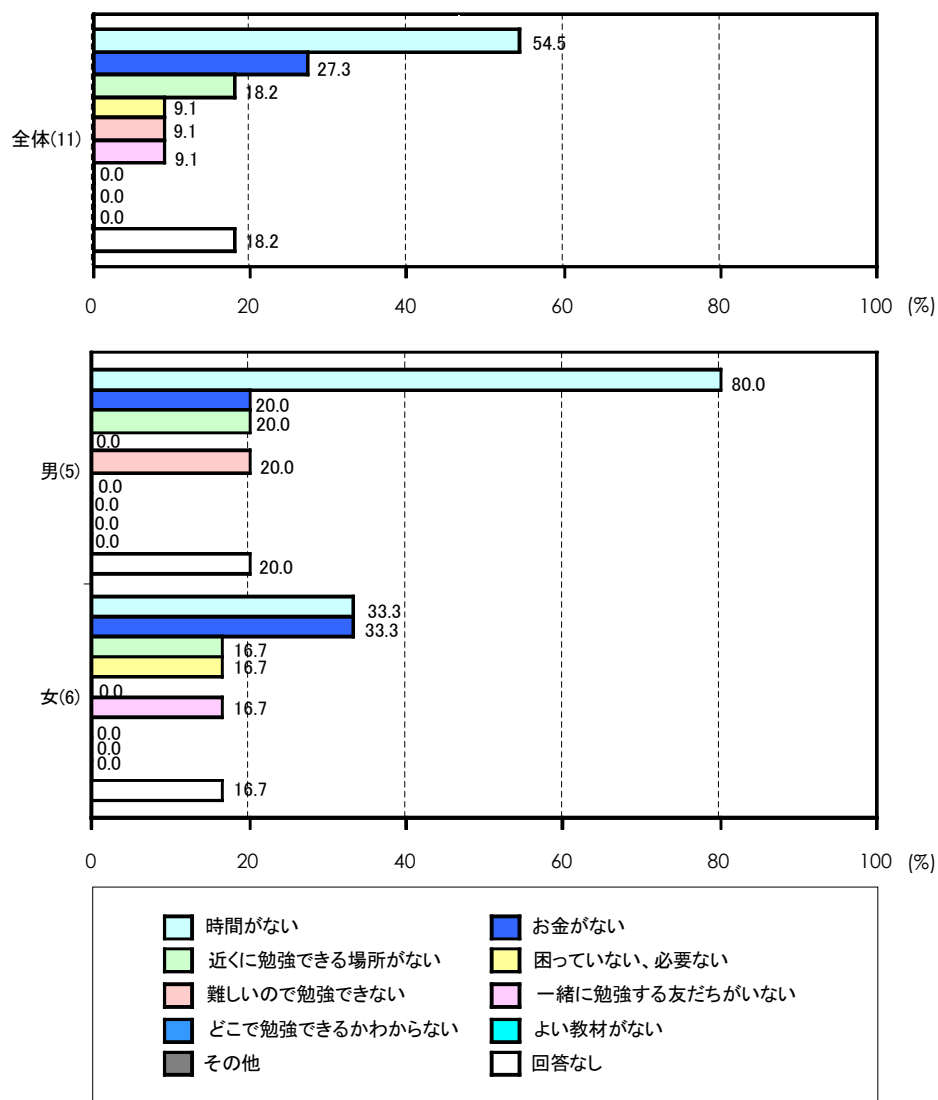
- ・在留資格別では、居住資格は時間がないが最も多いが、技能実習はどこで勉強できるかわからないが最も多い。



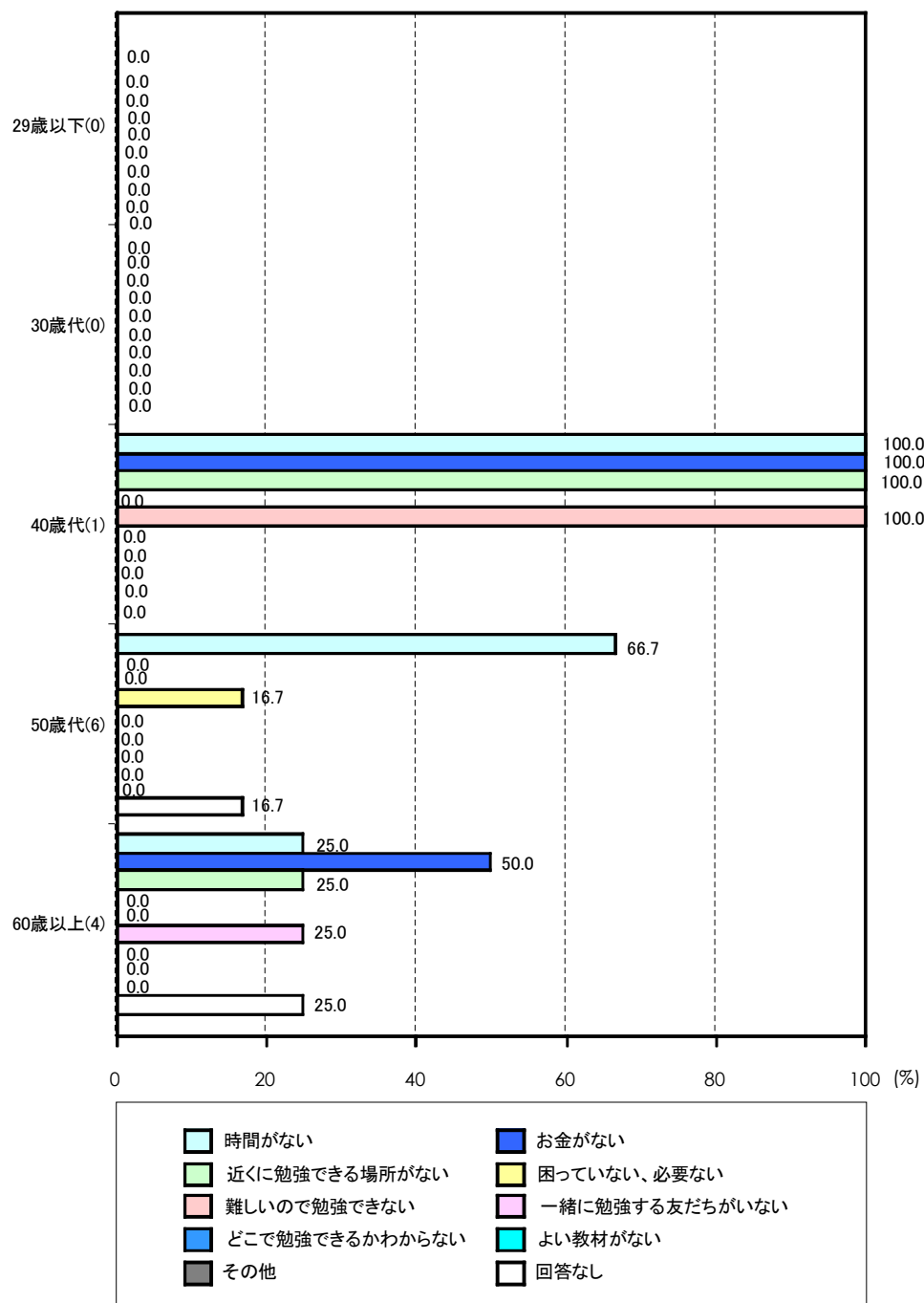
((8) は、日本語を勉強したくない人のみが回答)

(8) 日本語を勉強したくない理由(複数回答)

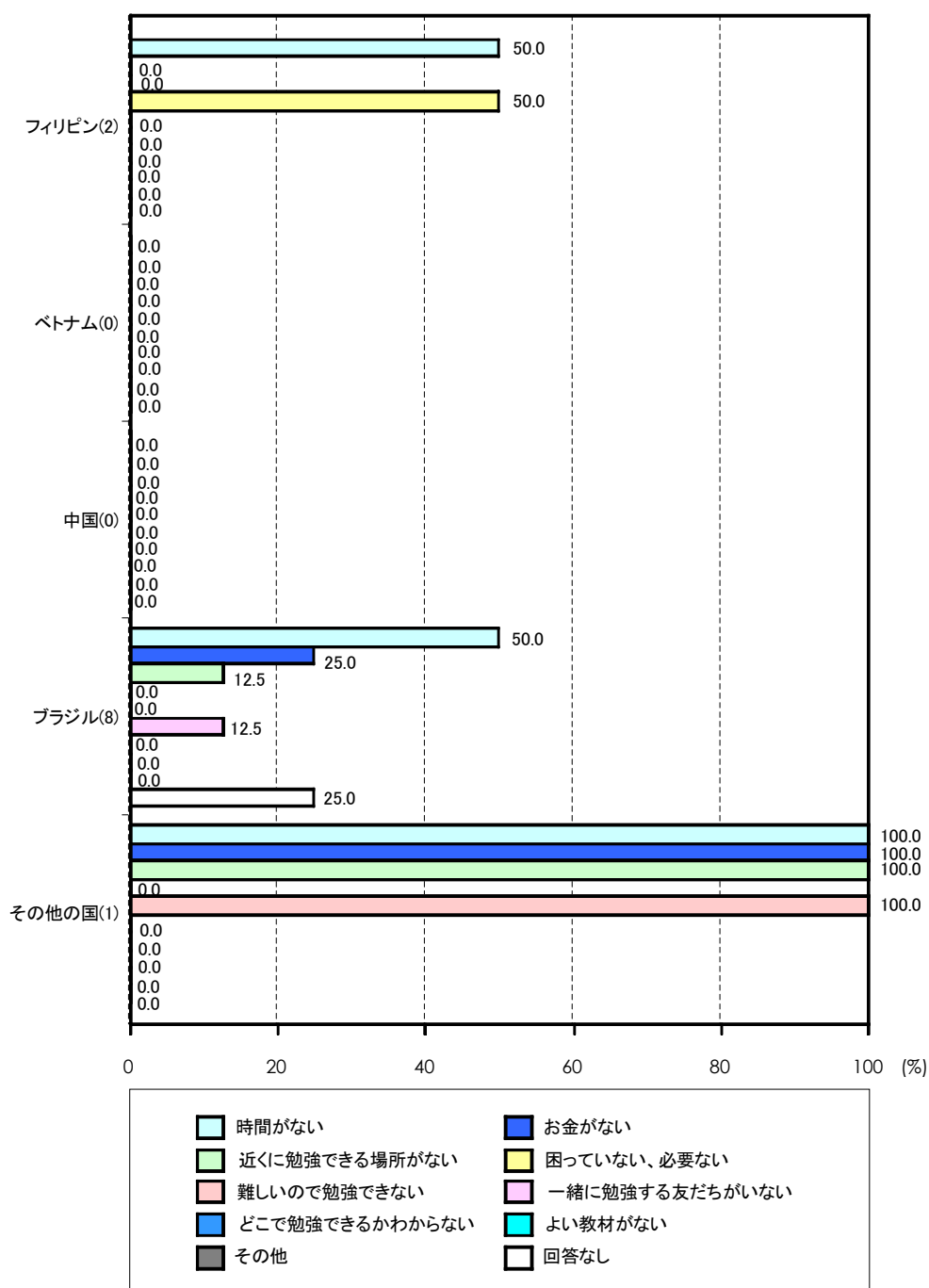
- ・全体では、時間がないが 54.5%と最も多く、次いでお金がない、近くに勉強できる場所がないが多い。
- ・性別では、男性は時間がないが多く、女性は時間がない、お金がないが多い。



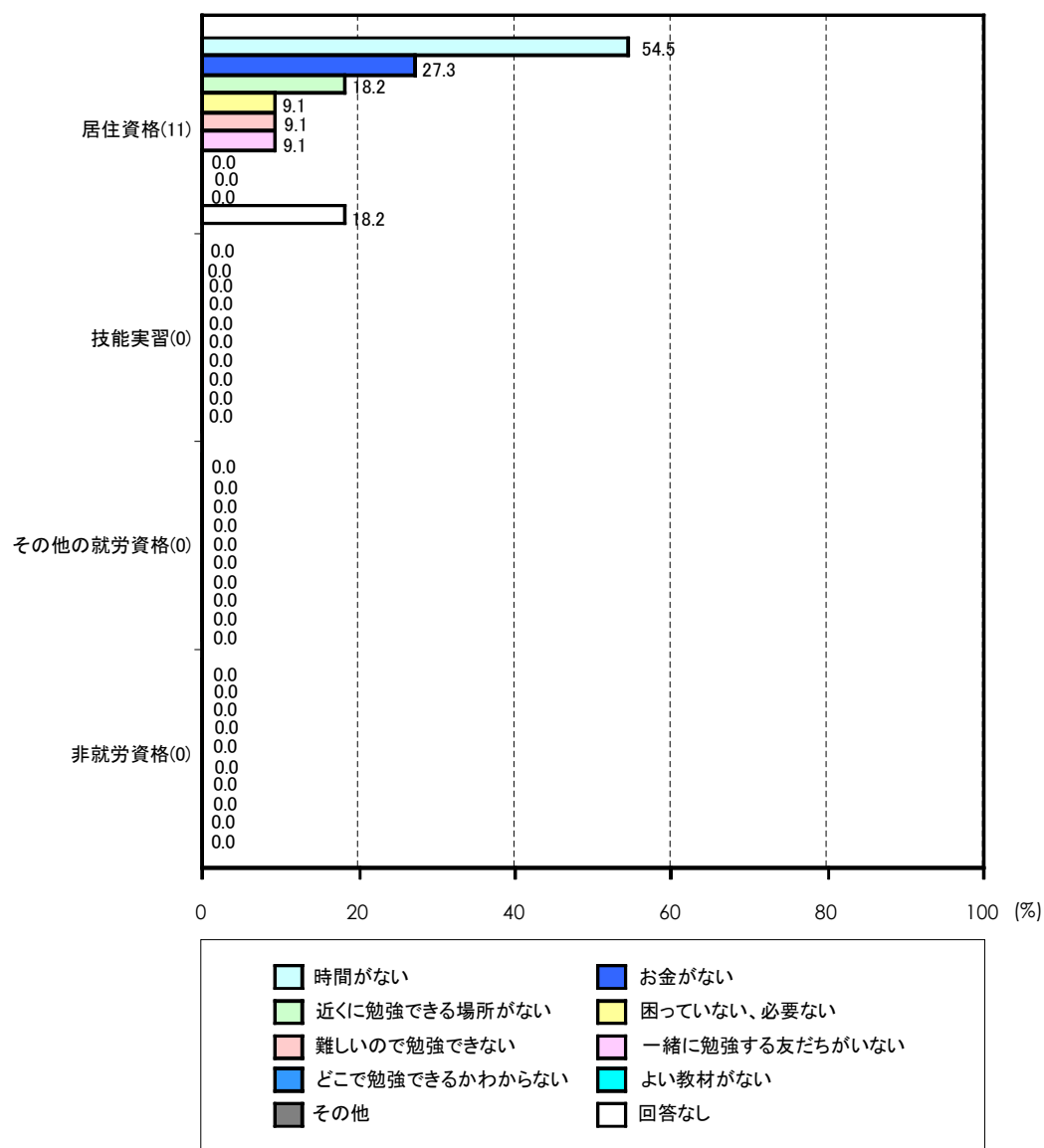
- ・年齢別では、50歳代は時間がないが多く、60歳以上はお金がないが多い。



・国籍別では、ブラジルが時間がないが多い。



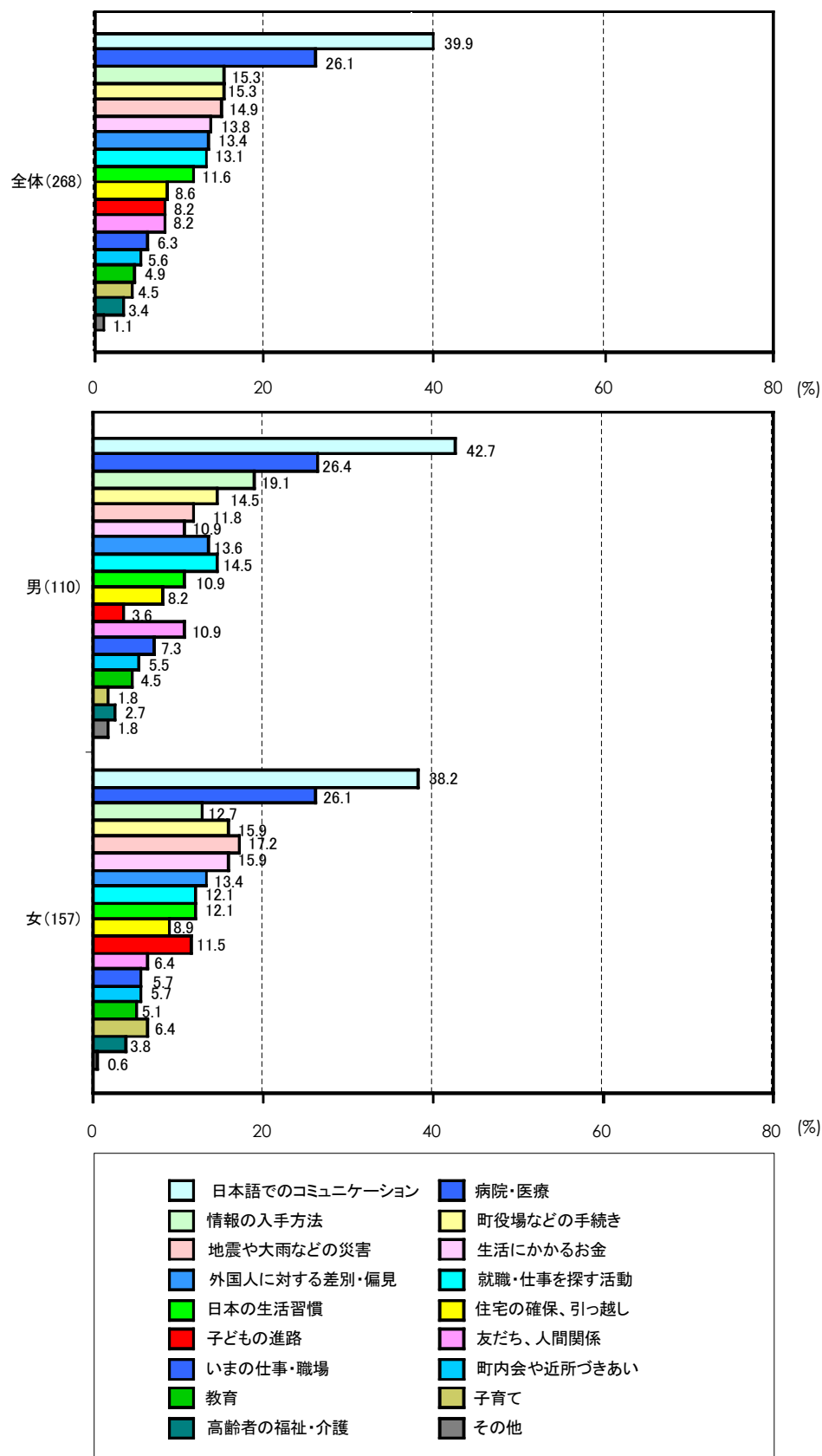
・在留資格別では、居住資格は時間がないが最も多く、次いで時間がないが多い。



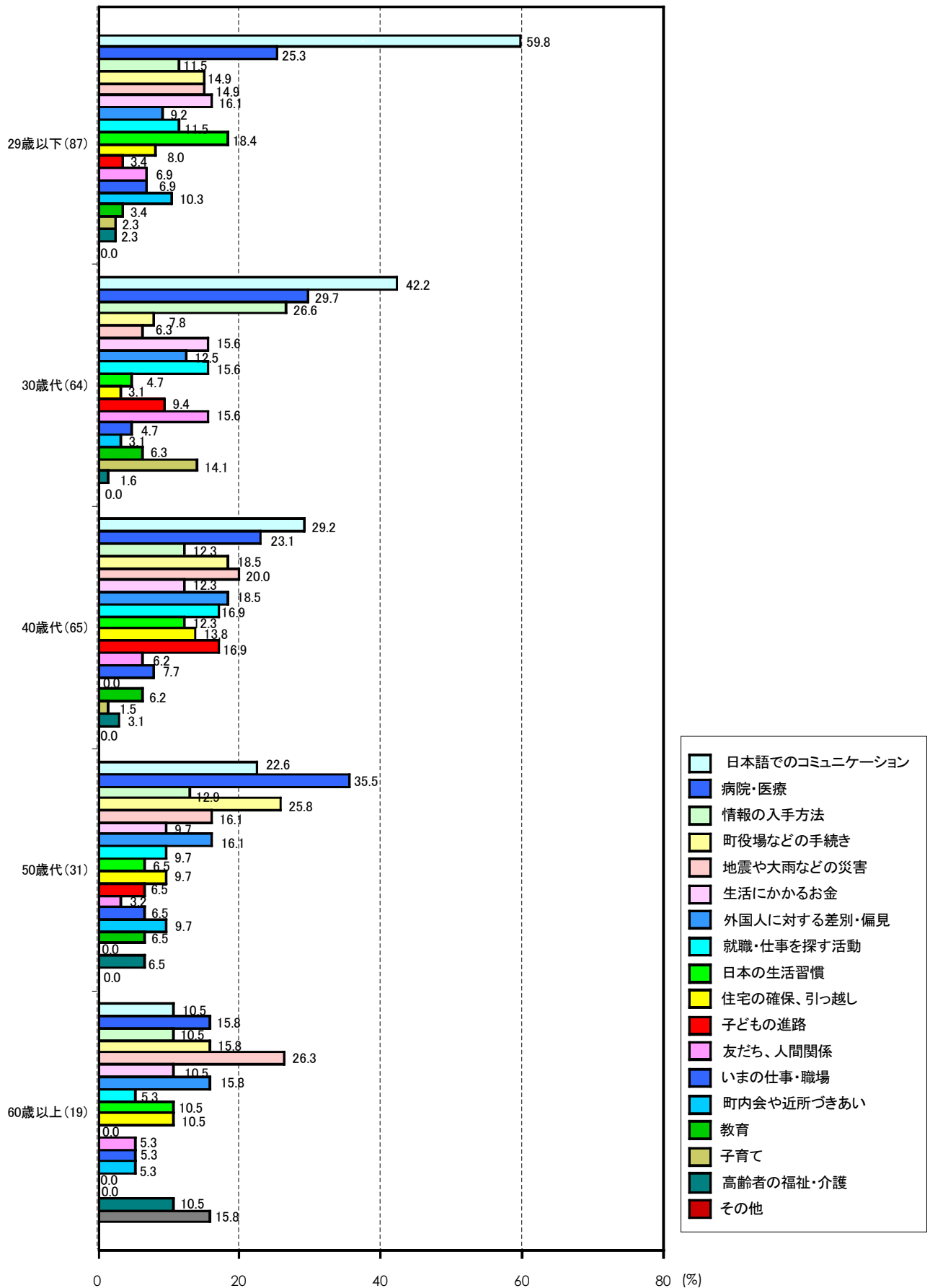
8. 日本での生活の困りごとと情報入手について

(1) 日本での生活の困りごと（複数回答）

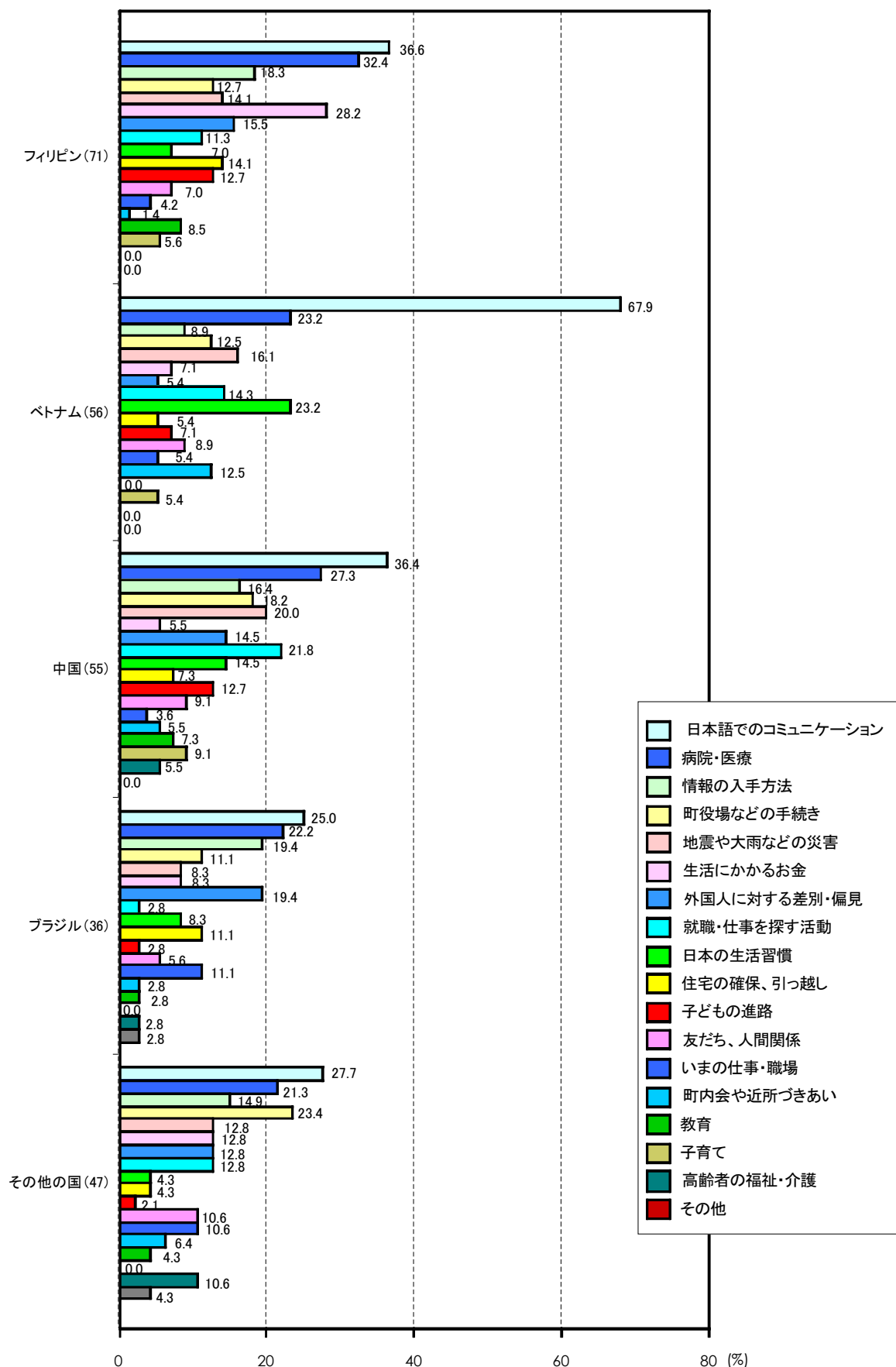
- ・全体では、日本語でのコミュニケーションが最も多く、次いで病院・医療が多い。
- ・性別でも、男女ともに日本語でのコミュニケーション、病院・医療が多い。



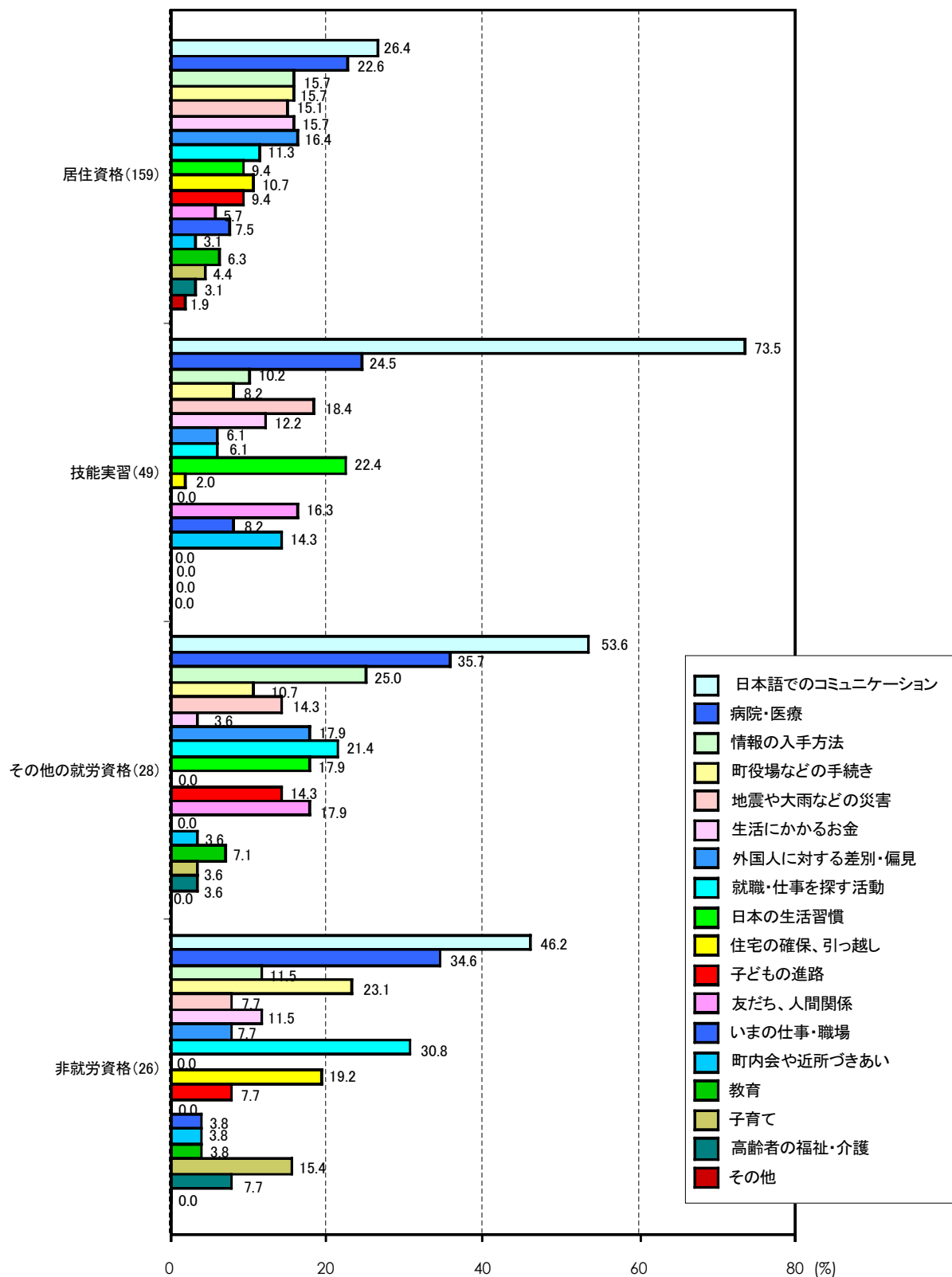
- ・年齢別では、40 歳代以下では日本語でのコミュニケーションが最も多く、50 歳代では病院・医療、60 歳代では地震や大雨などの災害が最も多い。



- ・国籍別では、いずれの国も日本語でのコミュニケーション、病院・医療が多いが、その他、フィリピンは生活にかかるお金、ベトナムは日本の生活習慣、中国は就職・仕事を探す活動、ブラジルは外国人に対する差別・偏見も多いことが特徴である。

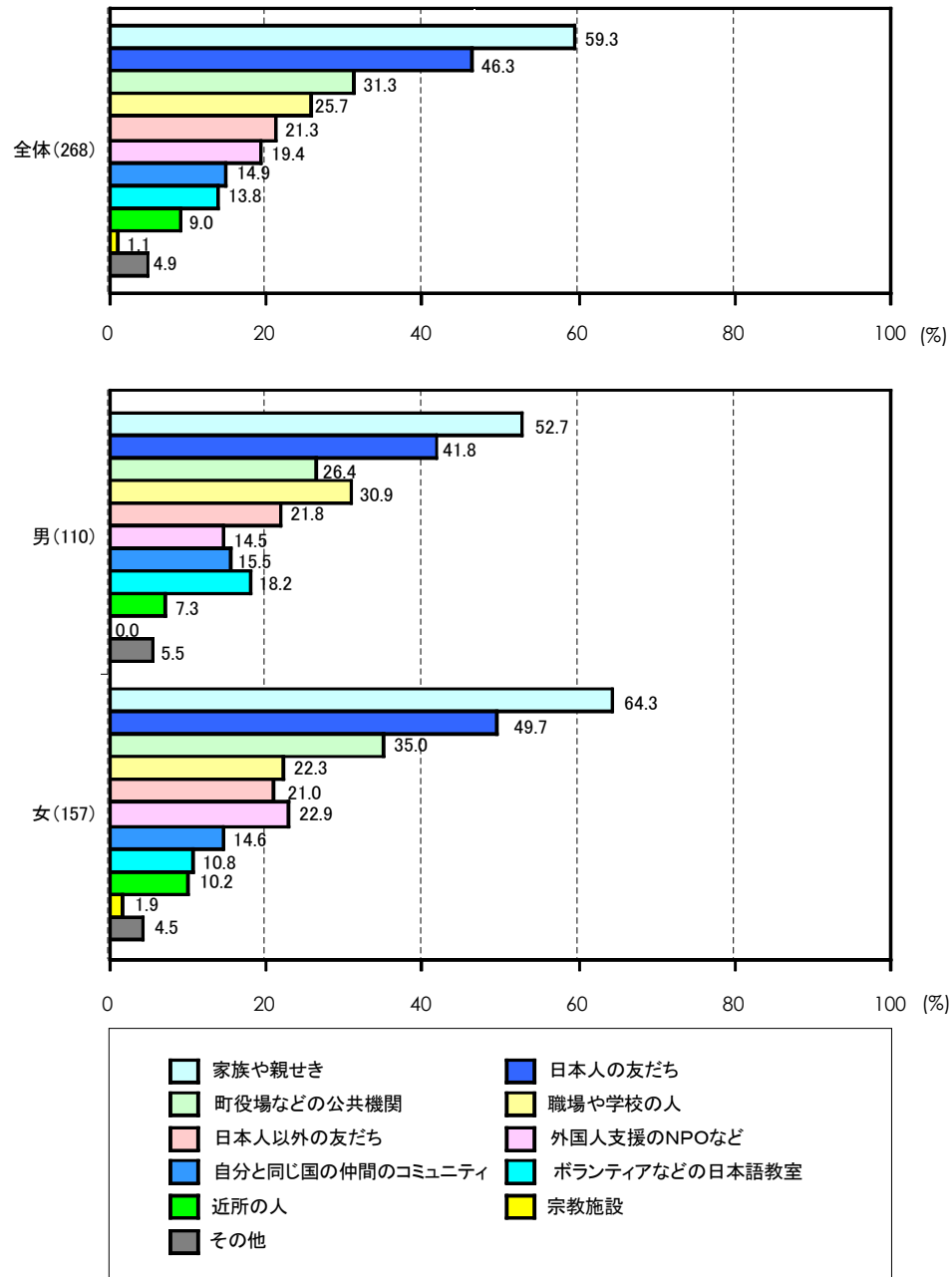


- ・在留資格別では、いずれの資格も日本語でのコミュニケーション、病院・医療が多いが、その他、技能実習は日本の生活習慣、その他の就労資格は情報の入手方法、就職・仕事を探す活動、非就労資格は就職・仕事を探す活動、町役場などの手続きも多いことが特徴である。

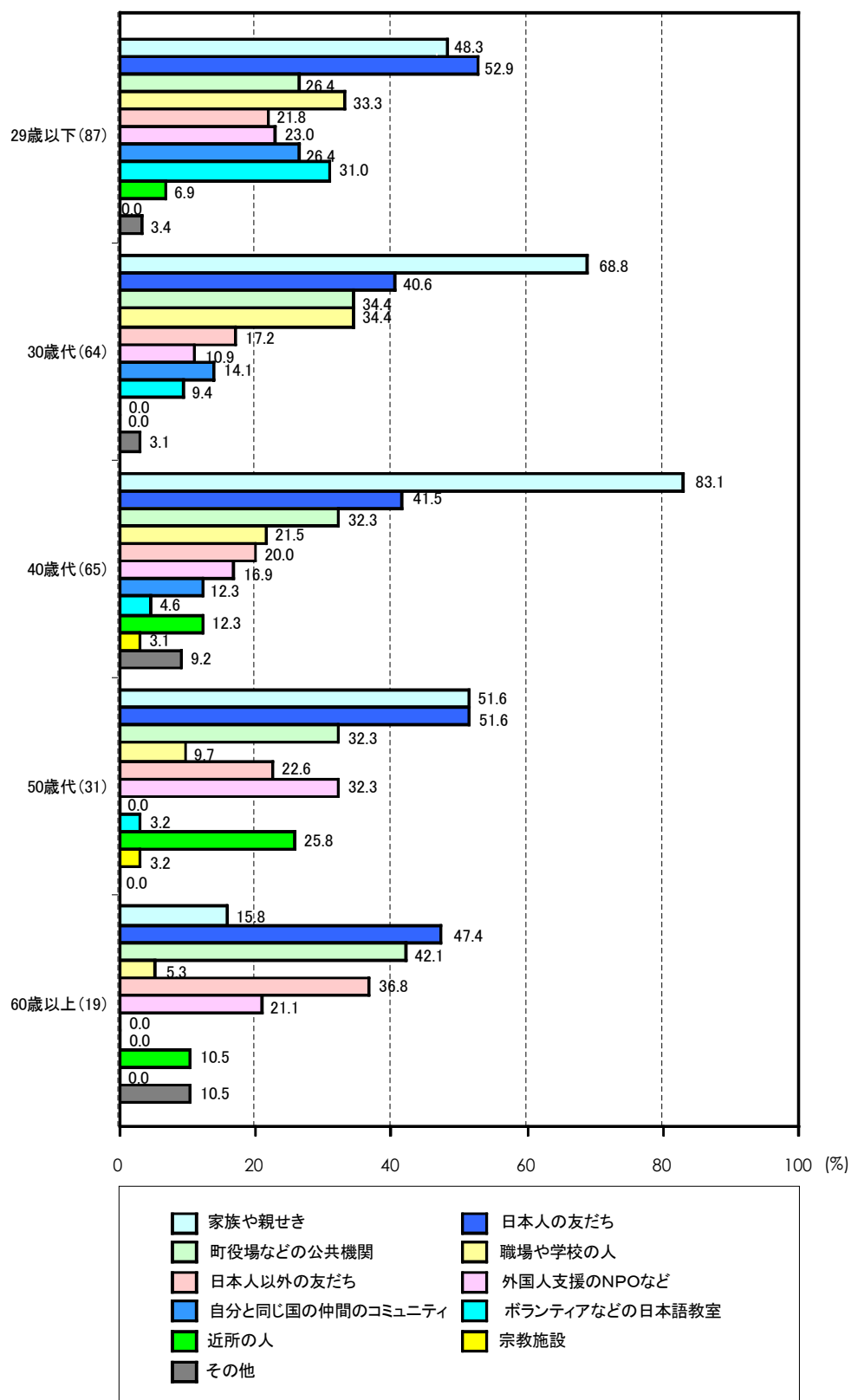


(2) 困りごとを相談したい人（複数回答）

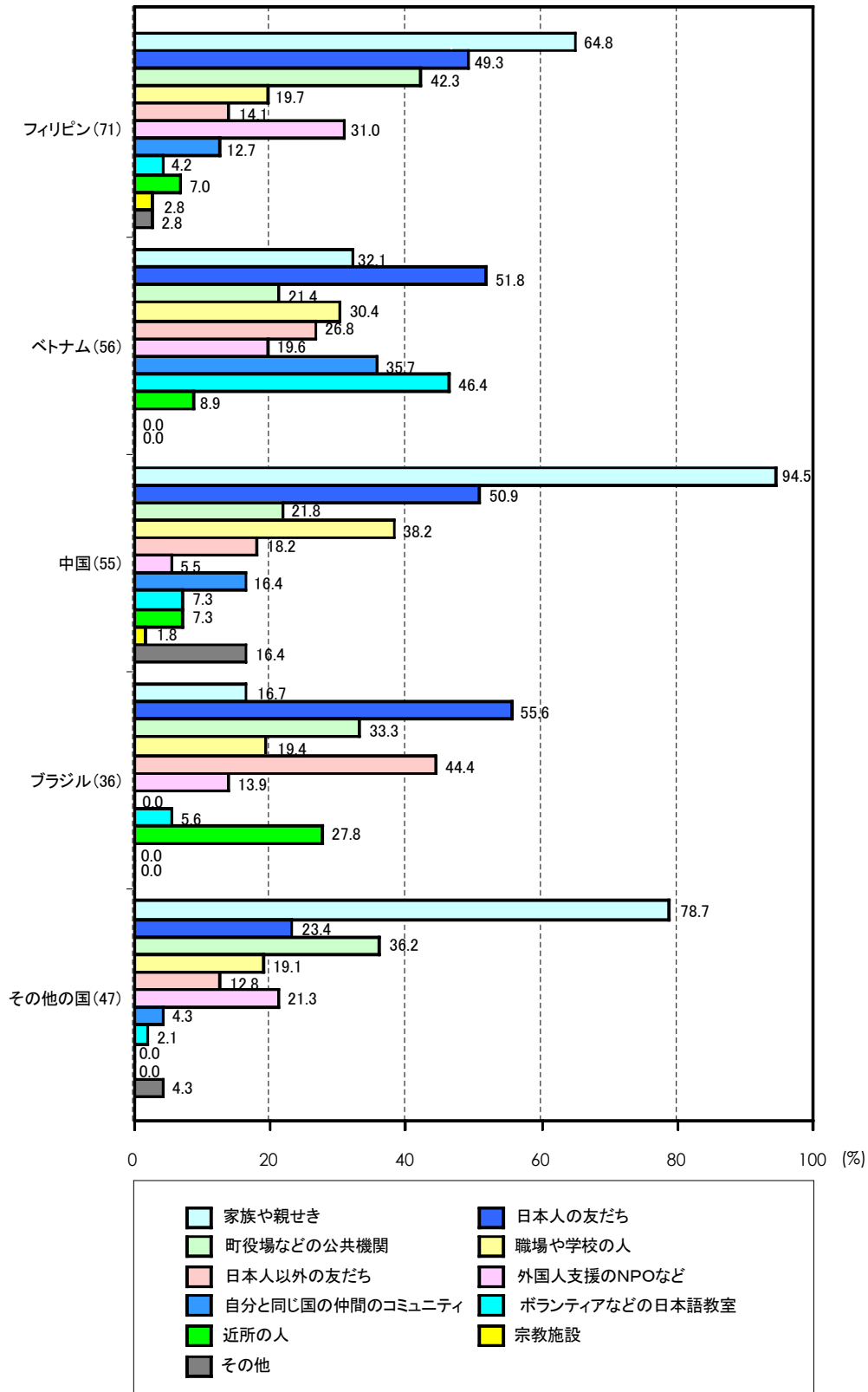
- ・全体では、家族や親せきが最も多く、次いで日本人の友だちが多い。
- ・性別では、男女ともに家族や親せき、日本人の友だちが多いが、男性は職場や学校の人、女性
性は町役場などの公共機関、外国人支援の NPO など多い。



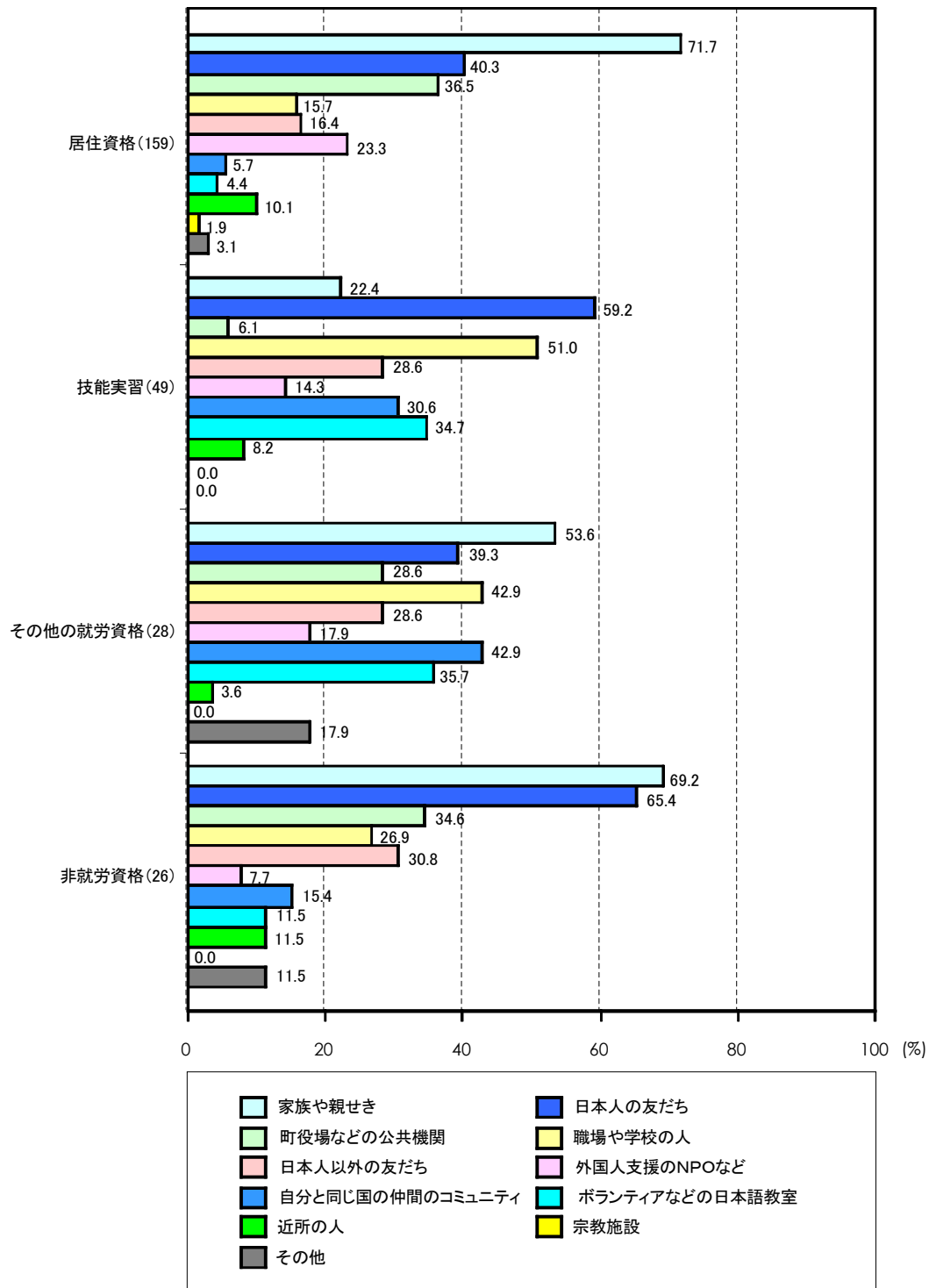
- ・年齢別では、30歳代、40歳代、50歳代は家族や親せきが最も多く、29歳以下、50歳代、60歳以上は日本人の友だちが最も多い。その他、29歳以下、30歳代は職場や学校の人、40歳代以上は町役場などの公共機関、60歳以上は日本人以外の友だちも多い。



- ・国籍別では、フィリピン、中国は家族や親せきが最も多く、ベトナム、ブラジルは日本人の友だちが最も多い。その他、フィリピンは日本人の友だち、町役場などの公共機関、外国人支援のNPOなど、ベトナムはボランティアなどの日本語教室、自分と同じ国のコミュニティ、家族や親せき、中国は日本人の友だち、職場や学校の人、ブラジルは日本人以外の友だち、町役場などの公共機関も多い。

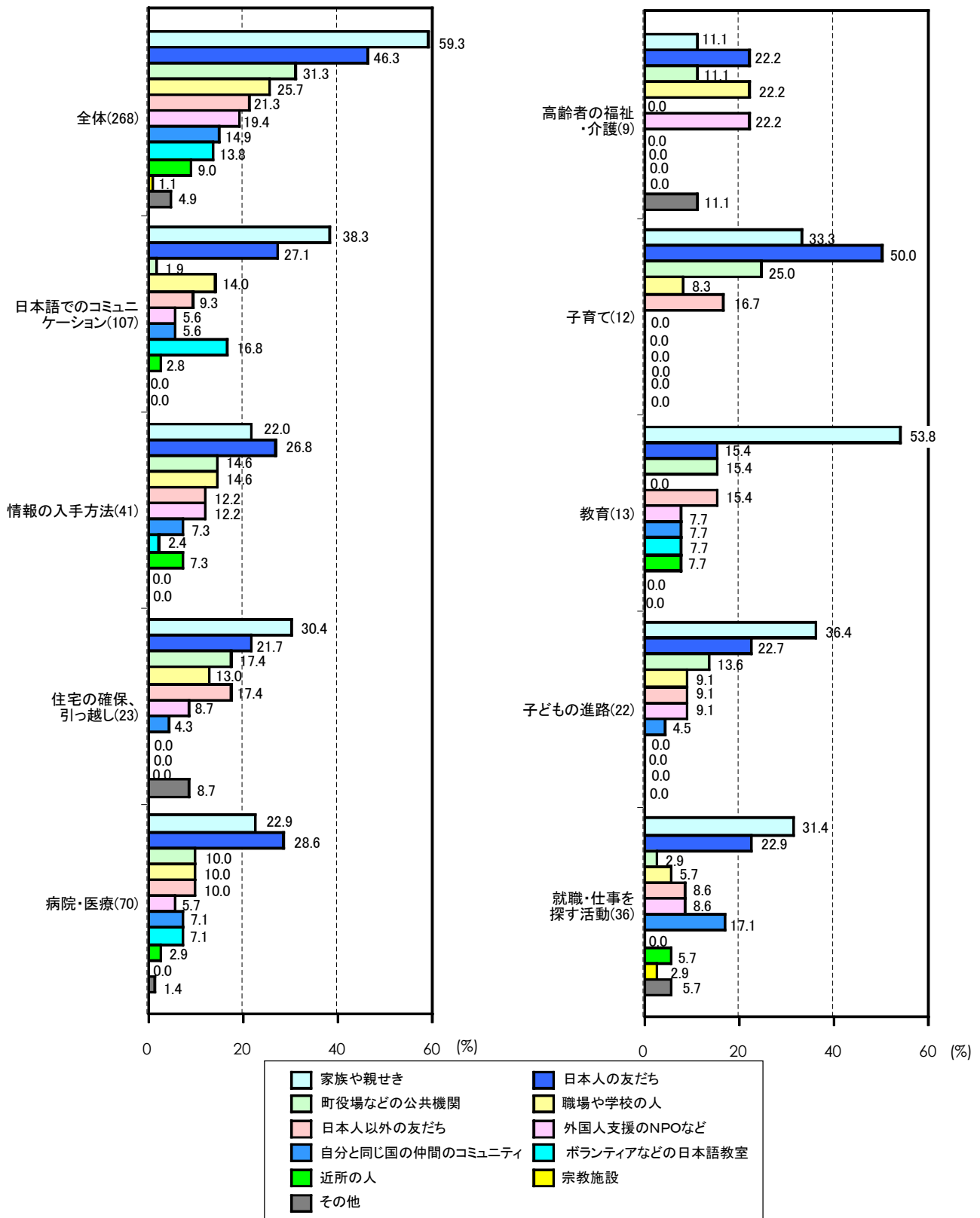


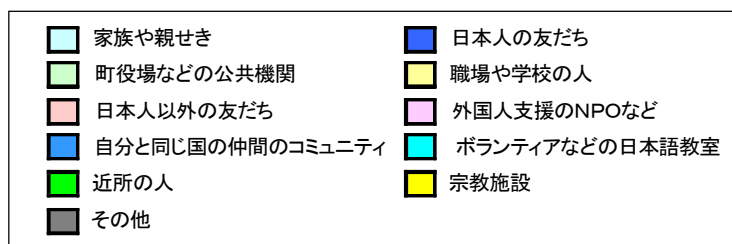
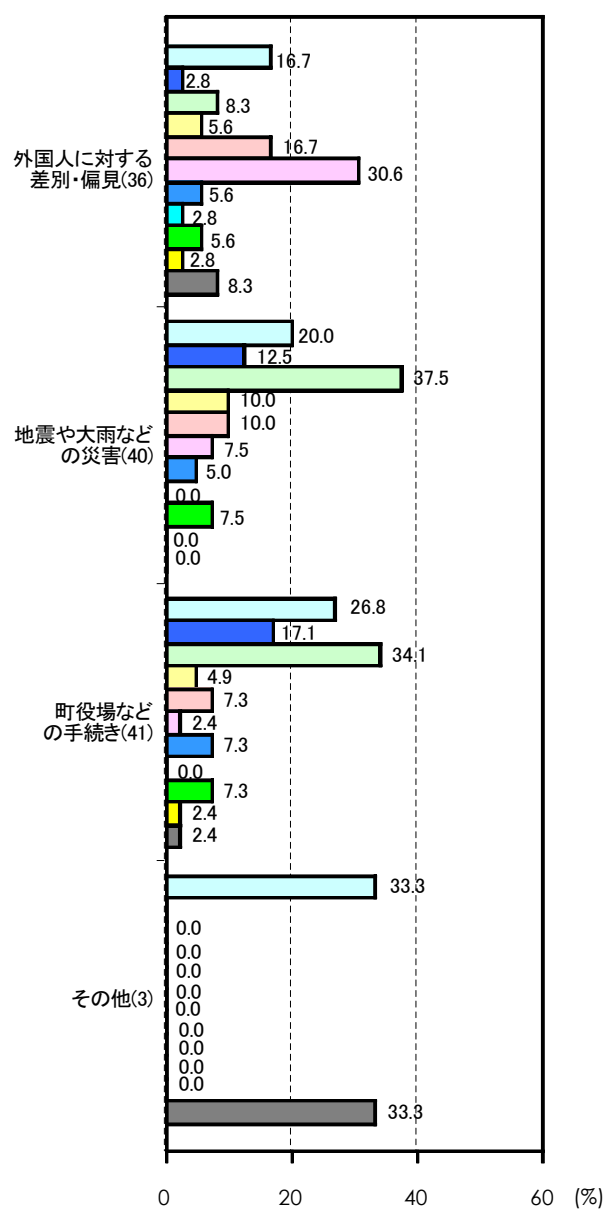
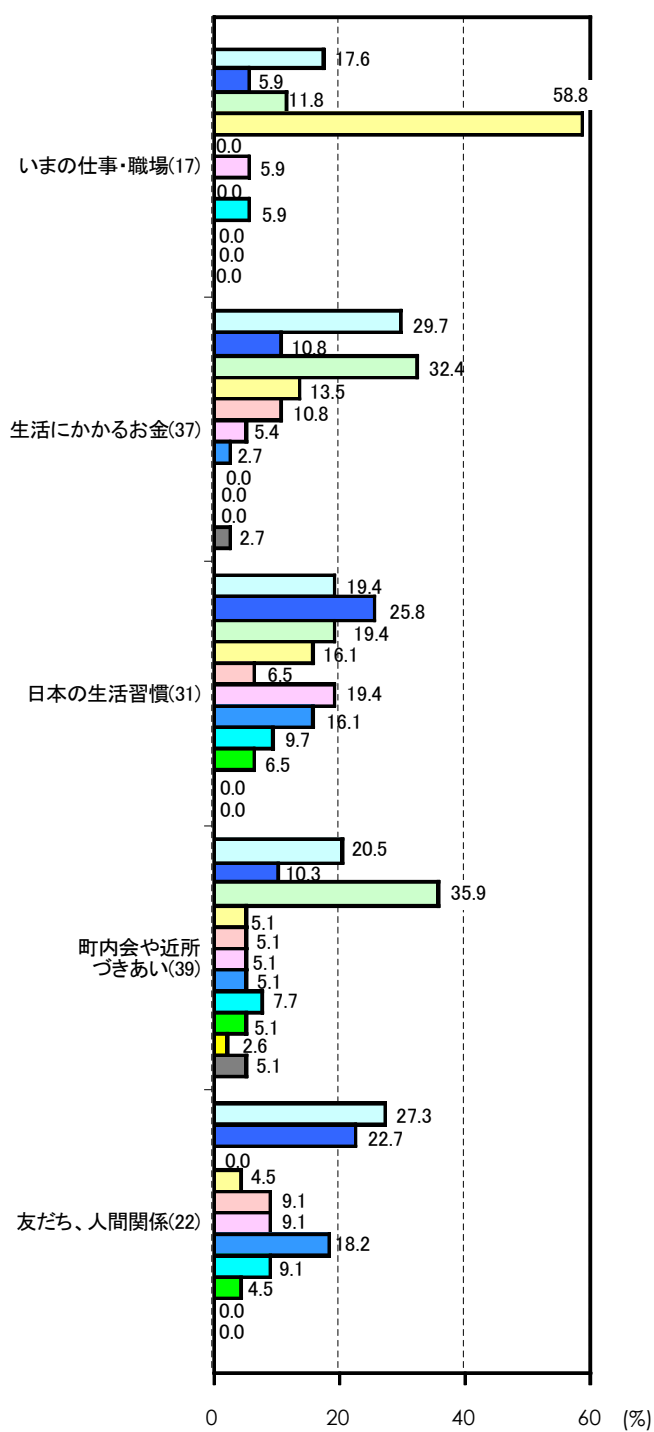
- ・在留資格別では、居住資格、その他の就労資格、非就労資格は家族や親せきが最も多く、技能実習は日本人の友だちが最も多い。その他、居住資格は日本人の友だち、町役場などの公共機関、技能実習は職場や学校の人、ボランティアなどの日本語教室、自分と同じ国のコミュニティ、その他の就労資格は自分と同じ国のコミュニティ、職場や学校の人、日本人の友だち、非就労資格は日本人の友だち、町役場などの公共機関、日本人以外の友だちも多い。



(3) 困りごとと相談したい人との関係（複数回答）

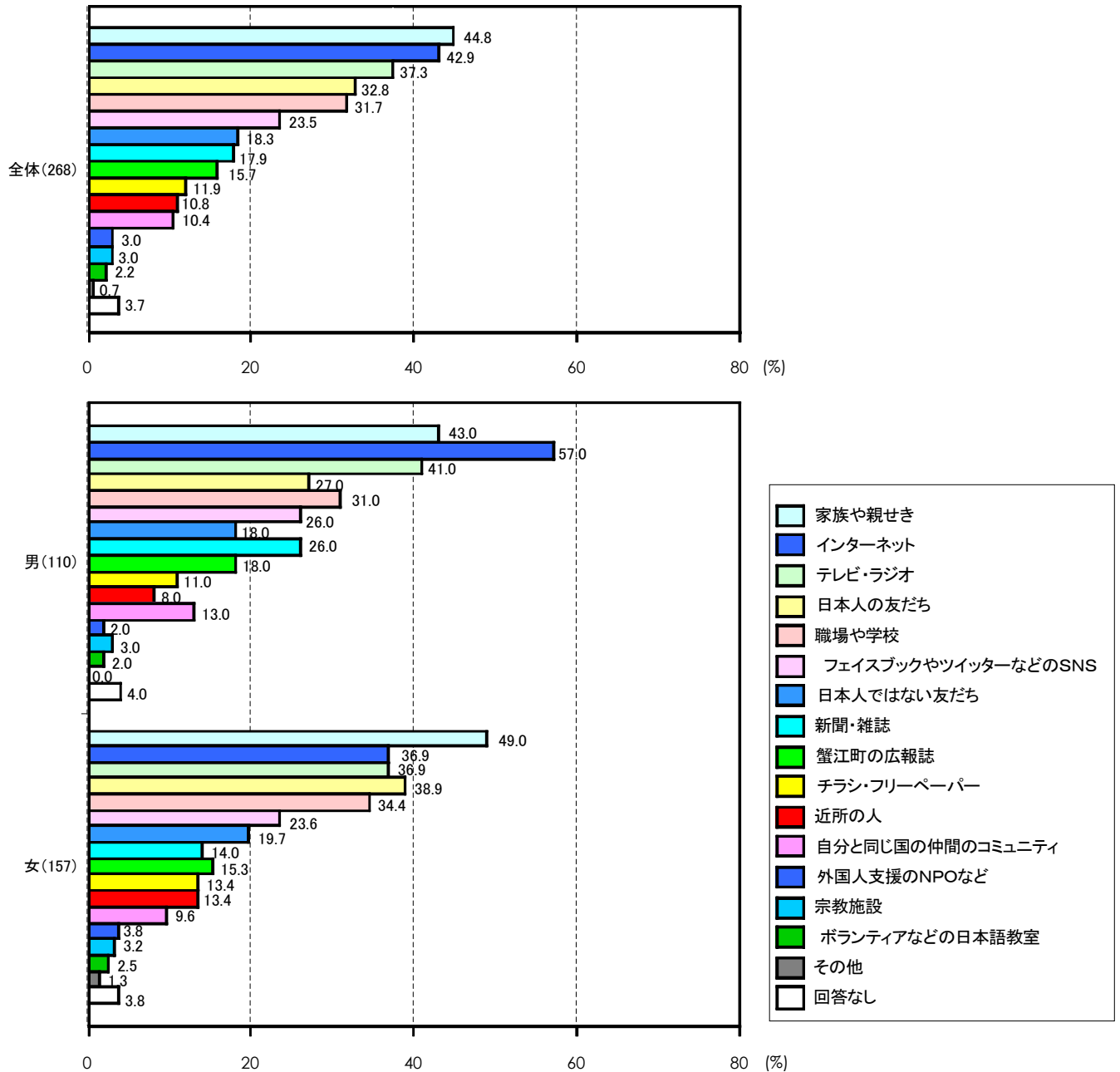
- ・ 家族や親せきへの相談は、日本語でのコミュニケーション、住宅の確保・引っ越し、子育て、教育、子どもの進路、就職・仕事を探す活動、生活にかかるお金、友だち・人間関係が多い。
- ・ 日本人の友だちへの相談は、情報の収集方法、病院・医療、子育て、日本の生活習慣が多い。
- ・ 町役場などの公共機関への相談は、生活にかかるお金、町内会や近所づきあい、地震や大雨などの災害、町役場などの手続きが多い。
- ・ 外国人支援などの NPO への相談は、外国人に対する差別・偏見が多い。



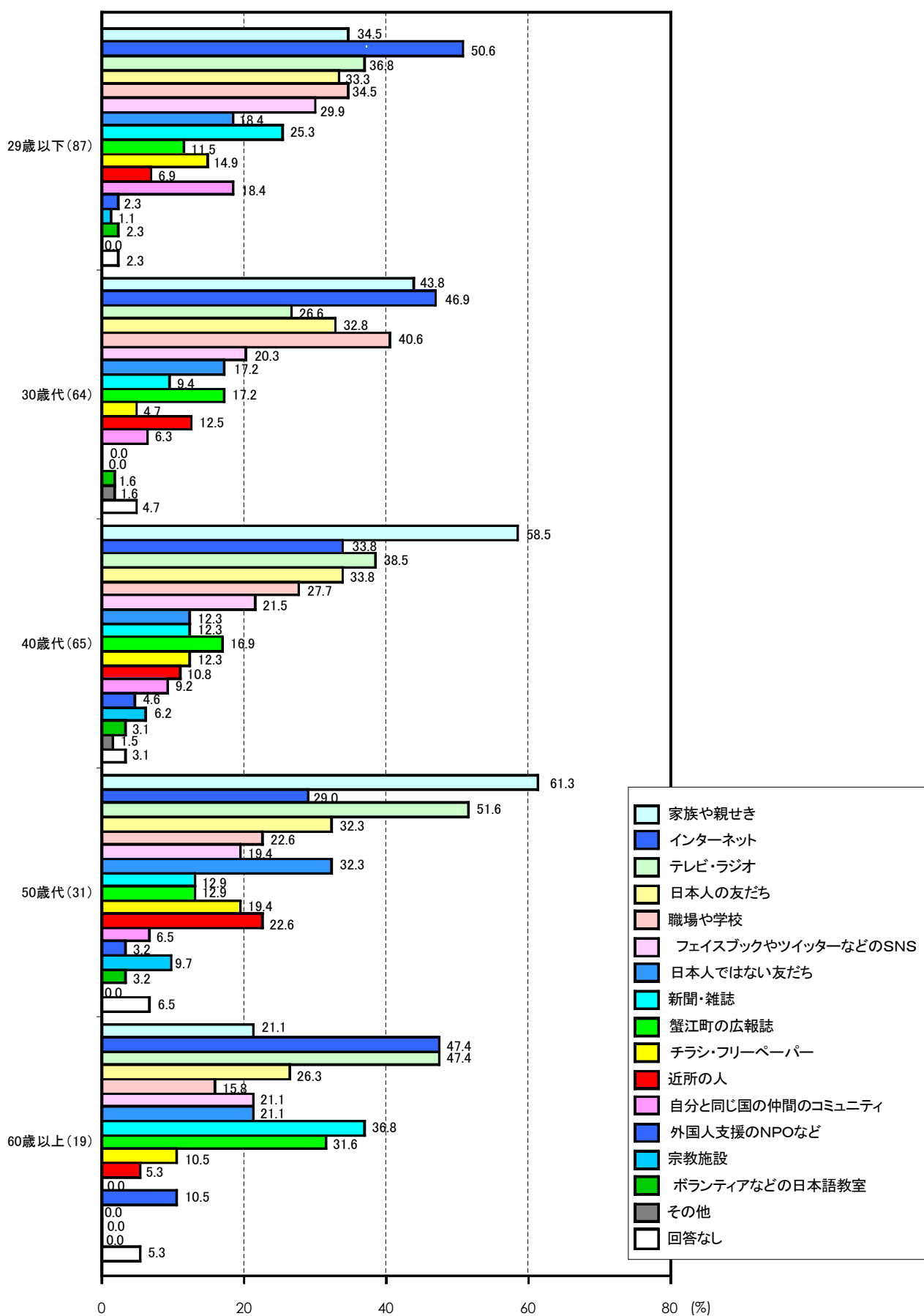


(4) 暮らしや地域の情報の入手方法（複数回答）

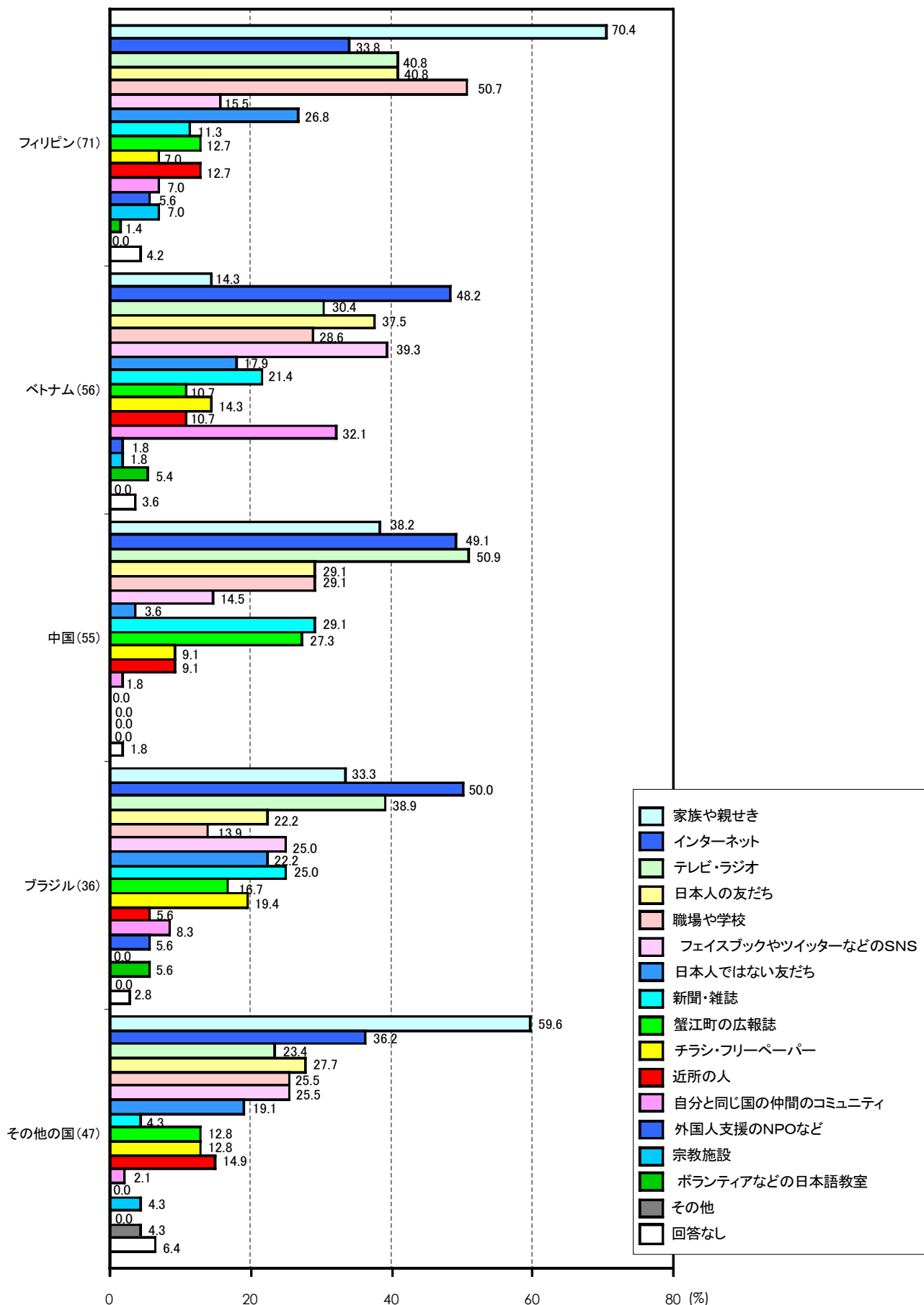
- ・全体では、家族や親せき、インターネット、テレビ・ラジオ、日本人の友だち、職場や学校の順が多い。
- ・性別では、男性はインターネットが多く、女性は家族や親せき、日本人の友だちが多い。



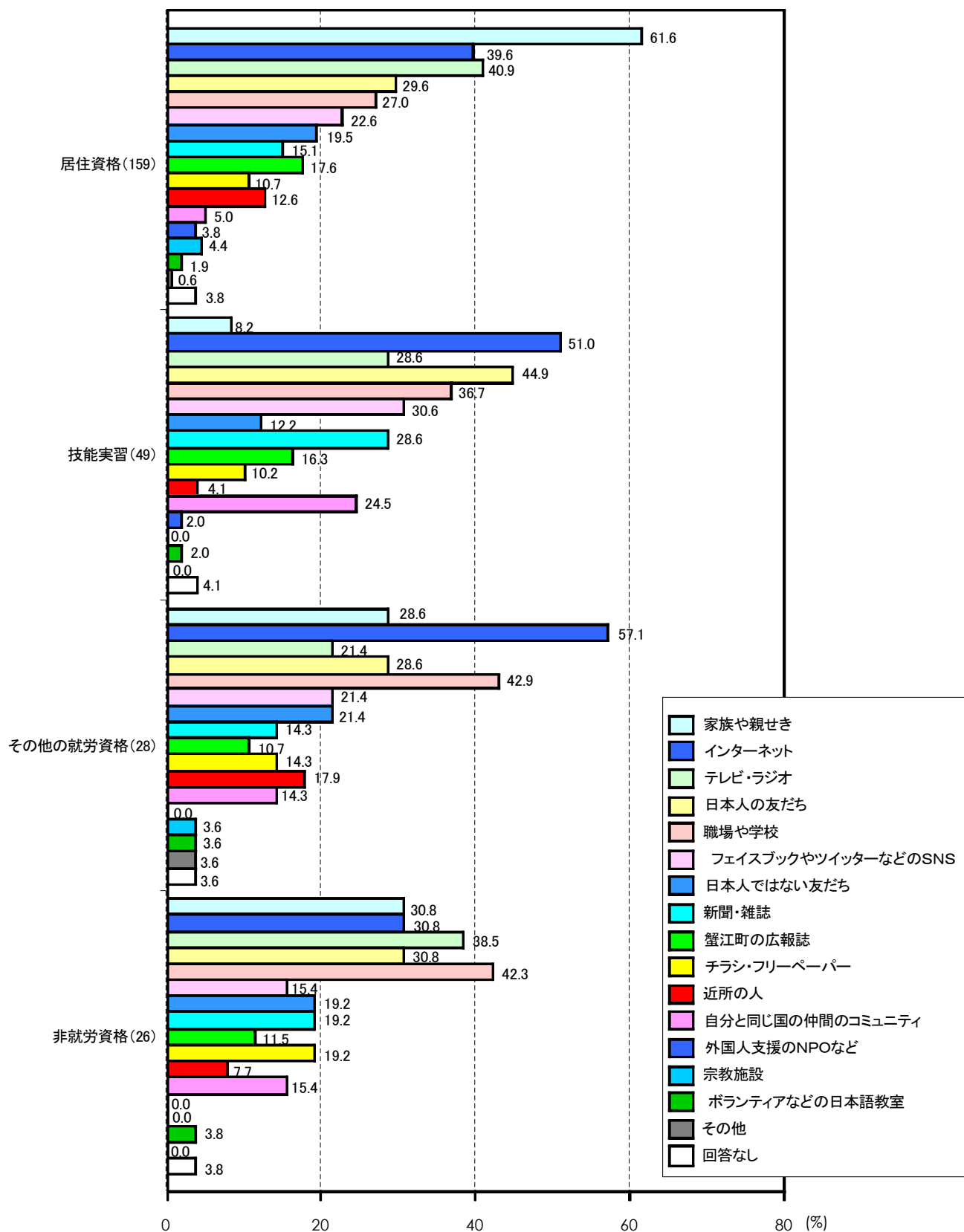
- ・年齢別では、家族や親せきは30歳代、40歳代、50歳代に多く、インターネットは29歳以下、30歳代、テレビ・ラジオは50歳代、60歳以上、職場や学校は30歳代に多い。



・国籍別では、家族や親せきはフィリピンに多く、インターネットはベトナム、中国、ブラジル、テレビ・ラジオは中国、職場や学校はフィリピンに多い。

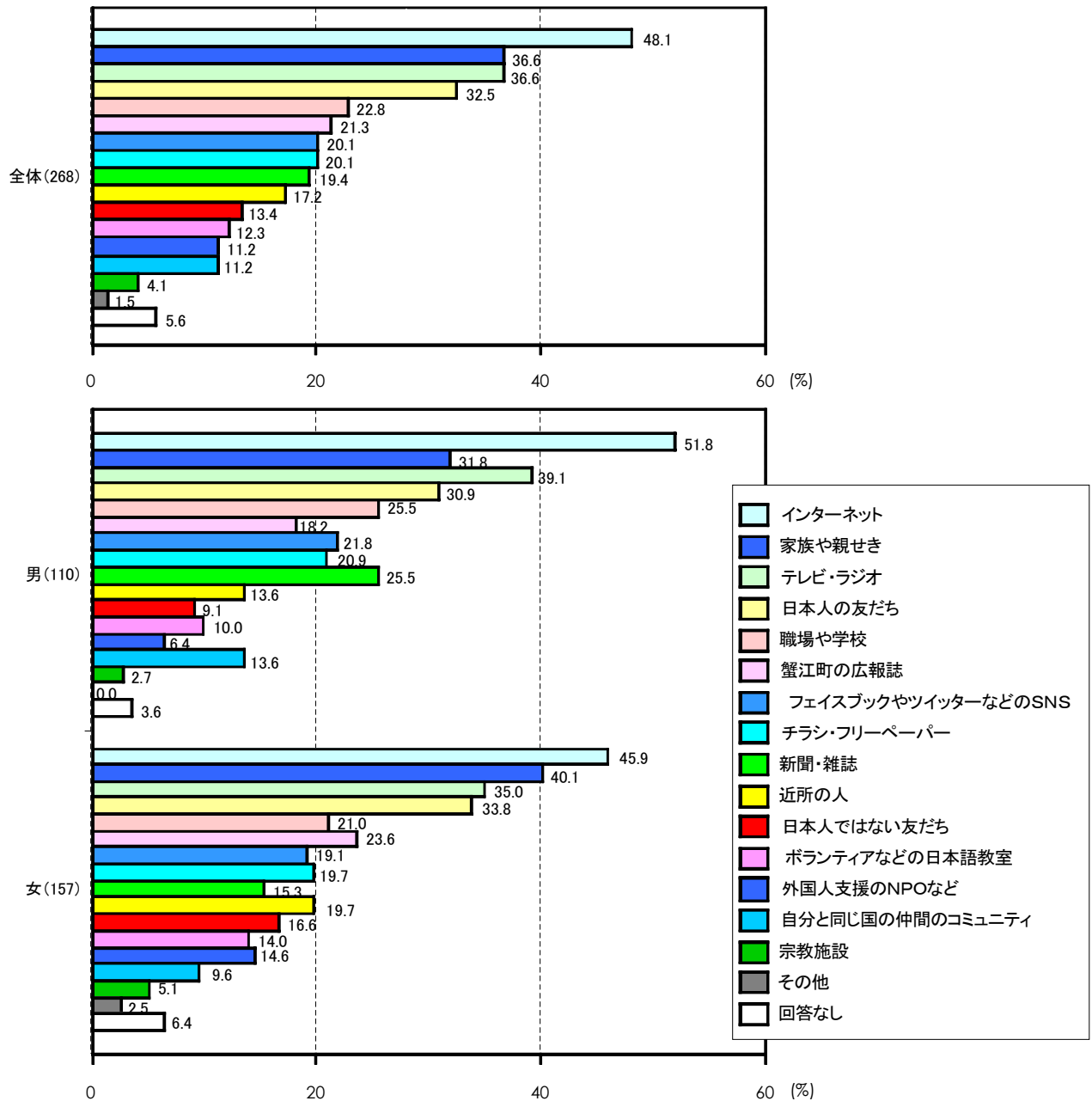


- ・在留資格別では、家族や親せきは居住資格に多く、インターネットは技能実習、その他の就労資格、テレビ・ラジオは居住資格、日本人の友だちは技能実習、職場や学校はその他の就労資格、非就労資格に多い。

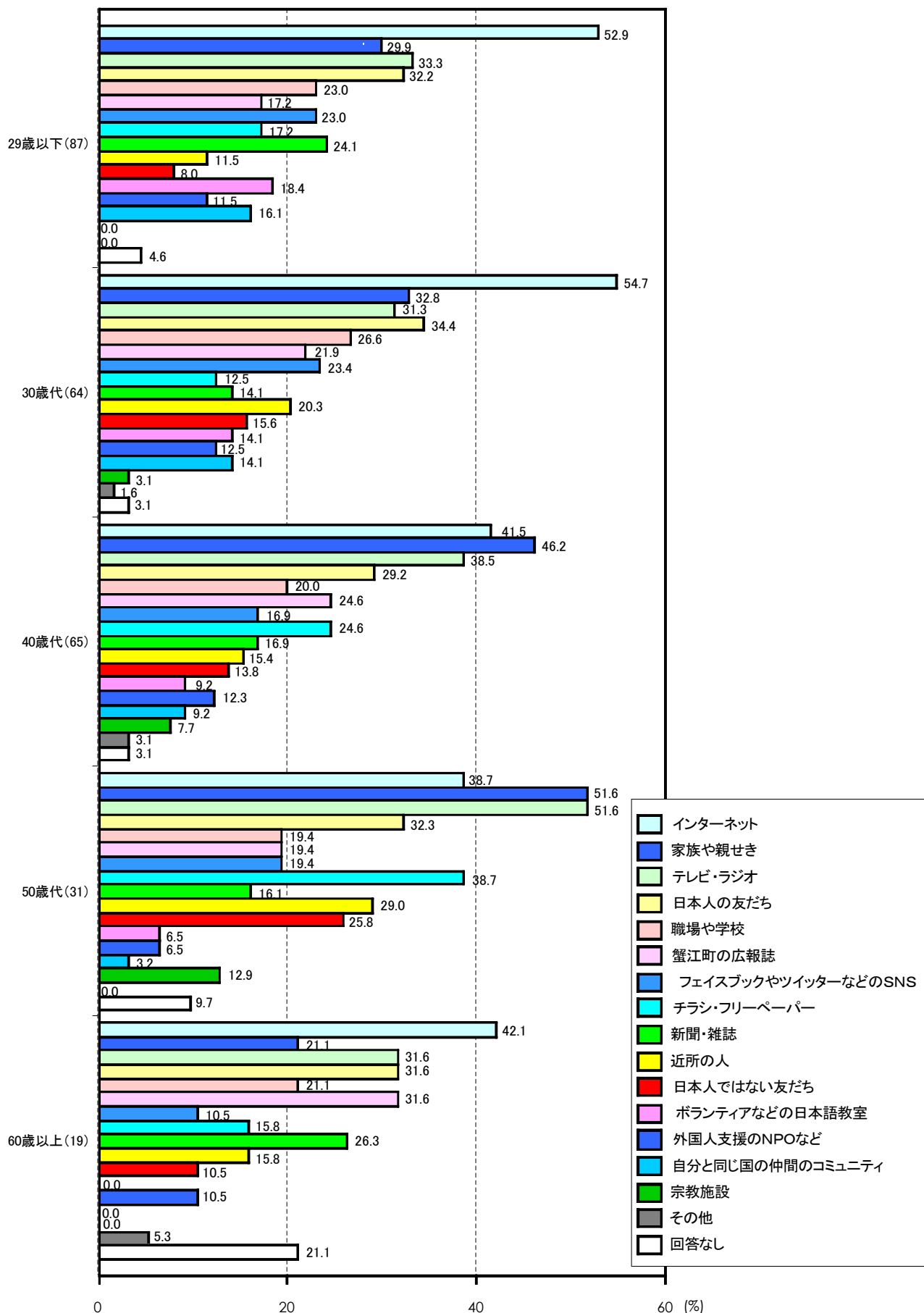


(5) 暮らしや地域の情報を今後どのように入手したいか（複数回答）

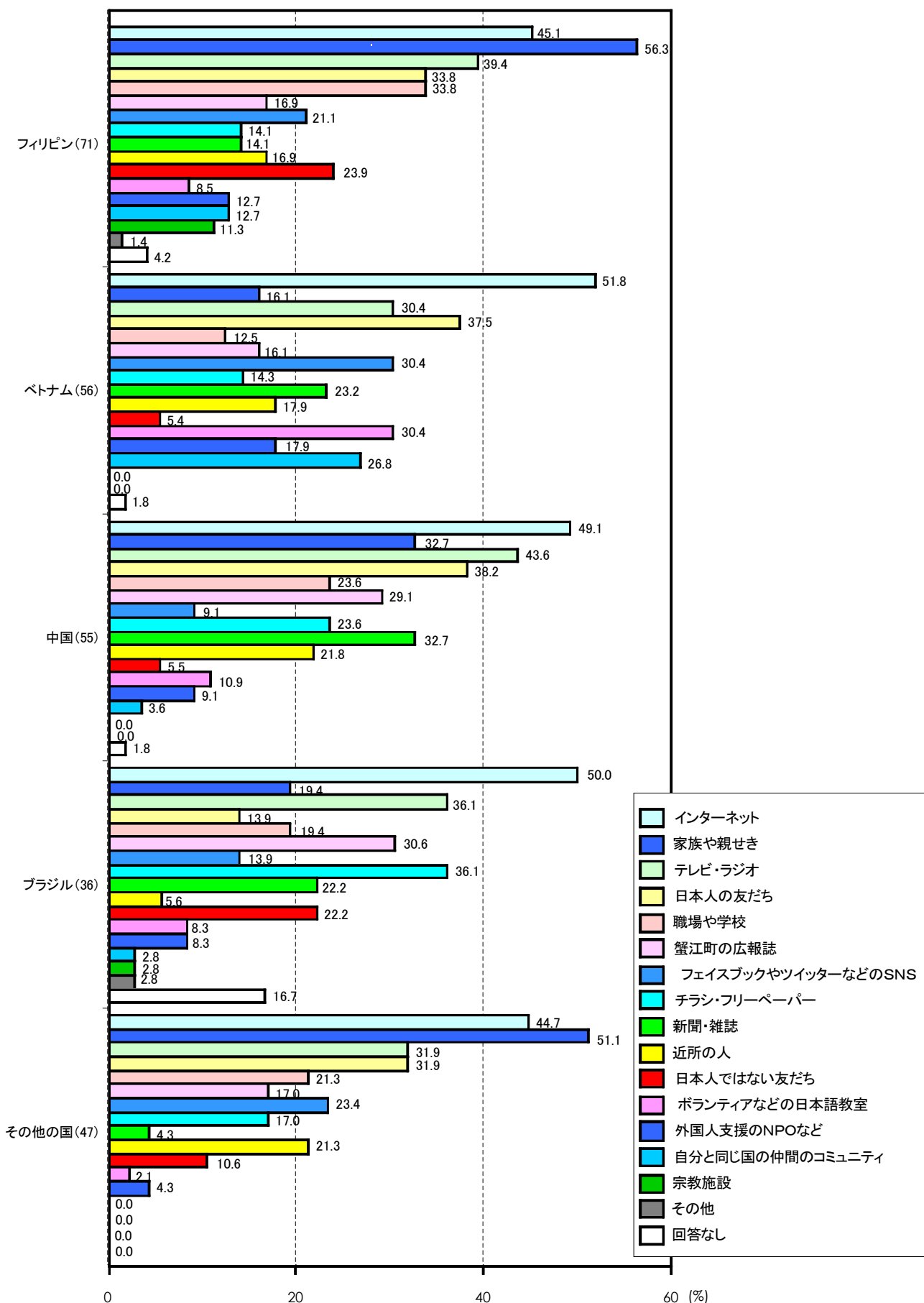
- ・全体では、インターネット、家族や親せき、テレビ・ラジオ、日本人の友だちの順で多い。
- ・性別では、男性はインターネット、テレビ・ラジオが多く、女性はインターネット、家族や親せきが多い。



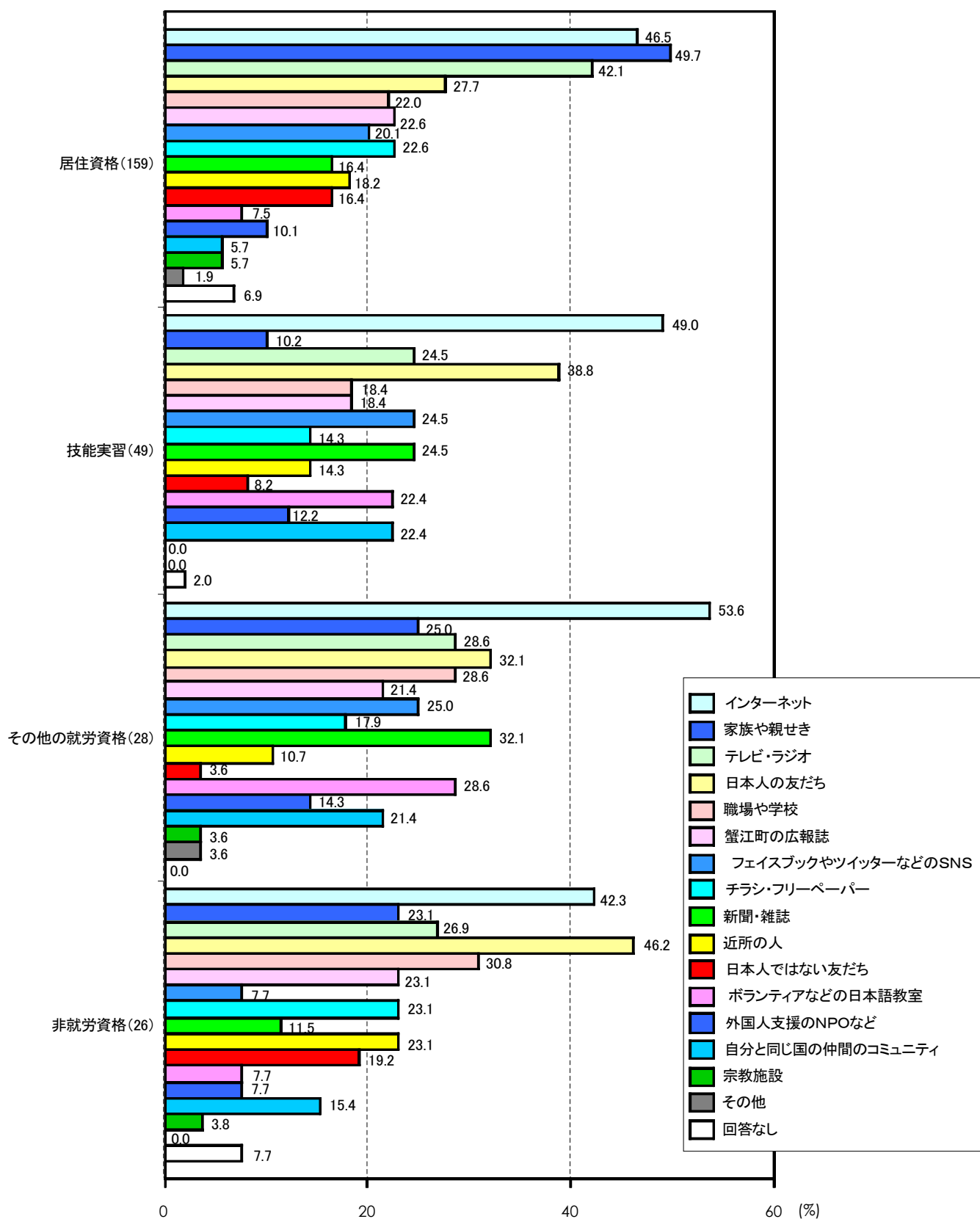
- ・年齢別では、29歳以下、30歳代、60歳以上はインターネットが最も多く、40歳代、50歳代は家族や親せき、また50歳代はテレビ・ラジオも多い。



・国籍別では、ベトナム、中国、ブラジルはインターネットが最も多く、フィリピンは家族や親せきが最も多い。中国はテレビ・ラジオも多い。



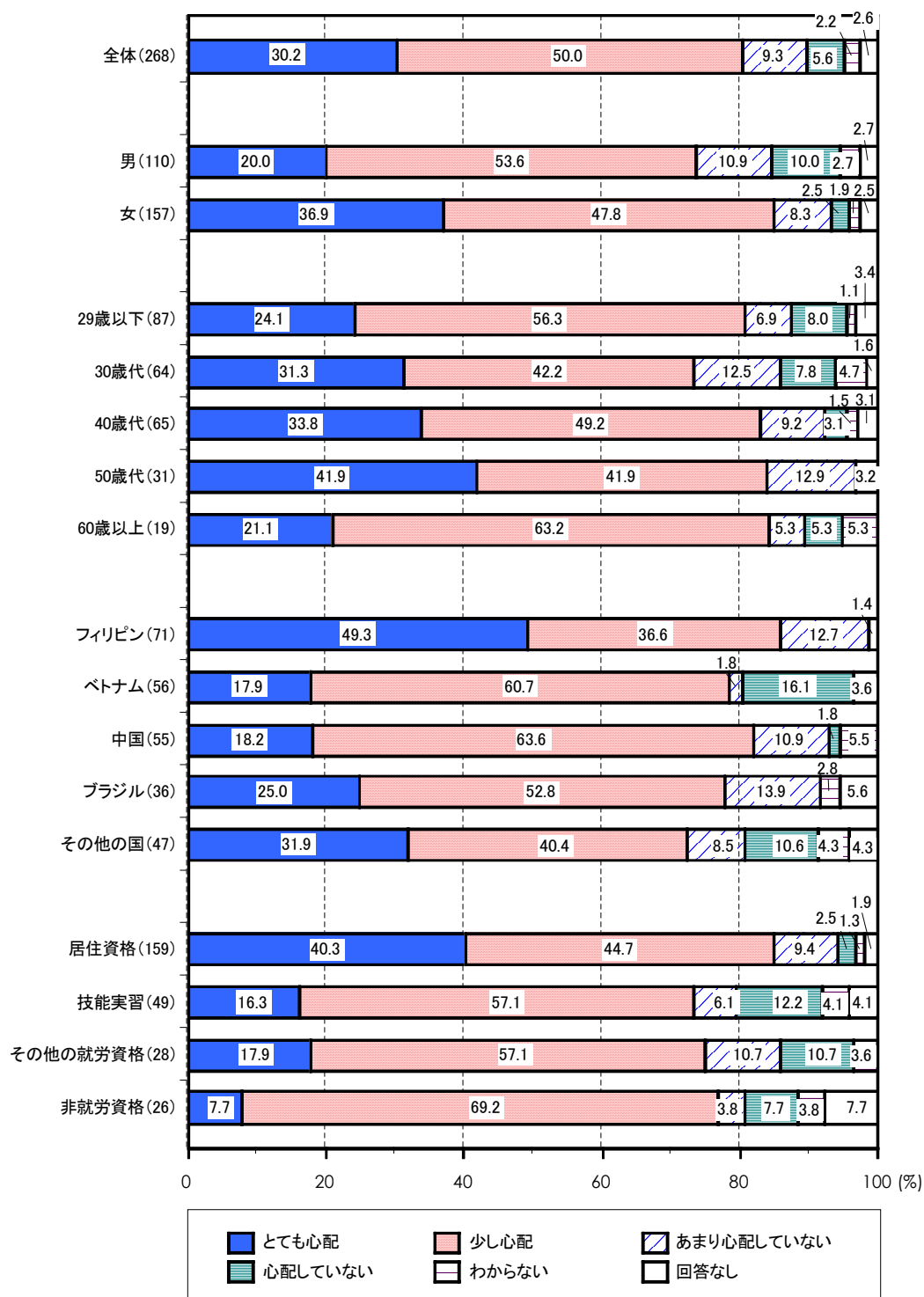
- ・在留資格別では、技能実習、その他の就労資格はインターネットが最も多く、居住資格は家族や親せき、非就労資格は日本人の友だちが最も多い。



9. 防災について

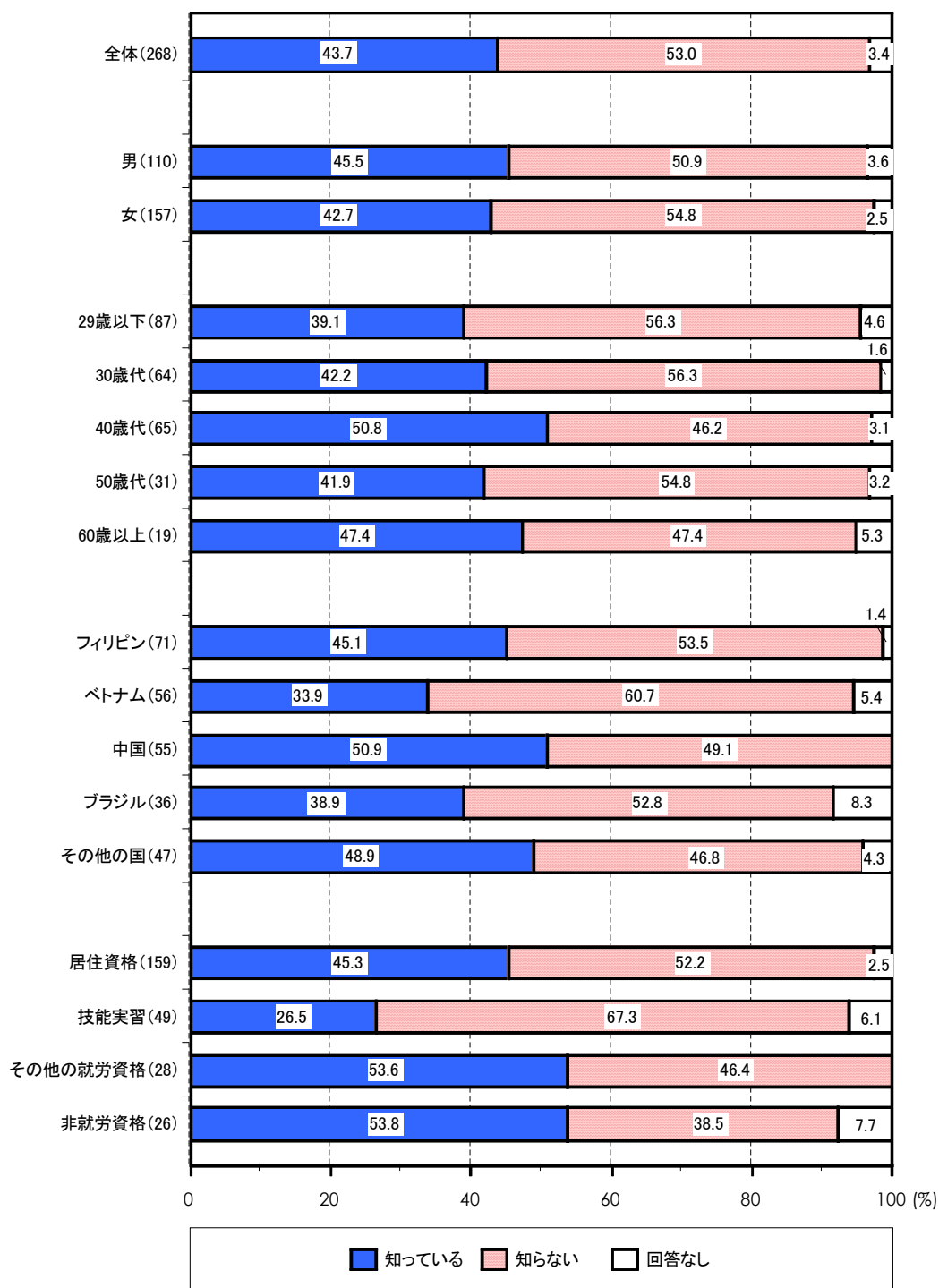
(1) 大雨や地震などの災害が起きることを心配しているか

- ・全体では、とても心配が 30.2%、少し心配が 50.0%、あわせて 80.2%が心配している。
- ・性別では、女性の方が心配する割合が高い。
- ・年齢別では、50 歳代の心配する割合が最も高い。
- ・国籍別では、フィリピンの心配する割合が最も高い。
- ・在留資格別では、居住資格の心配する割合が最も高い。



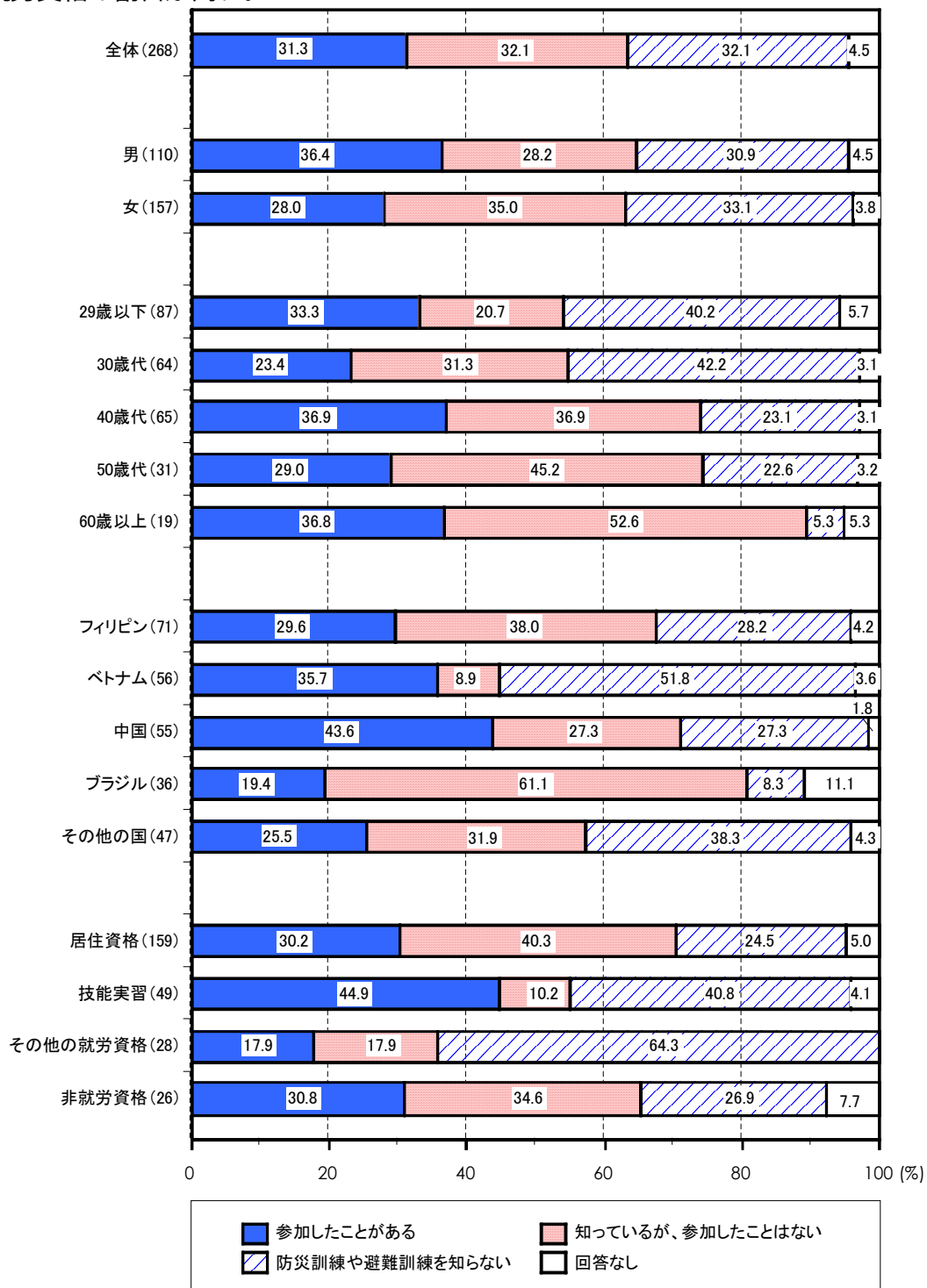
(2) 災害時の避難場所を知っているか

- ・全体では、知らないが 53.0%であり、知らない人の方が多い。
- ・性別では、女性の方が知っている割合が高い。
- ・年齢別では、40 歳代の知っている割合が最も高い。
- ・国籍別では、中国の知っている割合が最も高い。
- ・在留資格別では、技能実習の知っている割合が低い。



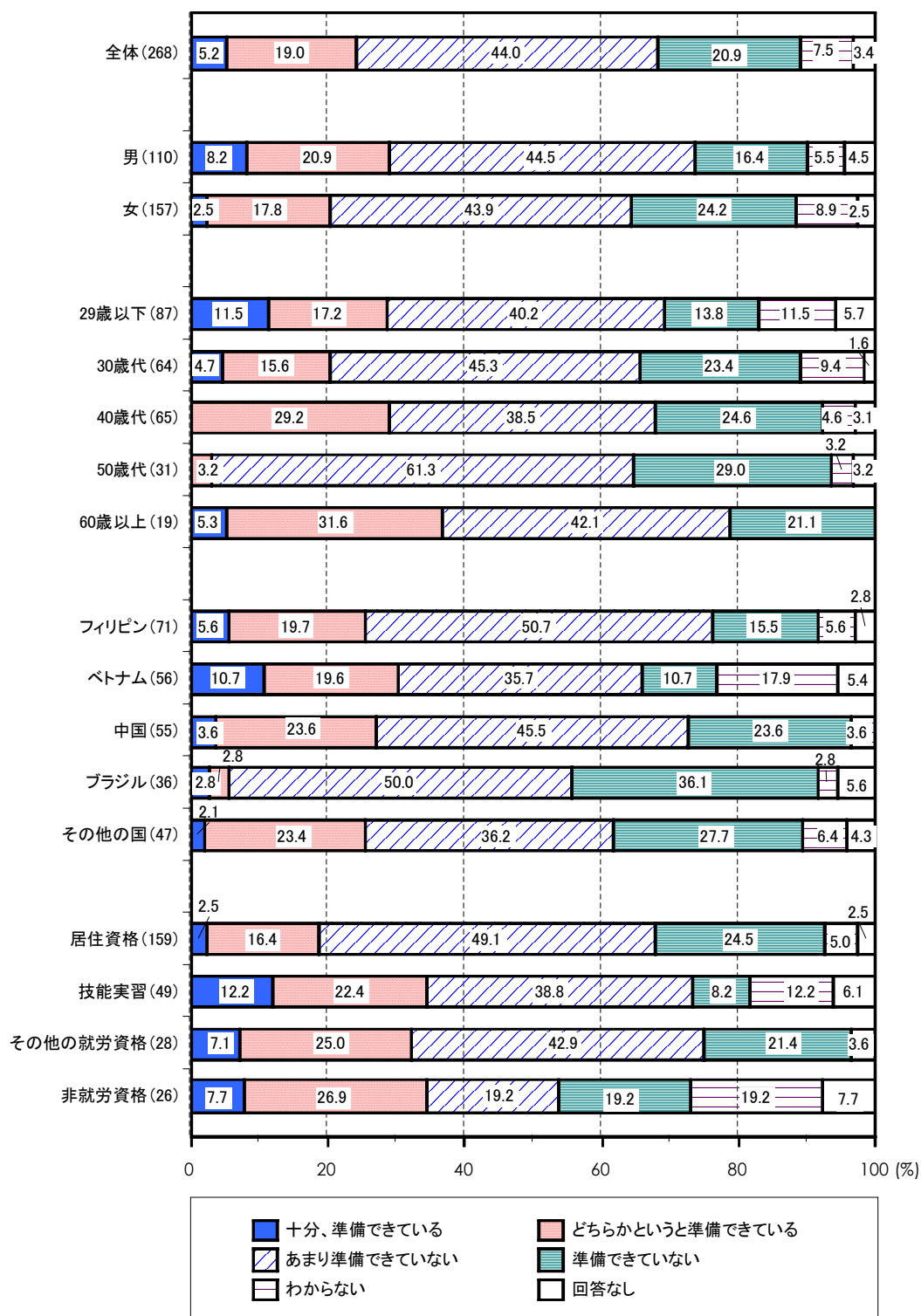
(3) 避難訓練や防災訓練を知っているか、参加したことがあるか

- ・全体では、参加したことがある 31.3%であり、知っているが参加したことがないは 32.1%、避難訓練や防災訓練を知らないが 32.1%である。
- ・性別では、男性の方が参加したことがある、知っているの割合が高い。
- ・年齢別では、参加したことがあるは 29 歳以下、40 歳代、60 歳代の割合が高く、知っているのは 60 歳以上の割合が高い。
- ・国籍別では、参加したことがあるは中国の割合が高く、知っているのはブラジルの割合が最も高い。
- ・在留資格別では、参加したことがあるは技能実習の割合が高く、知っているのは居住資格、非就労資格の割合が高い。



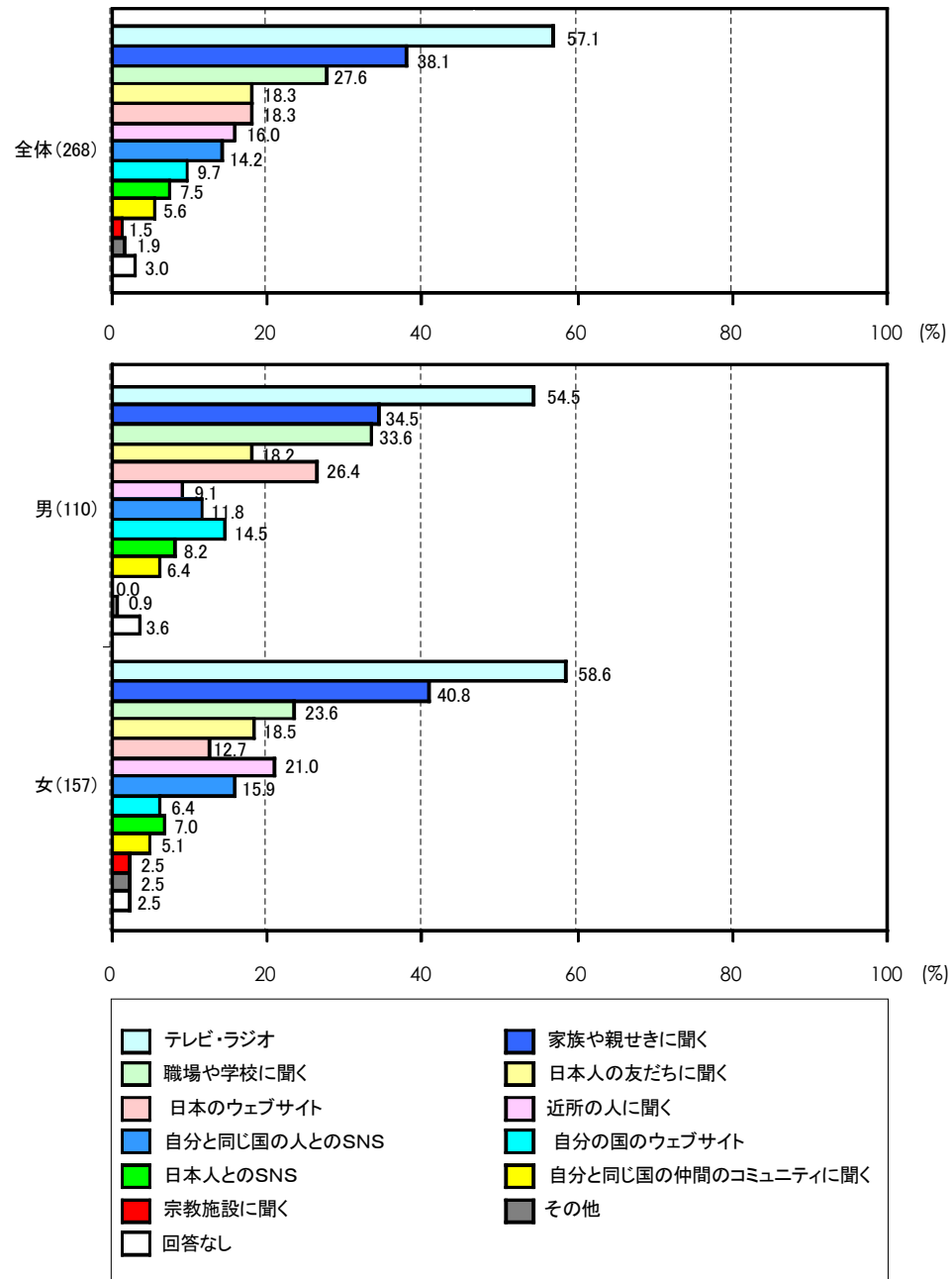
(4) 災害への備えはできているか

- ・全体では、準備できている、どちらかというと準備できているをあわせて 24.2%に対して、あまり準備できていない、準備できていないをあわせて 64.9%である。
- ・性別では、男性の方が準備できている割合が高い。
- ・年齢別では、50 歳代の準備できている割合が非常に低い。
- ・国籍別では、ブラジルの準備できている割合が非常に低い。
- ・在留資格別では、居住資格の準備できている割合が非常に低い。

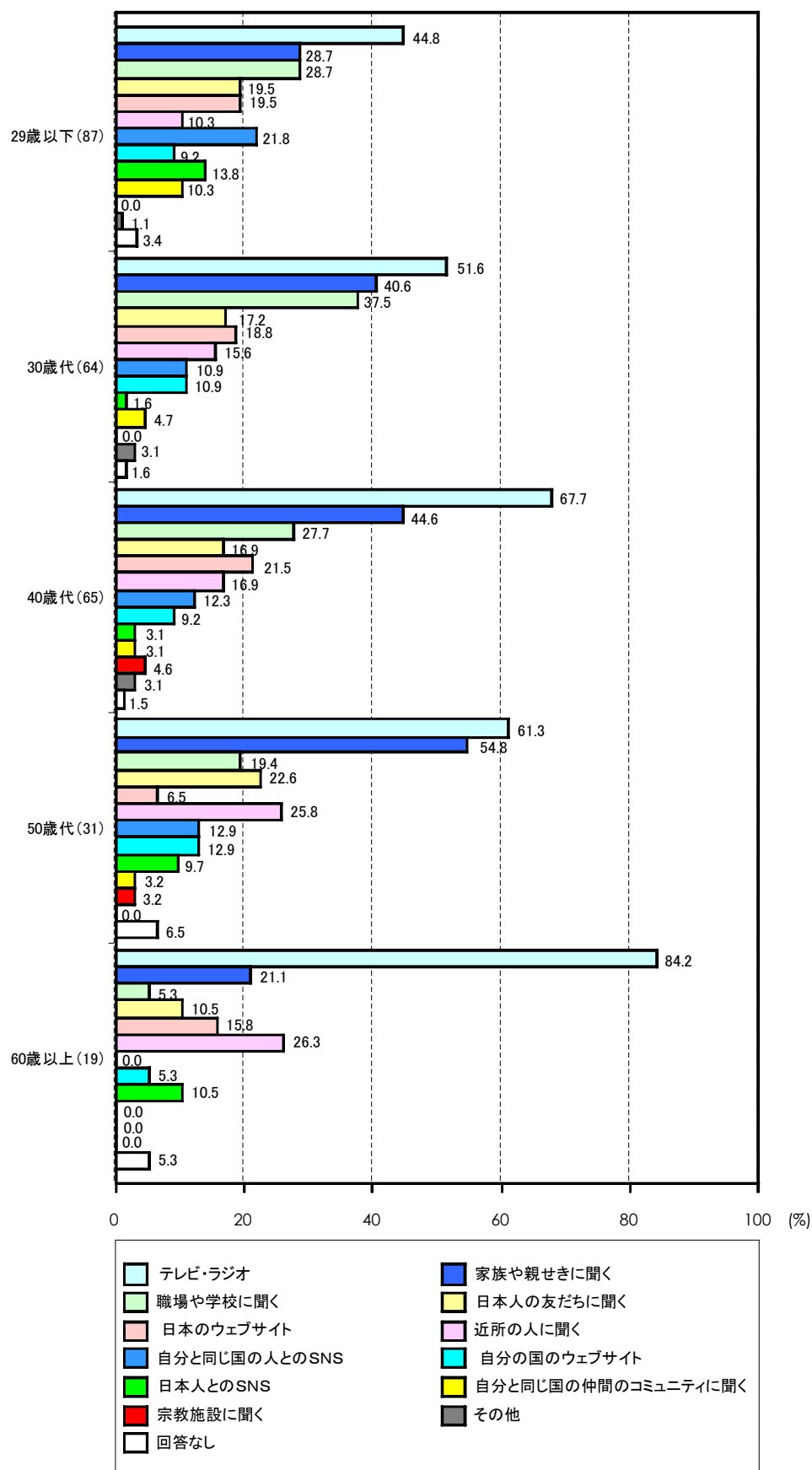


(5) 災害発生時の緊急情報の入手先（複数回答）

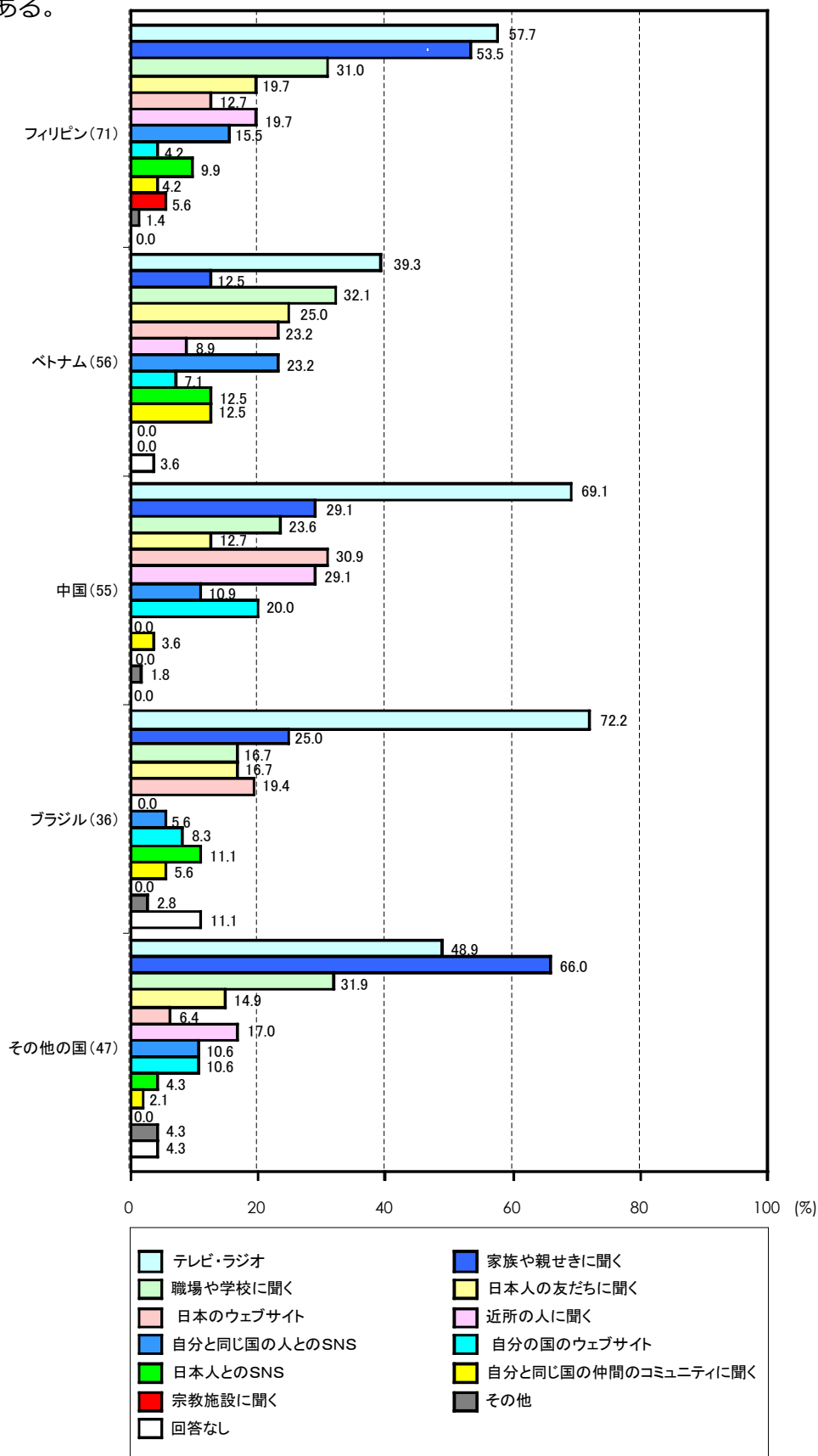
- ・全体では、テレビ・ラジオが最も多く、次いで家族や親せき、職場や学校が多い。
- ・性別では、男女ともにテレビ・ラジオが最も多いが、男性は日本のウェブサイト、女性は近所の人が多いことが特徴である。



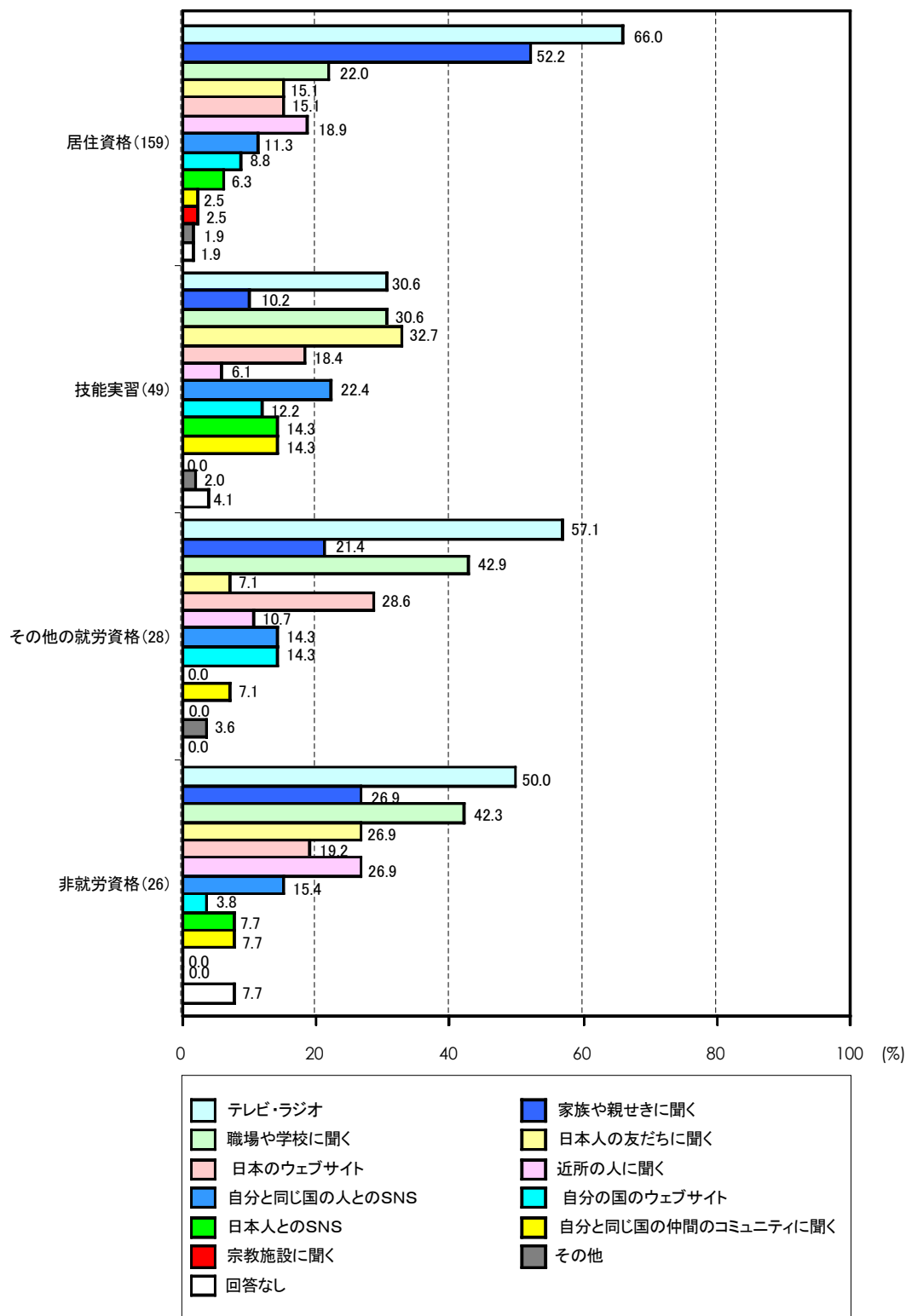
- ・年齢別では、各年代ともにテレビ・ラジオ、家族や親せきが多いが、29歳以下は自分と同じ国の人とのSNS、30歳代は職場や学校、40歳代は日本のウェブサイト、50歳代は近所の人、日本人の友だち、60歳以上は近所の人が多いことが特徴である。



- ・国籍別では、フィリピン、ベトナム、中国、ブラジルともにテレビ・ラジオが最も多いが、その他、フィリピンは家族や親せき、ベトナムは職場や学校に聞く、日本の友だち、日本のウェブサイト、自分と同じ国の人とのSNS、中国は日本のウェブサイト、近所の人が多いことが特徴である。



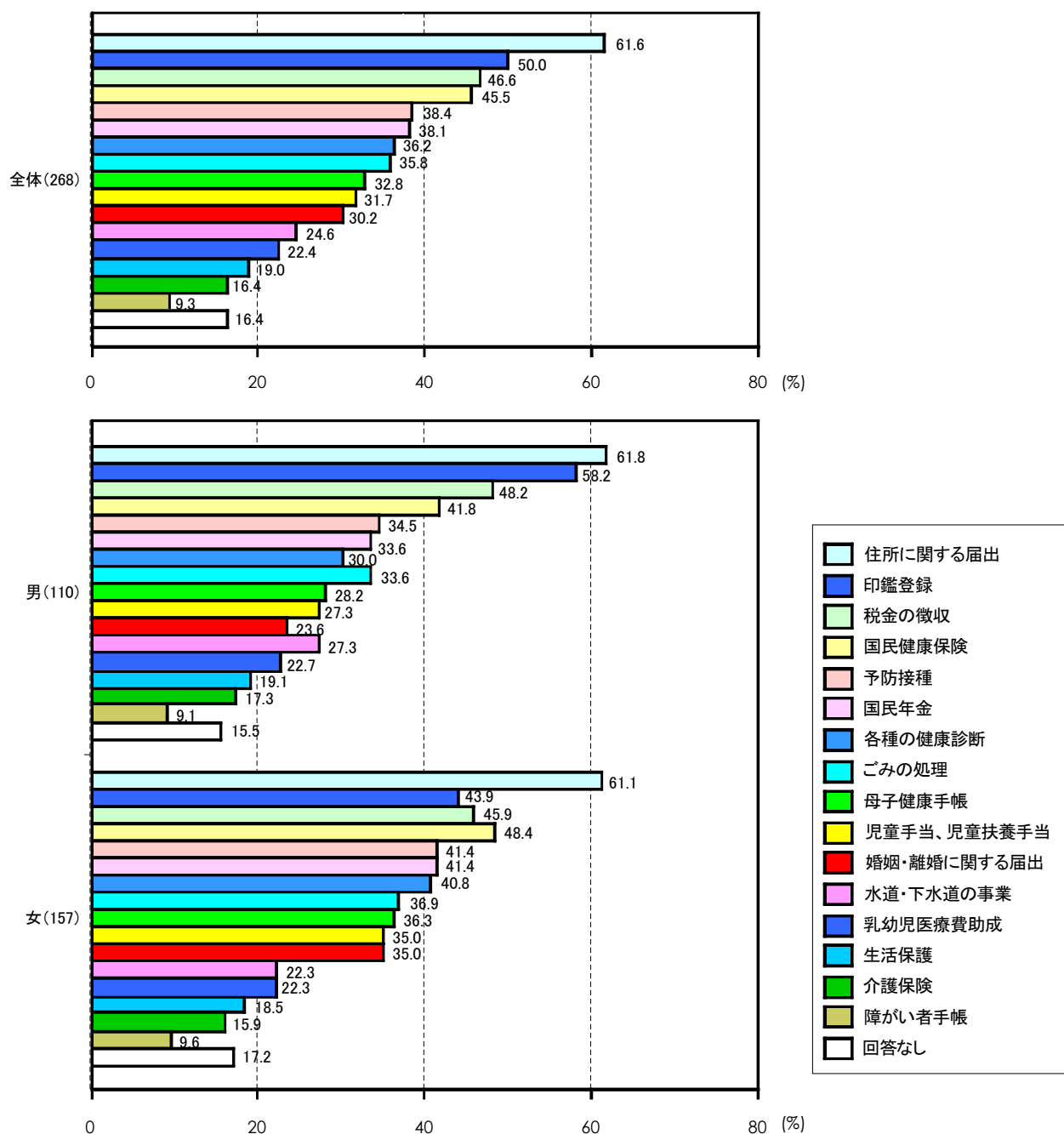
- ・在留資格別では、居住資格がテレビ・ラジオ、家族や親せき、技能実習は日本の友だち、職場や学校、テレビ・ラジオ、その他の就労資格はテレビ・ラジオ、職場や学校、非就労資格はテレビ・ラジオ、職場や学校が多い。



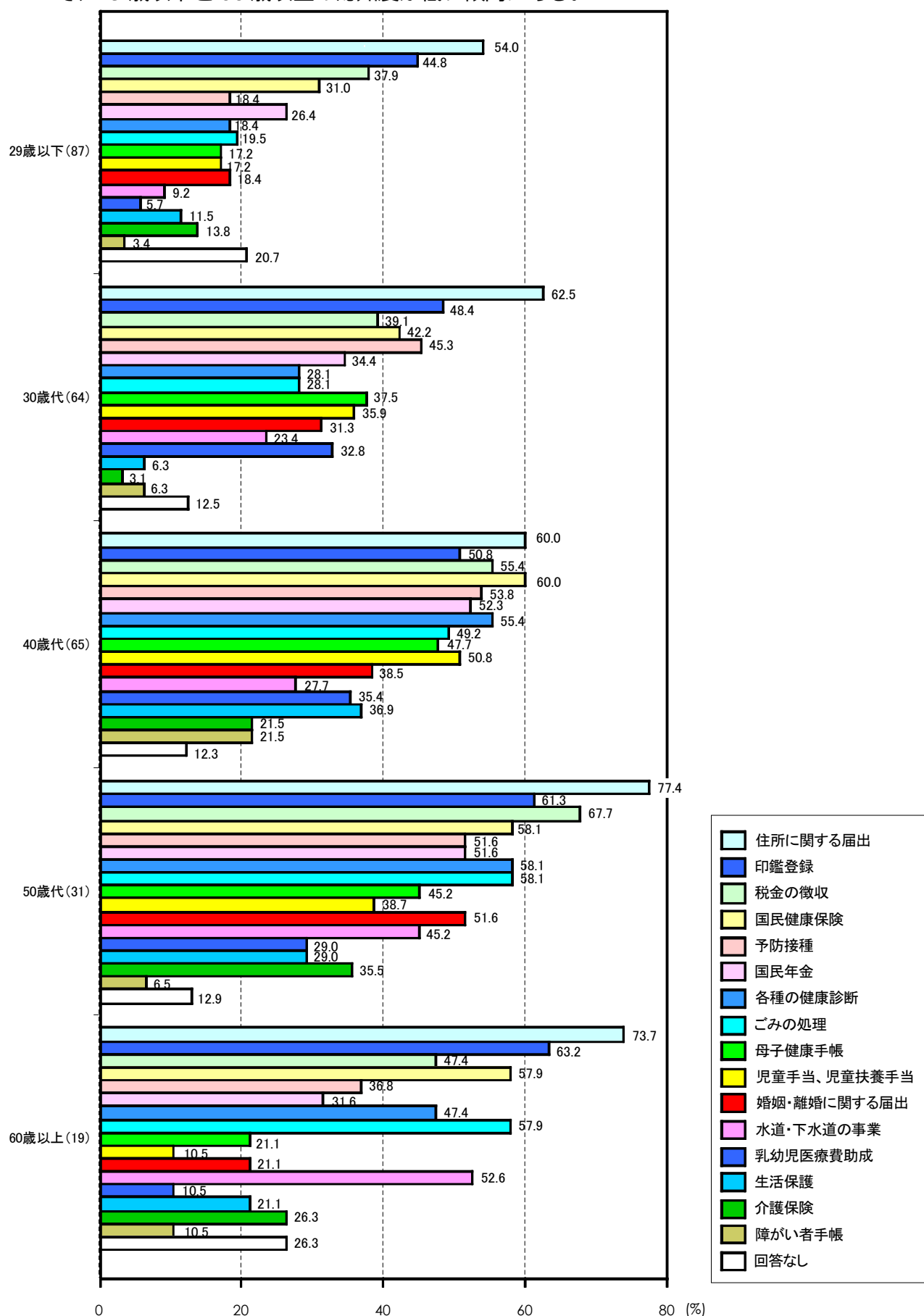
10. 蟹江町役場の取組について

(1) 蟹江町が行っている手続きやサービスで知っていること（複数回答）

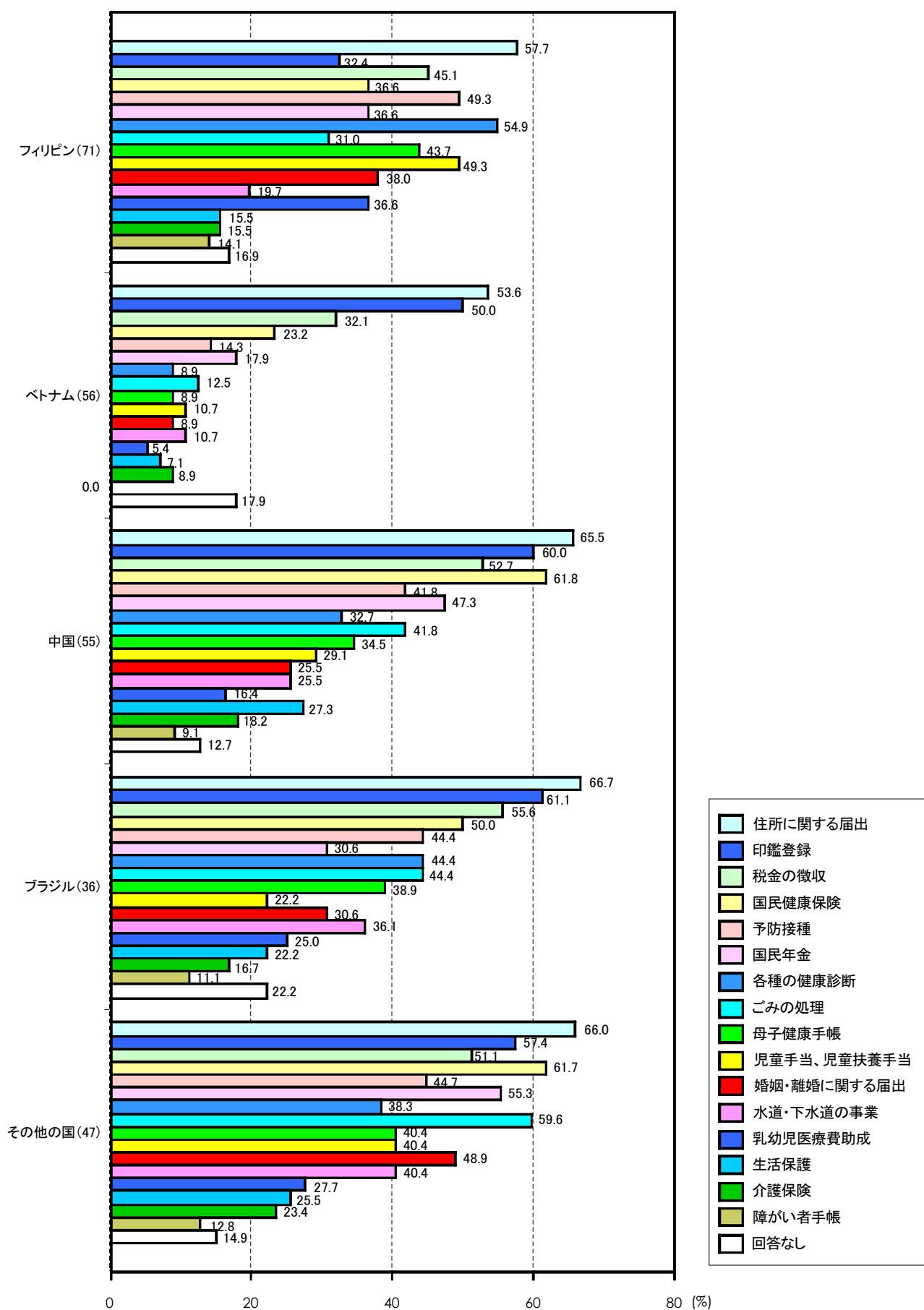
- ・全体では、住所の届出、印鑑登録、税金徴収、国民健康保険等の認知度は高いが、障がい者手帳、介護保険、生活保護等の福祉的な取組の認知度は低い。
- ・性別では、女性の方が取組の認知度は全体的にやや高く、特に、健康診断、母子健康手帳、児童手当・児童扶養手当、婚姻・離婚に関する届出などの認知度は男性より高い。



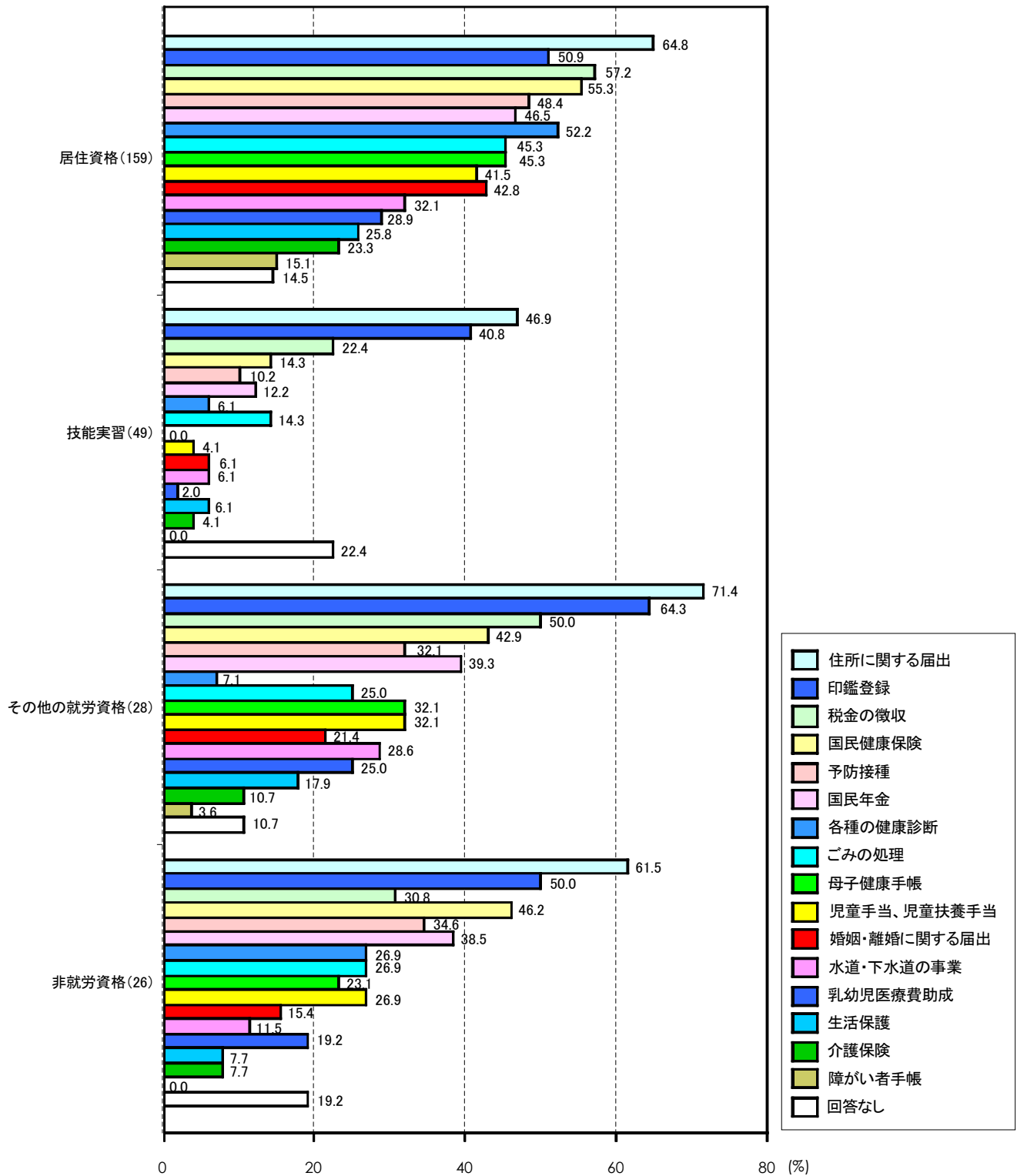
・年齢別では、40歳代、50歳代の取組の認知度が全体的に高い。特に、福祉的な取組について、29歳以下と60歳以上の認知度が低い傾向にある。



- ・国籍別では、ベトナムの取組の認知度が全体的に低い。フィリピンは予防接種、健康診断、母子健康手当、児童手当・児童扶養手当などの子育て関係の取組の認知度が高い傾向にある。

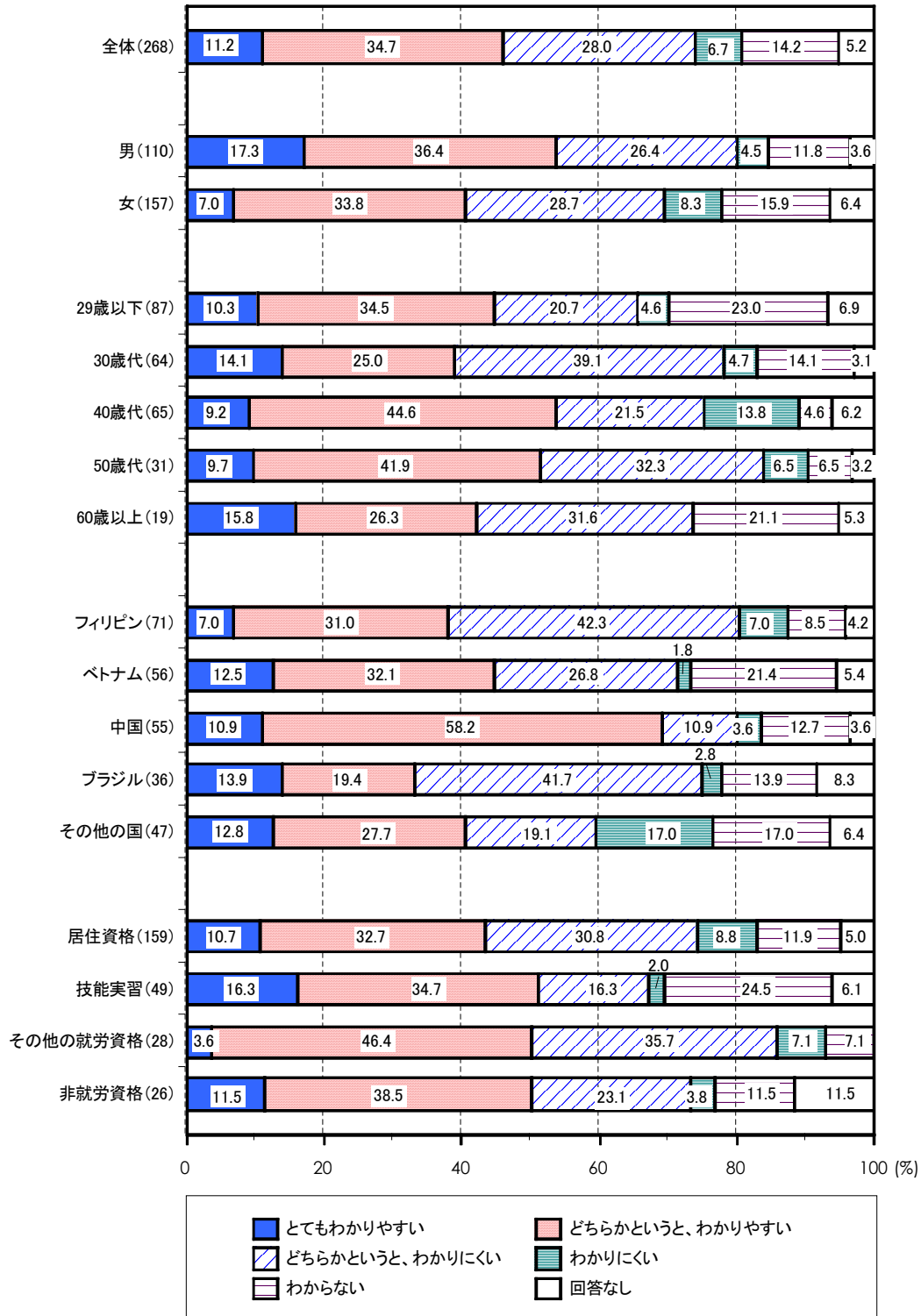


・在留資格別では、居住資格の取組の認知度が全体的に高く、技能実習の取組の認知度が低い。
 居住資格においても、障がい者手帳、介護保険、生活保護等の福祉的な取組の認知度は比較的低い。



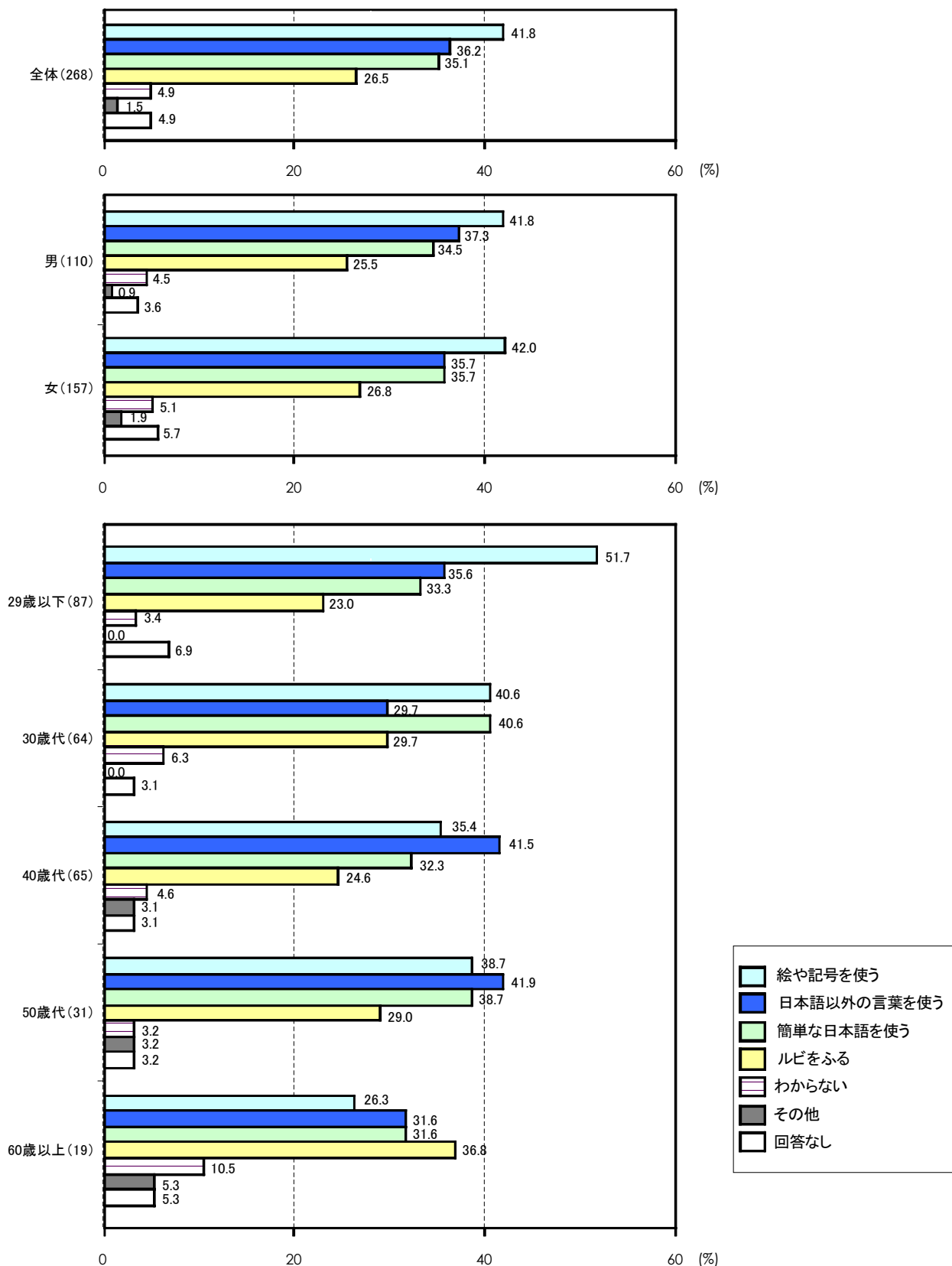
(2) 蟹江町内の公共施設とまちの案内は外国人にとってわかりやすいと思うか

- ・全体では、とてもわかりやすい、どちらかというとわかりやすいをあわせて 45.9%に対し、わかりにくい、どちらかというとわかりにくいをあわせて 34.7%である。
- ・性別では、女性の方がわかりにくい割合が高い。
- ・年齢別では、30 歳代、40 歳代、40 歳代のわかりにくい割合が高い。
- ・国籍別では、ブラジル、フィリピンのわかりにくい割合が高い。
- ・在留資格別では、居住資格、その他の就労資格のわかりにくい割合が高い。

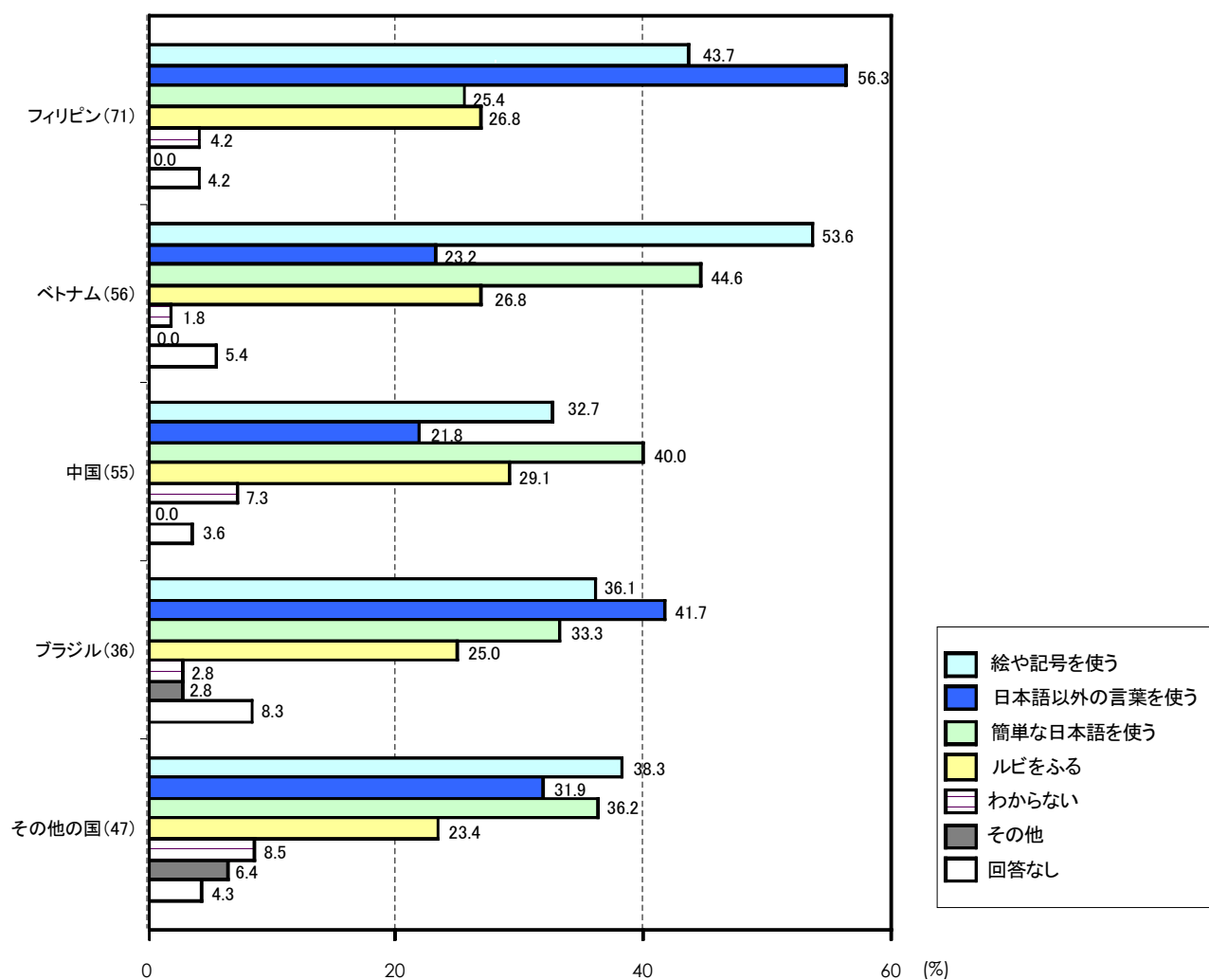


(3) 公共施設とまちの案内はどのようにすればわかりやすくなると思うか（複数回答）

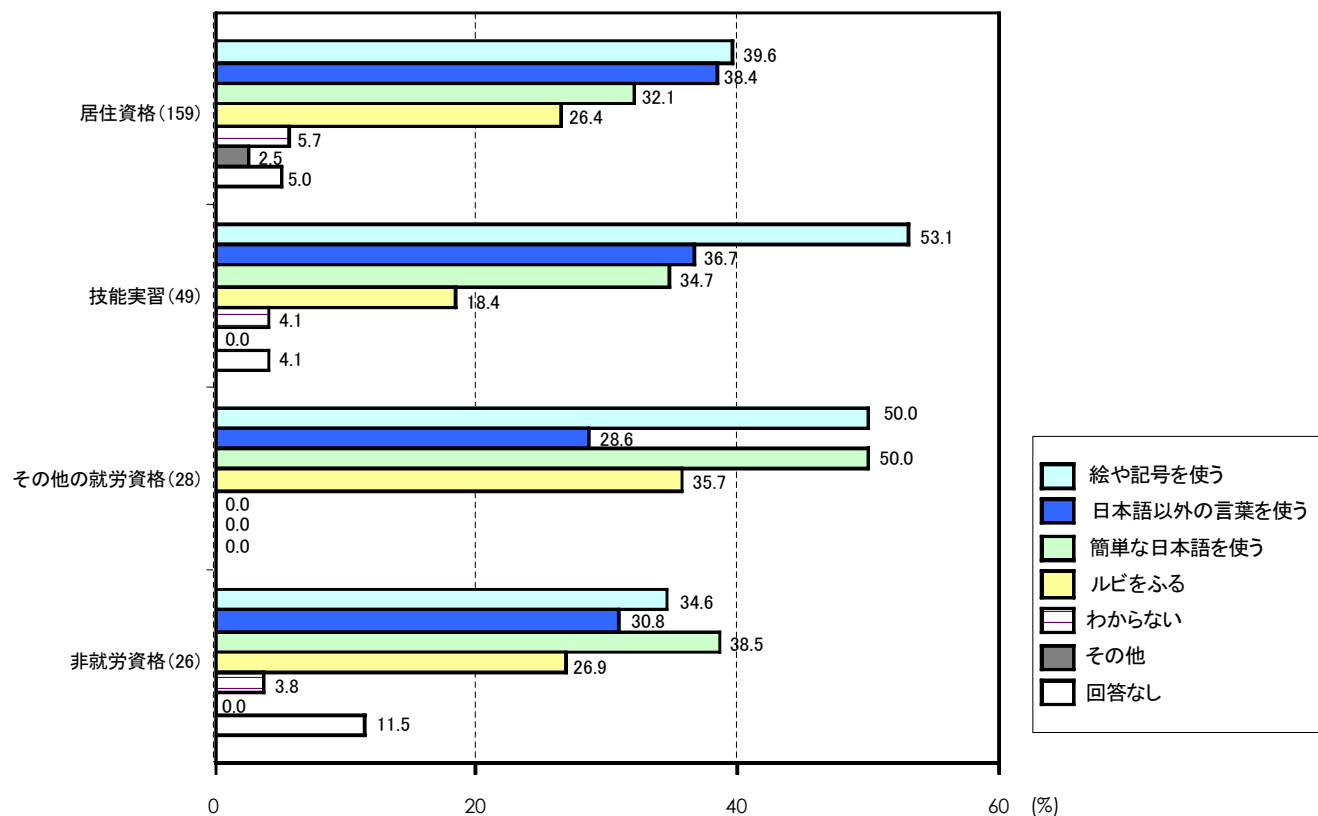
- ・全体では、絵や記号を使うが最も多く、次いで日本語以外の言葉を使う、簡単な日本語を使うが多い。
- ・性別では、男女ともほぼ同じ傾向である。
- ・年齢別では、29歳以下は絵や記号を使う、30歳代は絵や記号を使う、簡単な日本語を使う、40歳代、50歳代は日本語以外の言葉を使う、60歳以上はルビをふるが多い。



- ・国籍別では、フィリピンは日本語以外の言語を使う、絵や記号を使う、ベトナムは絵や記号を使う、簡単な日本語を使う、中国は簡単な日本語を使う、ブラジルは日本語以外の言葉を使うが多い。



- ・在留資格別では、居住資格は絵や記号を使う、日本語以外の言語を使う、技能実習は絵や記号を使う、その他の就労資格は絵や記号を使う、簡単な日本語を使う、非就労資格は簡単な日本語を使う、絵や記号を使うが多い。



(4) 蟹江町内で案内をわかりやすくして欲しい場所や施設（自由記入）

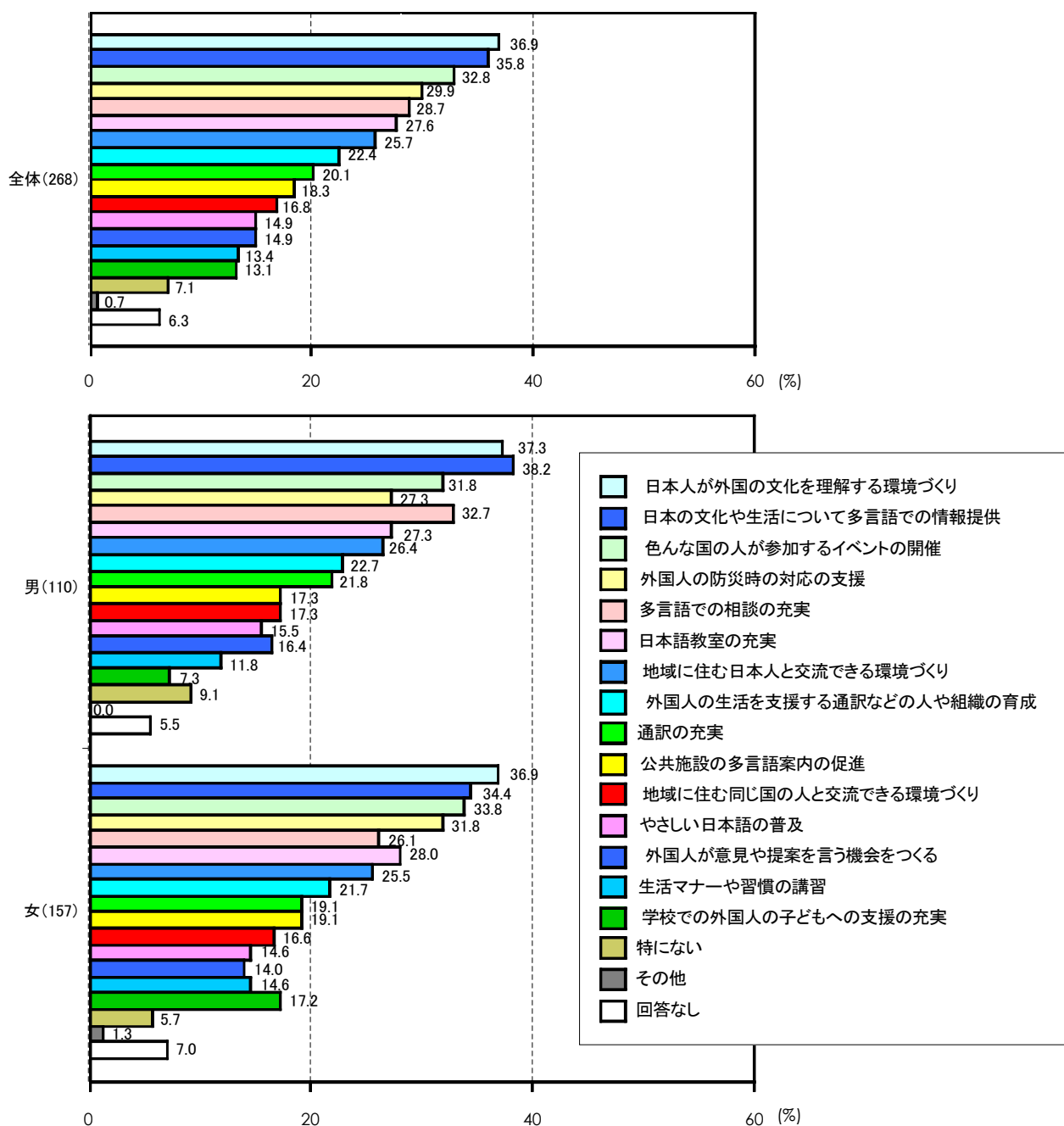
- ・蟹江町役場が最も多く、次いで病院・クリニック、鉄道・駅・バス、道路・案内地図・看板、銀行・郵便局が多くなっている。

施設等	人数
蟹江町役場	28
病院・クリニック	14
鉄道・駅・バス	8
道路・案内地図・看板	7
銀行・郵便局	6
学校	4
警察署・消防署	4
避難場所	4
店・スーパー	3
公園	2
図書館	2
温泉、町の施設、交流センター	各 1

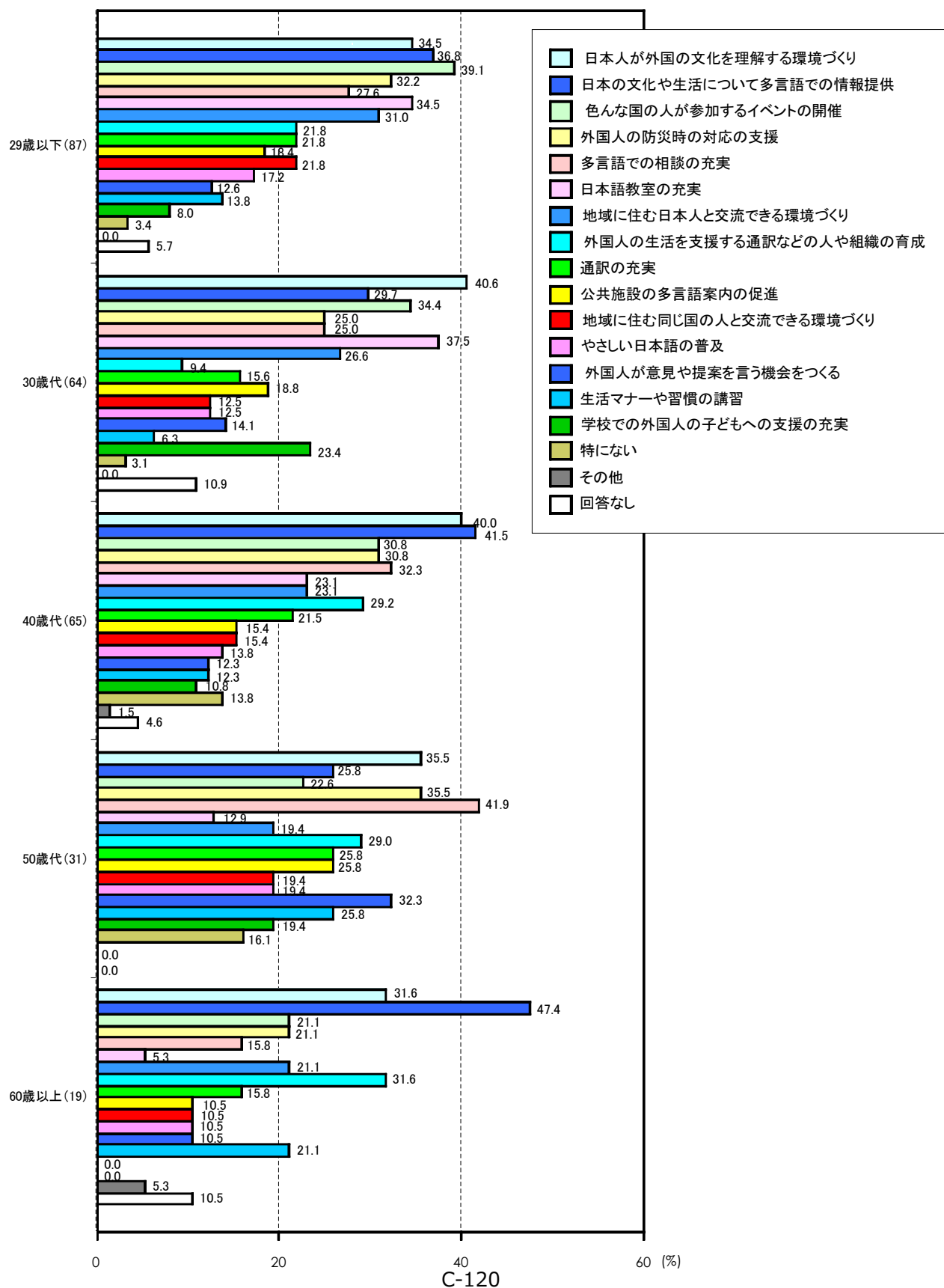
11. 外国人も住みやすいまちにするための取組について

(1) どのような取組が必要と思うか（複数回答）

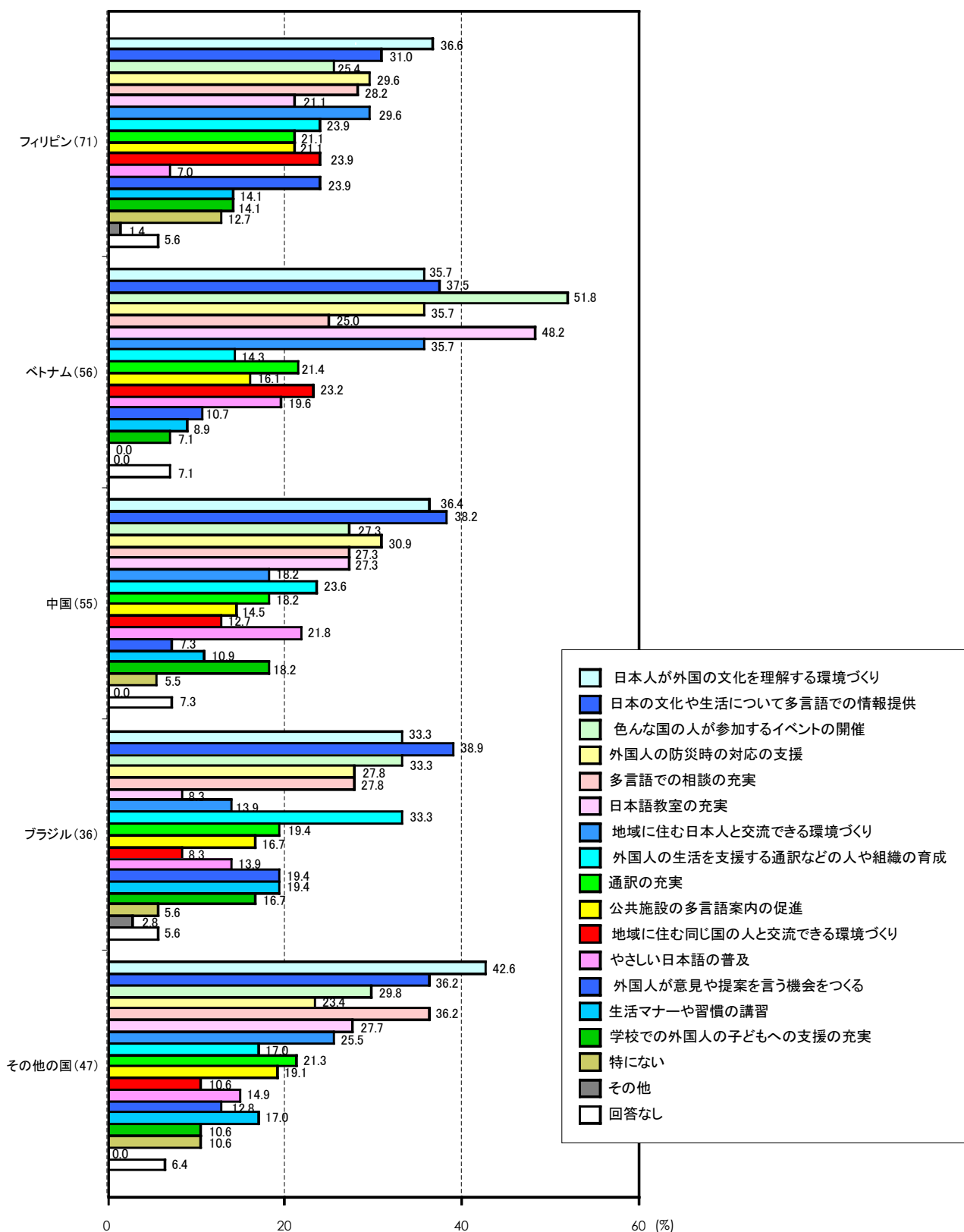
- ・全体では、日本人が外国の文化を理解する環境づくり、日本の文化や生活についての多言語での情報提供、色んな国の人が参加するイベント開催が多い。
- ・性別では、男性は日本の文化や生活についての多言語での情報提供、多言語での相談の充実がやや多く、女性は学校での外国人の子どもへの支援の充実がやや多い。



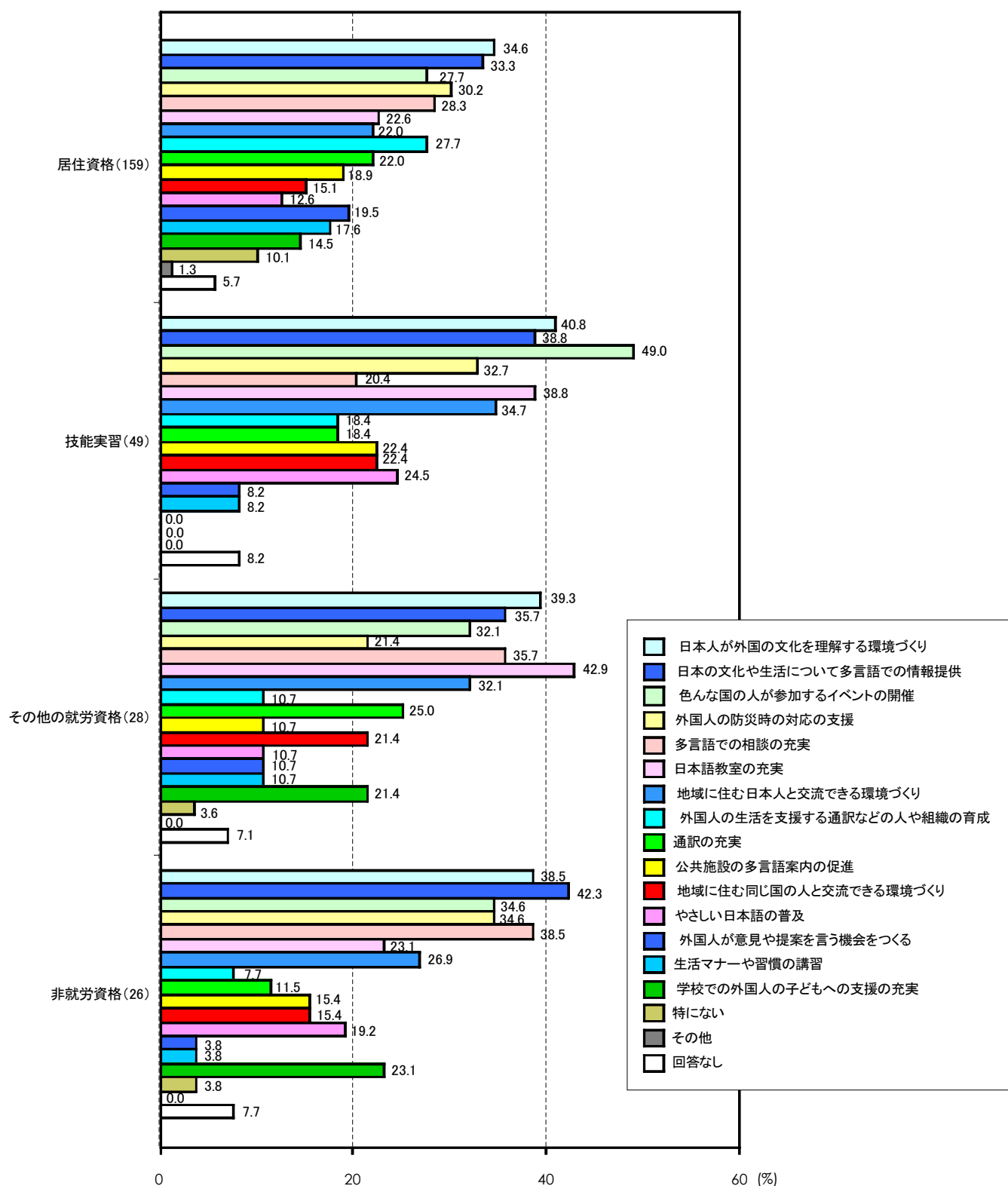
- ・年齢別では、29歳以下は色んな国の人が参加するイベントの開催、日本語教室の充実、地域に住む日本人と交流できる環境づくり、地域に住む同じ国の人との交流できる環境づくり、30歳代は日本語教室の充実、学校での外国人の子どもへの支援の充実、40歳代、60歳以上は外国人の生活を支援する通訳などの人や組織の育成、50歳代は多言語での相談の充実が多いことが特徴である。



- ・国籍別では、フィリピンは地域に住む日本人と交流できる環境づくり、地域に住む同じ国の
人との交流できる環境づくり、外国人が意見や提案を言う機会をつくる、ベトナムはいろん
な国の人が参加するイベントの開催、日本語教室の充実、地域に住む日本人と交流できる環
境づくり、地域に住む同じ国の人と交流できる環境づくり、中国はやさしい日本語の普及、
学校での外国人の子どもへの支援の充実、ブラジルは外国人の生活を支援する通訳などの人
や組織の育成が多いことが特徴である。



- ・在留資格別では、居住資格は外国人の生活を支援する通訳などの人や組織の育成、外国人が意見や提案を言う機会づくり、技能実習はいろんな国の人が参加するイベントの開催、日本語教室の充実、地域に住む日本人と交流できる環境づくり、地域に住む同じ国の人と交流できる環境づくり、その他の就労資格は多言語での相談の充実、日本語教室の充実、通訳の充実、地域に住む同じ国の人と交流できる環境づくり、非就労資格は日本の文化や生活についての多言語での情報提供、多言語での相談の充実、学校での外国人の子どもへの支援の充実が多いことが特徴である。



(2) その他、外国人にとって暮らしやすくするための提案（自由記入）

- ・外国人向けの情報発信、多言語化ややさしい日本語の使用、交流イベントや日本のマナーや文化を学ぶ機会づくり等に関する意見が多い。

イベントの開催。
日本人と外国人が交流できるイベントを開催。
外国人と日本人の交流機会を多くつくる。
ハーフの子ども向けのイベント等。
外国人フリーマーケット。
一箇月に一回、外国の人たちと日本人と一緒にコミュニケーションを取るための集まりを開く。
日本人と外国人住民が一番なじみやすいのは食文化。みんながふれあえるイベント。
多言語が使用可能なまちづくり。
ローマ字表記を増やす。
緊急情報や緊急告知などを日本語以外の言語でも必要。
防災訓練や避難所の情報提供。
災害時に避難経路や避難場所が分かる外国語のハザードマップをつくる。
災害時に情報を知る方法を知りたい。
平等な扱い、待遇。
心遣い、人種差別の減少。
外国人への不当な扱いをなくす。差別といじめをなくす。
国籍が違っただけで差別されると感じる。子どもは友だちづくりが難しい。子どもの進学や学校での生活は心配。学校の教育ではそうならない環境をつくる。
もっと保育園、幼稚園が必要。
ほとんどの外国人はキリスト教であり、礼拝できる場所がほしい。外国人向け教会がほしい。
日本語がわからない外国人の雇用機会を増やす。
求人掲示板をつくる。
アルバイトの情報提供。
日本語を学ぶ機会を増やす。平日の午後か土日の日本語教室がよい。
日本語教室を開催する。
日本語を学び、話すために外国人のための学校を建てる。
町役場や他の場所で日本語教室を開催する。
バス利用者の外国人は利用の仕方がわからなくてバス停で困っている。
蟹江町の広報誌などに簡単な日本語やローマ字での外国人住民のためのページを増やす。
蟹江の広報に英語とポルトガル語で情報掲載する。
広報の外国語版をつくる。回覧板や通知も外国語版が必要。
来日したばかりの外国人が外国人登録の手続きに関する情報を手に入りやすくする。
日常生活に関する問い合わせができる情報センターをつくる。
外国人にボランティア活動の情報提供。
社会貢献できる仕事を外国人に提供する。
駅や公共施設などにやさしい日本語か画像などで暮らし方・旅行・文化を情報伝える。
病院や公共施設などはやさしい日本語にする。わかりやすいサイン・記号にする。
日本語がわからない外国人にもより良い職場環境を提供する。

蟹江町在住の外国人に日本のルールを早く守れるよう、集中して説明会等を行う。
外国語を使ってほしい。
主な公共施設等に通訳者を置く。
主な公共施設等に通訳者を配置する。
公共交通のルートを病院・スーパーを通るようにし、高齢者のために料金を最小限にする。
国民健康保険と町民税が高い。
外国人への支援を増やす。
医者や銀行の職員などが簡単な外国語の単語や表現を学ぶ。
図書館の利用できる時間を長くする。仕事や学校が終わってからでも利用できるようにする。
役場で仕事をしている人を減らしてほしい。役場はおしゃれはいらない、制服でいい。
役場の職員が理解しやすい日本語で話す。
外国人向けの相談サービス。
困ったことがある時に外国人を手伝ってあげる。
警察官のパトロールを増やす。
蟹江町は住みやすい。
保育園と幼稚園を増やす。産婦人科が近くにあるとよい。
子どもの遊び場を増やす。全学校にエアコンを整える。
マナーを教える。自転車の乗り方を教える。
外国人レストランがあるといい。
蟹江町より、名古屋市の待遇が良い。ここの人は少し冷たいと思う。

外国人住民へのアンケート調査のお願い

いま、蟹江町には、約1,400人の外国籍の人が住んでいます。

蟹江町は、みんなが気持ちよく暮らすことができる地域、

みんながお互いに協力しあって生活する地域にしていきたいと考えています。

それには、国籍・言葉・文化の違いは関係ありません。

お互いに認めあい、支えあい、いろんなところで交流したり一緒に活動したりする「多文化共生のまちづくり」をめざしています。

「調査への協力のお願い」

このアンケート調査は、外国人のみなさんの、暮らしの状況やこれからどうしていきたいかなどをお聞きし、蟹江町の「多文化共生のまちづくり」に役立てるために行うものです。

このアンケートは、蟹江町に住んでいる16歳以上の外国籍のみなさんに送っています。お忙しいと思いますが、ご協力をお願いします。

2018年12月

蟹江町

回答の方法

- 封筒に書いてある名前の人がアンケートに答えてください。
- 本人が答えることができないときは、家族の人が代わりに答えてください。
- 答えは、自分の考えに近いものを選んで、番号の前に☑をしてください。
- アンケートに名前を書かないでください。
- アンケートの結果は統計的に処理をします。個別の答えは公表しません。
- 違う言葉のアンケートが入っていたら、分かるものを1つだけ答えて、送り返してください。

回答の締切

- 答えたアンケートは1月21(月)までに、返信用の封筒に入れてから、郵便ポストに入れてください。切手はいりません。

問い合わせ

蟹江町役場 政策推進課

TEL : 0567-95-1111

E-mail : seisaku@town.kanie.lg.jp

あなた自身について

Q 1 あなたの性別【☐は1つ】

☐ 1. 男

☐ 2. 女

Q 2 あなたの年齢（2018年12月1日現在）【☐は1つ】

☐ 1. 16歳～19歳

☐ 2. 20歳～29歳

☐ 3. 30歳～39歳

☐ 4. 40歳～49歳

☐ 5. 50歳～59歳

☐ 6. 60歳～69歳

☐ 7. 70歳～

Q 3 あなたの国籍【☐は1つ】

☐ 1. 中国

☐ 2. 韓国・朝鮮

☐ 3. フィリピン

☐ 4. インドネシア

☐ 5. ベトナム

☐ 6. タイ

☐ 7. ネパール

☐ 8. ミャンマー

☐ 9. ブラジル

☐ 10. ペルー

☐ 11. その他（国籍 _____）

Q 4 あなたの在留資格（ビザ）【☐は1つ】

☐ 1. 技能実習

☐ 2. 永住者

☐ 3. 定住者

☐ 4. 日本人の配偶者等

☐ 5. 技術・人文知識・国際業務

☐ 6. 留学

☐ 7. 家族滞在

☐ 8. 特定活動

☐ 9. 技能

☐ 10. 永住者の配偶者等

☐ 11. その他（在留資格 _____）

Q 5 いま住んでいる場所の小学校区【☐は1つ】 ※わからないときは地名を書いてください

☐ 1. 蟹江小学校区

☐ 2. 舟入小学校区

☐ 3. 須西小学校区

☐ 4. 新蟹江小学校区

☐ 5. 学戸小学校区

☐ 6. わからない（住んでいる地名 _____）

Q 6 日本にはじめて来たときから合計で何年住んでいますか（2018年12月1日現在）【☐は1つ】

☐ 1. 0か月～12か月

☐ 2. 1年～2年

☐ 3. 3年～4年

☐ 4. 5年～9年

☐ 5. 10年～19年

☐ 6. 20年～

Q 7 蟹江町に合計で何年住んでいますか（2018年12月1日現在）【☐は1つ】

☐ 1. 0か月～12か月

☐ 2. 1年～2年

☐ 3. 3年～4年

☐ 4. 5年～9年

☐ 5. 10年～19年

☐ 6. 20年～

Q8 蟹江町は住みやすいですか【☐は1つ】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. とても住みやすい | ☐ 2. どちらかというと住みやすい |
| ☐ 3. どちらかというと住みにくい | ☐ 4. とても住みにくい |
| ☐ 5. どちらともいえない、わからない | |

Q9 これからも蟹江町に住み続けたいですか【☐は1つ】

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 住み続けたい | ☐ 2. どちらかというと住み続けたい |
| ☐ 3. 住み続けたいが理由があり、できない | ☐ 4. どちらかというと住み続けたくない |
| ☐ 5. 住み続けたくない | ☐ 6. わからない |

仕事について

Q10 あなたの主な仕事【☐は1つ】

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 正社員、契約社員 | ☐ 2. アルバイトや日雇いの仕事 |
| ☐ 3. 派遣社員 | ☐ 4. 研修生、実習生 |
| ☐ 5. 自営や家族経営の仕事 | ☐ 6. 学生 |
| ☐ 7. 主婦・主夫・家事手伝い | ☐ 8. 無職、仕事を探している |
| ☐ 9. 無職、仕事を探していない | ☐ 10. その他（_____） |

Q10で「1」から「5」と答えた人は、Q10-1、Q10-2、Q10-3を答えてください

Q10-1 どこで仕事をしていますか【☐は1つ】

- | | | |
|------------------------------------|---|----------------------------------|
| ☐ 1. 蟹江町 | ☐ 2. 名古屋市 | ☐ 3. 津島市 |
| ☐ 4. 愛西市 | ☐ 5. 弥富市 | ☐ 6. あま市 |
| ☐ 7. 飛島村 | ☐ 8. 桑名市 | ☐ 9. 四日市市 |
| ☐ 10. わからない | ☐ 11. その他（具体的に_____） | |

Q10-2 いまの仕事や技能実習先はどのようにして見つけましたか【☐は1つ】

- | |
|--|
| ☐ 1. 家族や親せきに紹介してもらった |
| ☐ 2. 友だちや知人に紹介してもらった |
| ☐ 3. 新聞や雑誌から見つけた |
| ☐ 4. インターネットから見つけた |
| ☐ 5. 派遣会社や職業紹介の会社から紹介された |
| ☐ 6. ハローワーク（公共職業安定所）から紹介された |
| ☐ 7. 自分の国で技能実習として紹介された |
| ☐ 8. 日本に来る前に、自分の国で見つけた |
| ☐ 9. その他（具体的に_____） |

Q10-3 仕事での心配ごとは何ですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 日本人の仕事の友だちとコミュニケーションが上手にとれない
- ☐ 2. 日本の職場やビジネスの習慣がわからない
- ☐ 3. 仕事で使う日本語がわからない
- ☐ 4. 仕事が難しい、覚えることができない
- ☐ 5. 体力的に厳しい
- ☐ 6. 残業が多い、休みが少ない
- ☐ 7. 給料が少ない
- ☐ 8. 心配ごとはない
- ☐ 9. その他（具体的に_____）

あなたの子どもについて

Q11 14歳より下（2018年12月1日現在）の子どもがいますか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 14歳より下の子どもがいるし、一緒に住んでいる
- ☐ 2. 14歳より下の子どもがいるが、日本の別のところに住んでいる
- ☐ 3. 14歳より下の子どもがいるが、日本に住んでいない
- ☐ 4. 14歳より下の子どもはいない

Q11で「1」と答えた人が、Q11-1、Q11-2、Q11-3を答えてください

Q11-1 その子どもはどの学校に行っていますか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 保育園または幼稚園
- ☐ 2. 日本の小学校・中学校
- ☐ 3. 外国人のための学校
- ☐ 4. 前は行っていたが、やめた
- ☐ 5. もともと行っていない
- ☐ 6. その他（具体的に_____）

Q11-2 その子どもの悩みごとは何ですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 学校で言葉が通じない、日本語がわからない
- ☐ 2. 授業がわからない、ついていけない
- ☐ 3. 友だちができない
- ☐ 4. いじめや差別がある
- ☐ 5. 進学や就職が心配
- ☐ 6. 悩みごとはない
- ☐ 7. その他（具体的に_____）

Q11-3 あなたにとって子育てや子どもの教育の心配ごとは何ですか

【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 日本での子育ての方法がわからない
- ☐ 2. 子どもの健康診断や予防注射のしくみがわからない
- ☐ 3. 6歳より下の子どもを預けるところがない
- ☐ 4. 子どもが保育園・幼稚園・学校に行きたがらない
- ☐ 5. 日本の学校のしくみがわからない
- ☐ 6. 学校からの連絡の内容がわからない
- ☐ 7. 子どもの教育にお金がかかる
- ☐ 8. 子どもの進学や進路が心配である
- ☐ 9. 言葉の問題で子どもと上手に話すことができない
- ☐ 10. 子どもに自分の国の言葉や文化を教えることができない
- ☐ 11. 悩みごとはない
- ☐ 12. その他（具体的に _____）

家族や日本人の友だちについて

Q12 一緒に住んでいる家族に日本人はいますか【☑は1つ】

- ☐ 1. いる ☐ 2. いない

Q13 家族と話すときの言葉は何ですか【☑は1つ】

- ☐ 1. 日本語が多い ☐ 2. 日本語と自分の国の言葉
- ☐ 3. 自分の国の言葉が多い ☐ 4. その他（具体的に _____）

Q14 一緒に住んでいる家族の他に、あなたと仲の良い日本人はいますか【☑は1つ】

- ☐ 1. いる ☐ 2. いない

Q14で「1」と答えた人が、Q14-1を答えてください

Q14-1 あなたと仲の良い日本人は誰ですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 近所の人 ☐ 2. 職場の友だち・上司
- ☐ 3. 学校の友だち ☐ 4. 子どもの友だちの親
- ☐ 5. 子どもの保育園・幼稚園・学校の先生 ☐ 6. 同じ趣味の友だち
- ☐ 7. その他（具体的に _____）

Q15 もっと多くの日本人と仲良くなりたいですか【☑は1つ】

- ☐ 1. なりたい ☐ 2. なりたくない ☐ 3. どちらともいえない

ちいき かか 地域との関わりについて

Q16 あなたは町内会・自治会を知っていますか、入っていますか【☑は1つ】

- ☐ 1. 知っているし、入っている
- ☐ 2. 知っているが、入っていない
- ☐ 3. 知らない

Q16で「2」と答えた人が、Q16-1を答えてください

Q16-1 どうして町内会・自治会に入っていないのですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 何をやっているかわからない
- ☐ 2. 入るメリットが感じられない
- ☐ 3. 役員や仕事をするのが面倒
- ☐ 4. 知り合いが少ないので入りにくい
- ☐ 5. 会費を払いたくない
- ☐ 6. どうやって入ったらよいかわからない
- ☐ 7. その他（具体的に_____）

Q17 参加したことがある地域のイベントはどれですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 町内会・自治会の会議
- ☐ 2. 清掃活動
- ☐ 3. お祭り
- ☐ 4. 盆踊り
- ☐ 5. 運動会・スポーツイベント
- ☐ 6. ラジオ体操
- ☐ 7. 防災訓練
- ☐ 8. 子ども会のイベント
- ☐ 9. その他（_____）
- ☐ 10. 参加したことがない

Q17で「10」と答えた人が、Q17-1を答えてください

Q17-1 なぜ地域のイベントに参加したことがないのですか【☑はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 日本人とコミュニケーションがとれないから
- ☐ 2. 楽しそうではないから
- ☐ 3. 忙しいから
- ☐ 4. イベントをやっていることを知らないから
- ☐ 5. 知り合いが少ないから参加しにくい
- ☐ 6. その他（具体的に_____）

Q18 地域のイベントに参加したいですか【☑は1つ】

- ☐ 1. 参加したい
- ☐ 2. 参加したくない
- ☐ 3. どちらともいえない

あなたの^{にほんご}日本語について

Q19 あなたの^{にほんご}日本語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の^{のうりょく}能力について教えてください

【「読む」「書く」「聞く」「話す」のそれぞれに^{たい}対して、☐は1つ】

^よ 読む ☐ は1つ	☐ 1. できる	☐ 2. ^{すこ} 少しだけできる	☐ 3. できない
^か 書く ☐ は1つ	☐ 1. できる	☐ 2. ^{すこ} 少しだけできる	☐ 3. できない
^き 聞く ☐ は1つ	☐ 1. できる	☐ 2. ^{すこ} 少しだけできる	☐ 3. できない
^{はな} 話す ☐ は1つ	☐ 1. できる	☐ 2. ^{すこ} 少しだけできる	☐ 3. できない

Q20 あなたはどんなときに^{にほんご}日本語で^{こま}困りますか【☐はあてはまるものを^{ぜんぶ}全部】

☐ 1. ^{きんじよ} 近所づきあい	☐ 2. ^{でんしゃ} 電車や ^{ばす} バスに ^の 乗るとき
☐ 3. ^か 買い物	☐ 4. ^{まちやくばなど} 町役場等の ^{こうきようしせつ} 公共施設の ^{まどぐち} 窓口
☐ 5. ^{ぎんこう} 銀行や ^{ゆうびんきょく} 郵便局の ^{まどぐち} 窓口	☐ 6. ^{びようき} 病気になったとき、 ^{びよういん} 病院で
☐ 7. ^{しごと} 仕事をしているとき	☐ 8. ^{しごと} 仕事を探 ^{さが} すとき
☐ 9. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生と ^{はな} 話すとき	☐ 10. ^{てがみ} 手紙や ^{ゆうびん} 郵便を ^よ 読むとき
☐ 11. ^{おおあめ} 大雨や ^{じしん} 地震などの ^{さいがいの} 災害のとき	☐ 12. ^{こま} 困ったときはない
☐ 13. その他（ ^{ほか} 具体的に ^{ぐたいてき} _____）	

Q21 これまで、どのように^{にほんご}日本語を^{べんきよう}勉強しましたか【☐はあてはまるものを^{ぜんぶ}全部】

☐ 1. ^{にほん} 日本に ^く 来る ^{まえ} 前に ^{べんきよう} 勉強した	☐ 2. ^{にほん} 日本の ^{だいがく} 大学、 ^{せんもんがっこう} 専門学校、 ^{こうこう} 高校
☐ 3. ^{にほん} 日本の ^{にほんごがっこう} 日本語学校	☐ 4. ^{ぼらんていあ} ボランティアなどの ^{にほんごきょうしつ} 日本語教室
☐ 5. ^{かいしや} 会社、 ^{しよくば} 職場	☐ 6. ^{かぞく} 家族や ^{とも} 友達に ^{おし} 教えてもらった
☐ 7. ^{にほん} 日本の ^{ほいくえん} 保育園・ ^{ようちえん} 幼稚園・ ^{しょうがっこう} 小学校・ ^{ちゅうがっこう} 中学校	☐ 8. ^{てれび} テレビ・ ^{らじお} ラジオ・ ^{いんたーねっと} インターネット
☐ 9. その他（ ^{ほか} _____）	

Q22 ^{にほんご}日本語を^{べんきよう}勉強したいですか【☐は1つ】

☐ 1. いま、 ^{べんきよう} 勉強している
☐ 2. いまはしていないが、これから ^{べんきよう} 勉強したい
☐ 3. ^{べんきよう} 勉強したいが、できない
☐ 4. ^{べんきよう} 勉強したくない
☐ 5. ^{にほんご} 日本語は ^{じゅうぶん} 十分に ^{べんきよう} できるので ^{ひつよう} 勉強する必要がない

Q22で「1」「2」と答えた人が、Q22-1、Q22-2を答えてください

Q22-1 なぜ日本語を勉強したいですか【☐はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 日本で生活していくために、日本語で話をする必要があるから
- ☐ 2. 生活に必要な情報をもっと知りたいから
- ☐ 3. 仕事に必要な日本語を勉強したいから
- ☐ 4. 仕事を探す時や、する時に必要だから
- ☐ 5. 学校で必要な日本語を勉強したいから
- ☐ 6. 日本人の友だちとずっと話したいから
- ☐ 7. 日本語能力試験に合格したいから
- ☐ 8. その他（具体的に_____）

Q22-2 どうやって日本語を勉強したいですか【☐はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. テレビ・ラジオ・インターネット
- ☐ 2. 家族や友だちから教えてもらう
- ☐ 3. 会社・職場
- ☐ 4. ボランティアなどの日本語教室
- ☐ 5. その他（具体的に_____）

Q22で「3」と答えた人が、Q22-3を答えてください

Q22-3 なぜ日本語の勉強ができないですか【☐はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 家族が賛成してくれない
- ☐ 2. 勉強できる自信がない
- ☐ 3. 時間がない
- ☐ 4. お金がない
- ☐ 5. どこで勉強できるかわからない
- ☐ 6. 近くに勉強できる場所がない
- ☐ 7. 一緒に勉強する友だちがいない
- ☐ 8. よい教材がない
- ☐ 9. その他（具体的に_____）

Q22で「4」と答えた人が、Q22-4を答えてください

Q22-4 なぜ日本語を勉強したくないですか【☐はあてはまるものを全部】

- ☐ 1. 困っていない、必要ない
- ☐ 2. 難しいので勉強できない
- ☐ 3. 時間がない
- ☐ 4. お金がない
- ☐ 5. どこで勉強できるかわからない
- ☐ 6. 近くに勉強できる場所がない
- ☐ 7. 一緒に勉強する友だちがいない
- ☐ 8. よい教材がない
- ☐ 9. その他（具体的に_____）

にほん せいかつ 日本での生活について

Q23 日本での生活について困っていることは何ですか。また、それを誰に相談したいですか
 【「A. 困っていること」の番号を3つまで書いて、それぞれに対する「B. 相談したい人」の番号を書く】

「A. 困っていること」

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日本語でのコミュニケーション | 2. 情報の入手方法 |
| 3. 住宅の確保、引っ越し | 4. 病院・医療 |
| 5. 高齢者の福祉・介護 | 6. 子育て |
| 7. 教育 | 8. 子どもの進路 |
| 9. 就職・仕事を探す活動 | 10. いまの仕事・職場 |
| 11. 生活にかかるお金 | 12. 日本の生活習慣 |
| 13. 町内会や近所づきあい | 14. 友だち、人間関係 |
| 15. 外国人に対する差別・偏見 | 16. 地震や大雨などの災害 |
| 17. 町役場などの手続き | 18. その他 |

「B. 相談したい人」

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 日本人の友だち |
| 3. 日本人以外の友だち | 4. 近所の人 |
| 5. 職場や学校の人 | 6. ボランティアなどの日本語教室 |
| 7. 外国人支援のNPOなど | 8. 自分と同じ国の仲間のコミュニティ |
| 9. 宗教施設 | 10. 町役場などの公共機関 |
| 11. その他 | |

<答えを書くところ> ※「その他」については、具体的に書いてください

「A. 困っていること」の番号			
	↓	↓	↓
「B. 相談したい人」の番号			

Q24 暮らしや地域の情報を、いま、どのように入手していますか【図は5つまで】

- | | |
|--|---|
| ☐ 1. 家族や親せき | ☐ 2. 日本人の友だち |
| ☐ 3. 日本人ではない友だち | ☐ 4. 近所の人 |
| ☐ 5. テレビ・ラジオ | ☐ 6. 新聞・雑誌 |
| ☐ 7. インターネット | ☐ 8. フェイスブックやツイッターなどのSNS |
| ☐ 9. 職場や学校 | ☐ 10. ボランティアなどの日本語教室 |
| ☐ 11. 外国人支援のNPOなど | ☐ 12. 自分と同じ国の仲間のコミュニティ |
| ☐ 13. 宗教施設 | ☐ 14. チラシ・フリーペーパー |
| ☐ 15. 蟹江町の広報誌 | ☐ 16. その他（具体的に_____） |

Q25 暮らしや地域の情報を、これから、どのように入手したいですか【図は5つまで】

- | | |
|--|---|
| ☐ 1. 家族や親せき | ☐ 2. 日本人の友だち |
| ☐ 3. 日本人ではない友だち | ☐ 4. 近所の人 |
| ☐ 5. テレビ・ラジオ | ☐ 6. 新聞・雑誌 |
| ☐ 7. インターネット | ☐ 8. フェイスブックやツイッターなどのSNS |
| ☐ 9. 職場や学校 | ☐ 10. ボランティアなどの日本語教室 |
| ☐ 11. 外国人支援のNPOなど | ☐ 12. 自分と同じ国の仲間のコミュニティ |
| ☐ 13. 宗教施設 | ☐ 14. チラシ・フリーペーパー |
| ☐ 15. 蟹江町の広報誌 | ☐ 16. その他（具体的に_____） |

防災について

Q26 最近は大雨や地震など災害が多いですが、蟹江町でも起きるかもしれないと心配していますか【図は1つ】

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☐ 1. とても心配 | ☐ 2. 少し心配 |
| ☐ 3. あまり心配していない | ☐ 4. 心配していない |
| ☐ 5. わからない | |

Q27 大雨や地震などの災害の時に、自分の家の近所で避難する場所を知っていますか【図は1つ】

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 1. 知っている | ☐ 2. 知らない |
|-----------------------------------|----------------------------------|

Q28 今までに、地域や職場などの防災訓練や避難訓練に参加したことはありますか【図は1つ】

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 参加したことがある | ☐ 2. 知っているが、参加したことはない |
| ☐ 3. 防災訓練や避難訓練を知らない | |

Q29 災害が起きた時のための準備は十分できていますか【図は1つ】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 十分、準備できている | ☐ 2. どちらかというと準備できている |
| ☐ 3. あまり準備できていない | ☐ 4. 準備できていない |
| ☐ 5. わからない | |

Q30 災害さいがいが起きた時おきに、緊急情報きんきゅうじょうほうをどこから入手にゅうしゅしますか【☑はあてはまるもの3つまで】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 家族 <small>かぞく</small> や親せき <small>しんせき</small> に聞く | ☐ 2. 日本人 <small>にほんじん</small> の友だち <small>とも</small> に聞く |
| ☐ 3. 近所 <small>きんじよ</small> の人に聞く | ☐ 4. 職場 <small>しよくば</small> や学校 <small>がっこう</small> に聞く |
| ☐ 5. テレビ・ラジオ | ☐ 6. 日本 <small>にほん</small> のウェブサイト |
| ☐ 7. 日本人 <small>にほんじん</small> とのSNS | ☐ 8. 自分 <small>じぶん</small> の国 <small>くに</small> のウェブサイト |
| ☐ 9. 自分 <small>じぶん</small> と同じ国 <small>おな くに</small> の人 <small>ひと</small> とのSNS | ☐ 10. 宗教施設 <small>しゅうきょうしせつ</small> に聞く |
| ☐ 11. 自分 <small>じぶん</small> と同じ国 <small>おな くに</small> の仲間 <small>なかま</small> のコミュニティ <small>こみゆにてい</small> に聞く | |
| ☐ 12. その他 <small>ほか</small> （具体的に <small>ぐたいてき</small> _____） | |

蟹江町役場の取組について

Q31 蟹江町かにえちやうが行おこなっている、外国人住がいくじんじゅうみん民も対たい象しやうの手続てつづきやサービスさーびすを知しっていますか

【知しっているもの全部ぜんぶに☑】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 住 <small>じゅうしょ</small> 所 <small>しょ</small> に関する届出 <small>とどけで</small> | ☐ 2. 婚姻・離婚 <small>こんいん りこん</small> に関する届出 <small>かん とどけで</small> |
| ☐ 3. 印鑑登録 <small>いんかんとうろく</small> | ☐ 4. 各種 <small>かくしゆ</small> の健康診断 <small>けんこうしんだん</small> |
| ☐ 5. 母子健康手帳 <small>ぼ し けんこうてちやう</small> | ☐ 6. 乳幼児医療費助成 <small>にゅうようじいりやうひじよせい</small> |
| ☐ 7. 予防接種 <small>よぼうせつしゅ</small> | ☐ 8. 児童手当・児童扶養手当 <small>じどうてあて じどうふやうてあて</small> |
| ☐ 9. 国民年金 <small>こくみんねんきん</small> | ☐ 10. 国民健康保険 <small>こくみんけんこうほけん</small> |
| ☐ 11. 介護保険 <small>かいごほけん</small> | ☐ 12. 障がい者手帳 <small>しょう しやてちやう</small> |
| ☐ 13. 生活保護 <small>せいかつほご</small> | ☐ 14. ごみの処理 <small>しより</small> |
| ☐ 15. 税金の徴収 <small>ぜいきん ちやうしゅう</small> | ☐ 16. 水道・下水道の事業 <small>すいどう げすいどう じぎやう</small> |

Q32 蟹江町内かにえちやうないの公こう共きやう施設しせつとまちの案内あんないは、外国人がいくじんにとってわかりやすいですか【☑は1つ】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. とても わかりやすい | ☐ 2. どちらかというと、わかりやすい |
| ☐ 3. どちらかというと、わかりにくい | ☐ 4. わかりにくい |
| ☐ 5. わからない | |

Q33 公こう共きやう施設しせつとまちの案内あんないは、どのようにすれば わかりやすくなりますか【☑は2つまで】

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 日本語以外の言葉 <small>にほんごいがい ことば</small> を使う <small>つか</small> | ☐ 2. ルビ（ふりがな）をふる |
| ☐ 3. 簡単な日本語 <small>かんたん にほんご</small> を使う <small>つか</small> | ☐ 4. 絵や記号 <small>え きごう</small> を使う |
| ☐ 5. わからない | ☐ 6. その他 <small>ほか</small> （_____） |

Q34 蟹江町内かにえちやうないで、案内あんないをもっとわかりやすくして欲しい場所ばや施設しせつを書いてください

外国人も住みやすいまちにするための取組について

Q35 外国人にとっても安心して住みやすい蟹江町にするために、どんな取組が必要ですか
【図は5つまで】

- ☐ 1. 日本人が外国の文化を理解する環境づくり
- ☐ 2. 色んな国の人に参加するイベントの開催
- ☐ 3. 地域に住む日本人と交流できる環境づくり
- ☐ 4. 地域に住む同じ国の人と交流できる環境づくり
- ☐ 5. 日本の文化や生活について多言語（いろんな言葉）での情報提供
- ☐ 6. 多言語（いろんな言葉）での相談の充実
- ☐ 7. 通訳の充実
- ☐ 8. 日本語教室の充実
- ☐ 9. やさしい日本語（簡単な日本語）の普及
- ☐ 10. 生活マナーや習慣の講習
- ☐ 11. 学校での外国人の子どもへの支援の充実
- ☐ 12. 外国人の生活を支援する通訳などの人や組織の育成
- ☐ 13. 外国人が意見や提案を言う機会をつくる
- ☐ 14. 公共施設の多言語（いろんな言葉）案内の促進
- ☐ 15. 外国人の防災時の対応の支援
- ☐ 16. 特にない
- ☐ 17. その他（具体的に_____）

Q36 その他、蟹江町が外国人にとって暮らしやすくなるための提案があれば書いてください

アンケートはこれで終わります。多くの質問に答えていただきありがとうございました。

封筒に入れて、1月21日（月）までに郵便ポストに入れてください。